

# 授業評価 2024

—学生による授業評価報告書—

【2024年度新規開設科目】

2025年3月



授業評価 2024  
— 学生による授業評価報告書 —  
【2024年度新規開設科目】

<u>I. 「学生による授業評価 2024」の概要</u>	1
I-1. 目的	
I-2. 構成と内容	
I-3. 方法と期間	
I-4. 時系列分析	
I-5. 回答者の特性	
I-6. 評価結果の提供と公表	
I-6-1. 評価結果の提供	
I-6-2. 評価結果の公表	
I-7. その他	
<u>II. 評定尺度調査の分析結果</u>	21
II-1. 学部の分析結果	
II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-1-2. 学習への取組み姿勢	
II-1-3. 学部の授業評価	
II-1-4. 学部の重回帰分析	
II-2. 大学院の分析結果	
II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-2-2. 学習への取組み姿勢	
II-2-3. 大学院の授業評価	
II-2-4. 大学院の重回帰分析	
<u>III. 自由記述のまとめ</u>	122
III-1. 学部（放送授業）	
III-2. 学部（オンライン授業）	
III-3. 大学院（放送授業）	
III-4. 大学院（オンライン授業）	
<u>付録</u>	212

2024年度学生による授業評価集計結果の概要等について

# I. 「学生による授業評価 2024」の概要

## I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。本年度は、第20回目となり、例年の通り2024年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コースまたは領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第 3 に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第 4 に、放送大学は教員の 5 年任期制を採っており、再任のためには 5 年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第 3 の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

## I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査（放送授業）は、大きく分けて 3 つの部分からなっている。

第 1 は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について 4 段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の 2 つに分かれる。

第 2 は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第 3 は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については 14,15,16 頁と 19,20 頁を参照されたい。

## I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2024 年度第 1 学期に本学で開講していた放送授業のうち、本年度に開設した科目及び前年度第 2 学期に開設した科目（開講 1 年目の科目）、学部 50 科目（オンライン授業 6 科目を除く）、大学院 3 科目（オンライン授業 4 科目を除く）、計 53 科目である（表 1-1 参照）。このような選定システムにすることで、開設後 4 年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず 1 回授業評価の対象とされることになる。

表1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数（オンライン授業を除く）

【学部】					【大学院】				
コース	科目数		有効回答		プログラム	科目数		有効回答	
	2024年度		2024年度			2024年度		2024年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比		全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目	22	2	326	12%	生活健康科学	22	0	0	0%
基盤科目(外国語)	15	2	49	2%	人間発達科学	9	2	41	80%
生活と福祉	46	11	675	24%	臨床心理学	11	0	0	0%
心理と教育	57	6	469	17%	社会経営科学	13	0	0	0%
社会と産業	60	10	237	9%	人文学	13	0	0	0%
人間と文化	47	8	520	19%	情報学	10	1	10	20%
情報	44	7	166	6%	自然環境科学	11	0	0	0%
自然と環境	37	4	330	12%	全体	89	3	51	100%
看護師資格取得	5	0	0	0%					
夏季集中科目	5	0	0	0%					
全体	338	50	2772	100%					

※構成比は、小数点第一位を四捨五入しているため、各項目の数値を合計しても100%にならない場合がある。

2018年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部 28,833名、大学院 319名、計 29,152名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。

調査期間は第1学期単位認定試験終了後の7月22日から9月30日までの67日間とし、有効回答数は学部 2,772人、大学院 51人、計 2,823人であった。無記名調査であったが、有効回答率は学部 9.6%、大学院 16.0%、全体で 9.7%と、2023年度の有効回答率（2023年度新規開設科目学部 18.9%、大学院 26.2%、全体 19.0%）と比較すると学部、大学院共に有効回答率が下落した。

※オンライン授業を除く

表1-2 調査対象者数および有効回答率

	2024年新規開設科目			2023年新規開設科目			2022年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	28,833	2,772	9.6%	25,824	4,881	18.9%	33,837	6,275	18.5%
大学院	319	51	16.0%	343	90	26.2%	1,053	332	31.5%
計	29,152	2,823	9.7%	26,167	4,971	19.0%	34,890	6,607	18.9%

## I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

## I-5. 回答者の特性

### (1) 回答者の属性分布と母集団との比較

※ pt:ポイント

(次頁表1-3)は、回答者の属性分布と母集団(全受講登録者)の属性分布を比較したものである。両者を比較して、回答者の属性分布と母集団の属性分布間に乖離がないか確認を行う。

学部では、男性は+3.4pt、女性は-3.4ptで、母集団より男性が多く、女性が少なかった。

年齢階層別では19歳以下~40歳代までがマイナスで、20歳代(-7.7pt)と30歳代(-5.9pt)が、母集団との差が大きかった。

反対に母集団より高かったのは50歳代~70歳以上で、50歳代(+8.8pt)と60歳代(+10.3pt)が特に差が開いていた。

学生種別では全科履修生が+8.8pt、選科履修生が-7.6ptと母集団との乖離が大きかった。

一方、大学院の性別では男性が-2.3pt、女性は+2.3ptで、学部とは逆に、母集団より女性が多く、男性が少なかった。

年齢階層別では、30~40歳代までが母集団より低くなっていた。

学生種別では修士全科生は母集団より24.4pt高く、修士選科生は逆に-11.2pt、修士科目生は-13.2%と低かった。

### 1-3 回答者の属性分布

#### 【学部】

		2024年新規開設科目			2023年新規開設科目			2022年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	43.8%	40.3%	3.4pt	43.6%	43.6%	0.0pt	45.0%	44.7%	0.3pt
	女性	56.2%	59.7%	▲3.4pt	56.4%	56.4%	0.0pt	55.0%	55.3%	▲0.3pt
年齢階層別	19歳以下	2.2%	2.5%	▲0.3pt	1.2%	1.9%	▲0.7pt	2.2%	3.3%	▲1.1pt
	20～29歳	9.9%	18.1%	▲8.2pt	8.2%	18.0%	▲9.8pt	9.2%	20.1%	▲10.9pt
	30～39歳	9.7%	15.2%	▲5.5pt	8.9%	14.8%	▲5.9pt	11.3%	16.2%	▲4.9pt
	40～49歳	17.4%	21.5%	▲4.1pt	18.8%	20.1%	▲1.3pt	22.6%	22.2%	0.4pt
	50～59歳	28.4%	20.6%	7.7pt	29.5%	21.8%	7.7pt	26.4%	19.3%	7.1pt
	60～69歳	22.9%	12.8%	10.1pt	21.9%	13.4%	8.5pt	18.5%	11.4%	7.1pt
	70歳以上	9.6%	9.3%	0.3pt	11.5%	10.0%	1.5pt	9.8%	7.4%	2.4pt
学生種別	全科履修生	79.8%	71.0%	8.8pt	76.3%	75.9%	0.4pt	71.0%	69.0%	2.0pt
	選科履修生	16.7%	24.3%	▲7.6pt	16.8%	17.5%	▲0.7pt	17.7%	20.1%	▲2.4pt
	科目履修生	3.5%	4.7%	▲1.3pt	6.9%	6.6%	0.3pt	11.2%	10.9%	0.3pt
人数(N)		2,772	-	-	4,881	-	-	6,275	-	-

pt: ポイント

#### 【大学院】

		2024年新規開設科目			2023年新規開設科目			2022年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	58.8%	61.1%	▲2.3pt	53.5%	50.7%	2.8pt	62.7%	63.2%	▲0.5pt
	女性	41.2%	38.9%	2.3pt	46.7%	49.3%	▲2.6pt	37.3%	36.8%	0.5pt
年齢階層別	20～29歳	0.0%	0.0%	0.0pt	1.1%	5.0%	▲3.9pt	4.5%	5.5%	▲1.0pt
	30～39歳	2.0%	5.0%	▲3.1pt	7.8%	11.7%	▲3.9pt	6.0%	10.8%	▲4.8pt
	40～49歳	11.8%	25.7%	▲13.9pt	23.3%	25.1%	▲1.8pt	15.4%	18.8%	▲3.4pt
	50～59歳	37.3%	32.0%	5.3pt	33.3%	31.5%	1.8pt	29.8%	25.3%	4.5pt
	60～69歳	27.5%	14.4%	13.0pt	32.2%	22.7%	9.5pt	32.8%	25.8%	7.0pt
	70歳以上	21.6%	4.7%	16.9pt	2.2%	4.1%	▲1.9pt	11.4%	13.7%	▲2.3pt
	学生種別	修士全科生	37.3%	12.9%	24.4pt	34.4%	12.8%	21.6pt	31.8%	17.1%
修士選科生		54.9%	66.1%	▲11.2pt	61.1%	80.8%	▲19.7pt	59.9%	73.8%	▲13.9pt
修士科目生		7.8%	21.0%	▲13.2pt	4.4%	6.4%	▲2.0pt	8.1%	9.1%	▲1.0pt
人数(N)		51	-	-	90	-	-	332	-	-

pt: ポイント

以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

## (2) 年齢階層別の分布（2024年新規開設科目）

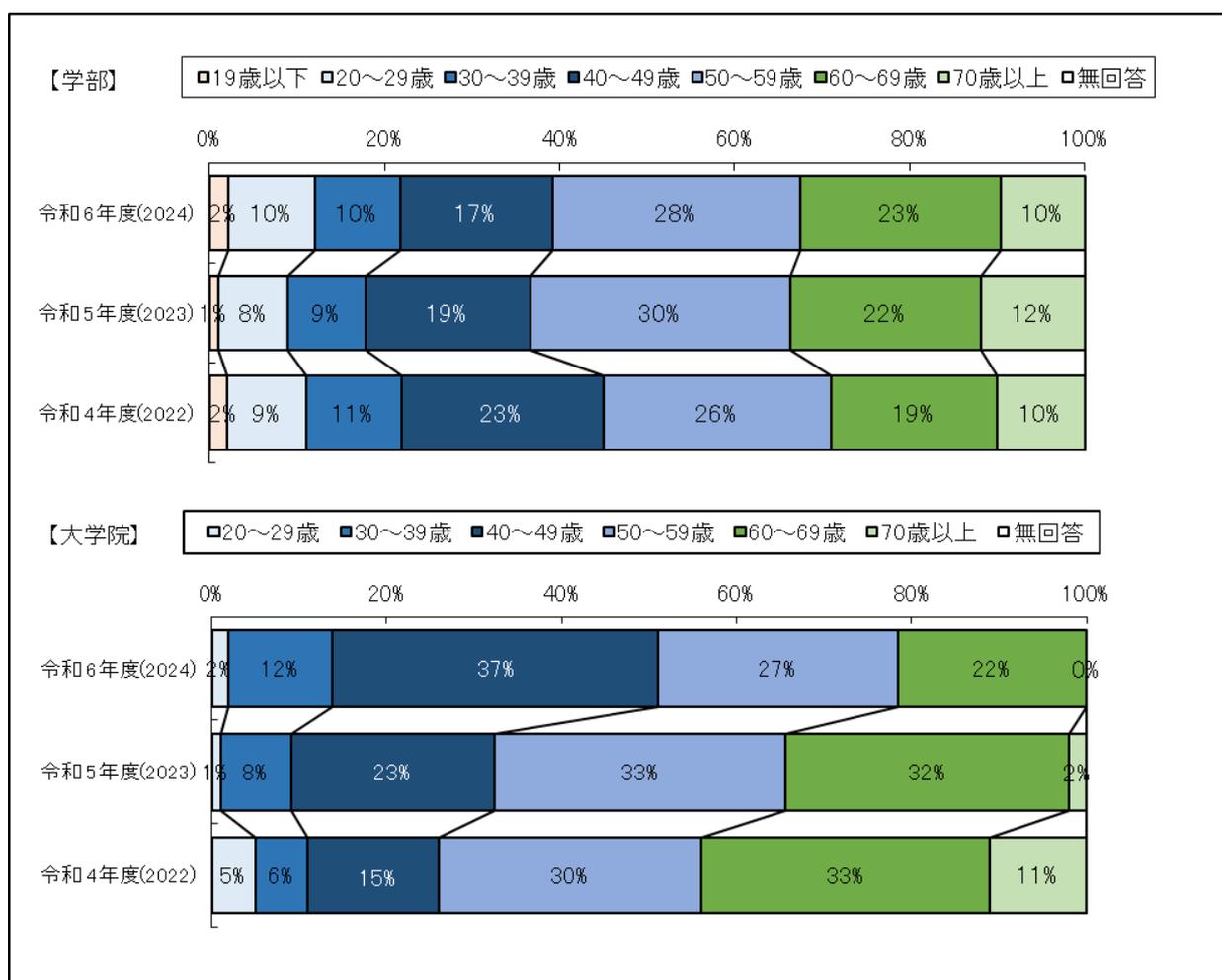
年齢階層別に本年度（2024年新規開設科目）の回答者の分布を見ると（図1-1）、学部では50歳代が最も多く28%、次いで60歳代23%、40歳代が17%で、40歳代から60歳代で約7割を占めていた。

昨年度と比べると、19歳以下、20歳代、30歳代、60歳代が増え、40歳代、50歳代、70歳以上が減っていた。

大学院は学部とは異なり、30歳代が最も多く37%で、30歳代から60歳代の構成比が高く、全体の約9割に達していた。

昨年度との比較では50歳代、60歳代、70歳以上が減少し、19歳以下、20歳代、30歳代が増加していた。

図1-1 年齢階層別回答者



### (3) 性別の傾向（2024年新規開設科目）

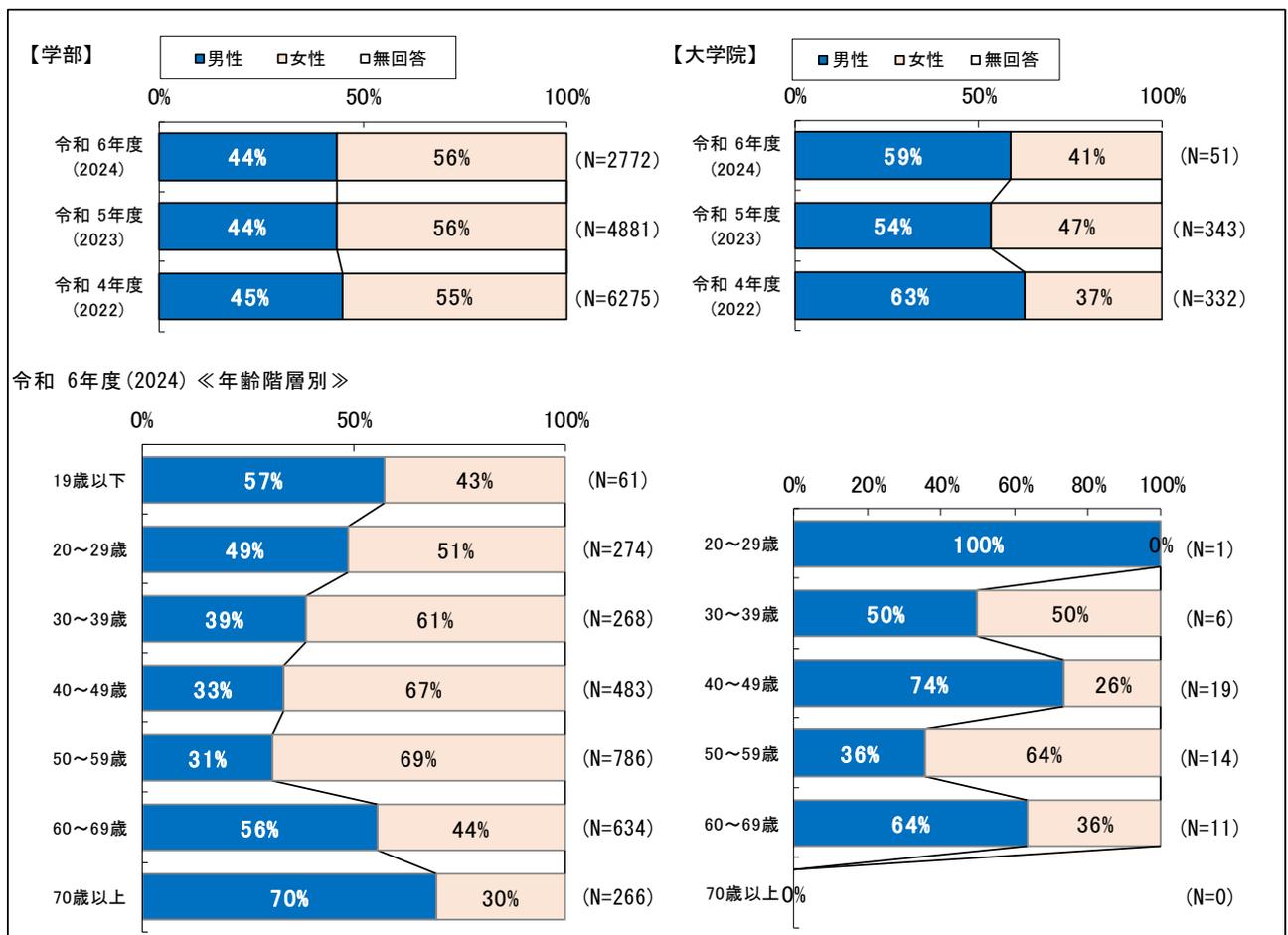
学部について、男女別全体では（図1-2）、「男性」は44%、「女性」は56%となり、昨年度とほぼ同傾向となった。

年代毎の男女の構成を見ると、30歳代から50歳代までは女性の割合が多く、逆に60歳代以上から男性が多くなり、70歳以上は男性が約7割を占めていた。

大学院では、「男性」59%、「女性」41%で、昨年度より男性が5ポイント増加していた。

年代別では40歳代で男性の割合が特に多く、7割以上を占めていた。

図1-2 性別回答者



#### (4) 職業別分布 (2024 年新規開設科目)

学部在籍者の職業は (図 1 - 3)、「会社員」が最も多く 24%、次いで「無職」(19%) 「パート・アルバイト」(15%) が続いている。

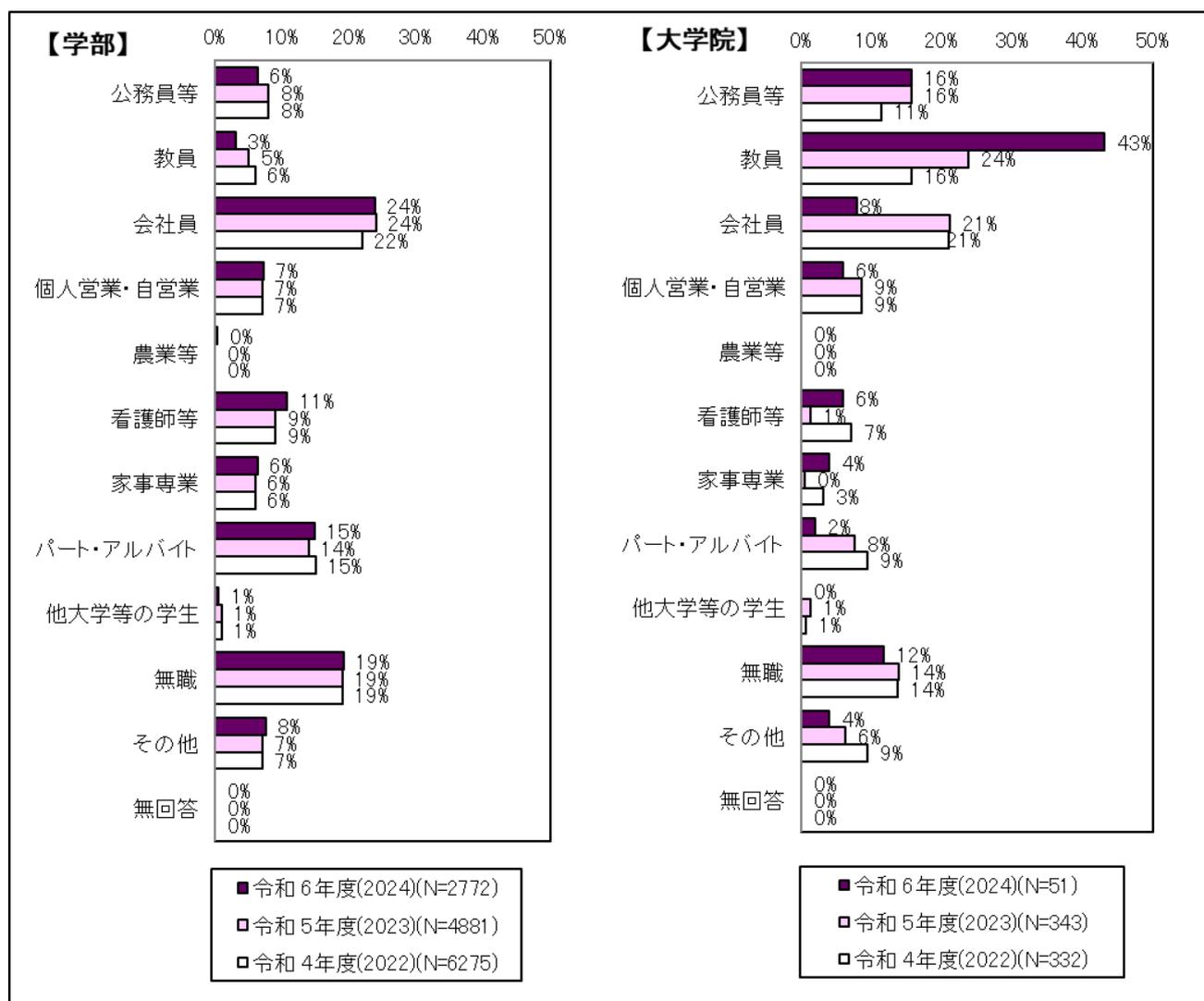
時系列で見ると、大きな変化は見られないが、昨年度と比べ、「看護師等(9%)」が 2 ポイント増、「公務員等(6%)」「教員 (3%)」が 2 ポイント減であった。

大学院では「教員」が 43%と最も多く、次いで「公務員等 (16%)」、「無職 (12%)」が続いていた。

時系列で見ると、年々「教員」が増加している一方、「パート・アルバイト」「その他」については、減少傾向が続いていた。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図 1 - 3 回答者の職業



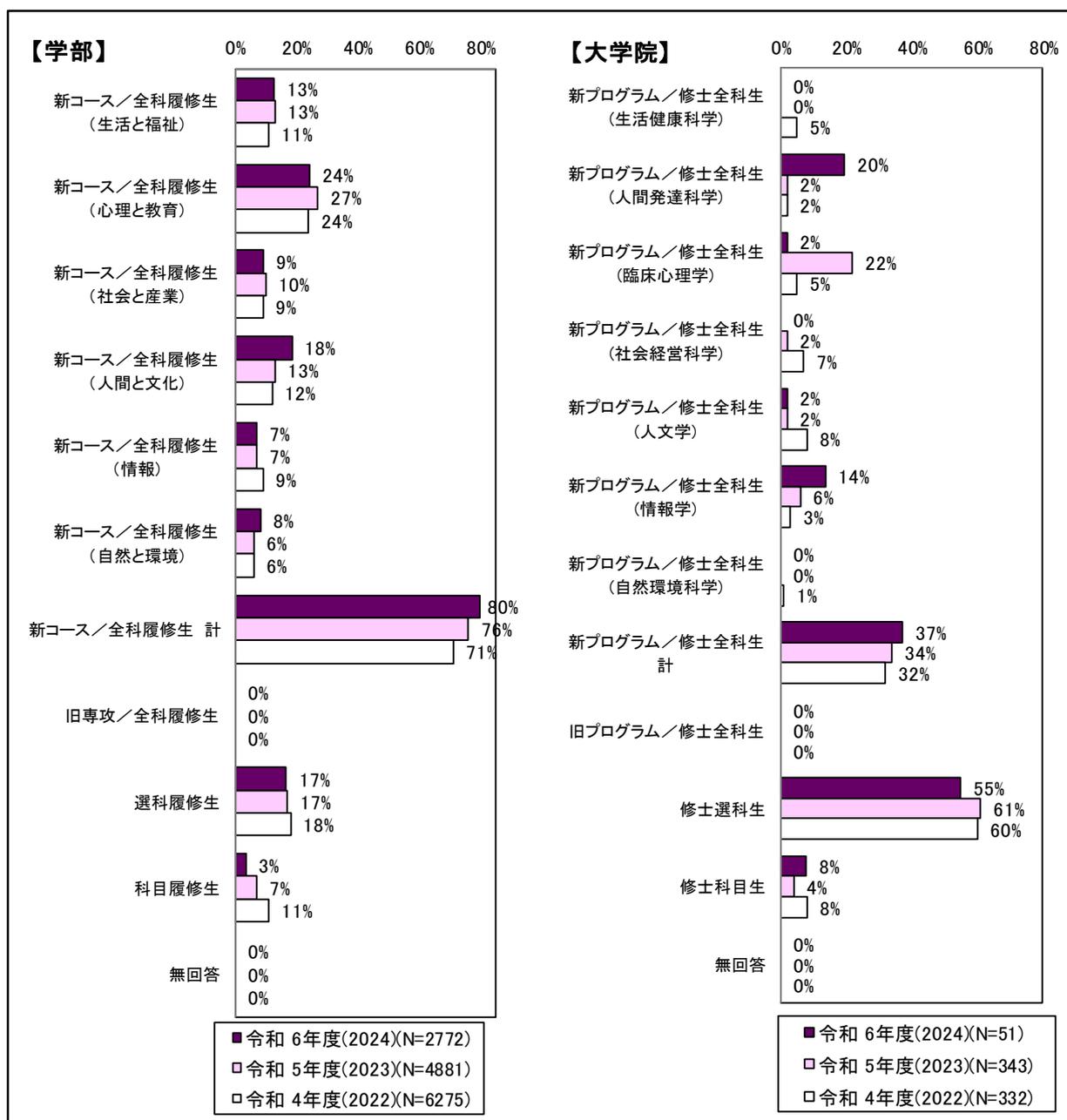
(5) 所属コース（プログラム）別分布（2024 年新規開設科目）

所属コース（プログラム）別の分布では（図1-4）、学部は全科履修生（新コース）が80%を占めており、昨年度より4ポイント増加していた。その中では、「人間と文化（18%）」が昨年度より5ポイント近く増加していた。

大学院では修士選科生が55%を占めており、修士全科生（新プログラム）が37%、修士科目生が8%であった。

修士全科生の所属プログラムでは「人間発達化学（20%）」と「情報学（14%）」が上位であった。

図1-4 回答者の所属コース（プログラム）



## I-6. 評価結果の提供と公表

### I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、12頁～20頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

### I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

#### (1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

#### (2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

#### (3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ等で適宜公表することを基本とする。

## I-7. その他

---

### オンライン授業科目について

2015 年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・ 調査時期（4月5日～9月2日）が異なること
- ・ 放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・ 対象科目が少ない（学部6科目、大学院4科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部1

学部1

2024年度学生による授業評価の調査結果【2024年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

（○○○○）

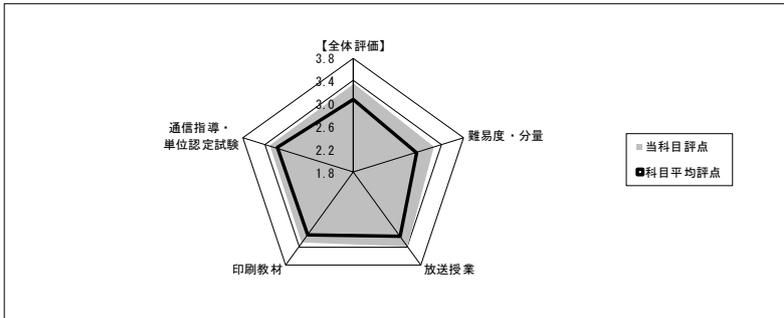
教員氏名 ○○○○

（注）平均評点は、「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	208	44%	33%	18%	5%	3.46	3.44	3.17	0.29
	A-2 放送授業を十分に視聴した	208	46%	33%	17%	5%	3.32	3.25	3.20	0.12
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	208	30%	46%	21%	3%	3.39	3.39	3.03	0.36

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	208	23%	52%	18%	8%	3.23	3.25	2.89	0.34
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	208	29%	44%	21%	6%	3.29	3.31	2.95	0.34
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	208	21%	52%	23%	5%	3.23	3.25	2.89	0.34
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	208	30%	50%	15%	5%	3.30	3.32	3.06	0.24
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	208	33%	36%	24%	6%	3.35	3.31	2.97	0.38
	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	208	53%	36%	6%	5%	3.54	3.50	3.38	0.16
	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	208	35%	44%	14%	8%	3.37	3.34	3.06	0.31
	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	208	50%	32%	9%	9%	3.32	3.23	3.23	0.09
	B-9 ゲストや聞き手によって、理解が深まった	208	36%	47%	14%	3%	3.35	3.34	3.17	0.18
印刷教材	B-10 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98	0.27
	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	208	46%	47%	6%	2%	3.31	3.18	3.36	-0.05
	B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	208	33%	50%	14%	3%	3.34	3.32	3.14	0.20
	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	208	30%	52%	11%	8%	3.32	3.32	3.05	0.27
通信指導・単位認定試験	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	208	47%	42%	8%	3%	3.42	3.42	3.33	0.09
	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	208	38%	35%	20%	8%	3.22	3.25	3.03	0.19
	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	208	39%	46%	11%	5%	3.34	3.34	3.20	0.14
全体評価	B-17 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	208	39%	41%	15%	5%	3.42	3.42	3.15	0.27
	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	208	56%	35%	5%	5%	3.51	3.52	3.42	0.09
	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	208	20%	47%	24%	9%	3.20	3.21	2.77	0.43
	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた	208	33%	42%	20%	5%	3.40	3.39	3.05	0.35
	B-21 この科目の内容には全体として満足している	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98	0.27

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科目履修生（新コース所属）						全科目履修生（旧コース所属）		全科目履修生【小計】		選科履修生	科目履修生	無回答	計
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境								
	17	38	33	51	10	12	0	161	38	9	0	208		
性別	男性	女性	無回答	計										
	100	108	0	208	年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	8	13	29	44		59	44	11	0	208				
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学の学生	無職	その他	無回答	計	
	18	6	61	13	0	5	14	39	1	37	14	0	208	
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導未提出	無回答	計	単位認定のための学習方法					計			
	受験	未受験	7	7	6	208	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答		0	208	
	188	7	7	6	208	19	27	162	0	208				

提供資料サンプル【学部】

2024年度学生による授業評価の調査結果【2024年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学部	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。										A-2 放送授業を十分に視聴した。									
	回答数	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均						
		4	3	2	1				レボなし	無回答	4	3			2	1	レボなし	無回答		
合計（全体）	2772	54%	40%	6%	1%	0%	94%	2772	50%	34%	12%	4%	0%	84%						
		1497	1098	154	23	0	2595		1389	941	339	103	0	2330						
生活と福祉	353	55%	38%	6%	1%	0%	93%		50%	31%	14%	5%	0%	82%						
		195	134	22	2	0	329		177	111	48	17	0	288						
心理と教育	675	55%	39%	6%	0%	0%	94%		51%	35%	11%	2%	0%	86%						
		373	262	37	3	0	635		345	238	76	16	0	583						
社会と産業	254	52%	43%	5%	0%	0%	95%		44%	41%	11%	4%	0%	85%						
		133	109	12	0	0	242		112	103	28	11	0	215						
人間と文化	511	60%	36%	4%	1%	0%	95%		56%	31%	10%	4%	0%	86%						
		305	182	20	4	0	487		284	156	52	19	0	440						
情報	192	51%	42%	7%	1%	0%	92%		47%	33%	16%	4%	0%	80%						
		97	80	14	1	0	177		90	63	31	8	0	153						
自然と環境	228	54%	36%	8%	2%	0%	90%		54%	29%	14%	3%	0%	83%						
		124	82	18	4	0	206		123	67	31	7	0	190						
旧専攻所属	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	0%	0%	0%						
全科履修生	2213	55%	38%	6%	1%	0%	94%		51%	33%	12%	4%	0%	85%						
【小計】		1227	849	123	14	0	2076		1131	738	266	78	0	1869						
		48%	44%	6%	2%	0%	92%		47%	34%	14%	5%	0%	81%						
選科履修生	463	224	204	27	8	0	428		219	155	66	23	0	374						
		48%	47%	4%	1%	0%	95%		41%	50%	7%	2%	0%	91%						
科目履修生	96	46	45	4	1	0	91		39	48	7	2	0	87						
		55%	40%	5%	1%	0%	94%		51%	34%	12%	4%	0%	85%						
単 位 試 験	2593	1412	1032	130	19	0	2444		1316	875	312	90	0	2191						
定 試 験	47	36%	45%	19%	0%	0%	81%		30%	43%	23%	4%	0%	72%						
指 導	19	17	21	9	0	0	38		14	20	11	2	0	34						
		32%	32%	26%	11%	0%	63%		26%	47%	21%	5%	0%	74%						
通信指導未提出	19	6	6	5	2	0	12		5	9	4	1	0	14						

## 2024年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

## A. 授業評価をさせていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

## B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	（テレビ科目についてのみお答えください） テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	（ラジオ科目についてのみお答えください） 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	（テレビ科目についてのみお答えください） ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	（ラジオ科目についてのみお答えください） ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					

## 提供資料サンプル【学部】

(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

### Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

- (2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

- (3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

- (4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

### Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

## 提供資料サンプル【学部】

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>〔全科履修生 新コース所属の方〕</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>〔全科履修生 旧専攻所属の方〕</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>〔選科履修生・科目履修生〕</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ( )

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院I

2024年度学生による授業評価の調査結果【2024年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

（ ○○○○ ）

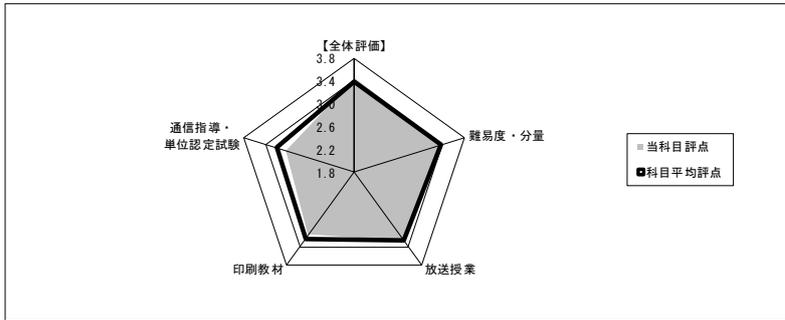
教員氏名 ○○○○

（注）平均評点は、「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出。

1. 取組み姿勢

取組み姿勢	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	学部、大	43%	57%	0%	0%	3.43	3.53	3.53	-0.10
A-2	放送授業を十分に視聴した	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.32	3.32	-0.32
A-3	印刷教材を熱心に学習した	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.53	3.53	0.04

2. 授業評価



難易度・分量	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0	
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点		
難易度・分量	B-1	放送授業の難易度は適切だった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.37	3.37	-0.23
	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.38	3.38	-0.24
	B-3	印刷教材の難易度は適切だった	45	71%	29%	0%	0%	3.71	3.41	3.41	0.30
	B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.41	3.41	0.16
放送授業	B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.21	3.21	-0.07
	B-6	放送授業は教材としてよくできていると感じた	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.42	3.42	0.15
	B-7	テレビの特性が十分に生かされていると感じた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36	-0.07
	B-8	ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.05	3.05	0.09
	B-9	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.22	3.22	0.07
印刷教材	B-10	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.26	3.26	0.17
	B-11	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	45	0%	86%	14%	0%	2.86	3.20	3.20	-0.34
	B-12	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.33	3.33	-0.04
	B-13	印刷教材は教材としてよくできていると感じた	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.11	3.11	-0.11
通信指導・単位認定試験	B-14	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.25	3.25	-0.11
	B-15	通信指導は学習内容の理解に役立った	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.13	3.13	-0.13
	B-16	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.26	3.26	-0.26
全体評価	B-17	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.47	3.47	0.10
	B-18	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	45	71%	14%	14%	0%	3.57	3.55	3.55	0.02
	B-19	新しい知識が身につく視野が広がった	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.30	3.30	0.13
	B-20	この科目の内容を全体としてよく理解できた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36	-0.07
	B-21	この科目の内容には全体として満足している	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.26	3.26	0.17

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科生（新コース所属）							修士全科生（旧コース所属）				計	
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	修士全科生【小計】	修士選科生	修士科目生	無回答		
	3	9	0	0	1	1	0	14	26	5	0	45	
性別	男性	27	18	0	0	0	0	7	7	11	14	6	45
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職業	公務員等	3	7	7	6	0	4	2	1	2	10	3	45
	教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信指導・単位認定試験	単位認定試験受験	43	2	0	0	0	0	5	13	27	0	45	
	通信指導未提出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2024年度学生による授業評価の調査結果【2024年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院

学生種別	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。										A-2 放送授業を十分に視聴した。									
	回答数	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	ポイント平均	回答数	1 レポなし				肯定評価	ポイント平均						
		4	3	2	1				無回答	4	3	2			1	無回答				
合計 (全体)	51	65%	28%	6%	2%	0%	92%	3.55	51	53%	28%	20%	0%	0%	80%	3.33				
修士全科	生活健康科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	人間発達科学	10	50%	40%	0%	0%	90%	3.3	10	40%	40%	20%	0%	0%	80%	3.2				
	臨床心理学	1	100%	0%	0%	0%	100%	4	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4				
	社会経営科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	人文学	1	100%	0%	0%	0%	100%	4	1	0%	0%	100%	0%	0%	0%	2				
	情報学	7	71%	14%	14%	0%	86%	3.57	7	57%	14%	29%	0%	0%	71%	3.29				
	自然環境科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	旧プログラム所属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	修士全科生	19	63%	26%	5%	5%	0%	90%	3.47	19	47%	26%	26%	0%	0%	74%	3.21			
	【小計】		12	5	1	1	0	17			9	5	5	0	0	14				
修士選科生		28	75%	25%	0%	0%	100%	3.75	28	64%	25%	11%	0%	0%	89%	3.54				
			21	7	0	0	28			18	7	3	0	0	25					
修士科目生		4	0%	50%	50%	0%	50%	2.5	4	0%	50%	50%	0%	0%	50%	2.5				
			0	2	2	0	2			0	2	2	0	0	2					
単 位 認 定 試 験	受検	47	64%	28%	6%	2%	92%	3.53	47	51%	30%	19%	0%	0%	81%	3.32				
	未受検	1	100%	0%	0%	0%	100%	4	1	0%	0%	100%	0%	0%	0%	2				
	通信指導未提出	1	100%	0%	0%	0%	100%	4	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4				

2024年度学生による授業評価調査票（大学院）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

1. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
② 放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③ 印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④ 単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>				
(1) 放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2) 放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3) 印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4) 印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>				
(5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7) (テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8) (テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>				
(10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>				
(14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15) 通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>				
(17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19) 新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20) この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21) この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

## 提供資料サンプル【大学院】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	【修士全科生 新プログラム所属の方】 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 【修士全科生 旧プログラム所属の方】 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 【修士選科生・修士科目生】 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ( )

どうもありがとうございました。

## Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

### 【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。

本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。

ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。

3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。

しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取るとは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を合計して提示した。

これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかにどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数について、本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。

以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなり、%表記がそぐわないため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。

例えば、大学院では職業別の「パート・アルバイト」（1人）、「農業等」、「他大学等の学生」は0人で、年齢階層別では、「20～29歳」（1人）（70歳以上は0人）が挙げられる。

表2-1 回答者数一覧

【学部】				【大学院】			
全体	2,772	(単位:人)		全体	51	(単位:人)	
メディア		年齢階層		メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	1,606	19歳以下	61	テレビ科目(TV)	0	20~29歳	1
ラジオ科目(R)	1,166	20~29歳	274	ラジオ科目(R)	51	30~39歳	6
職業		30~39歳	268	職業		40~49歳	19
公務員等	176	40~49歳	483	公務員等	8	50~59歳	14
教員	84	50~59歳	786	教員	22	60~69歳	11
会社員	663	60~69歳	634	会社員	4	70歳以上	0
個人営業・自営業	200	70歳以上	266	個人営業・自営業	3	プログラム	
農業等	10	コース		農業等	0	人間発達科学	41
看護師等	299	基盤科目	326	看護師等	3	情報学	10
家事専業	176	基盤科目(外国語)	49	家事専業	2		
パート・アルバイト	410	生活と福祉	675	パート・アルバイト	1		
他大学等の学生	14	心理と教育	185	他大学等の学生	0		
無職	531	社会と産業	237	無職	6		
その他	209	人間と文化	520	その他	2		
		情報	166				
		自然と環境	330				

## Ⅱ－1. 学部の分析結果

### Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、A-1～B-21 の評価項目（14～16 頁の提供資料サンプルを参照）ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80% と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

図 2－1 の肯定的評価では各項目とも 80% 以上で、『通信指導・単位認定試験』（B-14～B-16）が 91% と最も高く、逆に『放送授業』（84%）が最も低い評価であった。

図 2－1 【学部】項目平均による全体的傾向

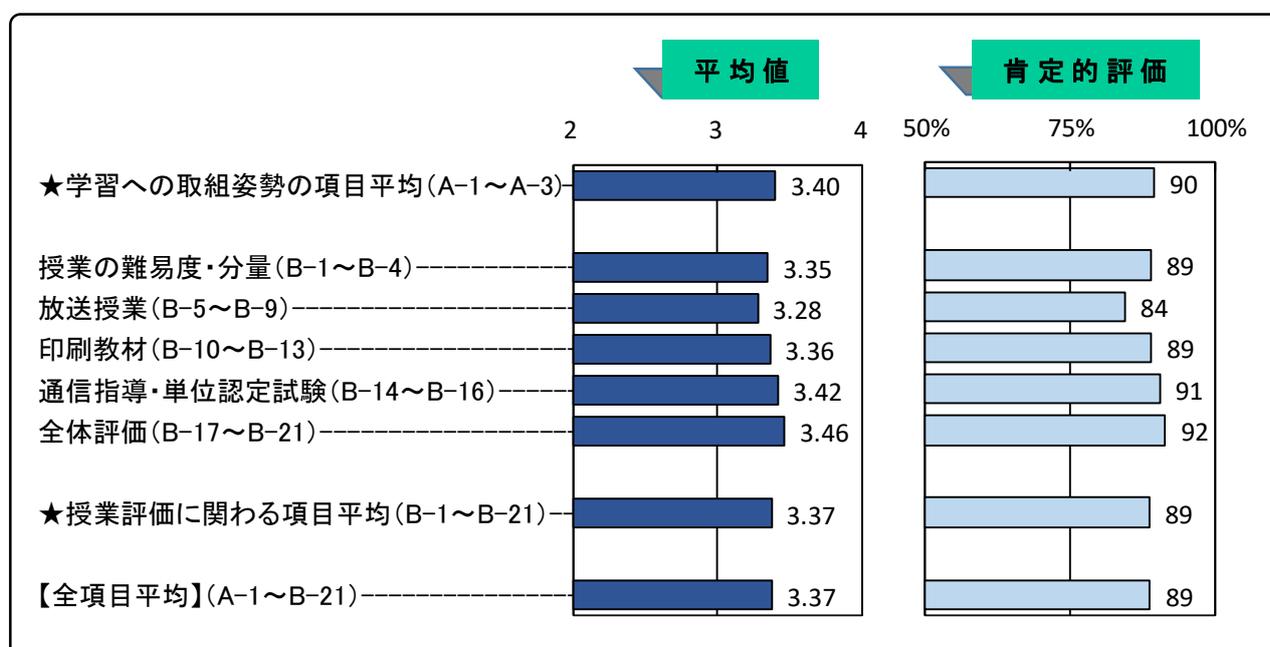
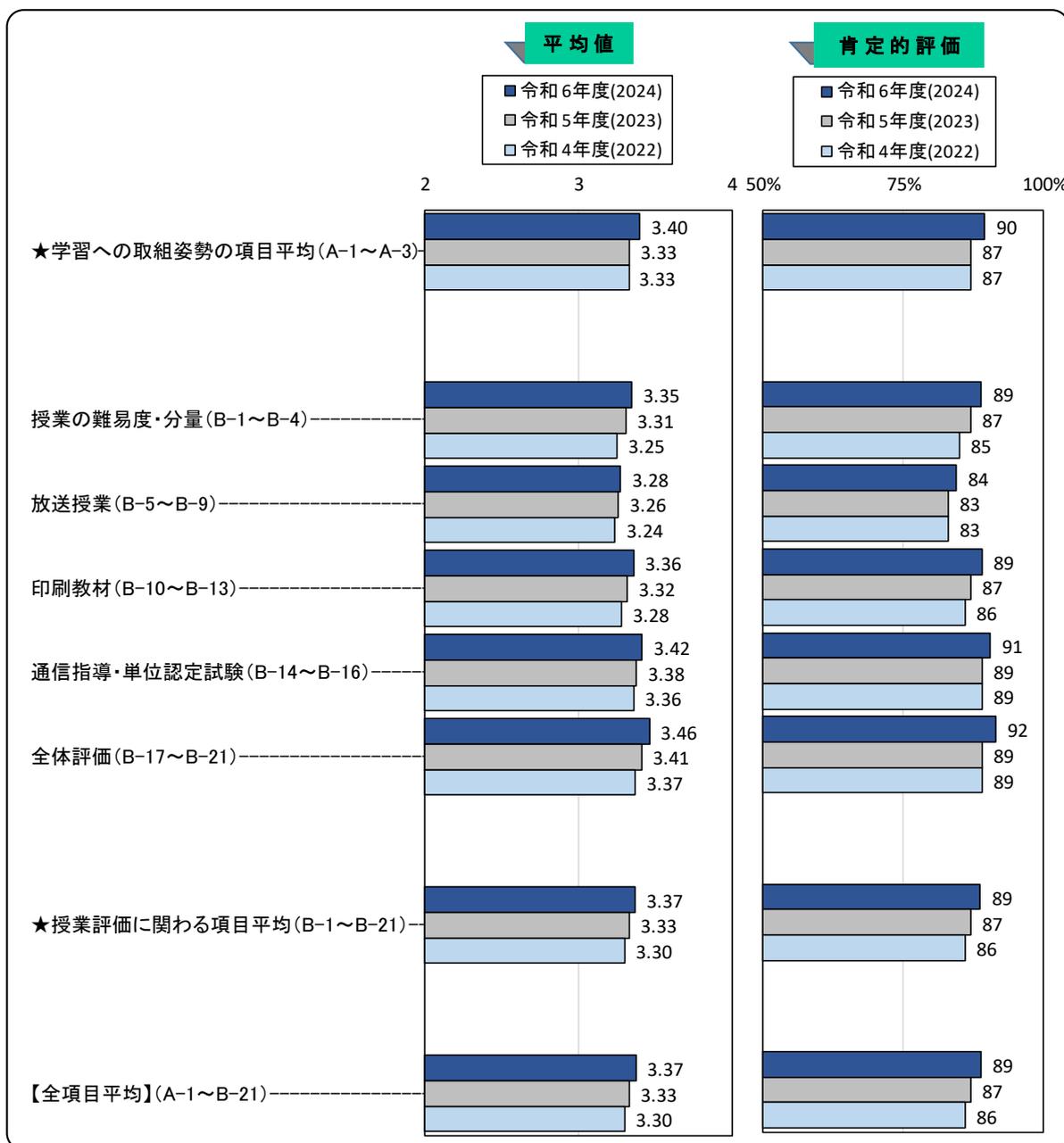


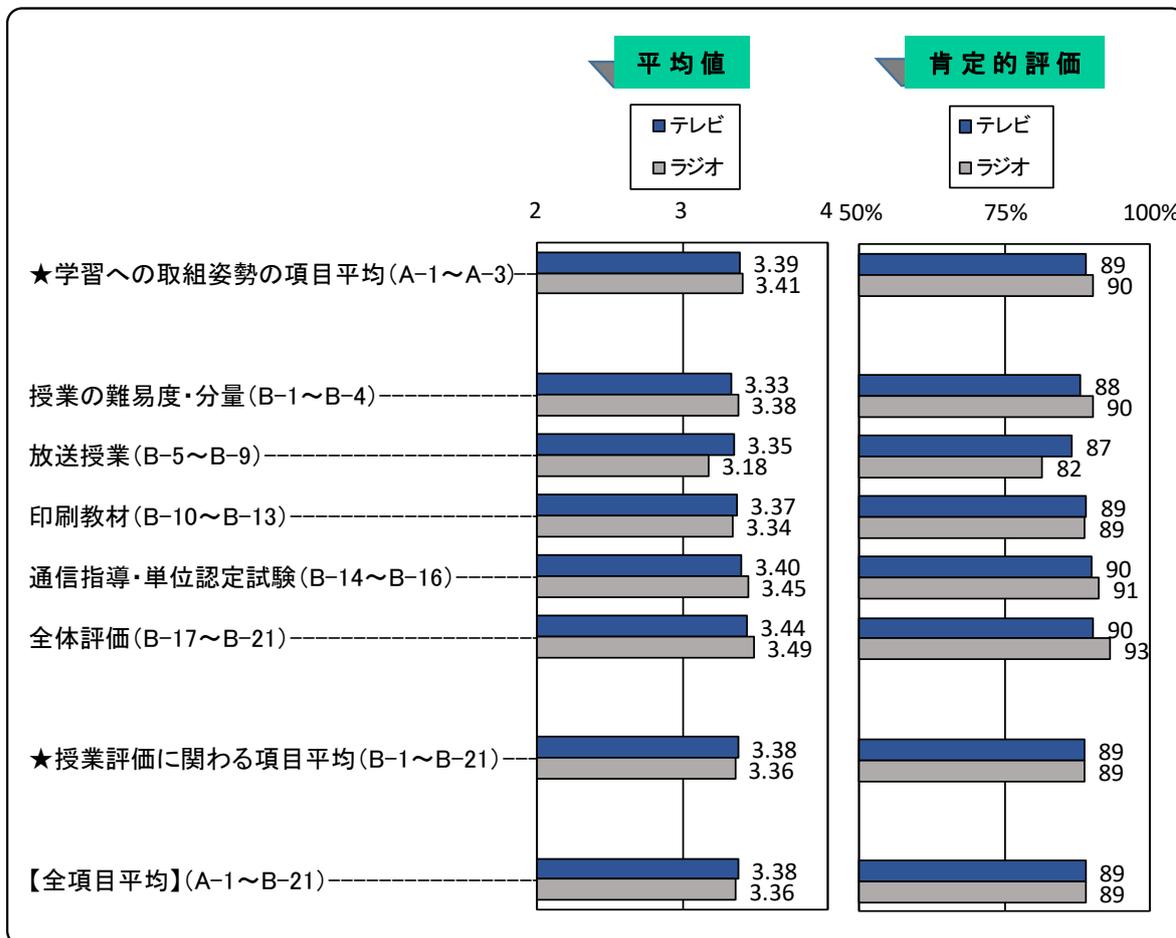
図2-2の項目平均による全体的傾向では、肯定的評価が本年度は、いずれの項目も昨年度より1~3ポイント増となっていた。

図2-2【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別では（図2-3）、テレビ科目とラジオ科目のメディア間では、『放送授業』以外においては横ばいかラジオが1～3ポイント上回る結果となったが、『放送授業』については逆であり、テレビの方が5ポイント高くなっていた。

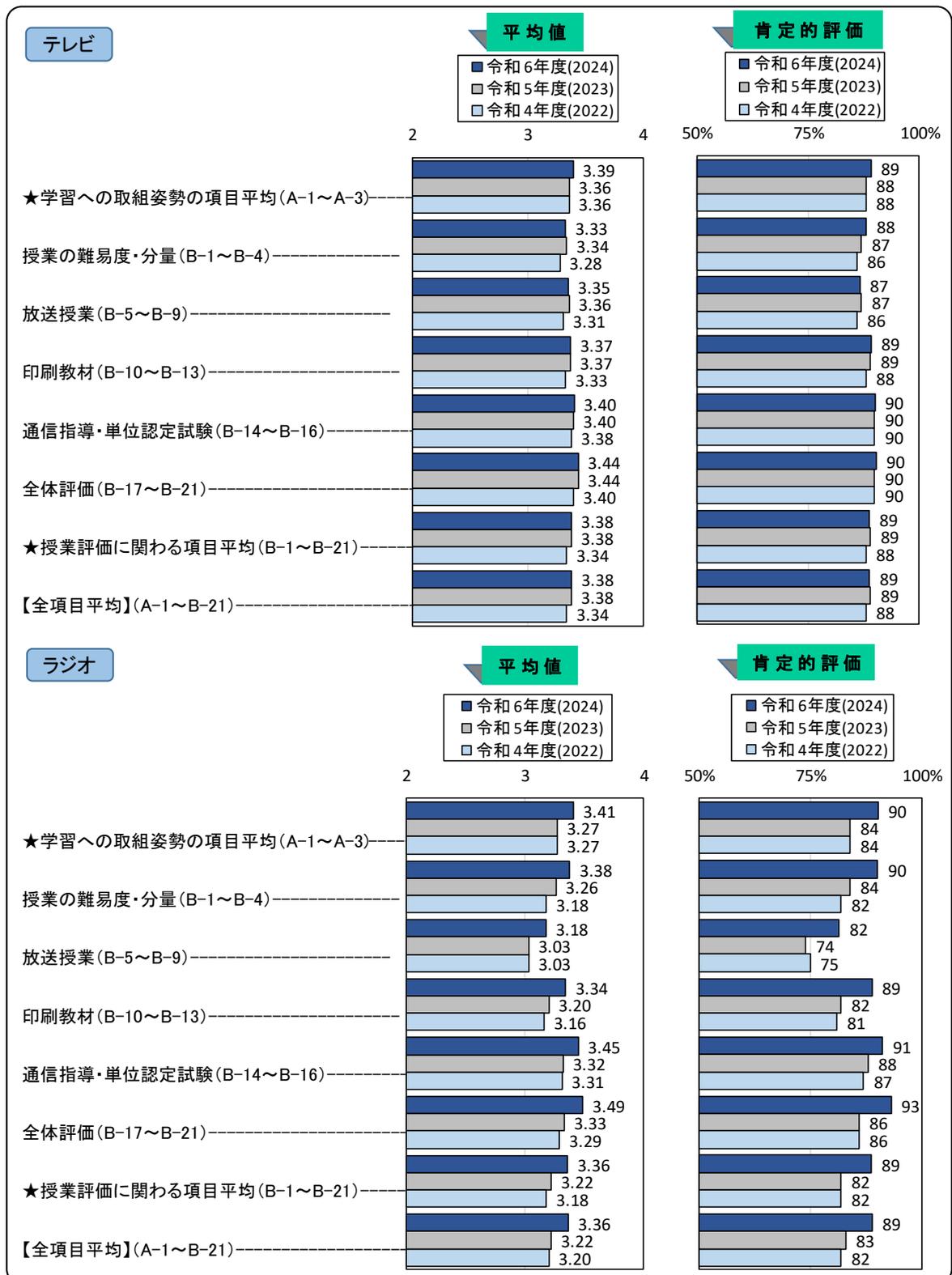
図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を時系列で比較してみると（図2-4）、テレビ科目では、ほぼ横ばいであった。

一方、ラジオ科目では、全項目で評価が昨年度を上回っており、中でも『放送授業』は肯定的評価が8ポイントのプラスであった。

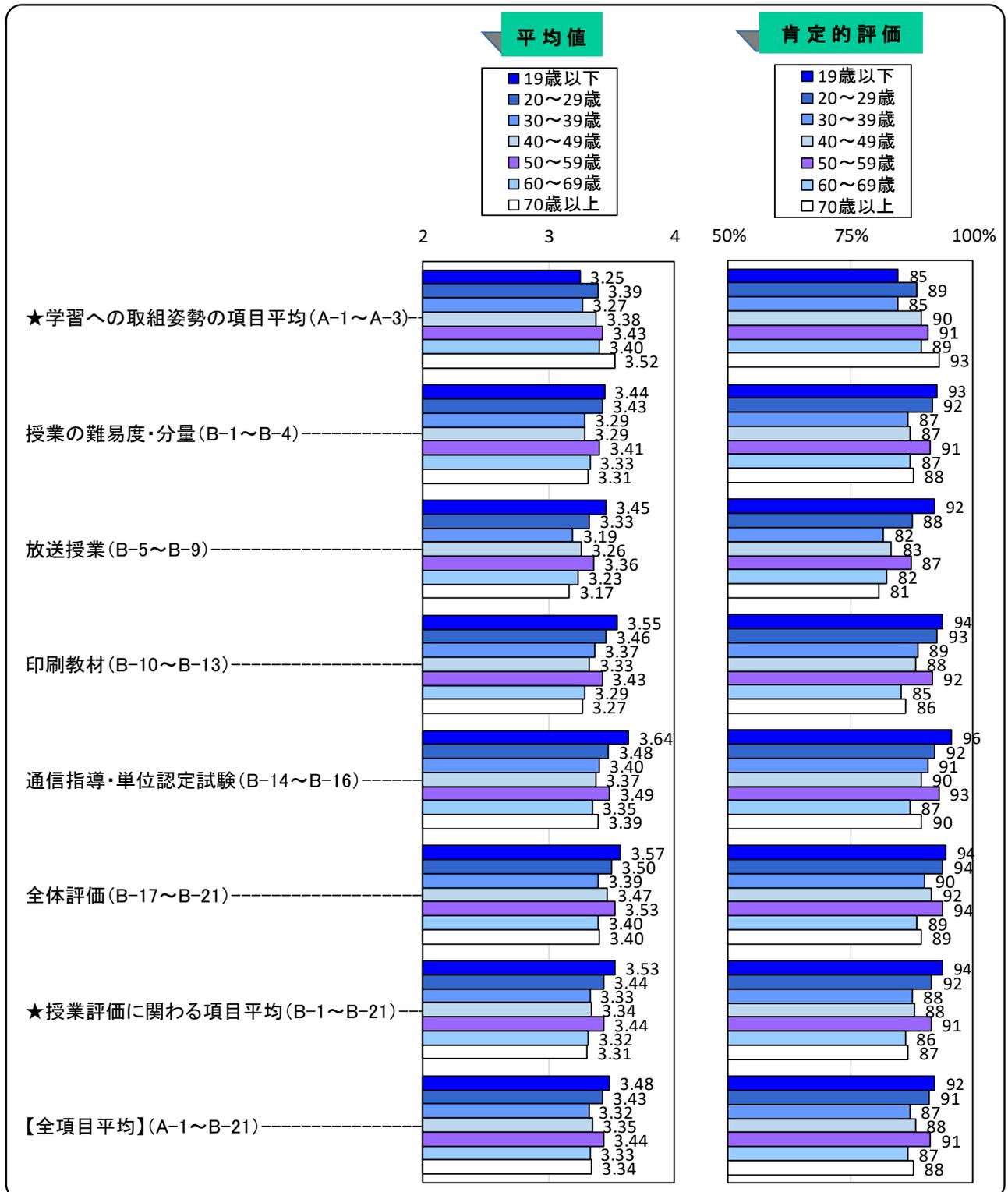
図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



年齢階層別（図2-5）では、50歳代は、全項目で肯定評価が高くなっていった。『学習への取組姿勢の項目平均』以外においては19歳以下も評価が高かった。

逆に全般的に評価が低かったのは30歳代と40歳代で、特に『放送授業』の評価が82～83%と低かった。

図2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向

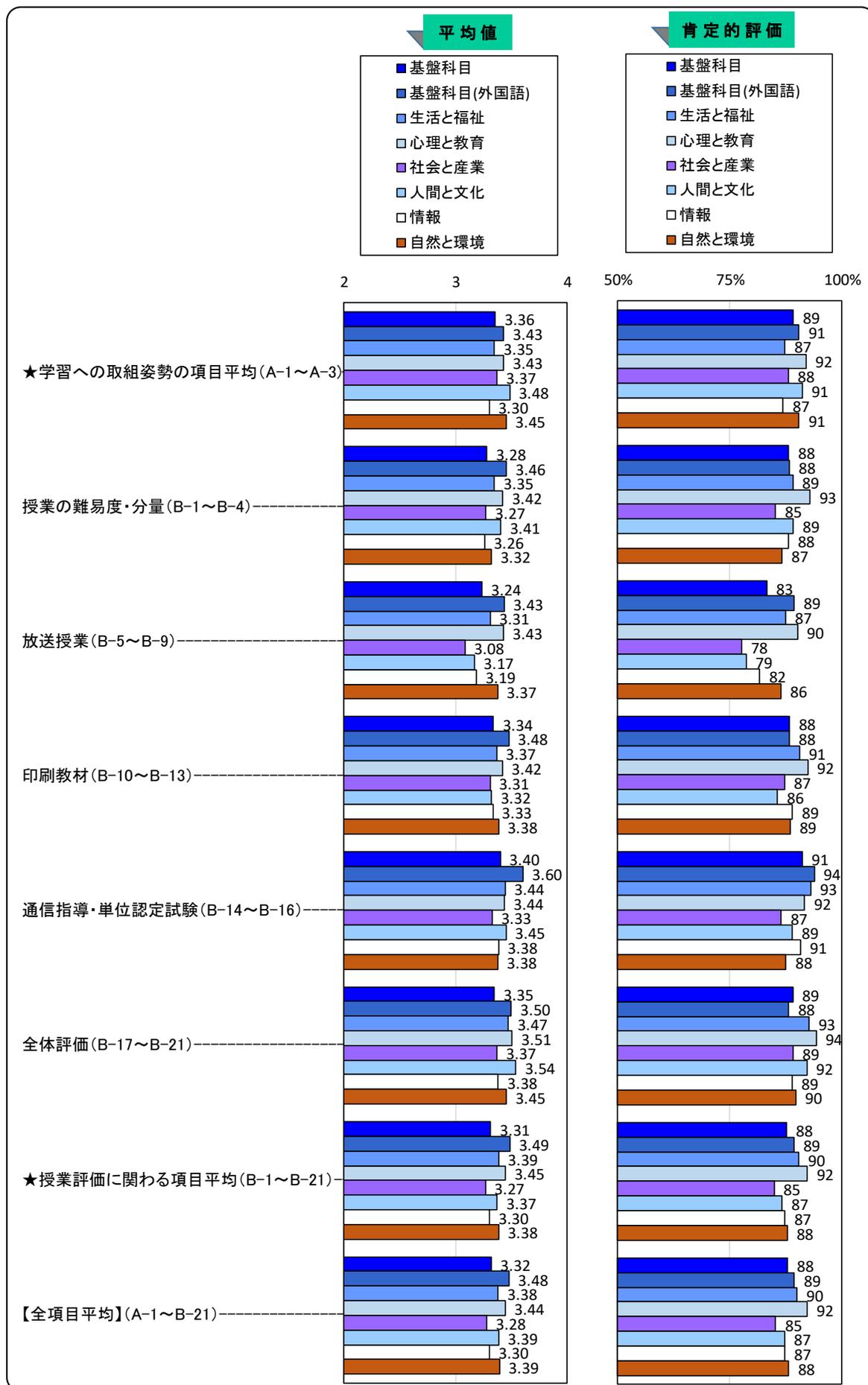


所属コース別に項目平均を見ると（次頁図2-6）、『通信指導・単位認定試験』以外の項目で「心理と教育」の肯定評価が最も高かった。また、「心理と教育」は、全ての項目において、肯定評価が高く90%～94%であった。

逆に「社会と産業」は『学習への取組姿勢の項目平均』以外の項目で、他の所属コースより肯定的評価が低く、最も評価の低い『放送授業』は78%と他の所属コースに比べ大きな差が見られた。

その結果、『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』において、「心理と教育」の肯定的評価が最も高く、「社会と産業」が最も低かった。

図2-6 【学部】 項目平均による所属コース別全体的傾向

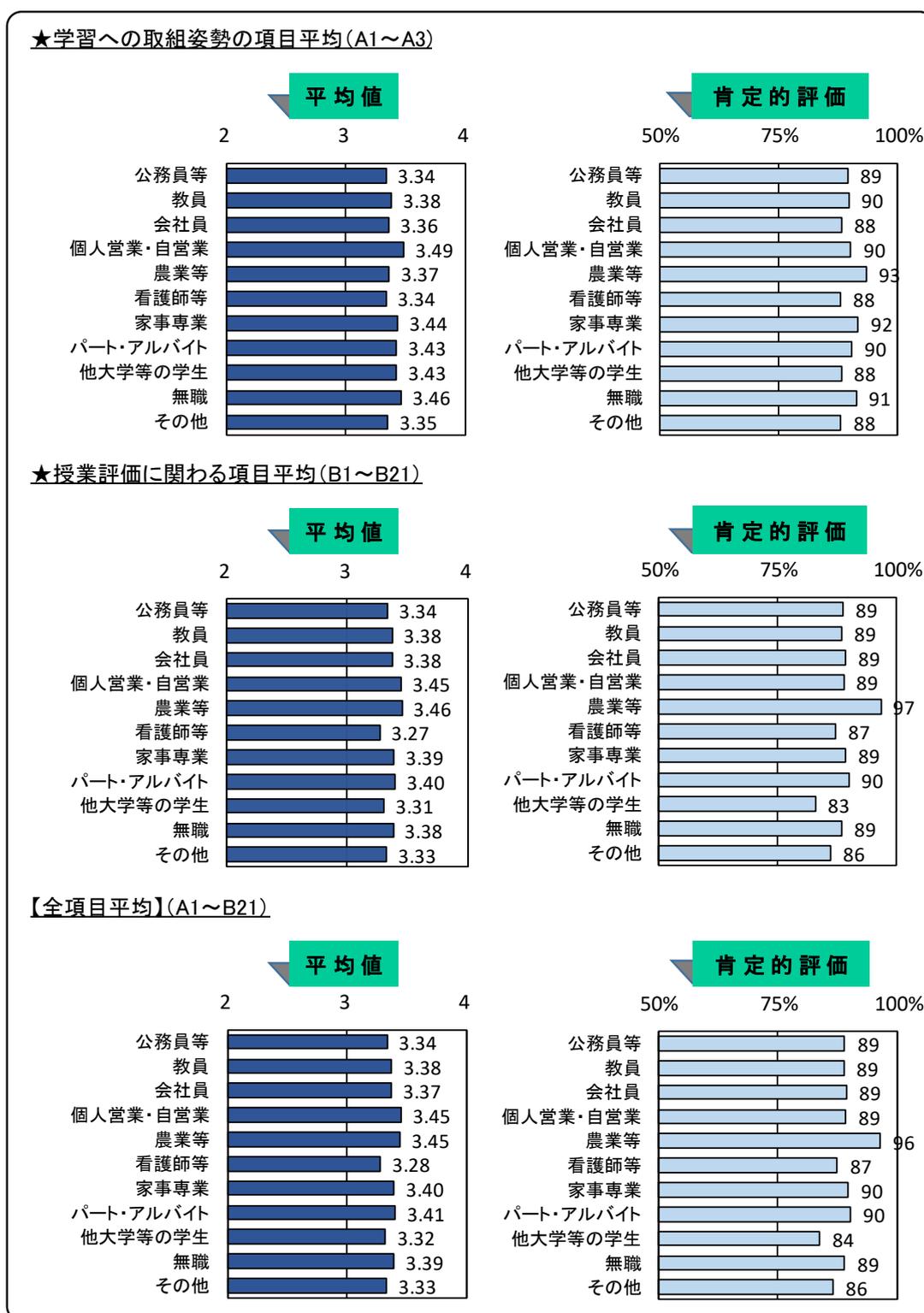


職業別の（図2-7）肯定的評価は「農業等」が91%と最も多く、続いて「家事専業」と「パート・アルバイト」が90%であった。

反対に「他大学等の学生」は『授業評価に関わる項目平均』で最も評価が低く、上位1～3位に比べ7ポイント以上の差が見られた。

他に「その他」も『授業評価に関わる項目平均』では、86%と低くなっていた。

図2-7【学部】項目平均による職業別全体的傾向



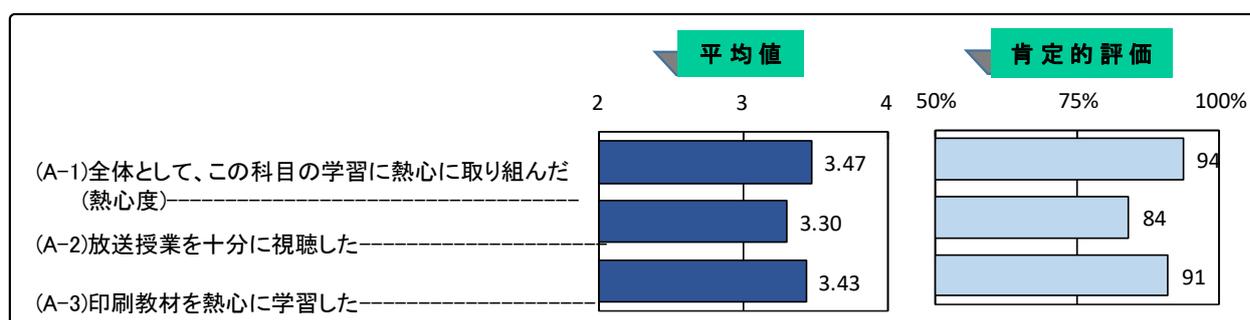
## Ⅱ-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

全回答者の学習への取組み姿勢（図2-8）は、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」が94%と、その熱心度は高かった。

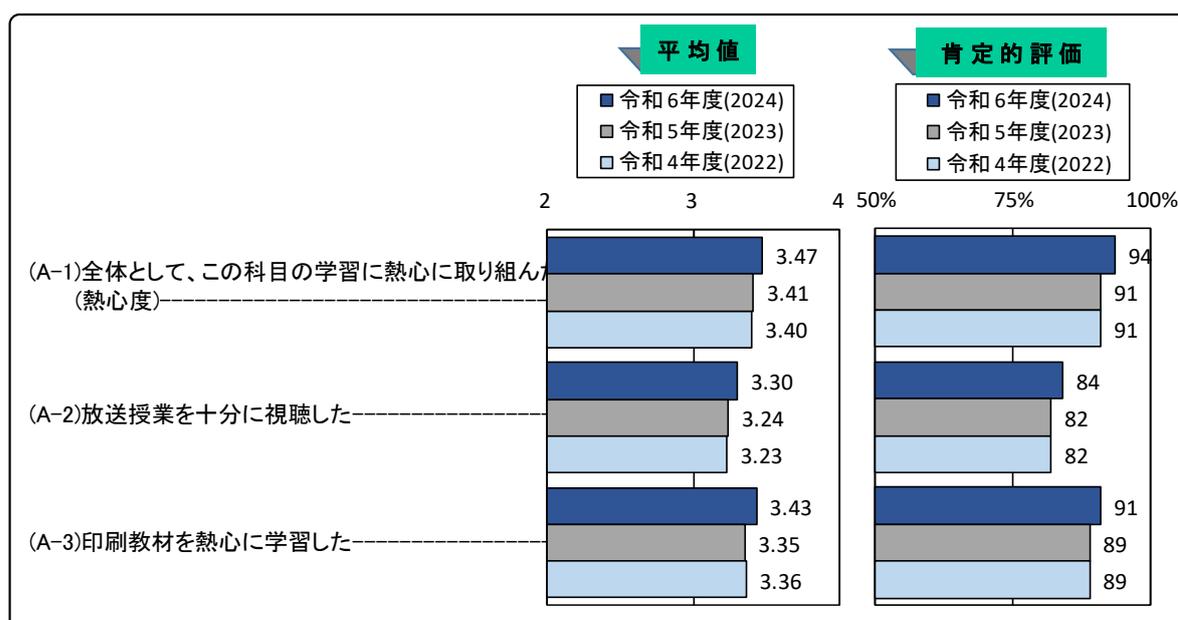
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は84%と、他の2項目に比べ低く、印刷教材での学習のウエイトの方が高かった。

図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢



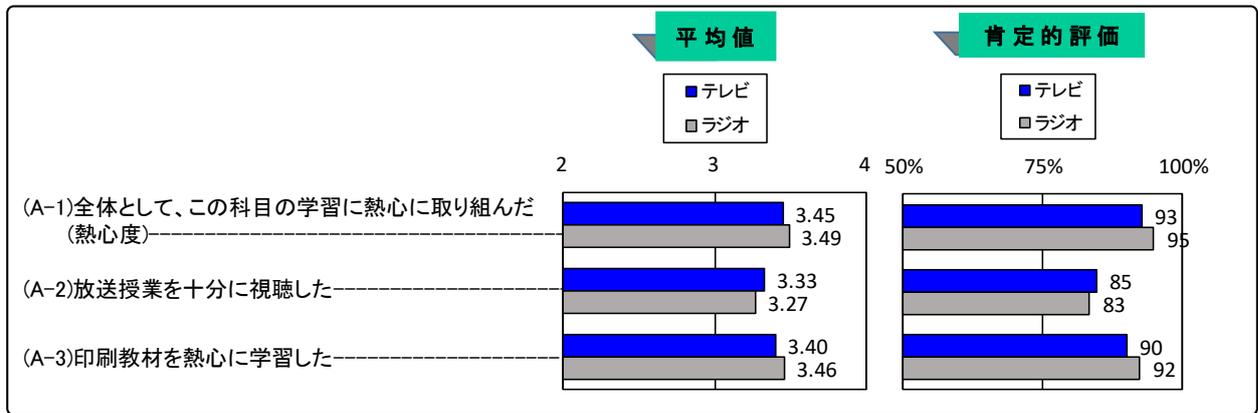
取組姿勢を時系列で見ると（図2-9）、全ての項目で本年度の結果が、大きな差ではないものの、昨年度、一昨年度と同水準か上回っていた。

図2-9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、テレビ科目とラジオ科目を比べると、ラジオ科目の方が印刷教材の学習や全体的な熱心度においてわずかながら優れている一方で、放送授業の視聴に関してはテレビ科目の方が若干優位に立っていた。

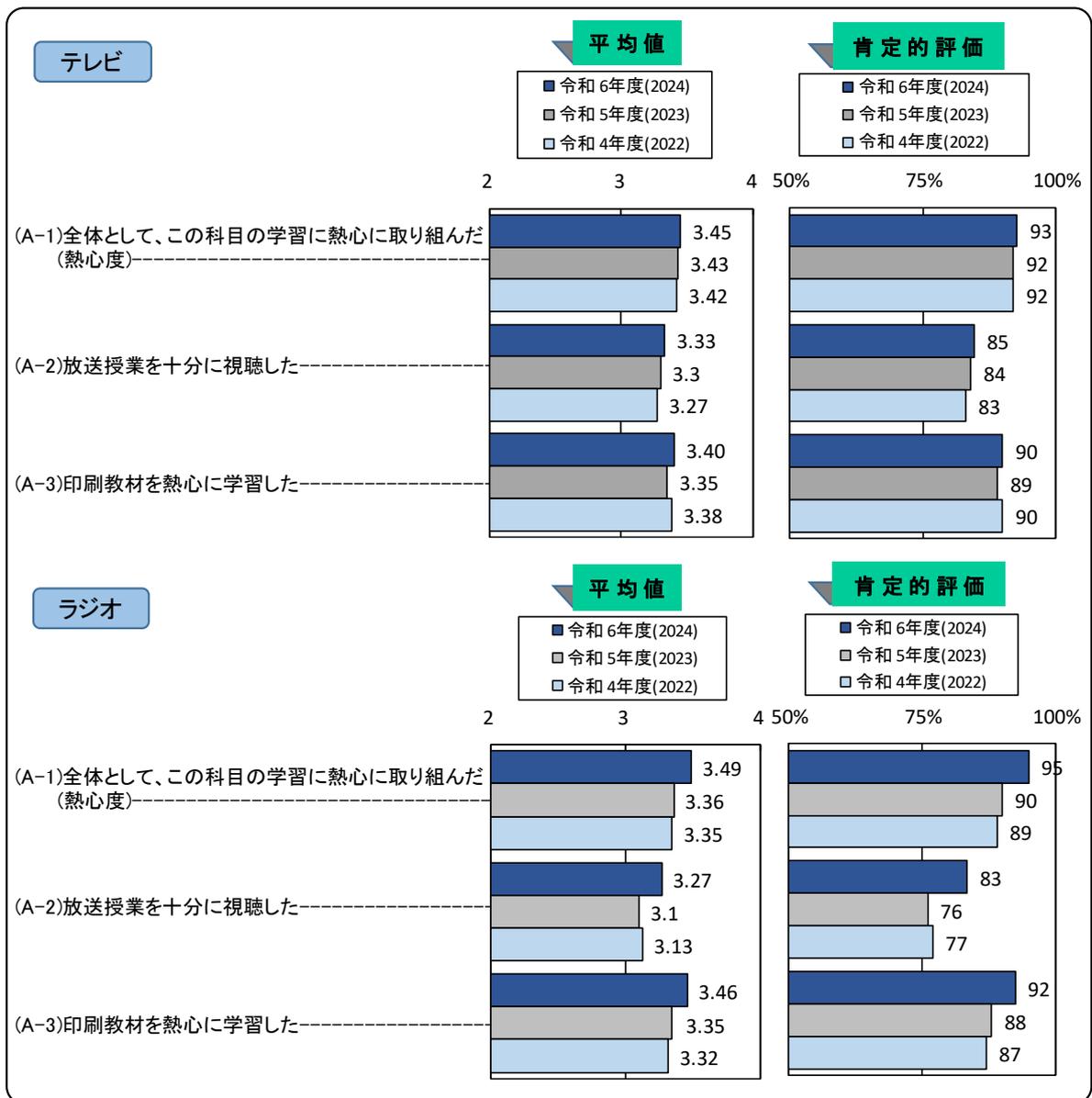
図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、テレビ科目は、昨年度と比べ3項目とも1ポイント前後の増減となっており、大きな変化は見られなかった。

ラジオ科目については、昨年度と比べ3項目とも評価が上昇しており、中でも（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は7ポイント増となっていた。また、（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」ことについては、連続して評価が上昇していた。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）

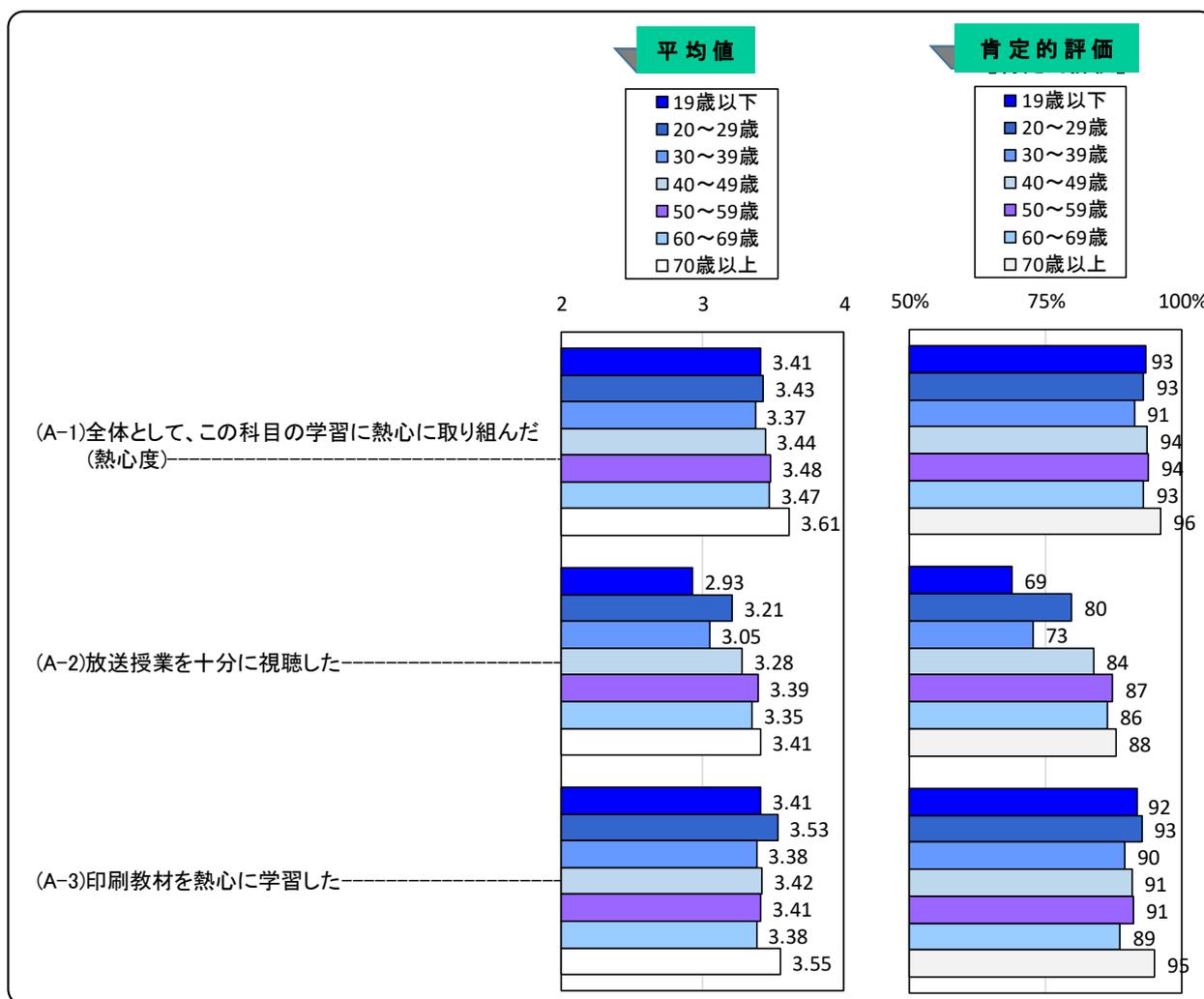


年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は各年代とも91～96%と大きな差は見られなかった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については19歳以下が69%と最も低く、20～30歳代も8割以下となっていた。

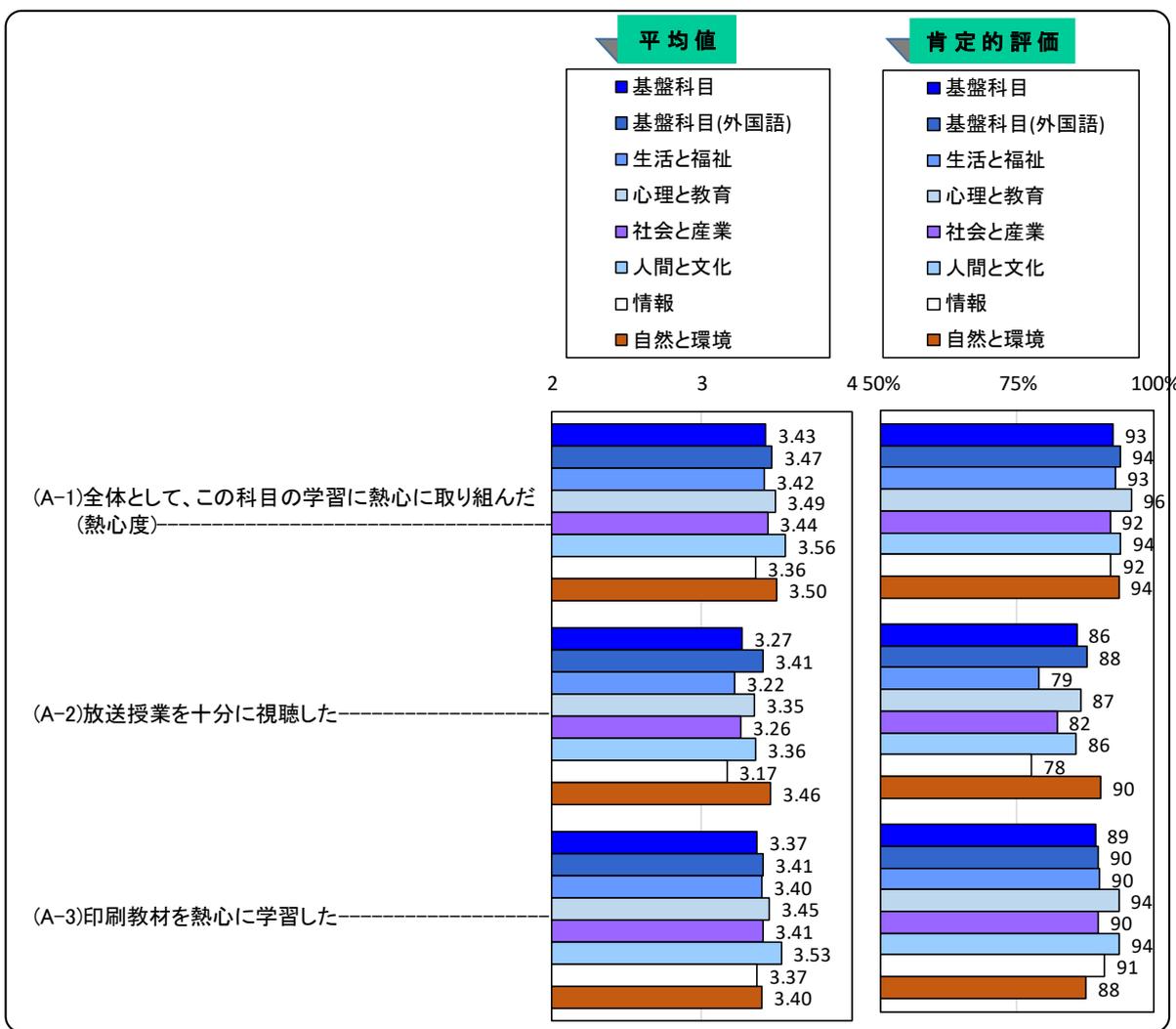
(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、70歳代が95%と最も熱心度が高かった。

図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



所属コース別に取り組姿勢を見ると（図2-13）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」(A-3)、「印刷教材を熱心に学習した」については「心理と教育」および「人間と文化」が最も高く、全項目においても88～96%と高水準であったが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については「生活と福祉」が79%、「情報」が78%と、最下位で極端な傾向が見られた。

図2-13 【学部】所属コース別の取り組姿勢



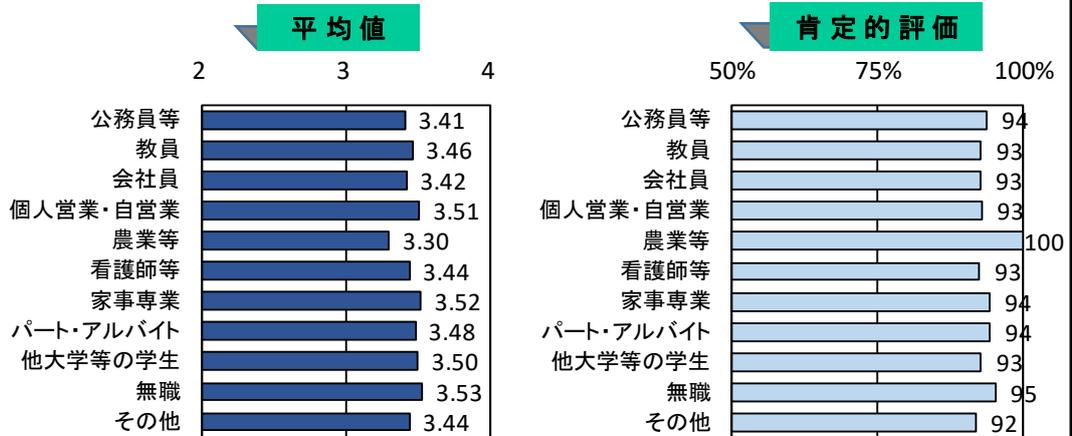
職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図2-14）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「農業等」が100%と他の職業と比べ、その割合が高かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については「他大学等の学生」が93%であったが、「看護師等」が81%と最も低い等、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」や(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」と比較して全体的に低い評価傾向が見られた。

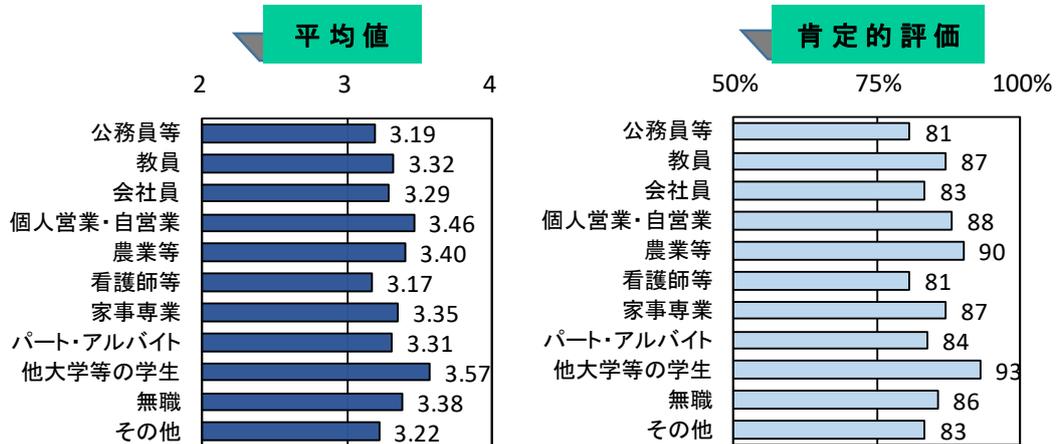
(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「公務員等」と「家事専業」が99%と最も高かった。各項目とも熱心度が最も低かったのは「他大学等の学生」の79%であった。

図2-14【学部】職業別の取組姿勢

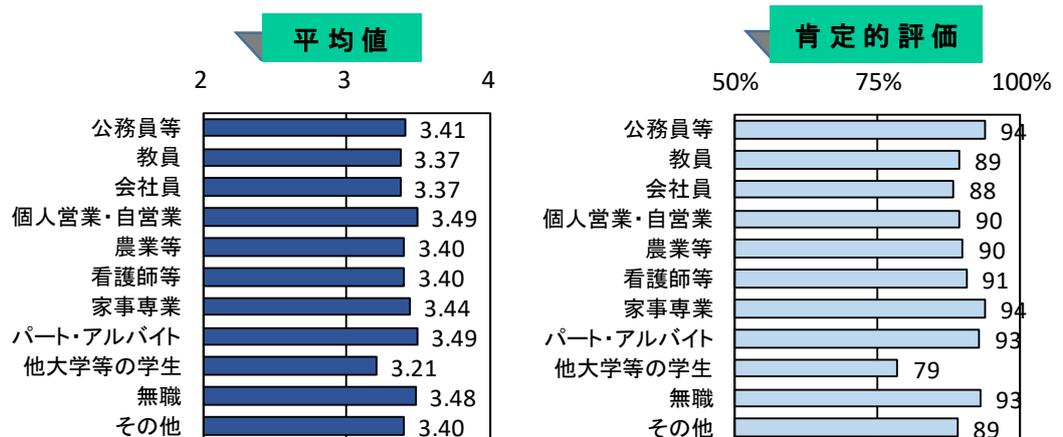
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2)放送授業を十分に視聴した



(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2 - 1 5）では、全体は『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 74%と多く、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が 19%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は 7%にしか過ぎず、「印刷教材の学習」で見ると、その利用は 93%であった。

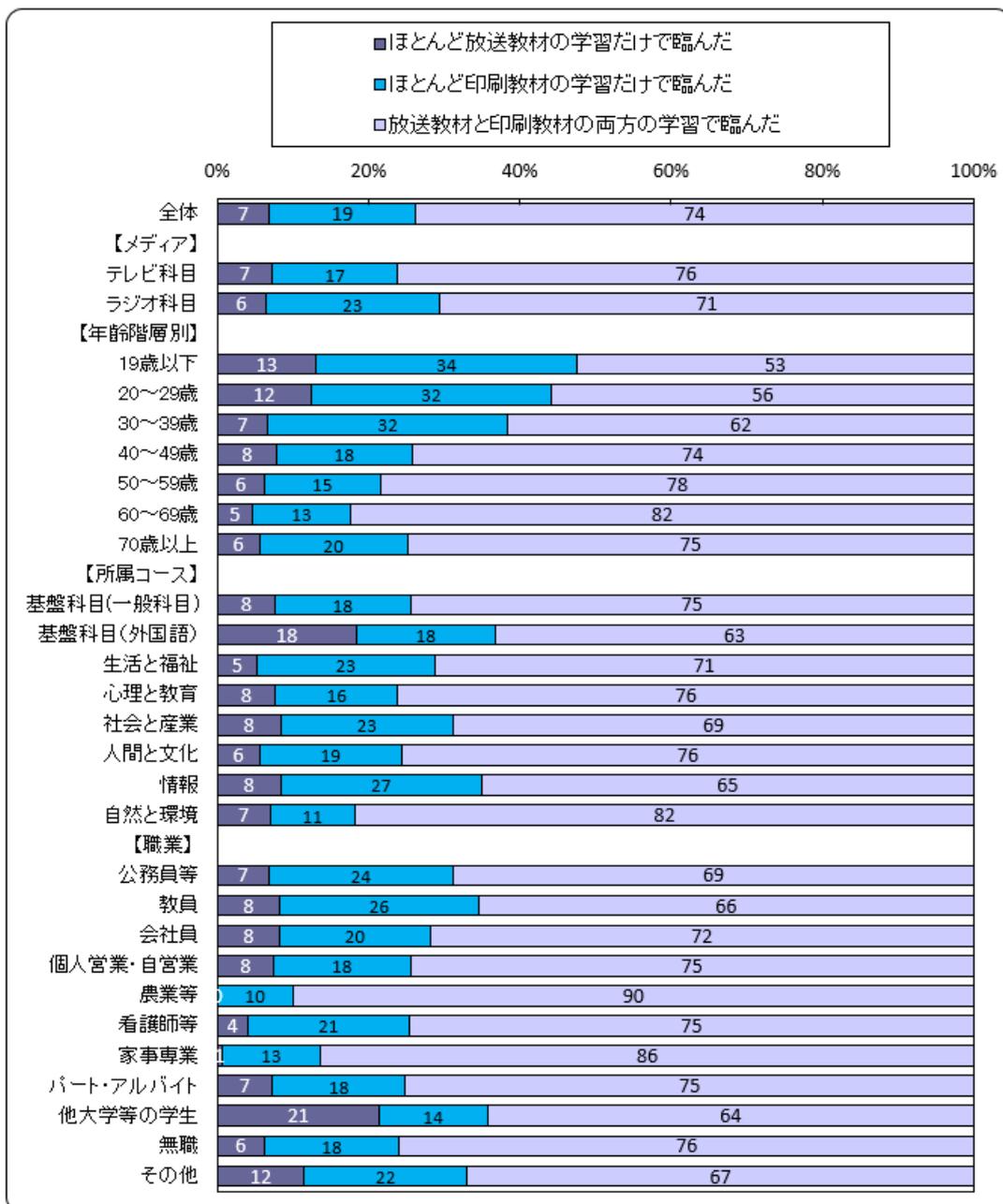
メディア別では「テレビ科目」は『放送教材と印刷教材の両方』が「ラジオ科目」より多く、「ラジオ科目」は『ほとんど印刷教材の学習だけ』が「テレビ科目」より多かった。

年齢階層別では、若い世代になるほど『ほとんど印刷教材の学習だけ』が多くなる傾向が見られた。

所属コース別では「情報」は、『ほとんど印刷教材の学習だけ』が他の所属コースと比べ高く、27%であった。

職業別では、「公務員等」「教員」「会社員」「看護師等」「その他」については、『ほとんど印刷教材の学習だけ』がそれぞれ 20%以上と高かった。

図2-15 【学部】単位認定のための学習方法



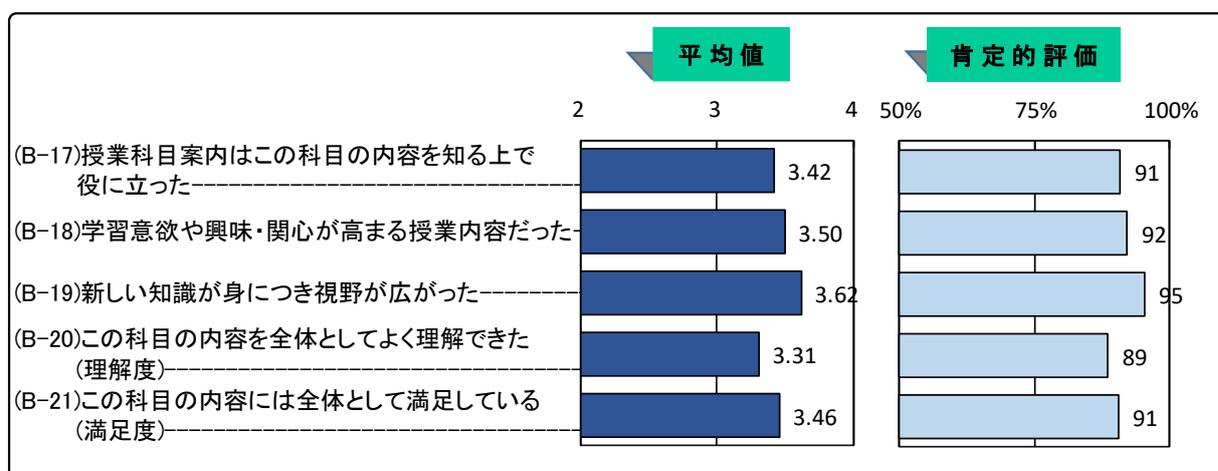
## Ⅱ-1-3. 学部の授業評価

### (1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

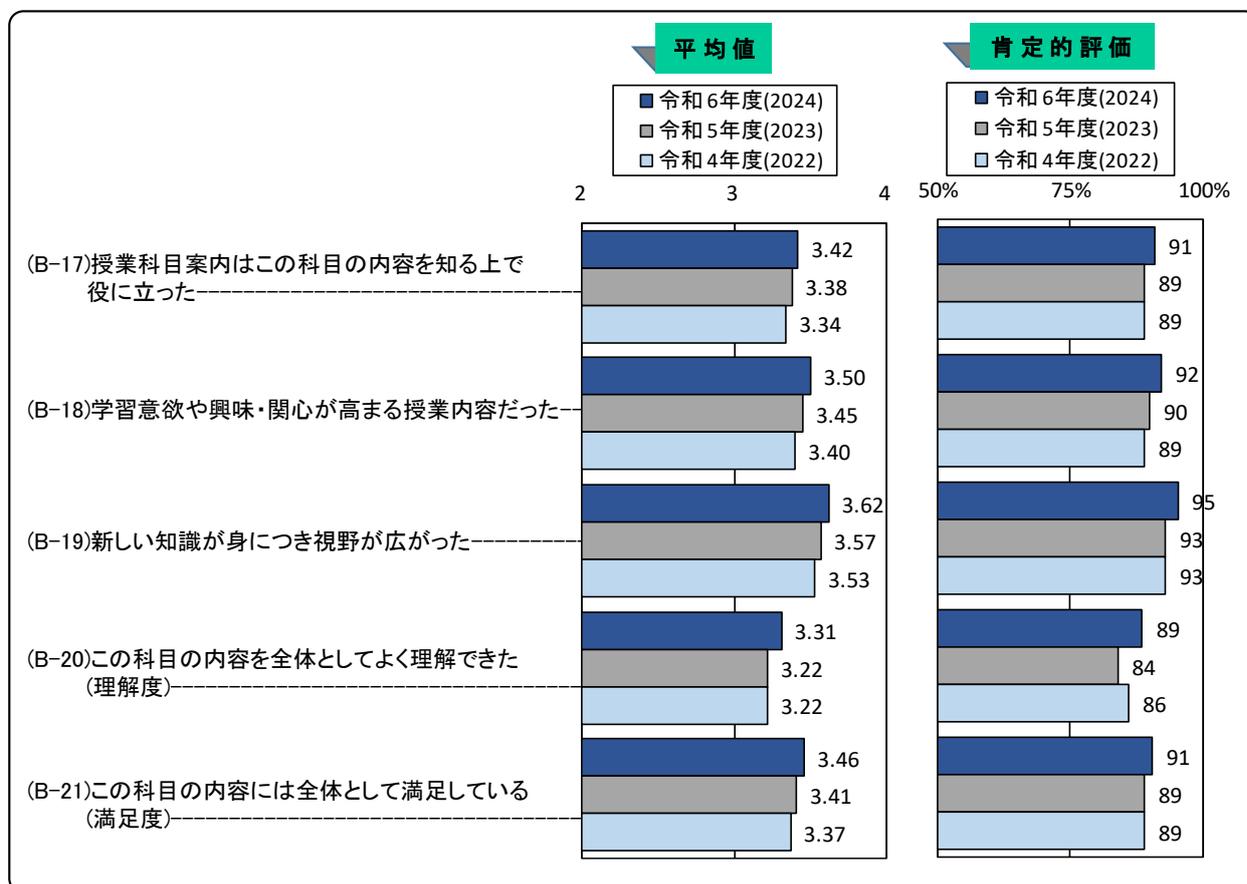
全体評価の各項目（図2-16）については、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」が95%と最も高かった。それ以外の項目については89～92%の評価であった。

図2-16 【学部】回答者全体の全体評価



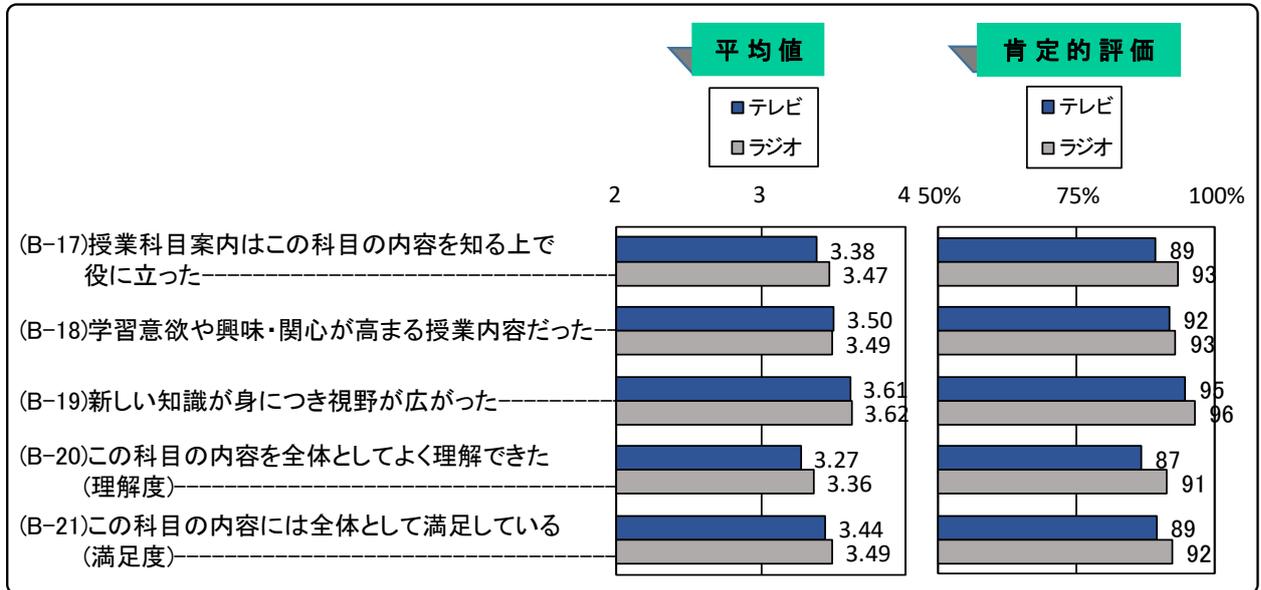
全体評価を時系列で見ると（図2-17）、本年度は下記全ての項目で、昨年度より横ばいなし評価が上昇しており、中でも(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は最も高く95%に達していた。

図2-17 【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図2-18）、下記全項目でラジオ科目の評価の方が高かった。

図2-18 【学部】メディア別の全体評価

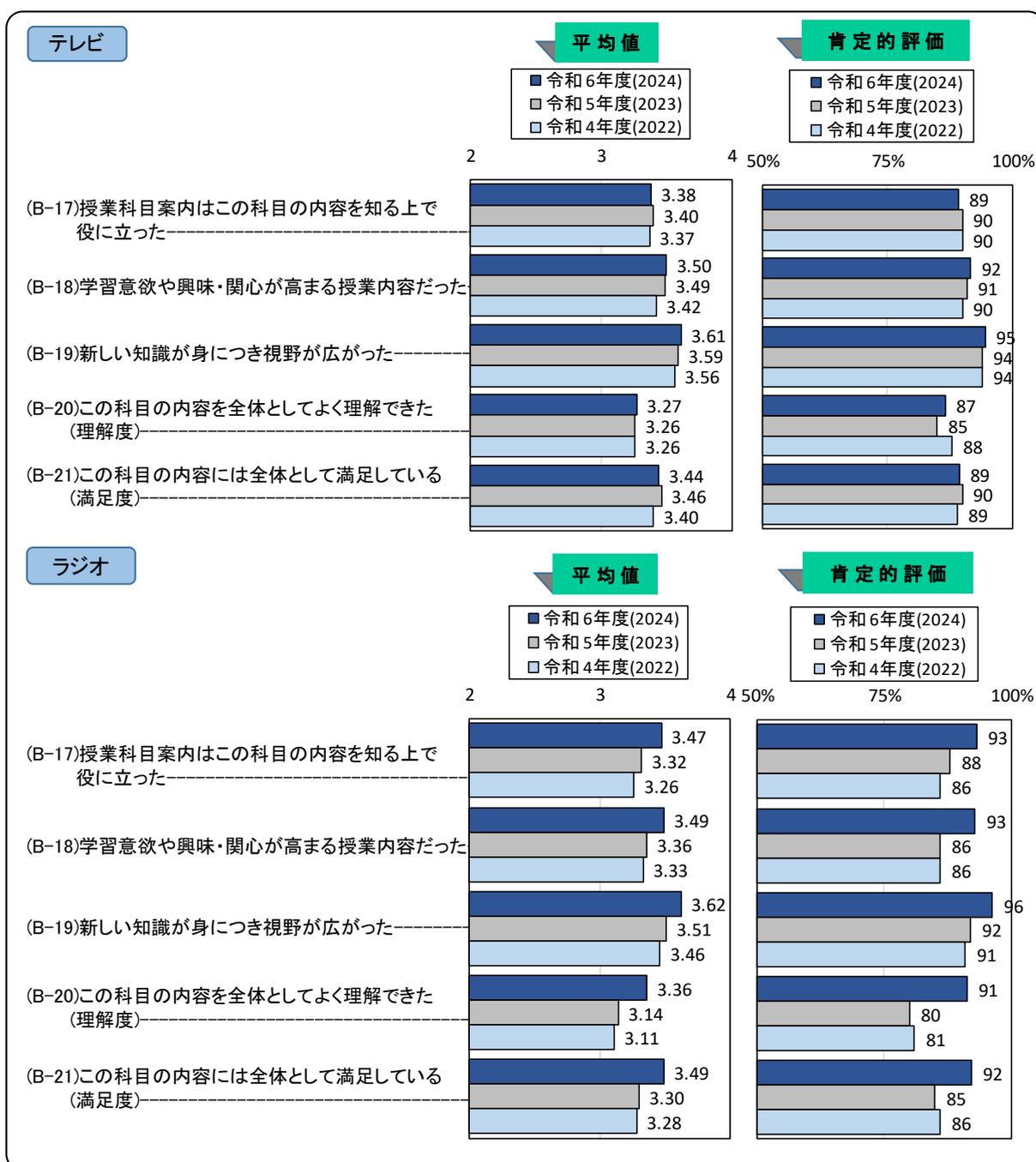


メディア別の全体評価を時系列で見ると（図2-19）、ラジオ科目の評価は、下記全ての項目において、昨年度から上昇しており、中でも(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」が96%と最も高かった。

ラジオ科目の昨年度からの上昇幅は、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」が最も大きく、11ポイントであった。

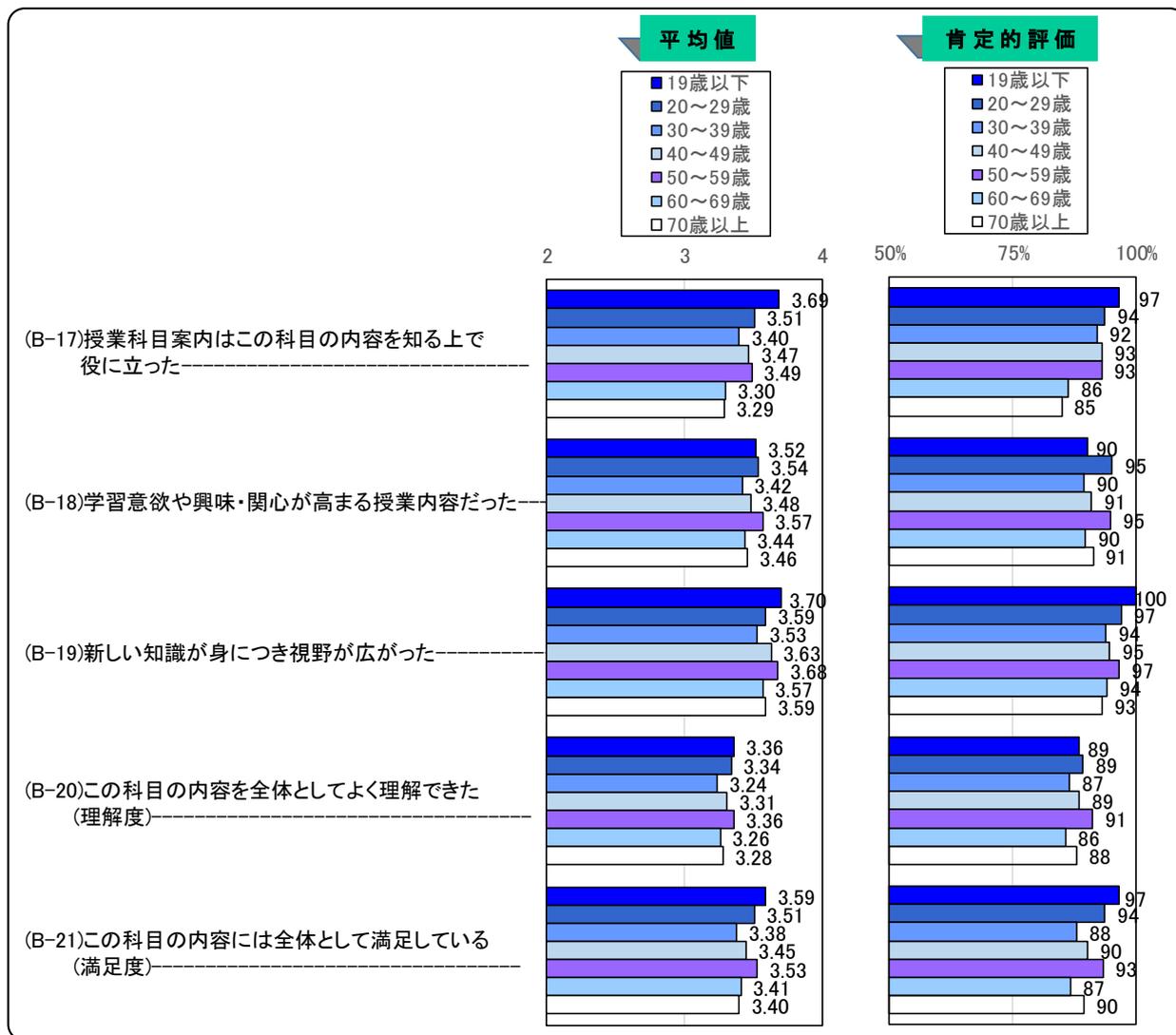
一方、テレビ科目の評価については、下記全ての項目が1~2ポイントの増減で、横ばいとなった。

図2-19 【学部】メディア別の全体評価



年齢階層別に全体評価（図2-20）を見ると、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」以外の各項目で19歳以下の評価が最も高くなっていた。反対に他の年代と比べ評価が全般的に低かったのは、60歳代と70歳以上であった。

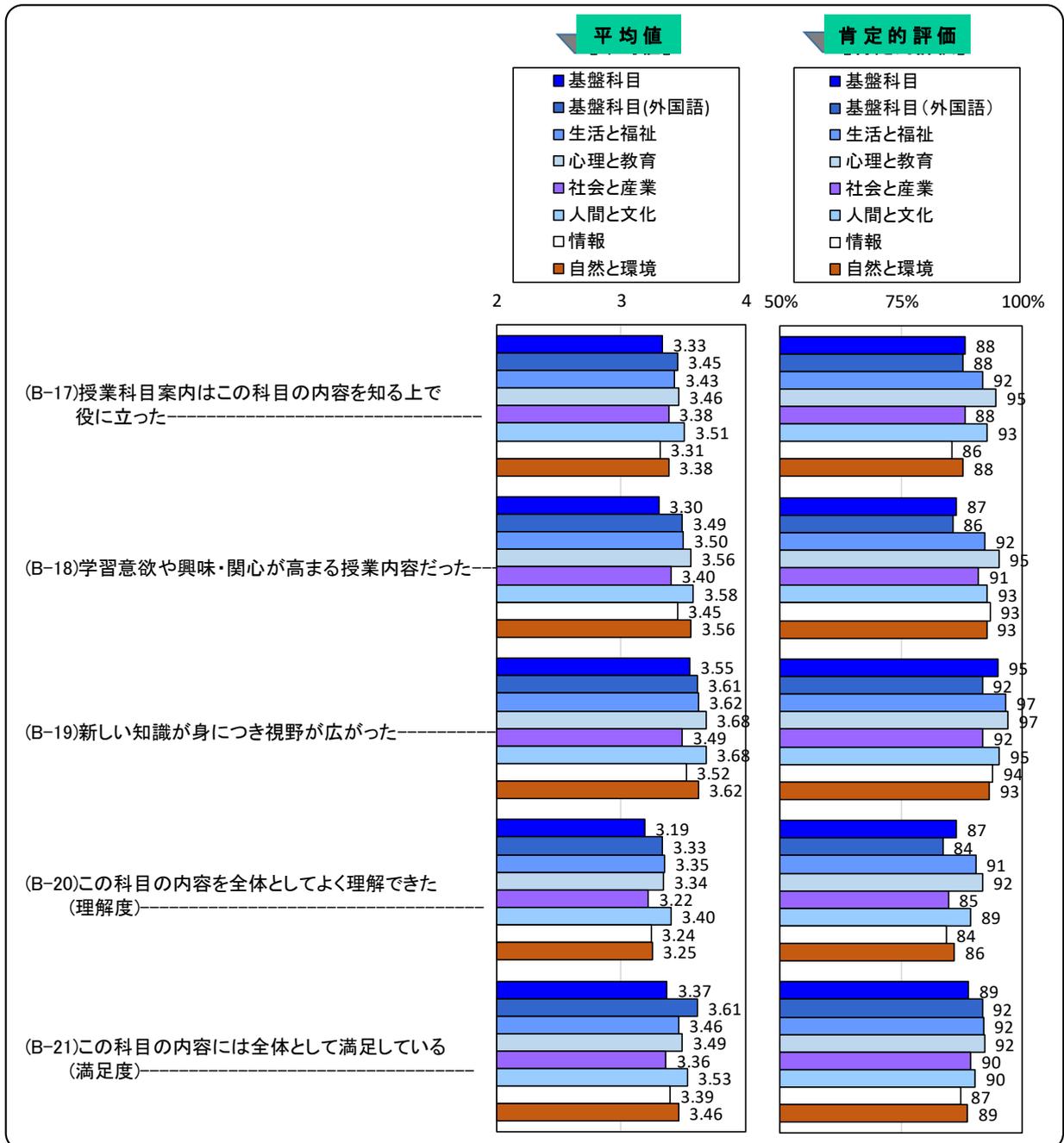
図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別の全体評価では（図2-21）、下記各項目いずれも「心理と教育」の評価が高かった。（B-19）「新しい知識が身につく視野が広がった」に対する評価は、どの所属コースも92%を上回った。

（B-20）この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）については、「基盤科目（外国語）」と「情報」において84%と低い傾向が見られた。

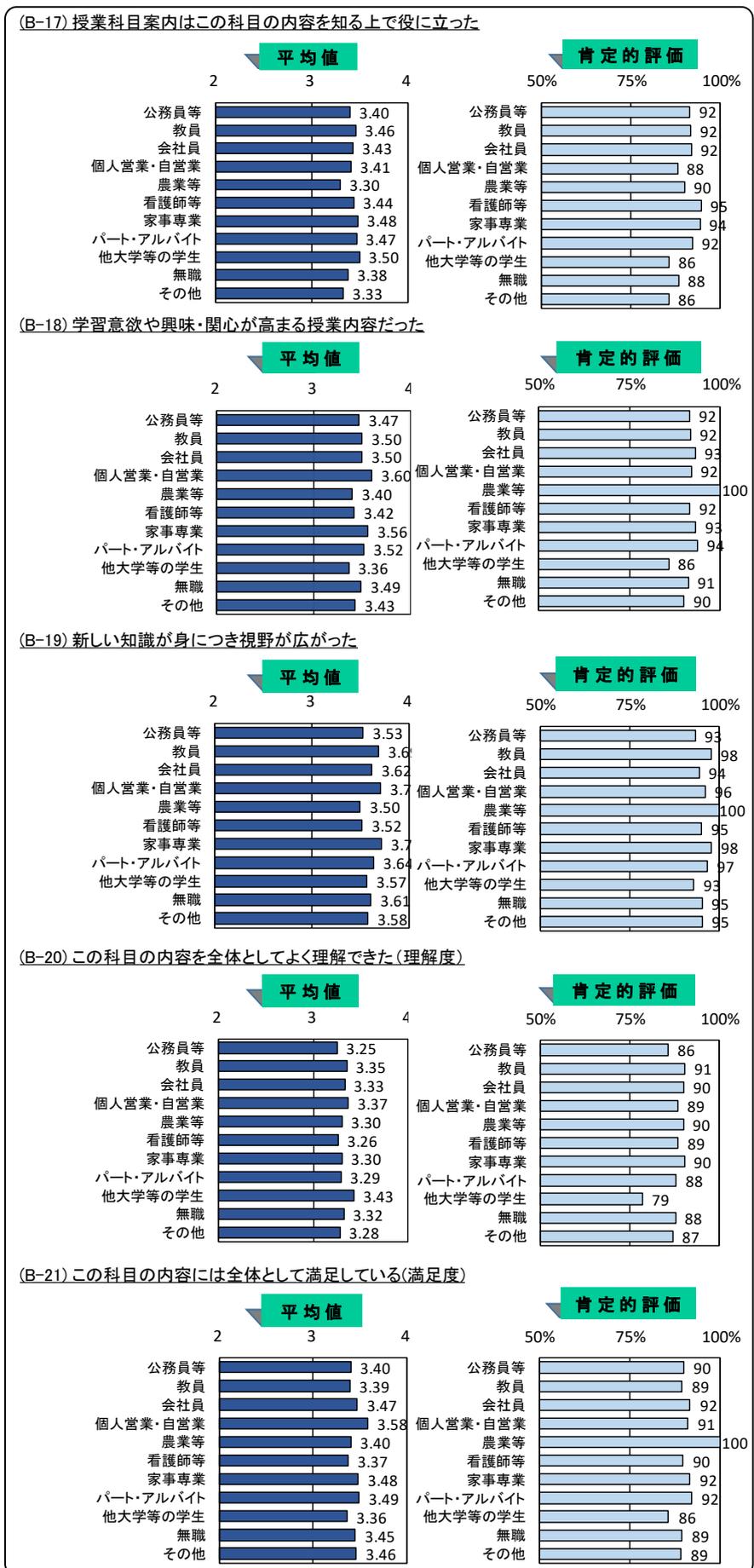
図2-21 【学部】所属コース別の全体評価



職業別の全体評価（次頁図2-22）では、全ての項目で評価が高かったのは「農業等」で、90～100%であった。また、(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」については、全ての職業で93%を上回った。

反対に評価が低かったのは、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」では「その他」(86%)、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では「他大学等の学生」であった。

図2-22【学部】職業別の全体評価

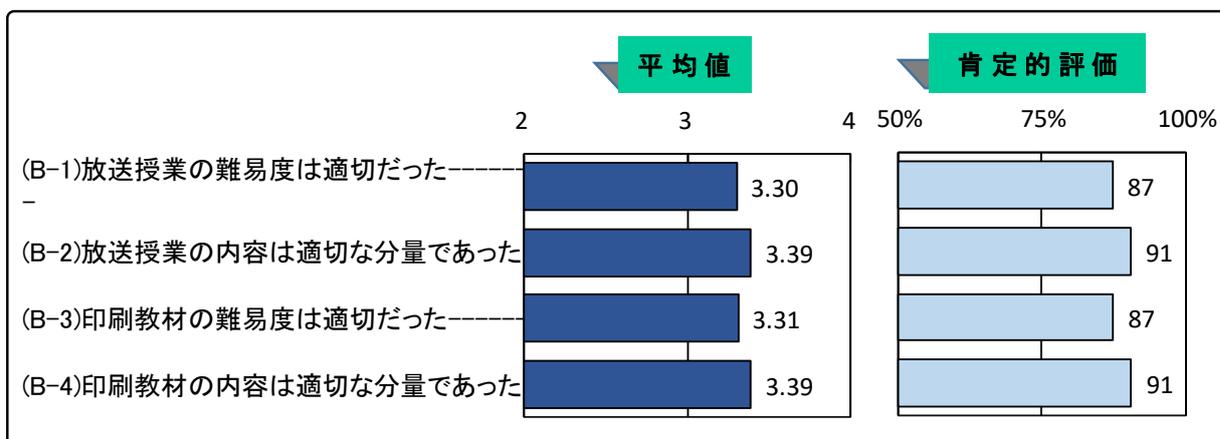


## (2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとに見ていくことにする。

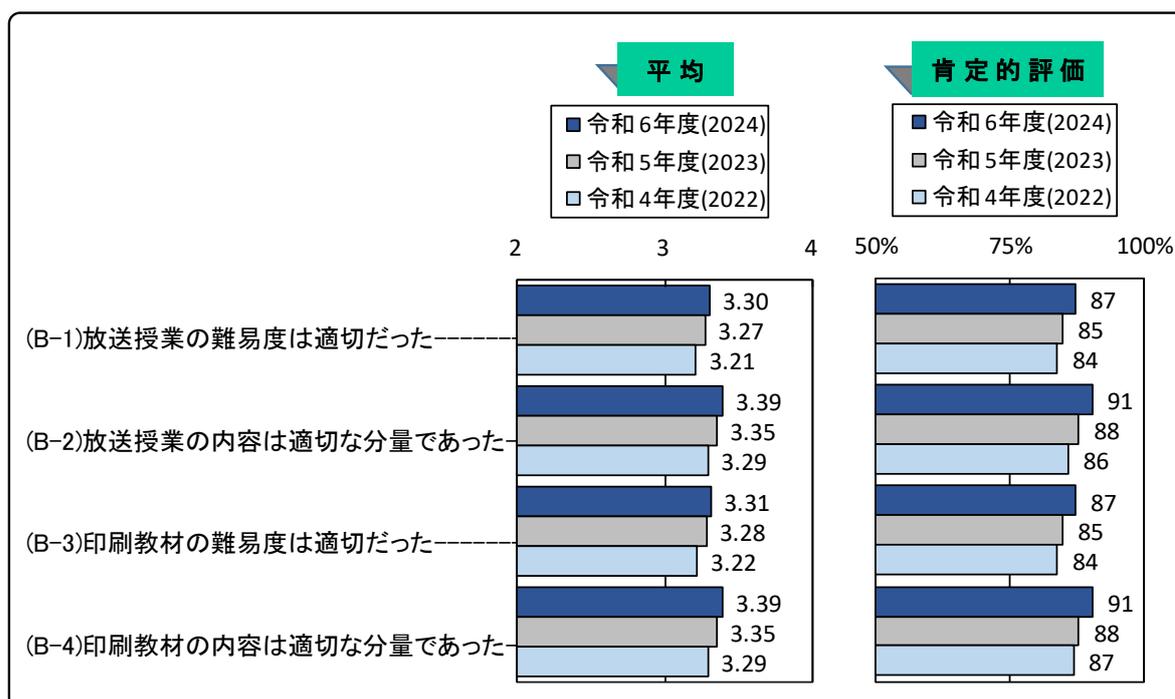
肯定的評価は、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の難易度については、両項目とも87%、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の分量については、91%で、それぞれの「分量」についての評価の方が高かった。

図2-23 【学部】 回答者全体の授業難易度・分量の評価



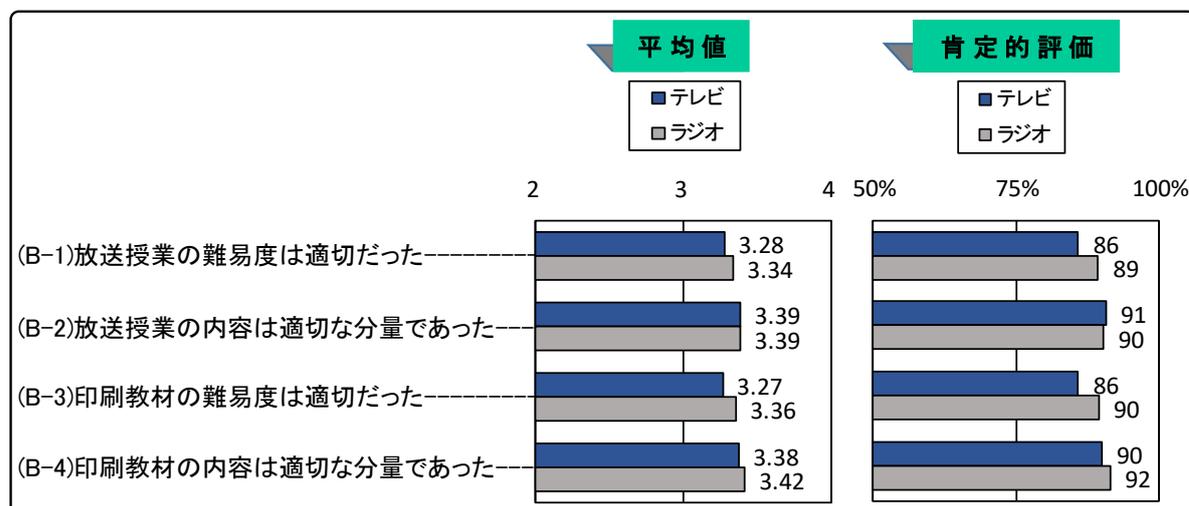
開設年度で比較すると（図2-24）、本年度は、下記4項目全てで、過去2年度から評価が上昇した。

図2-24 【学部】 回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、ラジオ科目の方が評価が高く、特に(B-1)「印刷教材の難易度は適切だった」では、ラジオ科目がプラス4ポイントと大きな差であった。

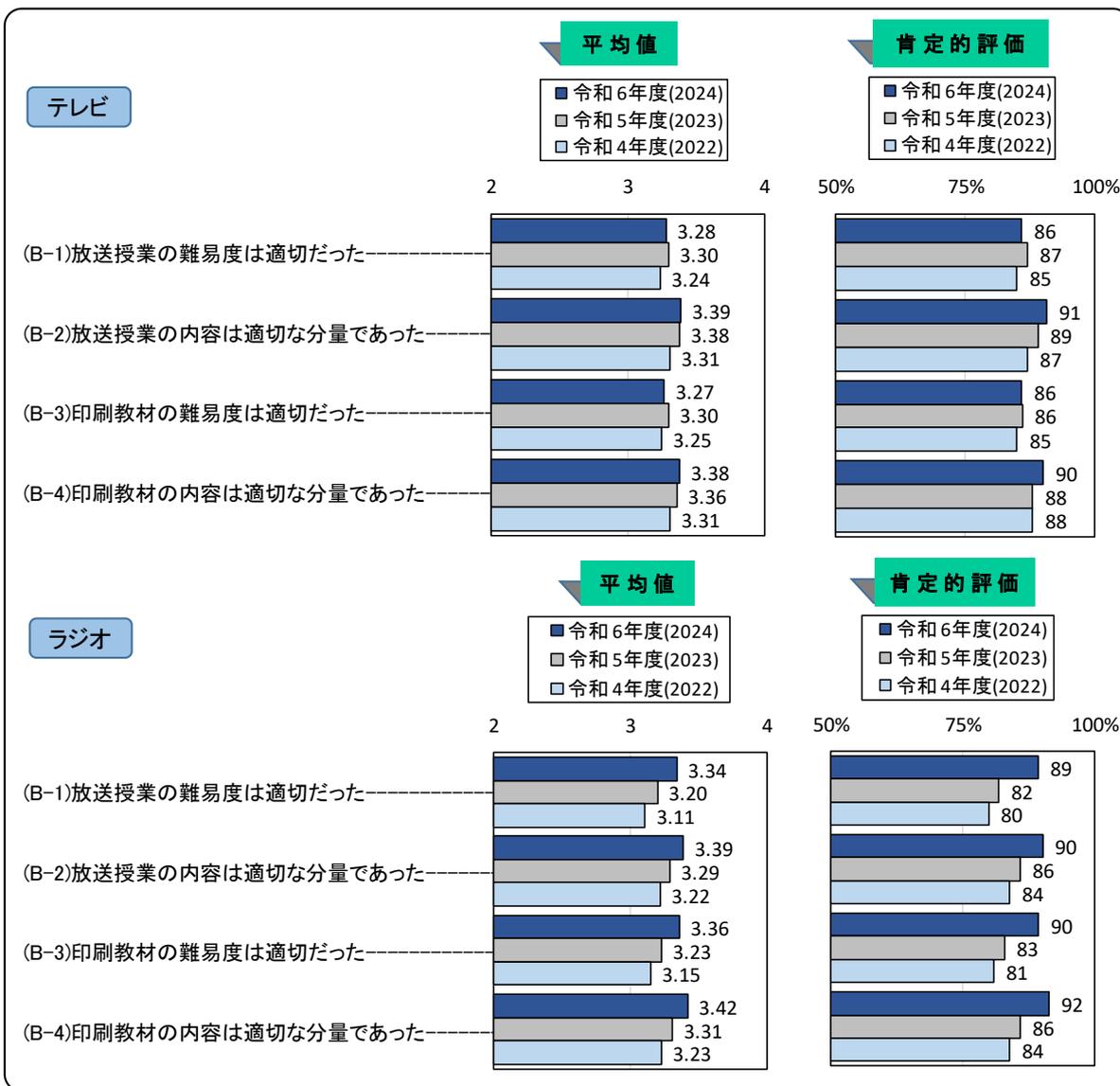
図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目の肯定的評価は、横ばいであったが、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は91%と、昨年、一昨年と比較して上昇した。

ラジオ科目については、全ての項目で評価が大幅に上昇傾向にあり、特に「印刷教材の難易度は適切だった」は7ポイント増であった。

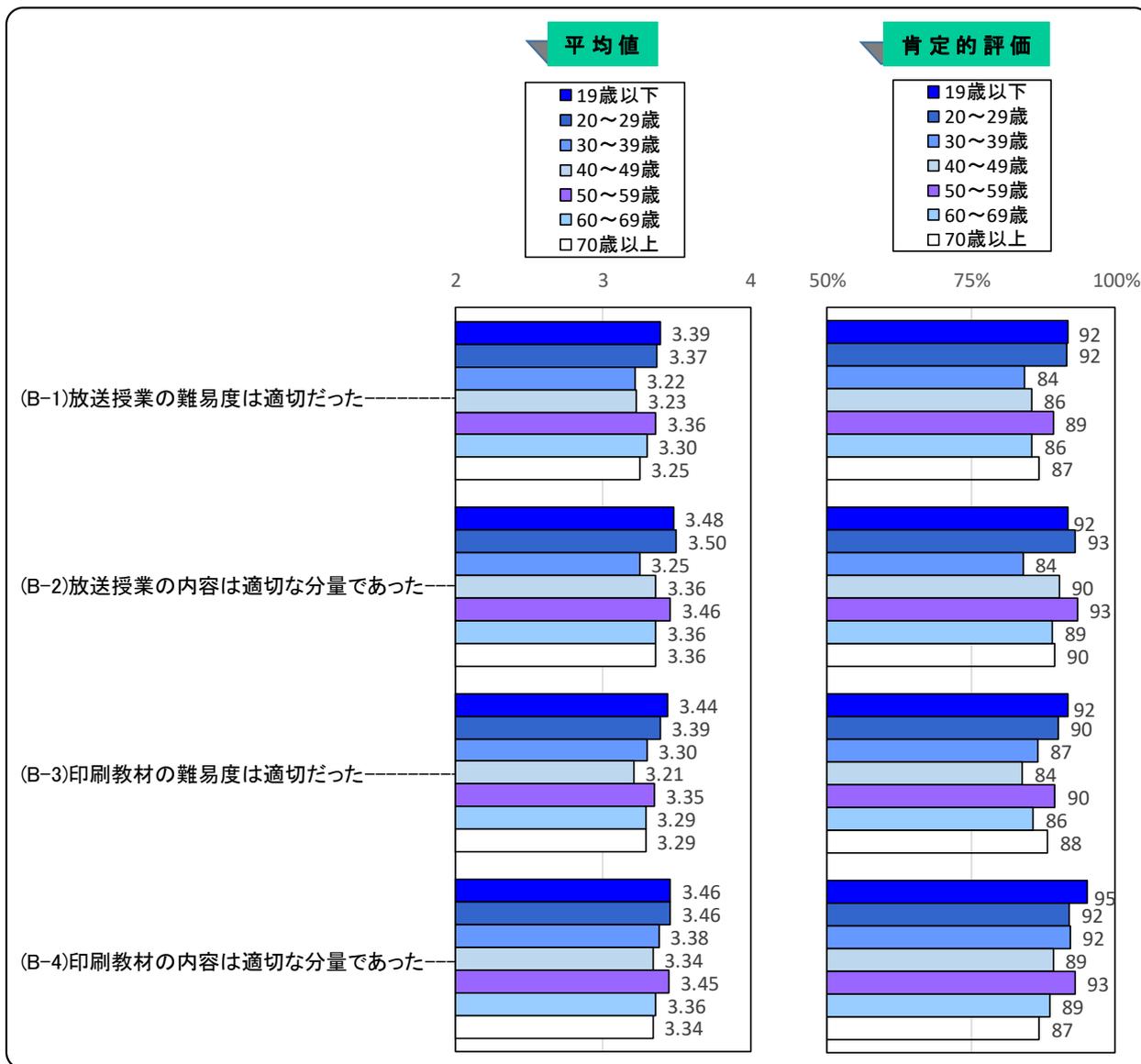
図2-26【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」を除く各項目において、19歳以下の評価が最も高かった。

反対に評価の低かった年齢階層としては、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」が30歳代、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」が40歳代で84%であった。

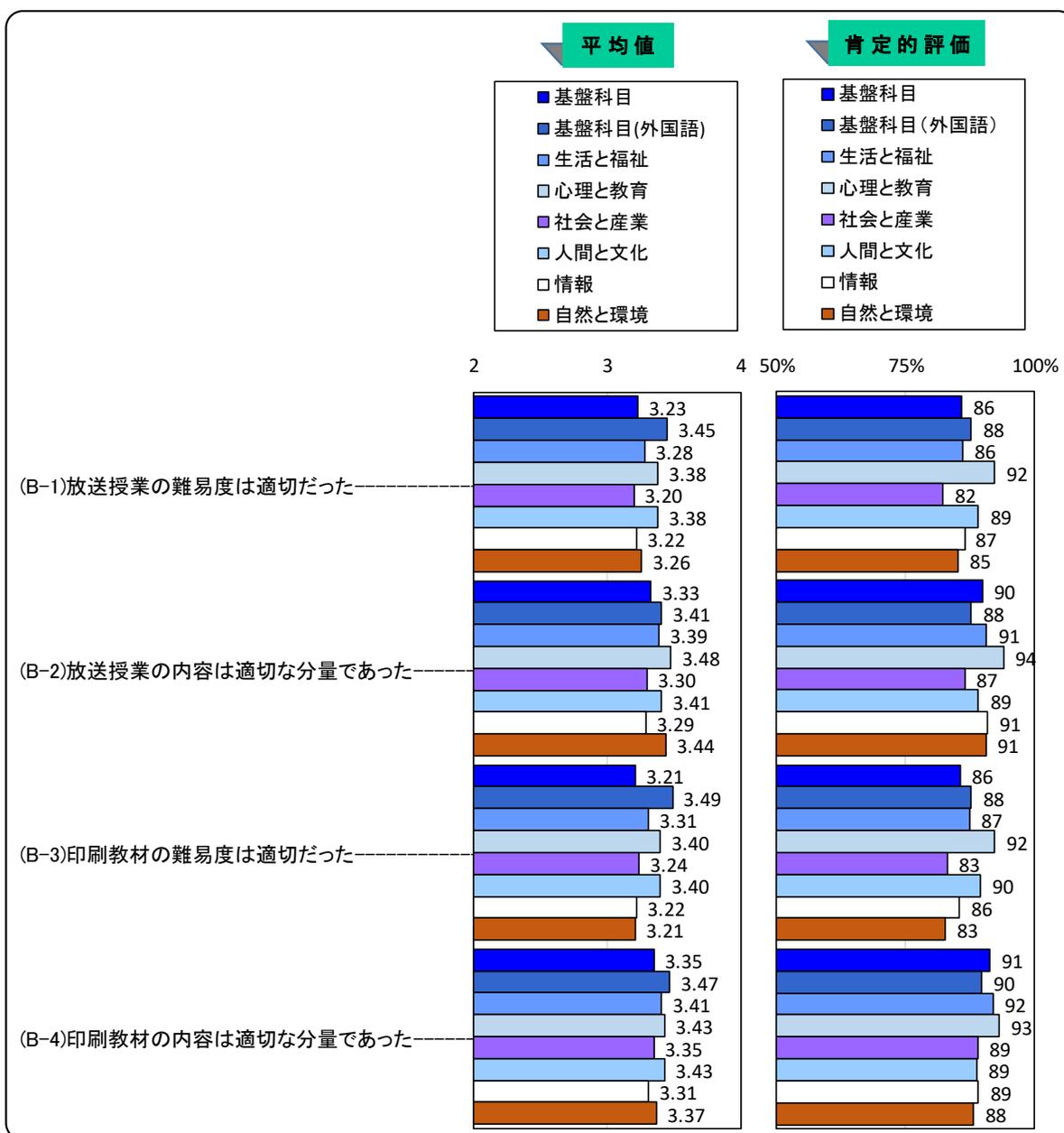
図2-27【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、下記全ての項目で特徴的であったのは、「心理と教育」が1位となり、その評価は92～94%と高い評価であった。

反対に全ての項目で最も評価が低かったのは「社会と産業」と「自然と環境」で、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、他の所属コースから5ポイント以上の開きがあり、それぞれの難易度に対する評価は低かった。

図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（次頁図2-29）、すべての項目において「農業等」が100%と最も高かった。

また、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」については、「個人営業・自営業」が90%と高く、「看護師等」が78%と最も低かった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」については、「教員」「個人営業・自営業」「家事専業」「パート・アルバイト」「無職」が92～93%と高く、「看護師等」「他大学等の学生」が86%と最も低かった。

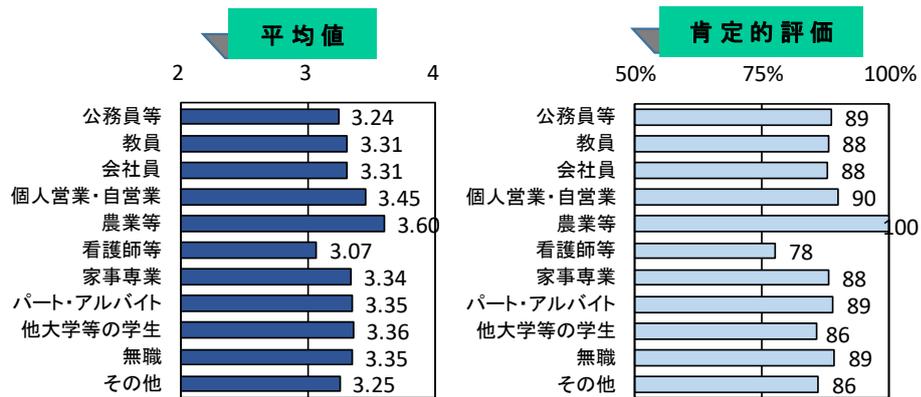
(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」については、「無職」が90%と高く、「教員」「看護師等」が81%と最も低かった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」については、「公務員等」「会社員」

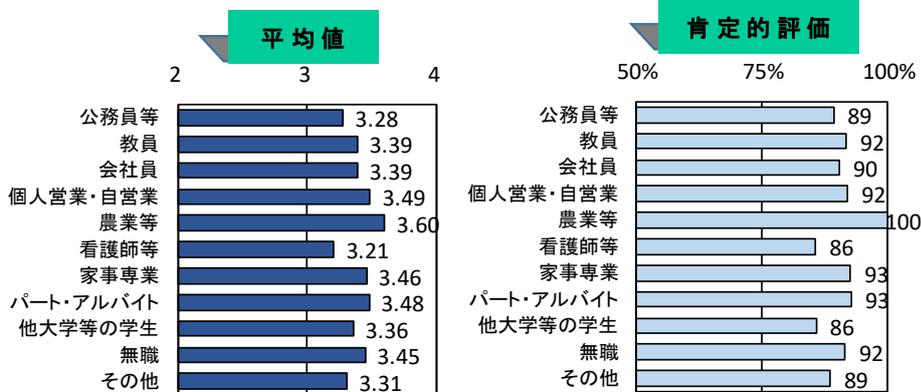
「個人営業・自営業」「家事専業」「パート・アルバイト」「無職」「その他」が90～92%と高く、「看護師等」が79%と最も低かった。

図 2-29 【学部】職業別の授業難易度の評価

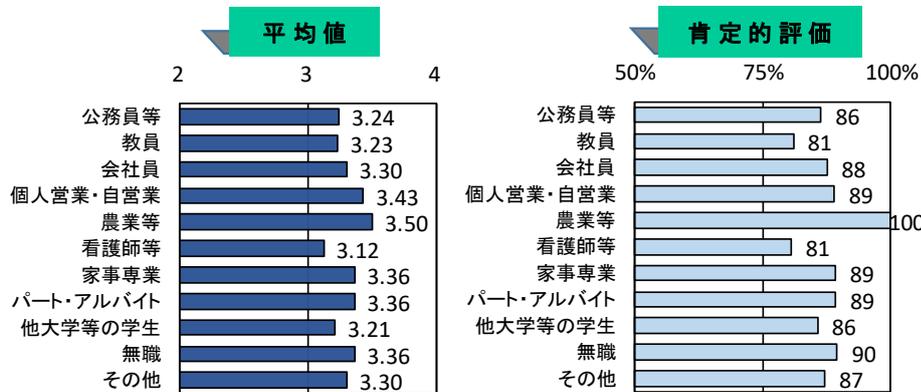
(B-1)放送授業の難易度は適切だった



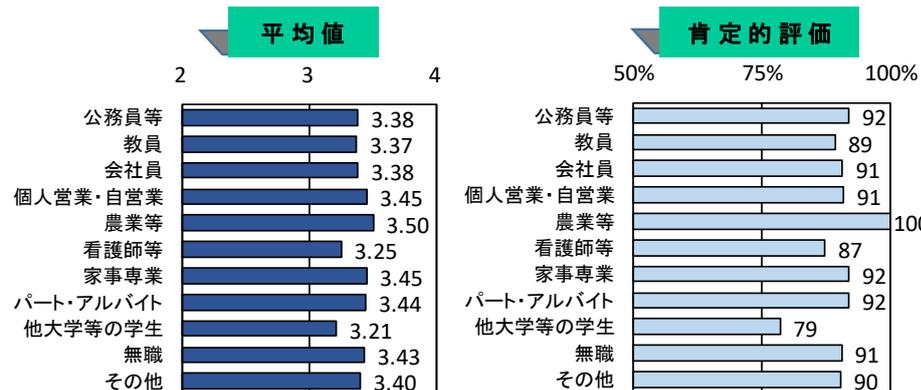
(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった



(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった

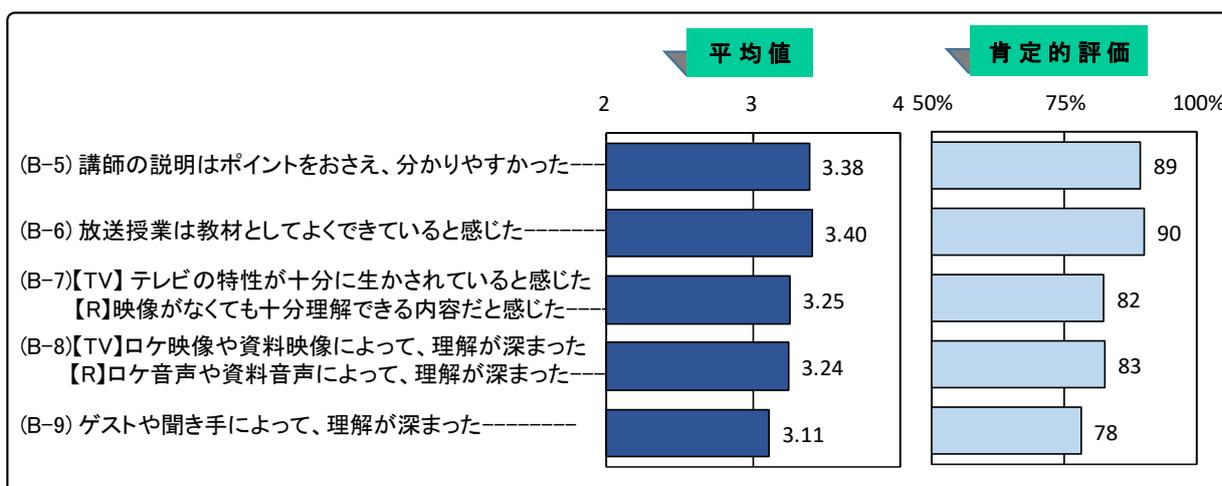


### (3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

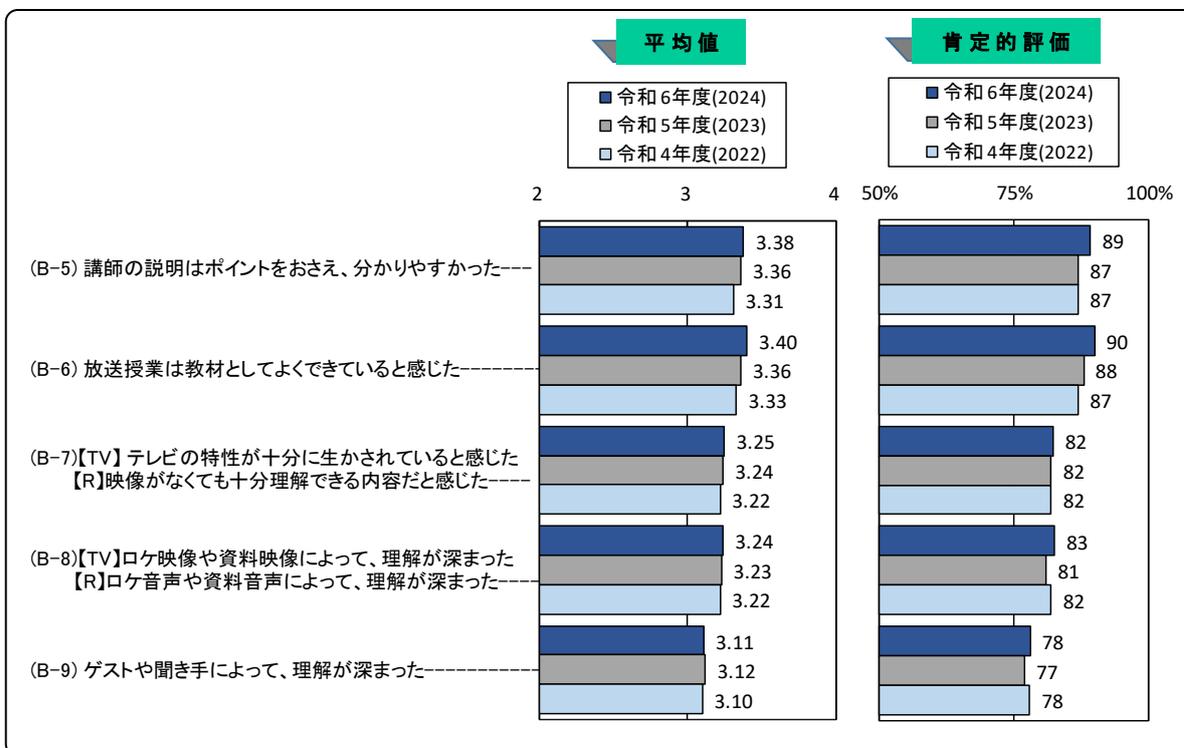
放送授業に関する評価項目（図2-30）では、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が89～90%と高く、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は78%と、他の項目に比べると極めて評価が低かった。

図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



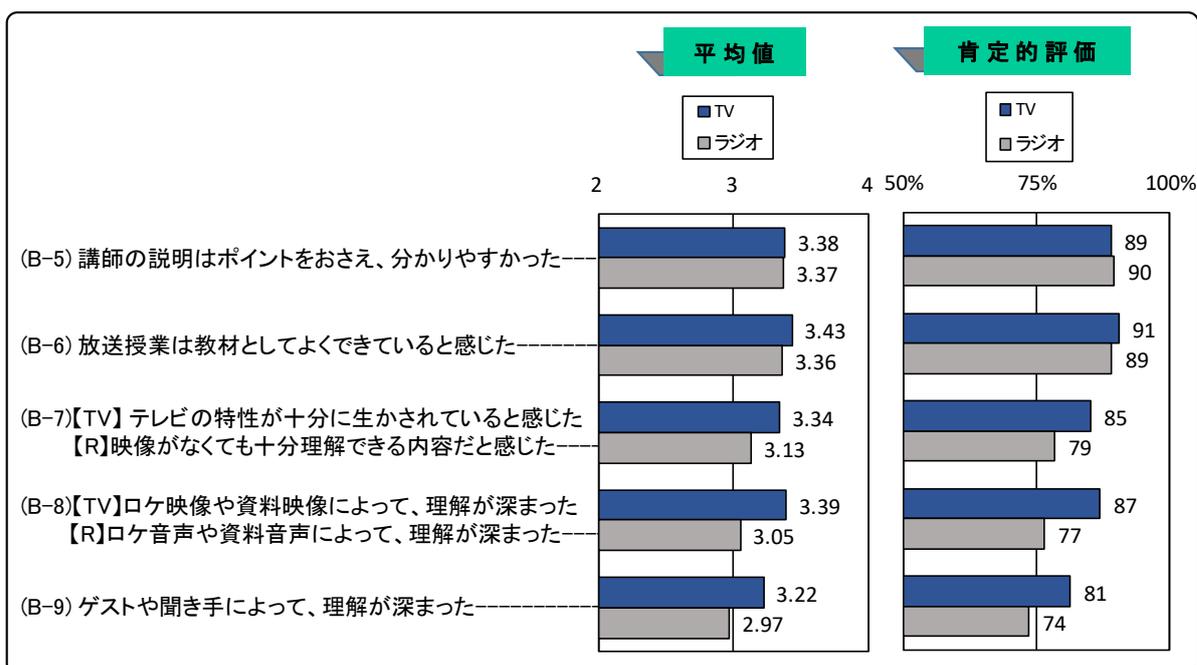
放送授業の評価を時系列で見ると（図2-31）本年度は、昨年度と比べると、(B-7)を除いたすべての項目で評価が上がっていた。

図2-31 【学部】 回答者全体の放送授業の評価（時系列）



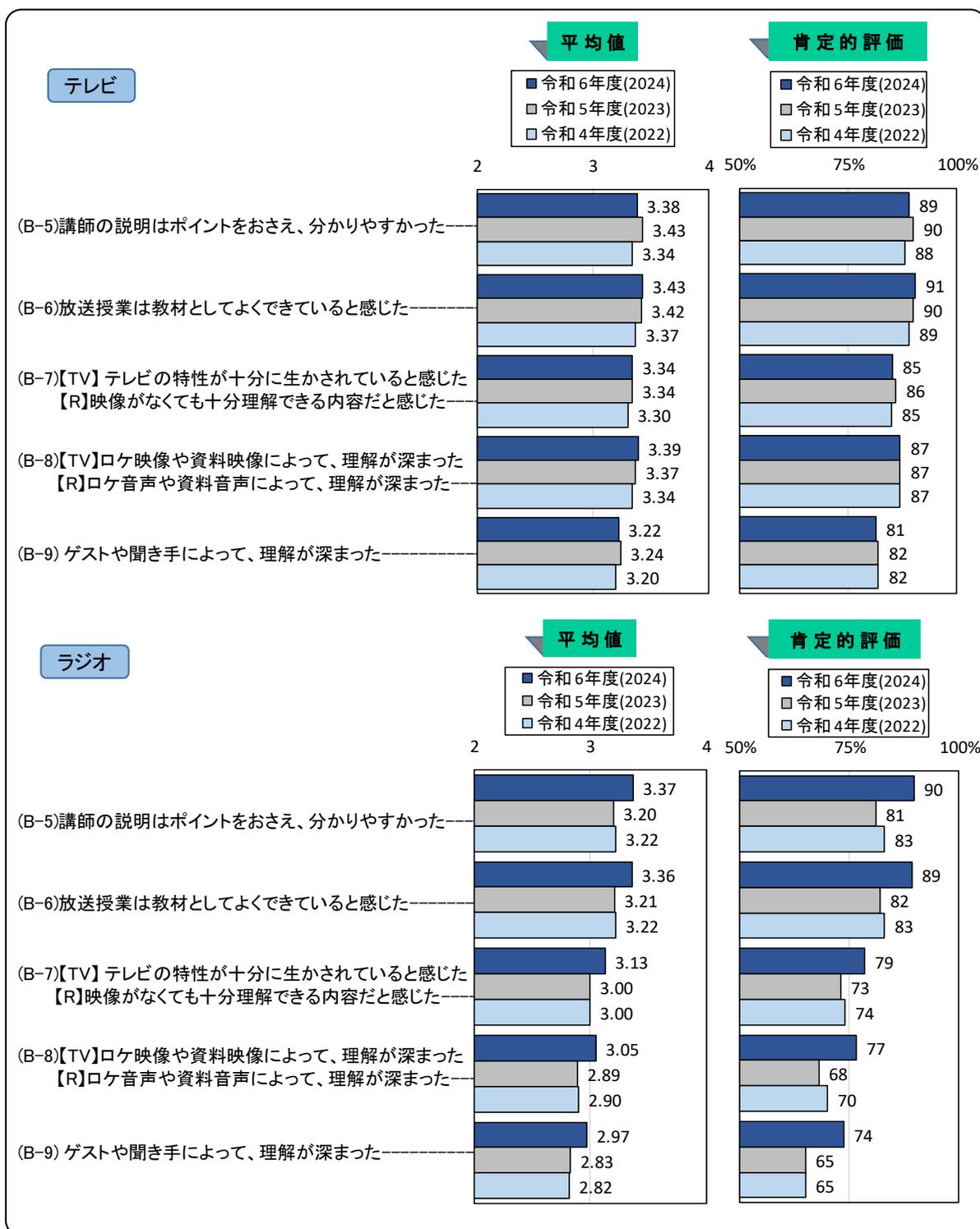
メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-32）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」以外の全ての項目でテレビ科目の評価が高かった。中でも(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった／【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」では、6～10ポイント以上テレビ科目の評価が高かった。

図2-32 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別に放送授業の評価を時系列で見ると（図2-33）、テレビ科目については、全項目で、昨年度と比較し、ほぼ横ばいであったが、ラジオ科目では、全ての項目で昨年度よりも評価が上昇しており、中でも(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」については、9ポイントの大幅増となっていた。

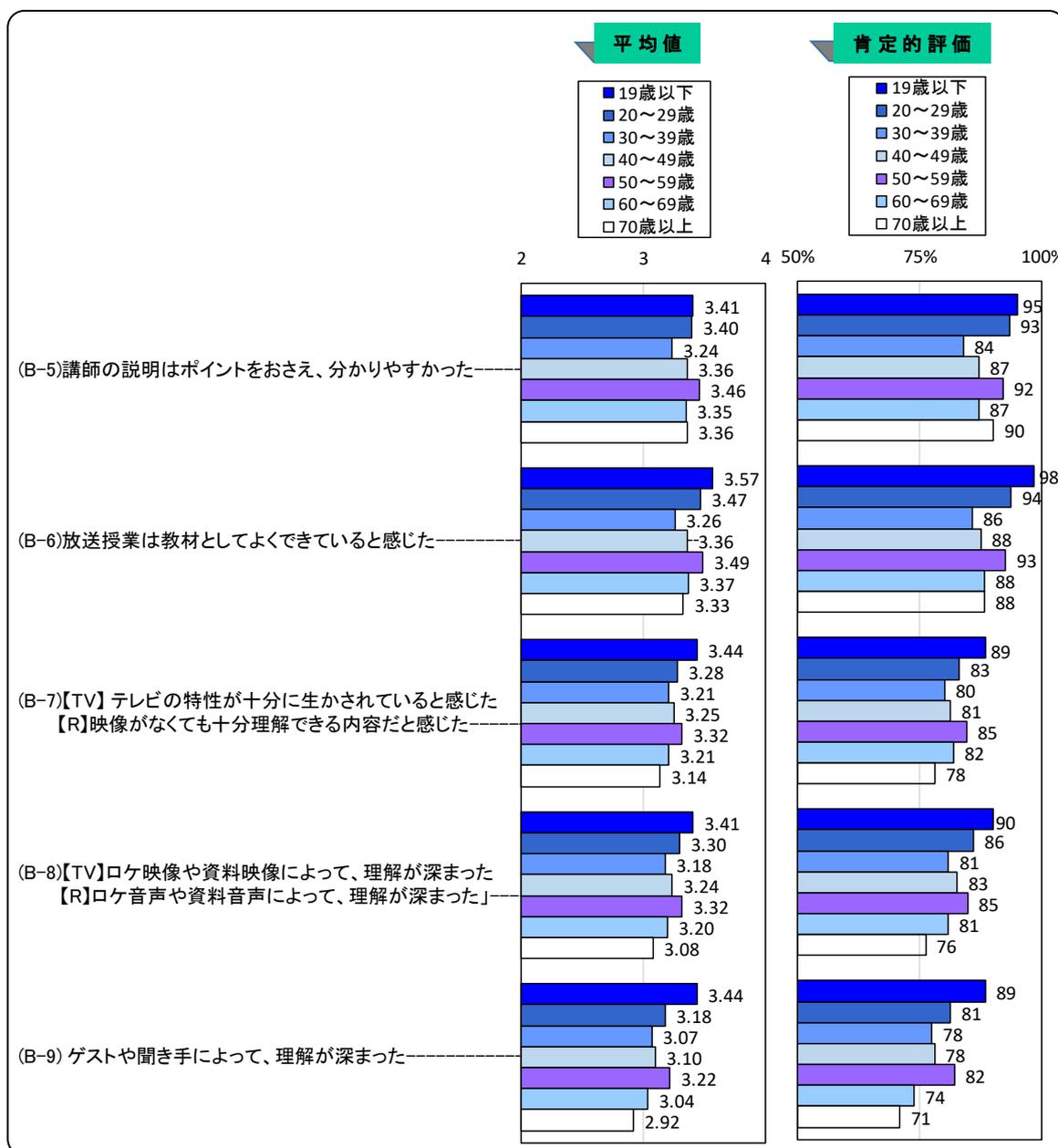
図2-33 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別の放送授業の評価で（図 2 - 3 4）特徴的であったのは、下記の項目全てで 19 歳以下の評価が最も高く、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では 98%に達していた。

反対に全ての項目で評価が最も低かったのは(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は 30 歳代で 84%、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は 30 歳代で 86%、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた / 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は 70 歳代で 78%、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった / 【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は 70 歳代で 76%、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は 70 歳代で 71%であった。

図 2 - 3 4 【学部】年齢階層別の放送授業の評価

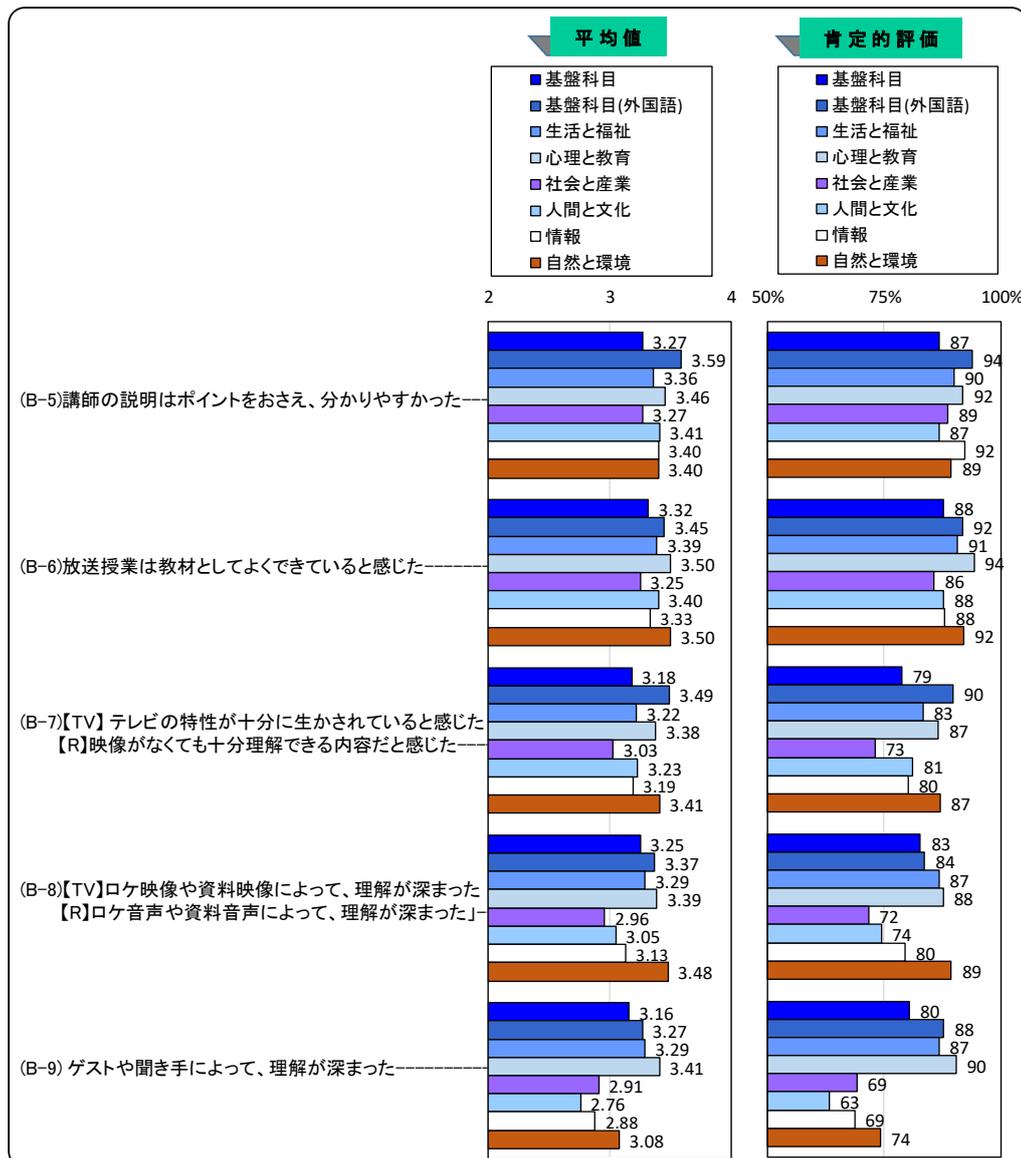


所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は「基盤科目(外国語)」が94%と最も高く、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は「基盤科目(外国語)」「生活と福祉」「心理と教育」が90～94%と最も高かった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は「基盤科目(外国語)」が90%と高く、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった／【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は「自然と環境」が89%と高く、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は「心理と教育」が90%と高かった。

反対に低い評価であったのは、「社会と産業」「人間と文化」「情報」で、特に(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」の評価が69%以下と特異な傾向が見られた。

図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



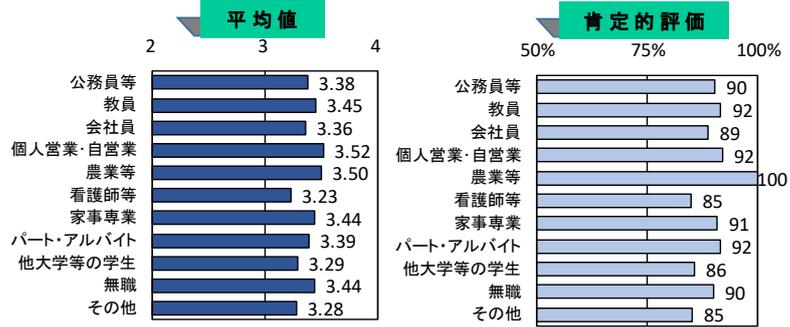
職業別の放送授業の評価（次頁図2-36）で特徴的な傾向は、(B-6)を除く全ての項目で「農業等」が最も高い評価であった、

(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は「個人営業・自営業」が92%と最も高い評価であった。

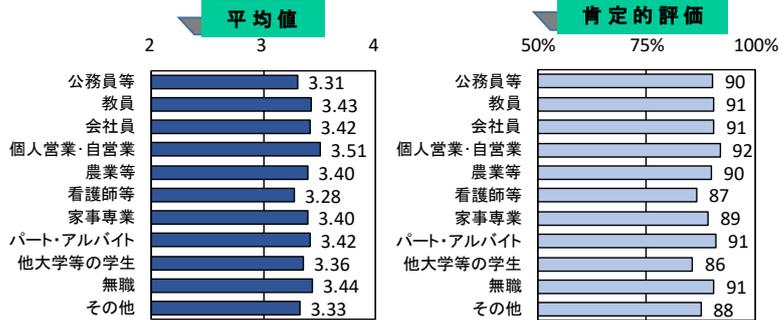
反対に最も低い評価をしたのは、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は「看護師等」の85%、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は「他大学等の学生」の86%、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は「その他」の76%、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった／【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は「家事専業」の80%、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は「他大学等の学生」の64%であった。

図 2-36 【学部】職業別の放送授業の評価

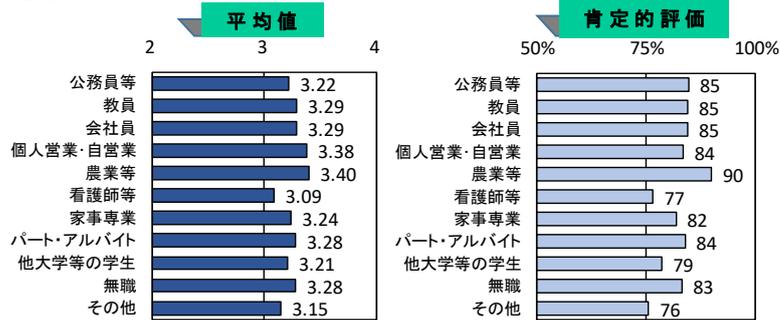
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



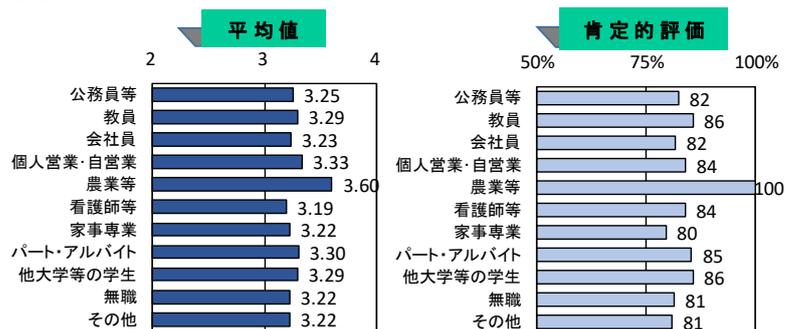
(B-6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた



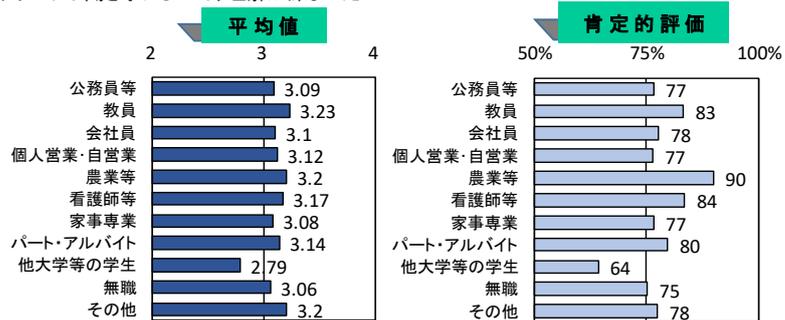
(B-7) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた  
【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた



(B-8) 【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった  
【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった



(B-9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった

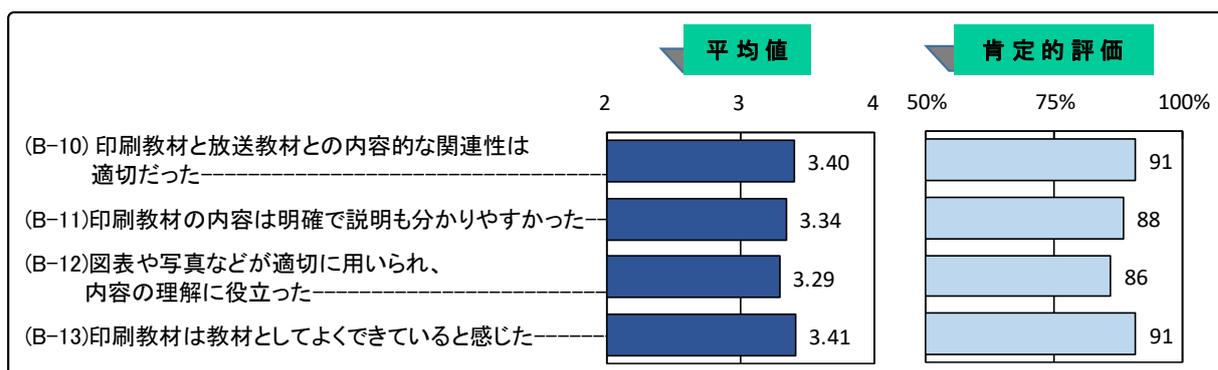


#### (4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていくことにする。

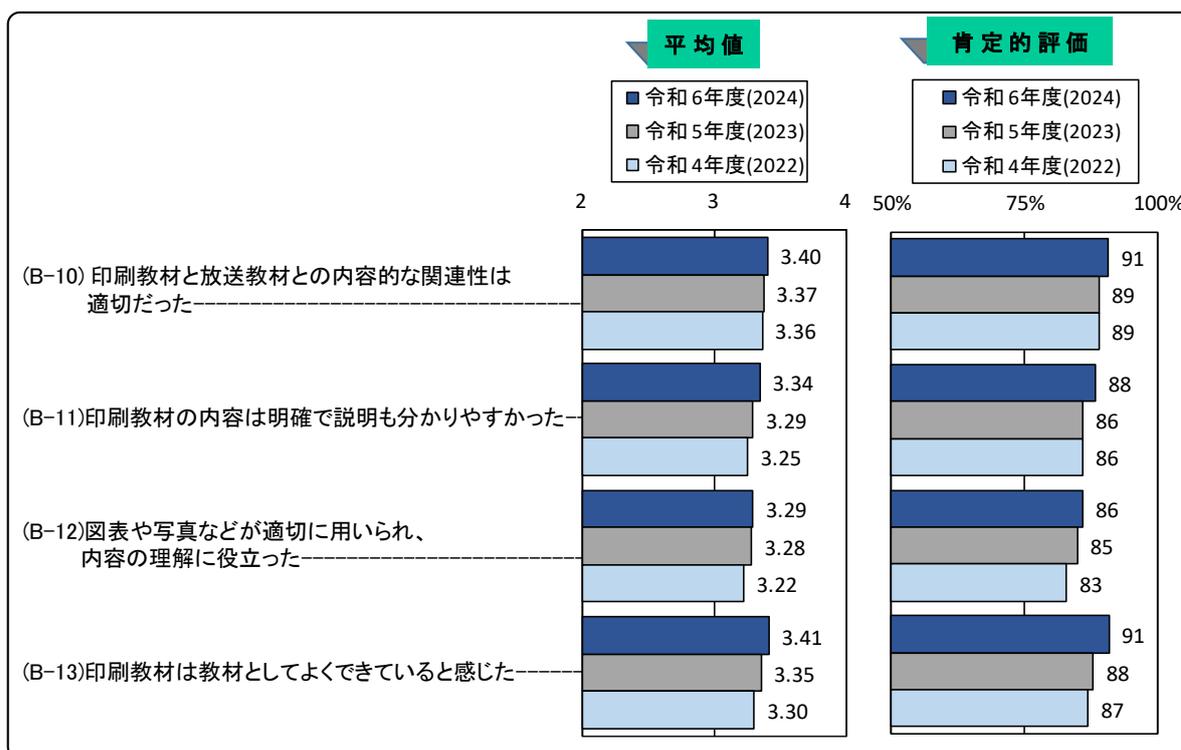
印刷教材の評価項目では（図2-37）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が91%と最も高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が86%と最も低かった。

図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-38）、本年度は全ての項目において、昨年度よりも評価が上向いていた。

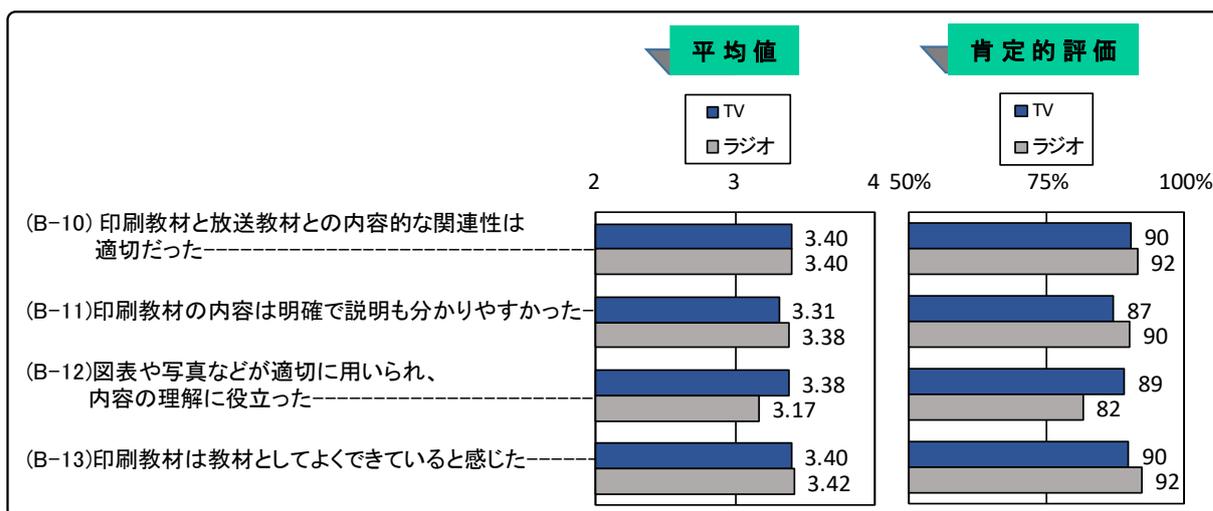
図2-38【学部】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-39）、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」以外のすべての項目において、ラジオ科目の評価の方が高かった。

ただし、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、テレビ科目の評価の方がラジオ科目よりも7ポイント多く、顕著な差があった。

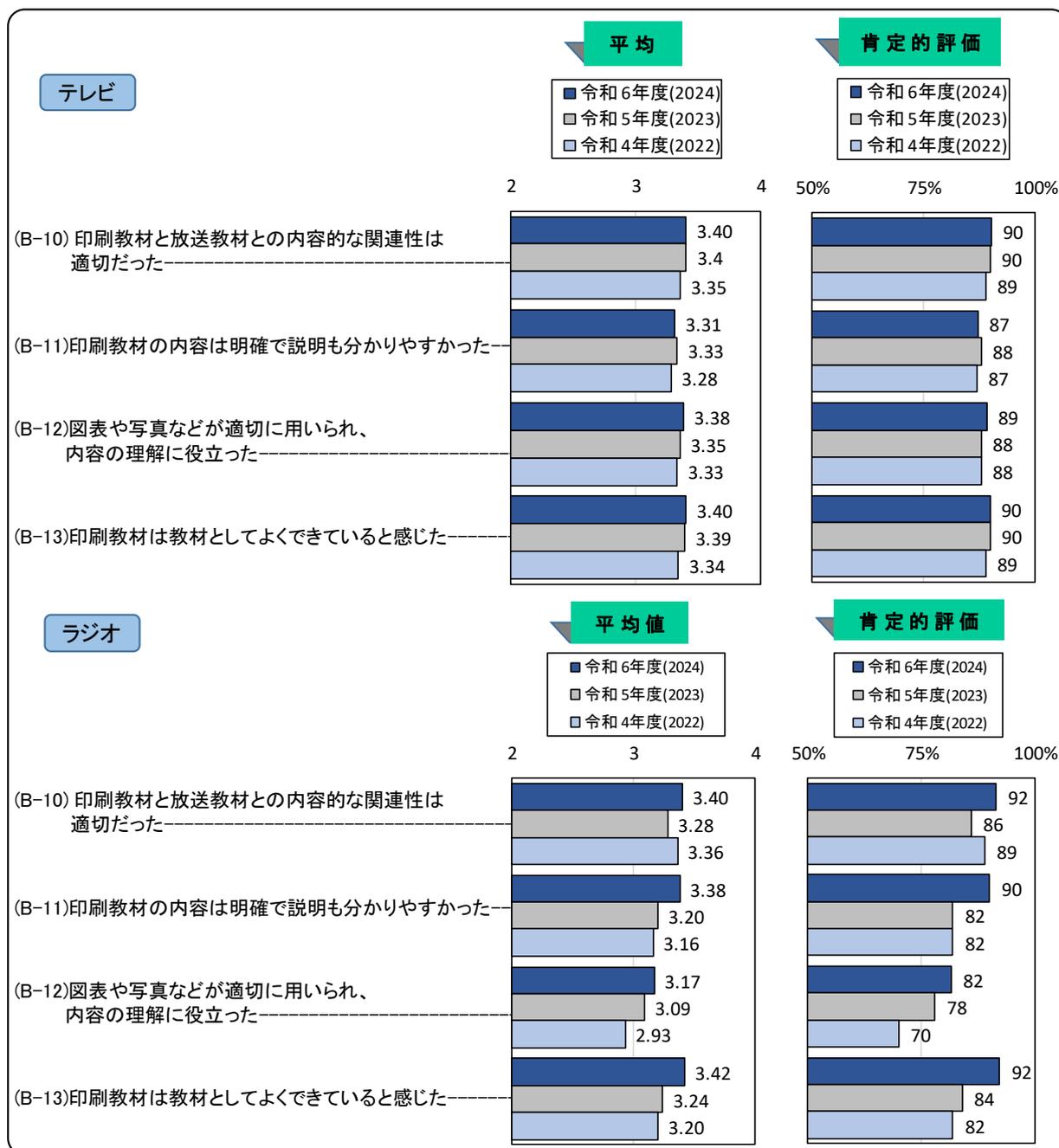
図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（図2-40）、テレビ科目では、本年度は、全ての項目で昨年度と同水準もしくは1ポイントの増減に留まった。

一方、ラジオ科目については、全ての項目において昨年度より評価が4～8ポイントと大幅に増加した。

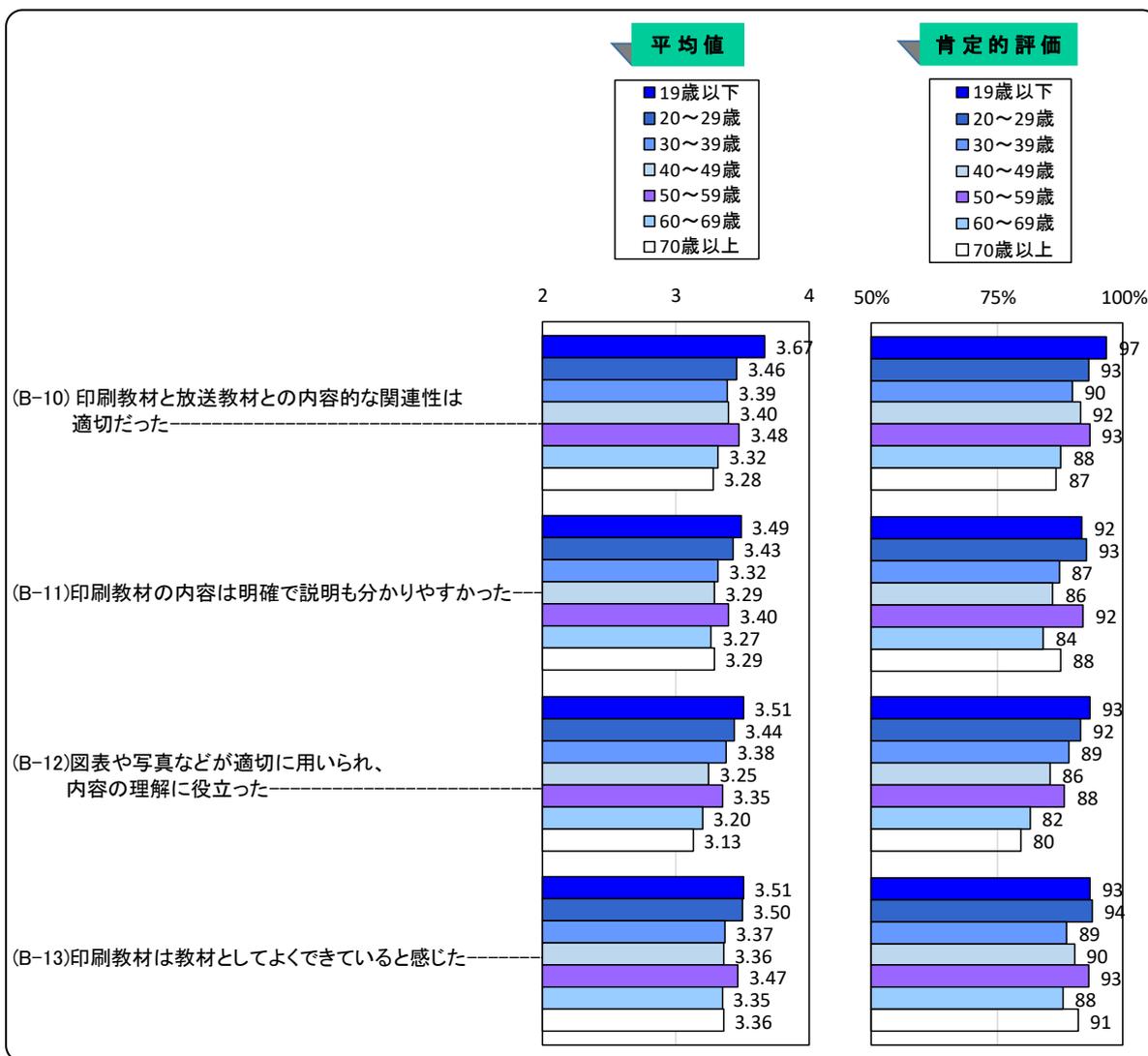
図2-40【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-41）、全ての項目で19歳以下と20歳代の評価が上位1,2位と最も高かった。

反対に評価が低かったのは、60歳代と70歳以上で、全ての項目において、下位1,2位となっていた。

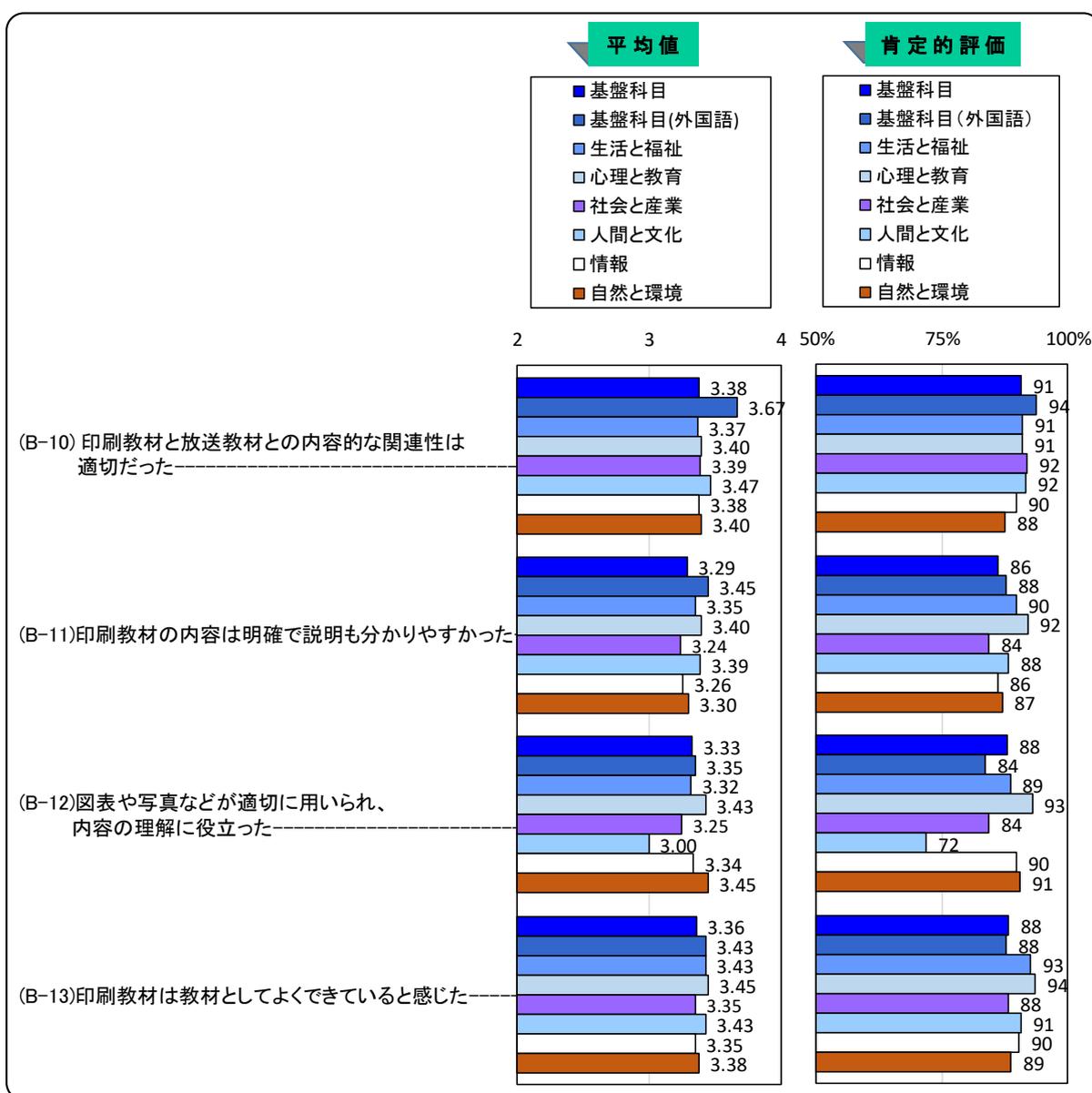
図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-42）、「心理と教育」が、全ての項目で90%以上の評価であった。（B-10）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では「基盤科目（外国語）」、（B-11）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では「生活と福祉」、（B-12）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では「自然と環境」、（B-13）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」については、「生活と福祉」の評価も高かった。

反対に評価が低かったのは、「人間と文化」で、（B-12）では72%と、他項目と比較して16ポイント以上と突出して少なかった。

図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

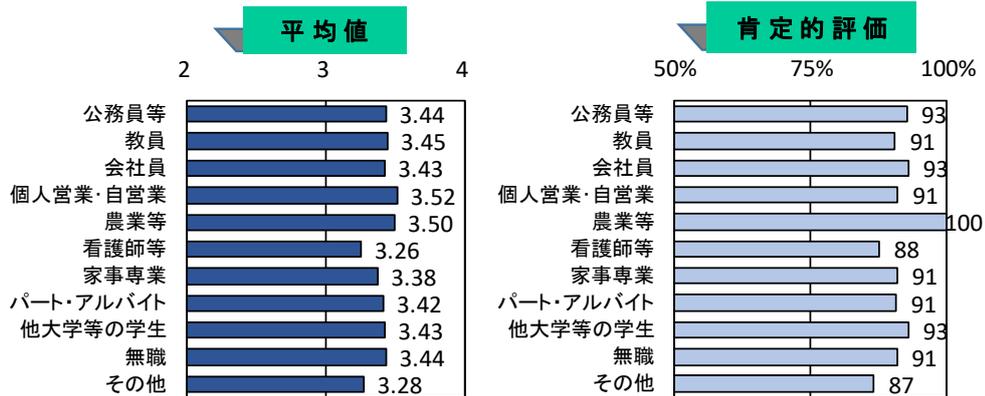


職業別の印刷教材の評価（次頁図 2 - 4 3）で、特徴的であったのは、「会社員」と「農業等」で、全ての項目において 90%以上と評価が高かった。

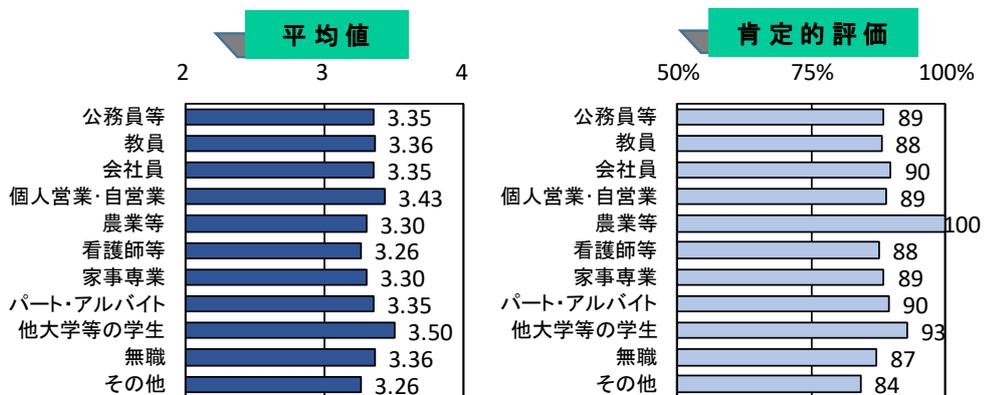
反対に評価が低かった項目は、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」が「その他」87%、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」が「その他」84%、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が「他大学等の学生」79%、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が「他大学等の学生」71%だった。

図 2-43 【学部】職業別の印刷教材の評価

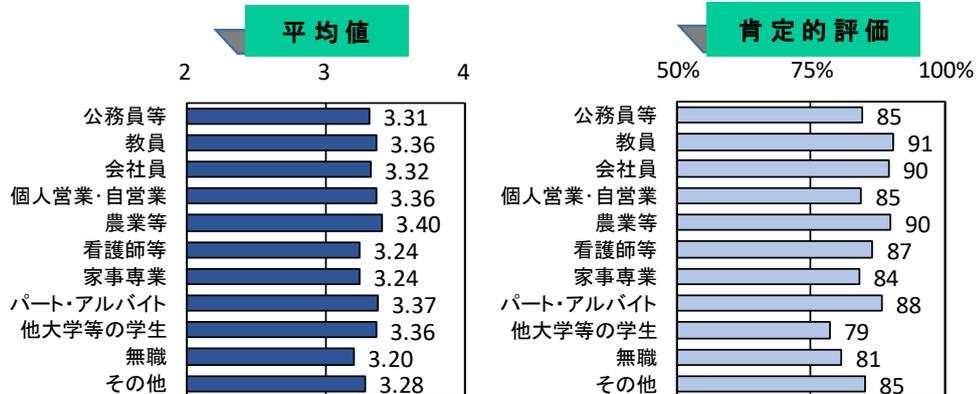
(B-10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



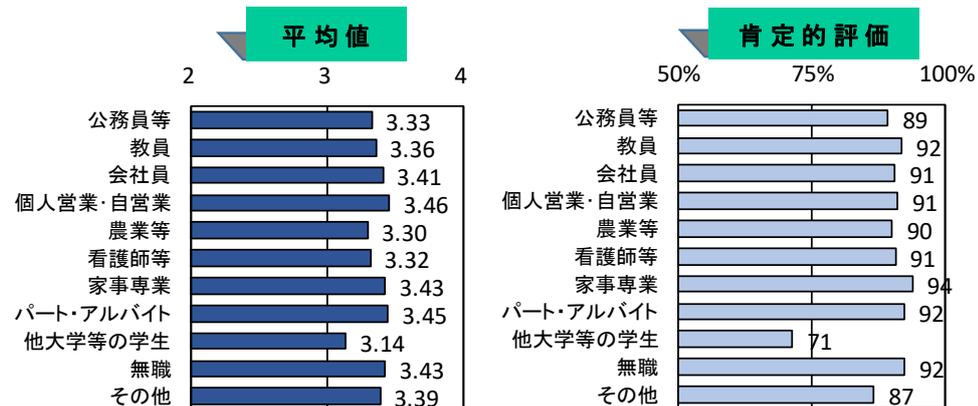
(B-11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた

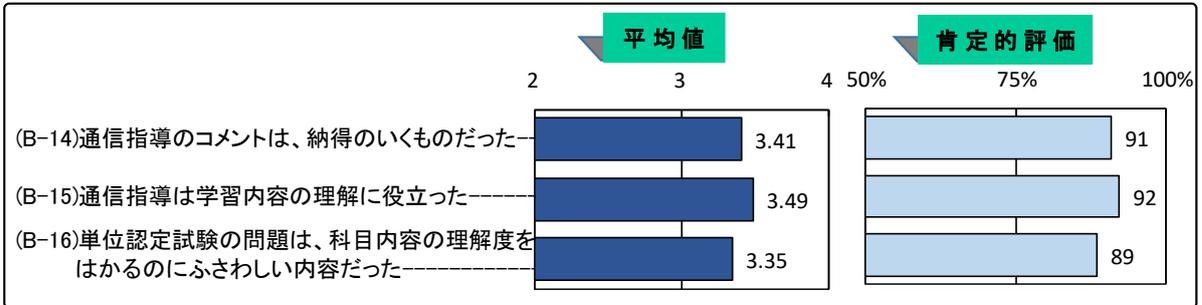


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

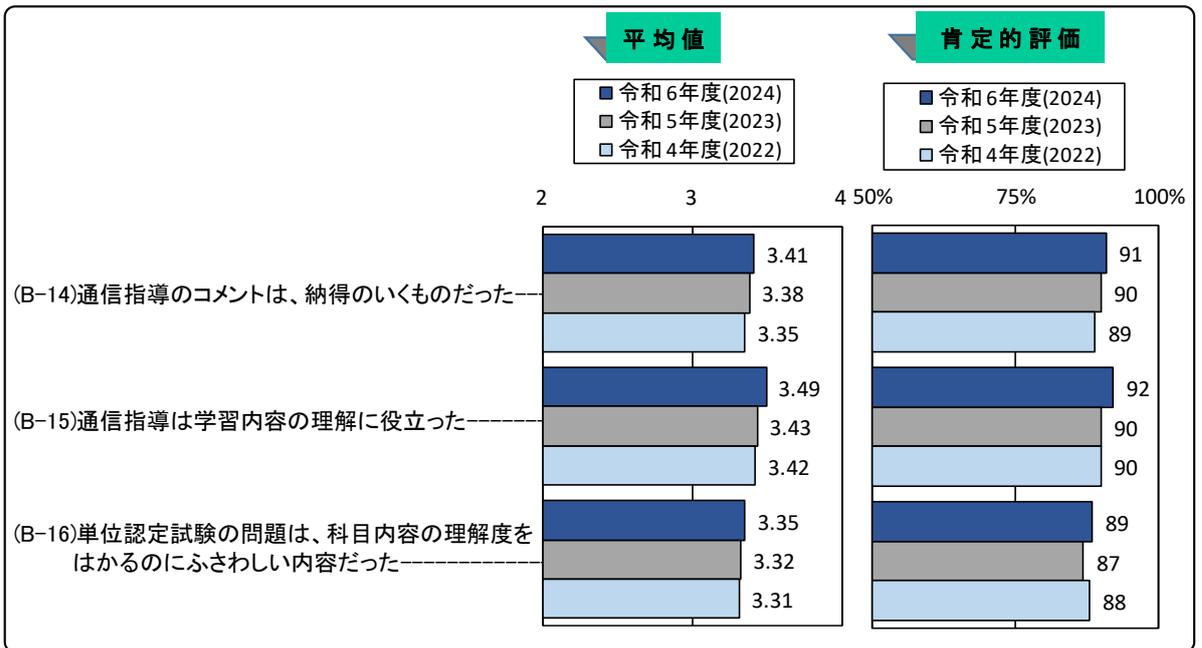
通信指導・単位認定試験については（図2-44）、全ての項目で89～92%と同水準であった。

図2-44 【学部】 回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図2-45）、本年度は、下記の3目全てで、昨年度より1～2ポイントと僅かながら評価は上昇した。

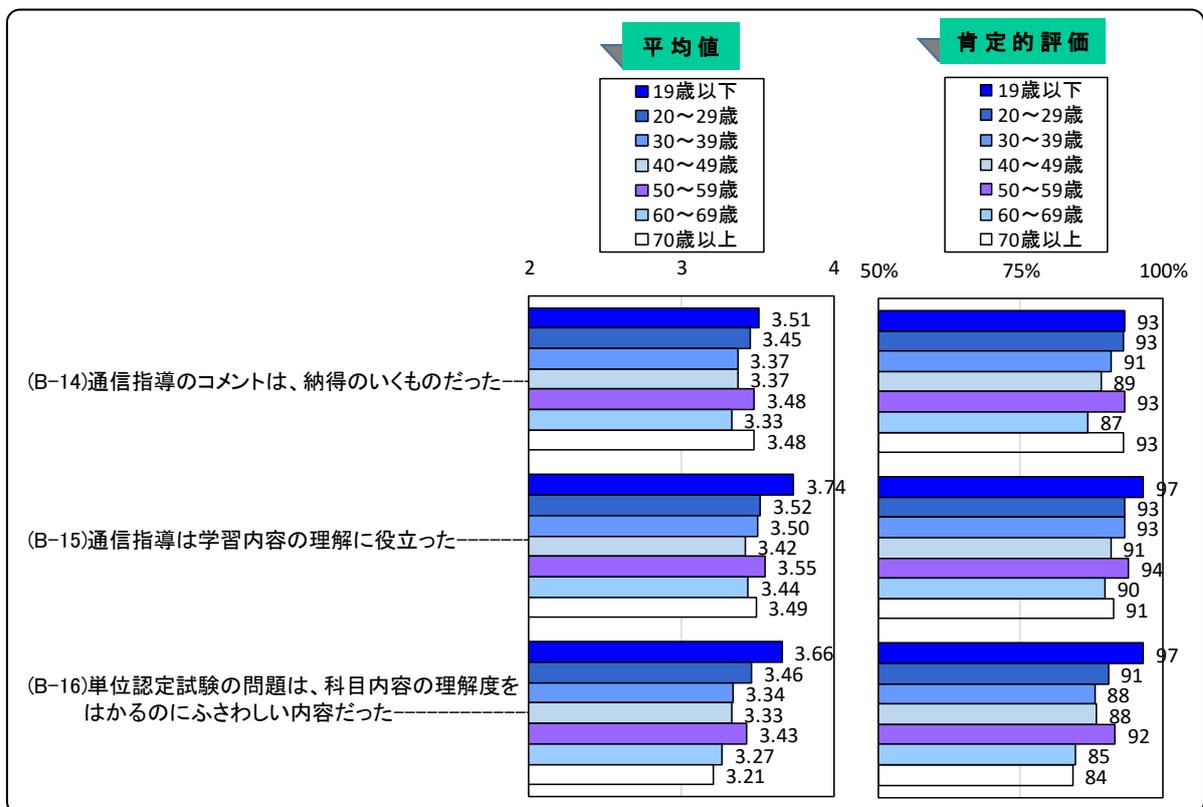
図2-45 【学部】 回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



年齢階層別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、全ての項目で19歳以下の評価が最も高かった。中でも(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は、96%と他の年代よりも特に高かった。

反対に全般的に評価が低かった項目は(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が60歳代で87%、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が60歳代で90%、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」が60歳代85%、70歳代以上84%と下位1,2位であった。

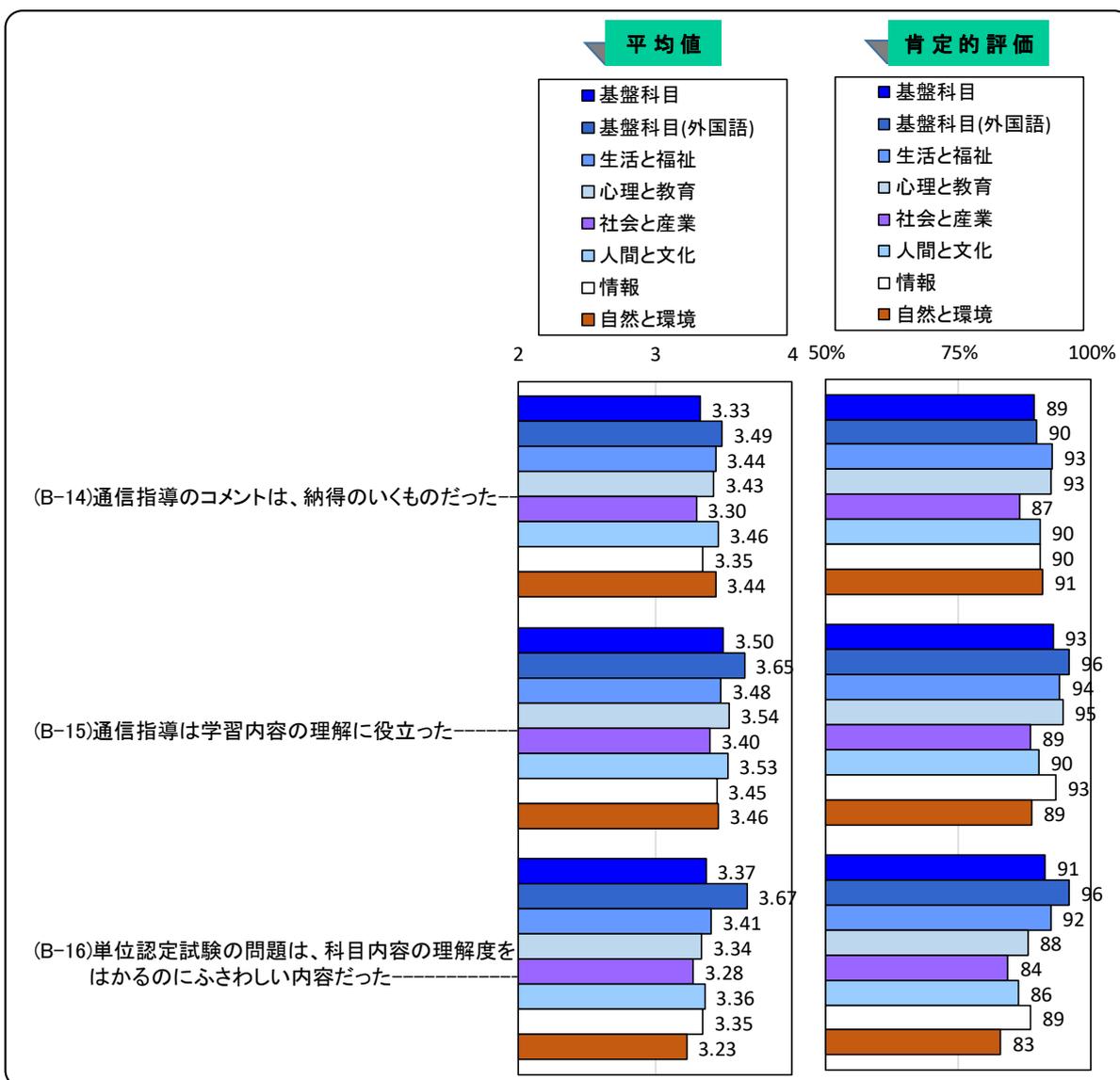
図2-46 【学部】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-47）、「基盤科目(外国語)」と「生活と福祉」が全項目で90%と高い傾向が見られた。

反対に評価が低かったのは、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」、が「社会と産業」で87%、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では「社会と産業」「自然と環境」で89%、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を測るのにふさわしい内容だった」では「社会と産業」「自然と環境」が83~84%であった。

図2-47 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



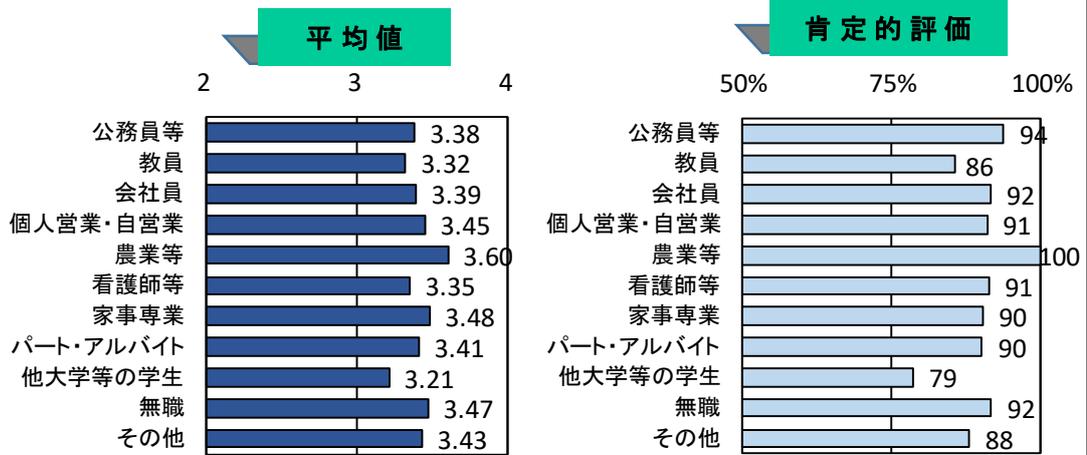
職業別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（次頁図2-48）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は「農業等」（100%）と「公務員等」（94%）の評価が高く、反対に「他大学等の学生」が79%と低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「農業等」（100%）の他に「個人営業・自営業」「看護師等」「パート・アルバイト」「無職」が93～94%と最も高かった。最も評価が低かったのは「他大学等の学生」（86%）であった。

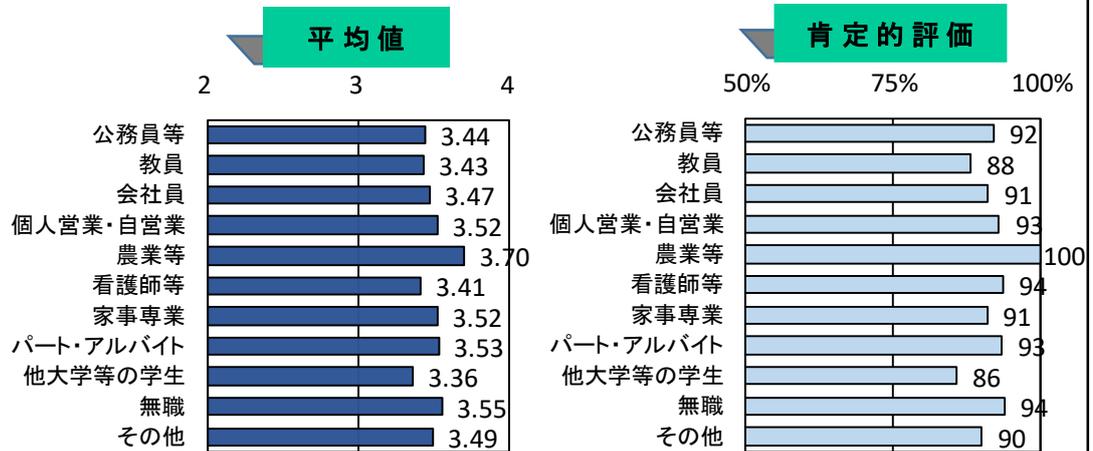
(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は「農業等」が100%と最も高く、他に「公務員等」「会社員」「家事専業」がそれぞれ90%以上と高かった。反対に、「教員」「他大学等の学生」が79%と低かった。

図2-48【学部】職業別の通信指導・単位認定試験の評価

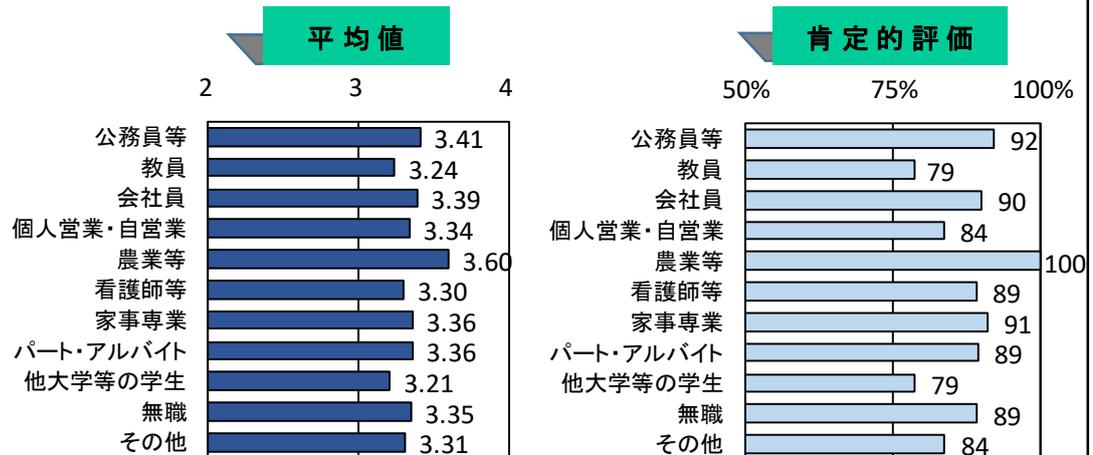
(B-14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった



(B-15) 通信指導は学習内容の理解に役立つ



(B-16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった



## Ⅱ-1-4. 学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	$x_1, x_2, \dots$	各項目 B-1～B-20：全 20 問（項目）
係数	$a_1, a_2, \dots$	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式  $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ （説明変数が全 20 問の場合）

分析には、IBM SPSS Statistics 25 を使用した。変数選択方法は、ステップワイズ法を採用した。変数の選択基準は、F 検定有意確率で、投入  $F \leq .05$ 、除去  $F \geq .10$  とした。VIF はすべて 10 未満で多重共線性がないことを確認したうえで重回帰分析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 2772 人のローデータを使用した。

最終的に 8 変数が除去され、12 変数のモデルとなった。結果は以下の通りである。

### ■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力（寄与度）があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.734 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 2.039 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

### ◆分析精度

決定係数	0.735
自由度修正済み決定係数	0.734
ダーヴィンワトソン比	2.039
残差の標準偏差	0.372

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	1444.394	2771				
回帰による変動	1061.892	12	88.491	638.289	0.000	[**]
回帰からの残差変動	382.502	2759	0.139			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-20「この科目の内容を全体としてよく理解できた。」で 0.263、次いで、B-18「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。」(0.200)、B-19「新しい知識が身につく視野が広がった。」(0.185)と続いていた。

今後、「全体の満足度」(本年度の肯定的評価 90.6%)を上げるためには、前述の3項目、さらには、印刷教材の充実、講師のわかりやすい説明などについて、肯定的評価を上げる事が効果的であると考えられる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定
B21-全体の満足度	0.263	B-20この科目の内容を全体としてよく理解できた。	[**]
	0.200	B-18学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	[**]
	0.185	B-19新しい知識が身につく視野が広がった。	[**]
	0.122	B-13印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	[**]
	0.112	B-5講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	[**]
	0.083	B-3印刷教材の難易度は適切だった。	[**]
	0.080	B-6放送授業は教材としてよくできていると感じた。	[**]
	0.067	B-16単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるにふさわしい内容だった。	[**]
	-0.048	B-1放送授業の難易度は適切だった。	[**]
	0.039	B-15通信指導は学習内容の理解に役立った。	[*]
	0.030	B-17授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	[*]
	-0.029	B-12図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	[*]
	定数項	[**]	

## Ⅱ-2. 大学院の分析結果

### Ⅱ-2-1. 項目平均から見た全体的傾向

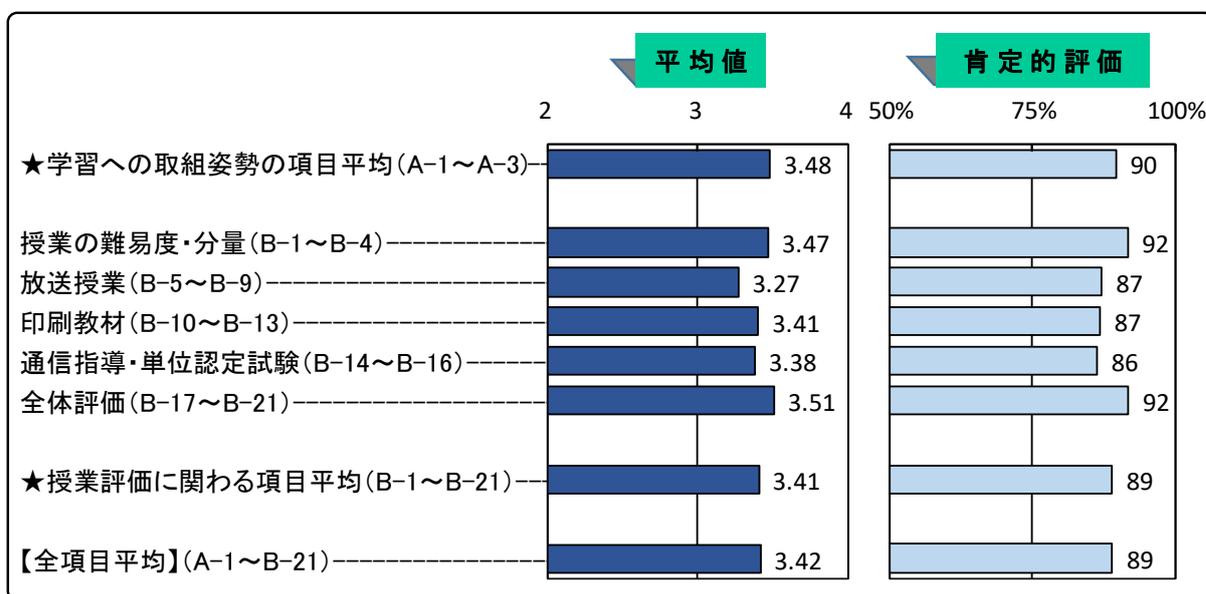
評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図 2-49）した。

学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、回答者数が小サンプルの場合、%表記にすると、誤差が大きくなるため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。年齢階層別の「20～29 歳」（1 人）、職業別の「パート・アルバイト」（1 人）が挙げられる。（「農業等」「他大学等の学生」は一人もいなかった。）

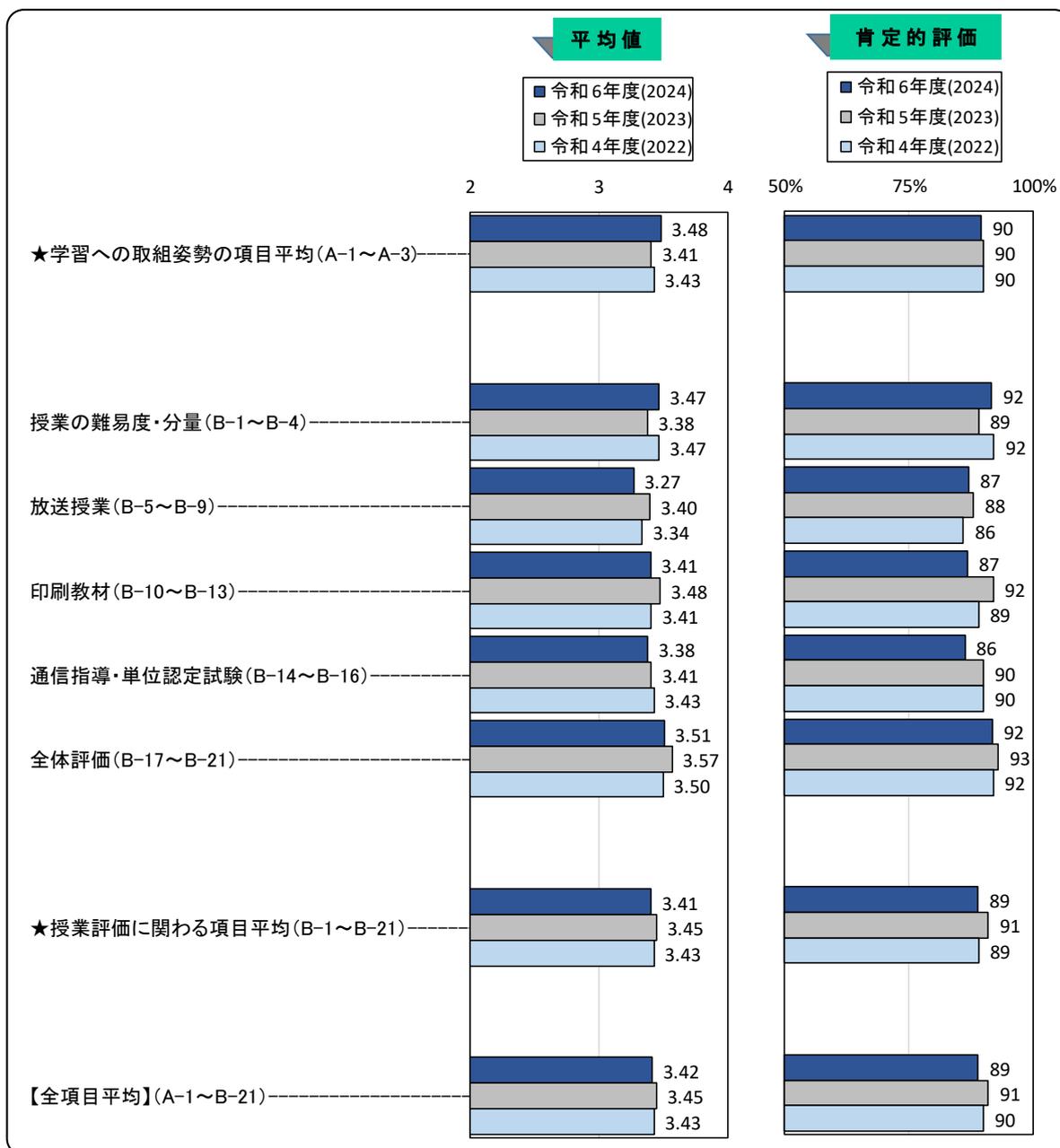
項目平均による全体的傾向をみると（図 2-49）、『授業の難易度・分量』『全体評価』は 92%と高かったが、『放送授業』『印刷教材』『通信指導・単位認定試験』が 86～87%と低かった。

図 2-49 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較して見ると（図2-50）、本年度は昨年度と比べ『学習への取組姿勢の項目平均』が横ばい、『授業の難易度・分量』が僅かに上昇したほかは、僅かに評価が下がっていた。

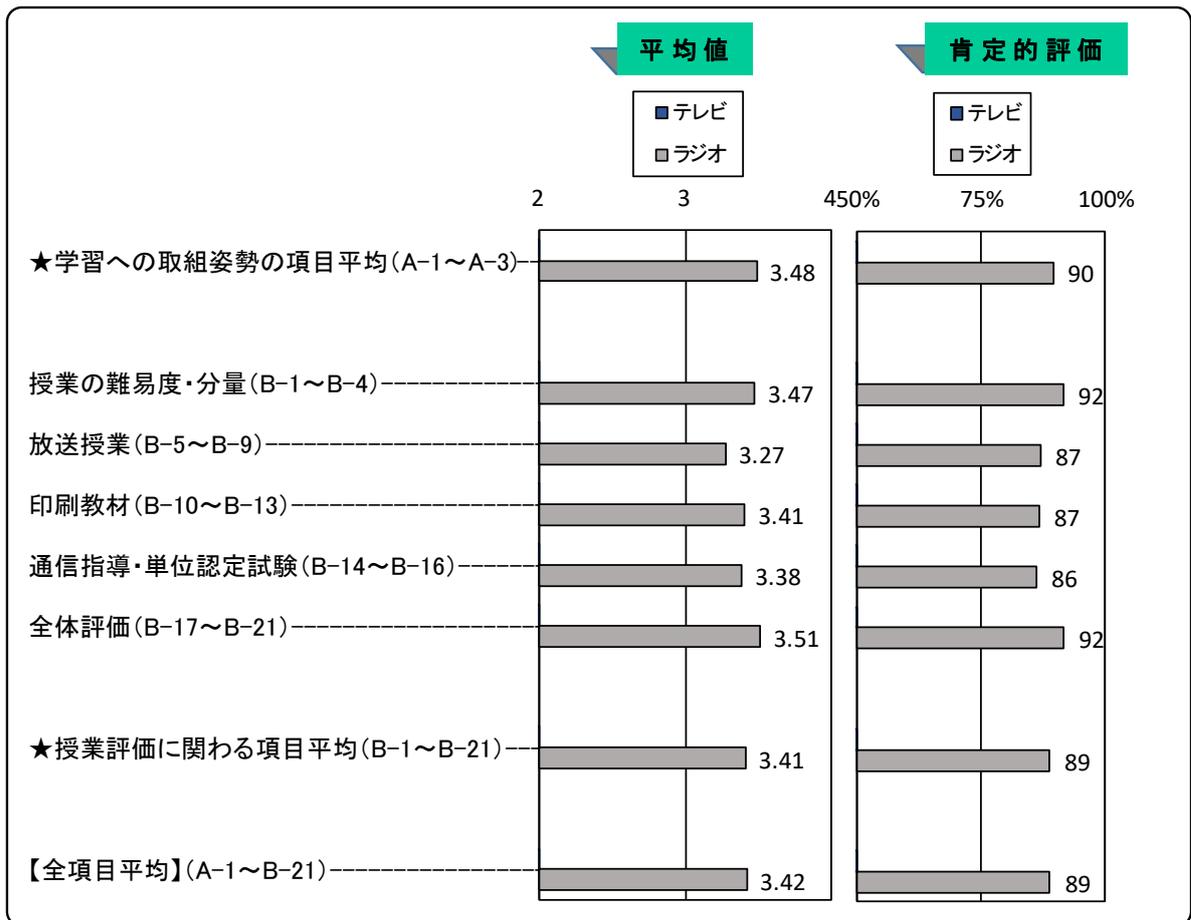
図2-50 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



ラジオ科目の（図2-51）、『授業の難易度・分量』『全体評価』が92%と高くなって  
いた。

図2-51 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向

※本年度の今回調査対象科目には、大学院のテレビ科目は含まれないため、ラジオ科目  
のグラフのみを記載している。またこれ以降のページについても同様とする。

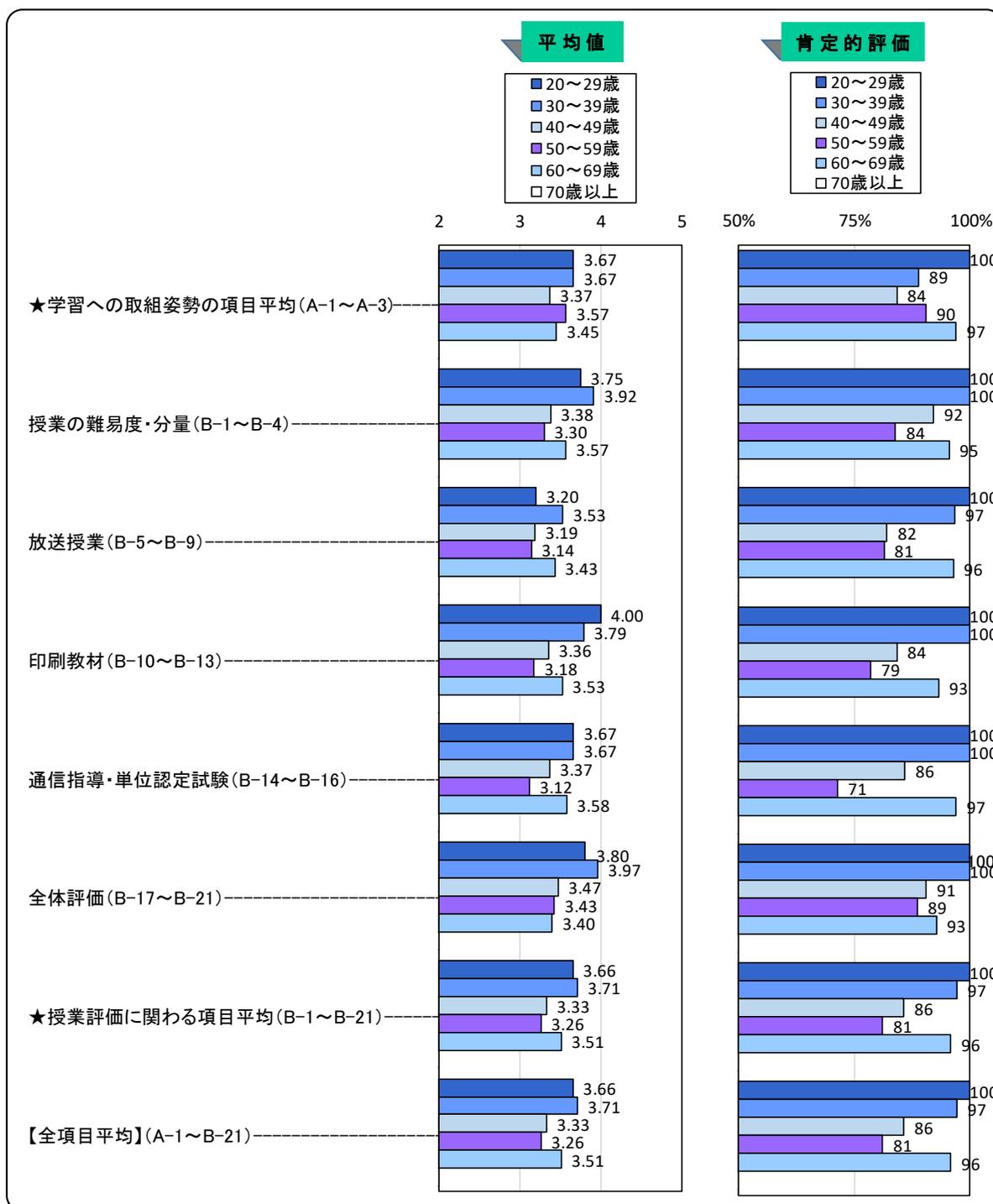


年齢階層別では（図2-52）、『学習への取組姿勢の項目平均』以外では30歳代が最も高く、『学習への取組姿勢の項目平均』では60歳代が97%と評価が高かった。

逆に、50歳代は『印刷教材』が79%、『通信指導・単位認定試験』が71%と低い傾向が見られた。

※「20～29歳」は回答者数が1人と少人数で誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

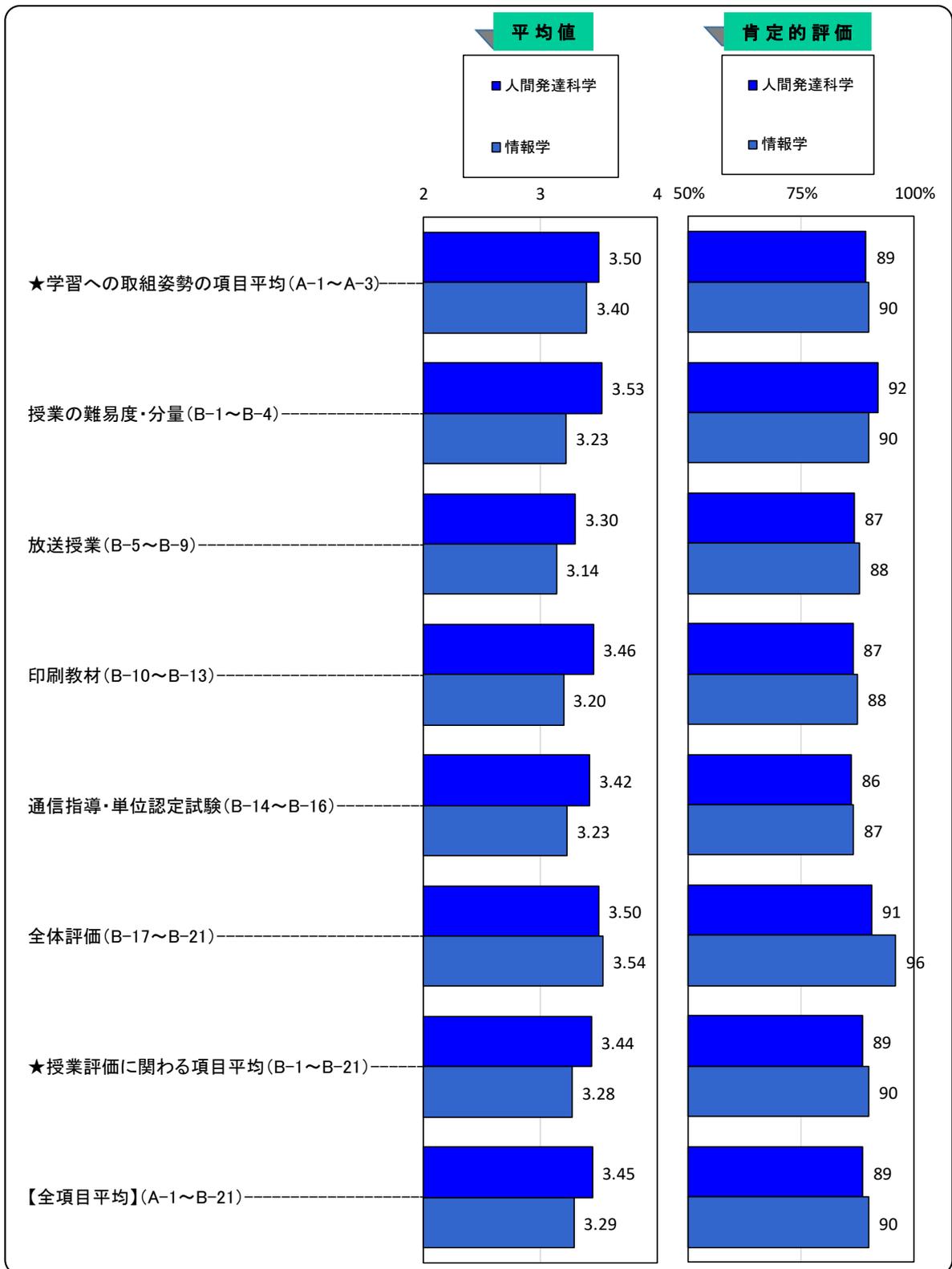
図2-52 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



所属プログラム別に項目平均を見ると（次頁図 2 - 5 3）、『人間発達化学』『情報学』ともに肯定評価は近似していた。

平均評点としては、『全体評価』『全項目平均』以外は『人間発達化学』が高い傾向となった。

図 2-53 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

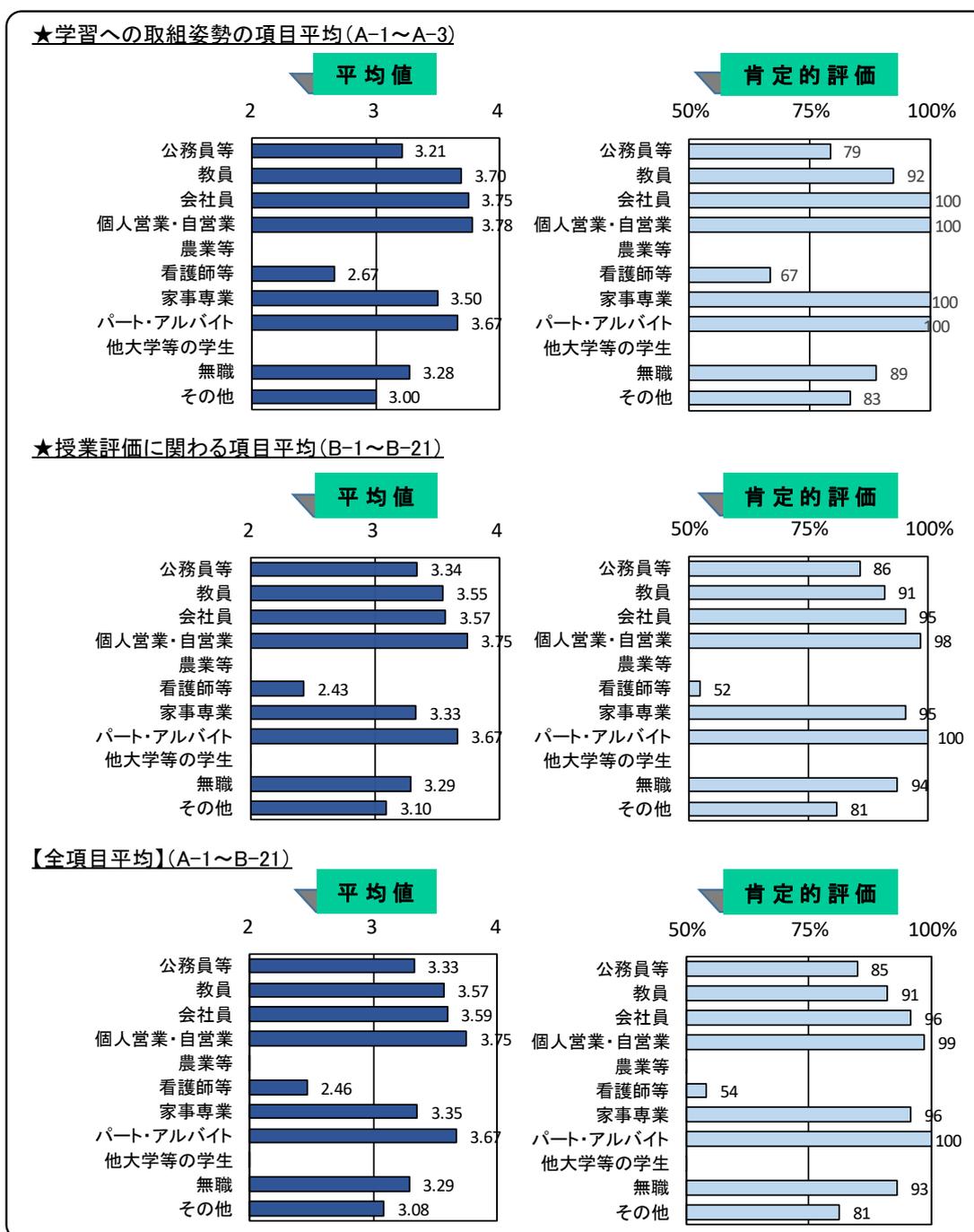


職業別では（図2-54）、『学習への取組姿勢』は「教員」「会社員」が93～94%で評価が高く、「個人営業・自営業」が85%と評価が低かった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』では、「教員」が両項目とも93%と、評価が高く、「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」が、84～85%と、評価が低かった。

※「農業等」「他大学等の学生」は一人もおらず、「パート・アルバイト」（1人）は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-54 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

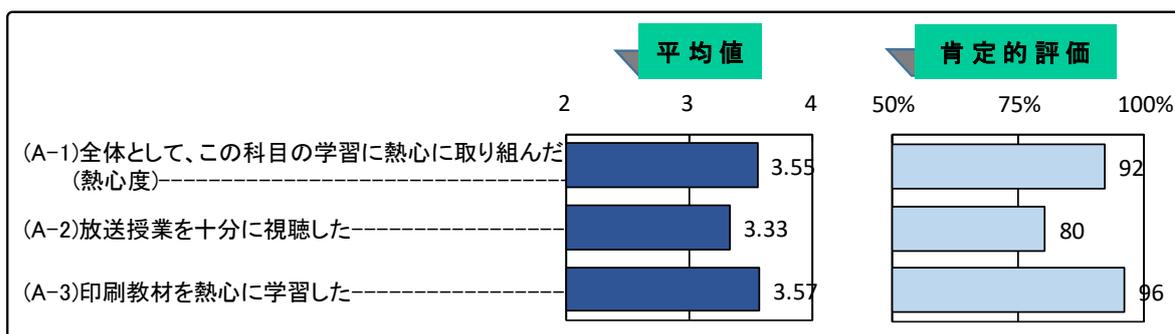


## Ⅱ-2-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

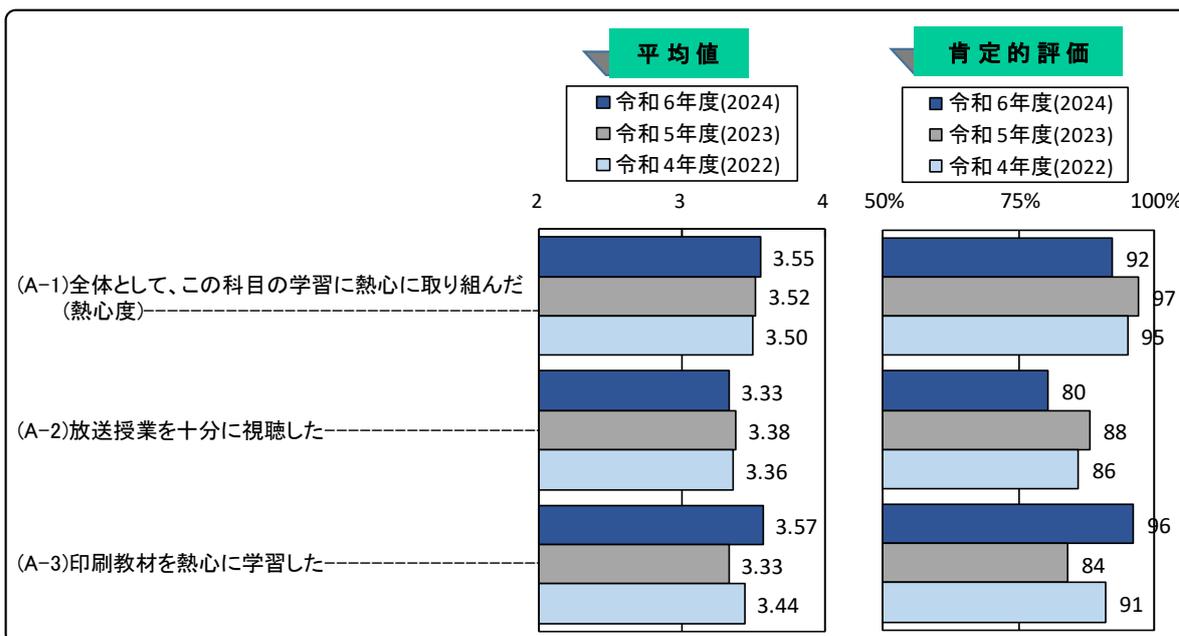
『学習への取組姿勢』（図2-55）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は 92～96%に達していたが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は 80%と、前述の 2 項目に比べると取組姿勢が低かった。

図2-55 【大学院】回答者全体の取組姿勢



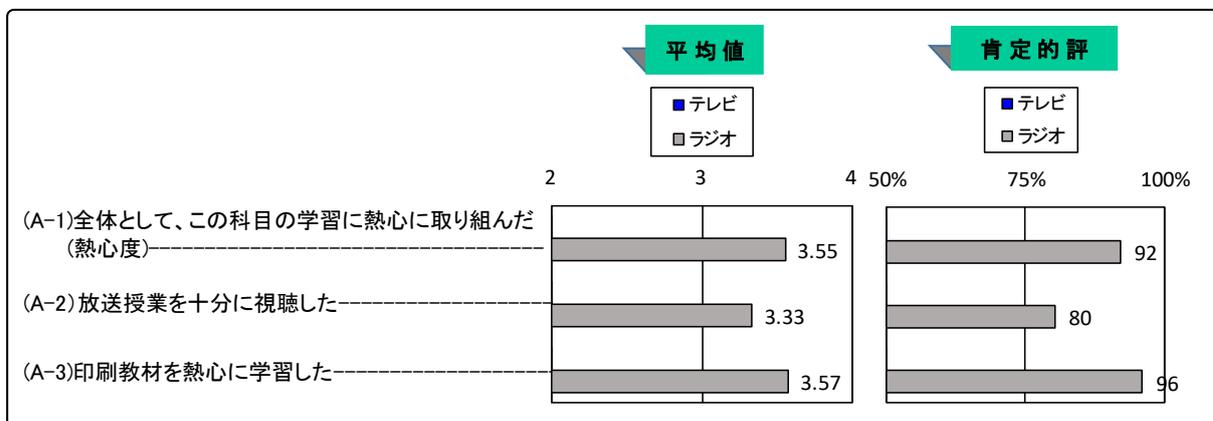
『学習への取組姿勢』を時系列で見ると（図2-56）、本年度の評価は昨年度と比べ、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は下落したが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は 8 ポイント増、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は 12 ポイント増と昨年度より大幅に増加した。

図2-56 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-57）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は92～96%と高水準だったが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、80%と低い結果となった。

図2-57【大学院】メディア別の取組姿勢



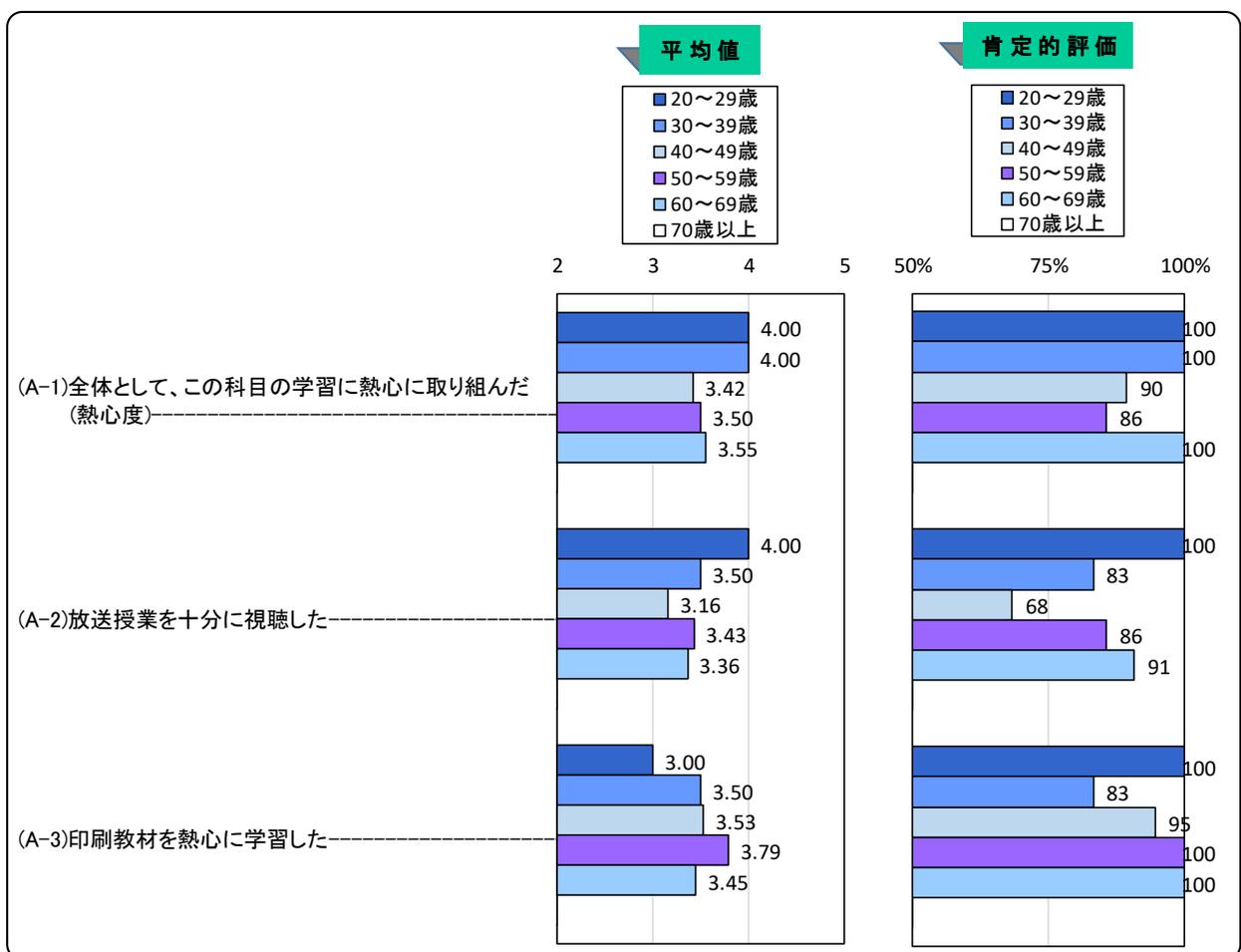
年齢階層別では（図2-58）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、30歳代、60歳代が100%と熱心度が高く、次いで40歳代が90%で続いていた。反対に熱心度が低かったのは、50歳代で、86%であった

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、60歳代が91%と高く、反対に40歳代は68%と低くなっていた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、50歳代、60歳代の評価が高かった。

※「20～29歳」は回答者数が1人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

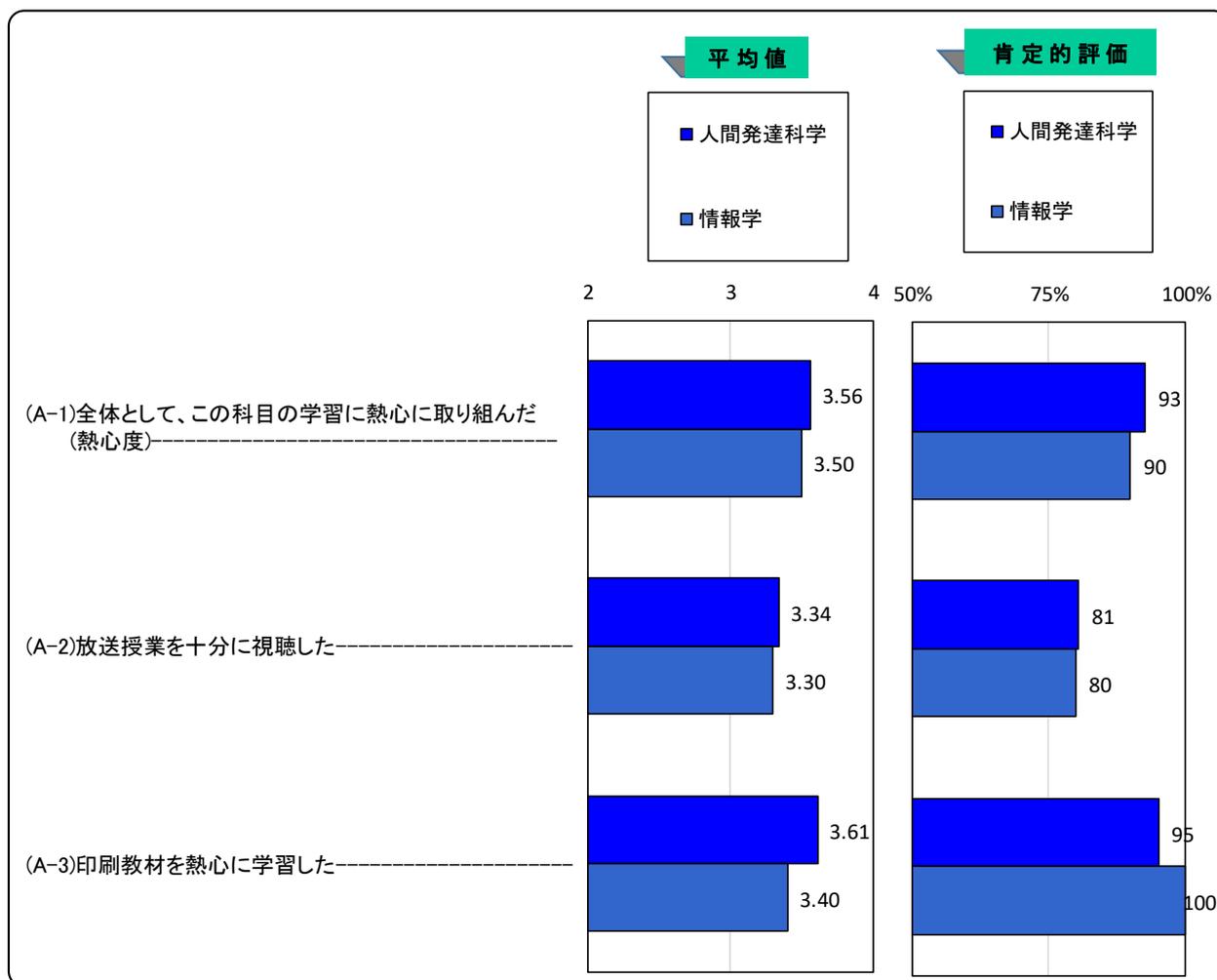
図2-58【大学院】年齢階層別の取組姿勢



所属プログラム別の取組姿勢（図2-59）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「人間発達科学」の積極性が高くなっていた。

反対に、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、「情報学」の評価がそれぞれ100%と高かった。

図2-59 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



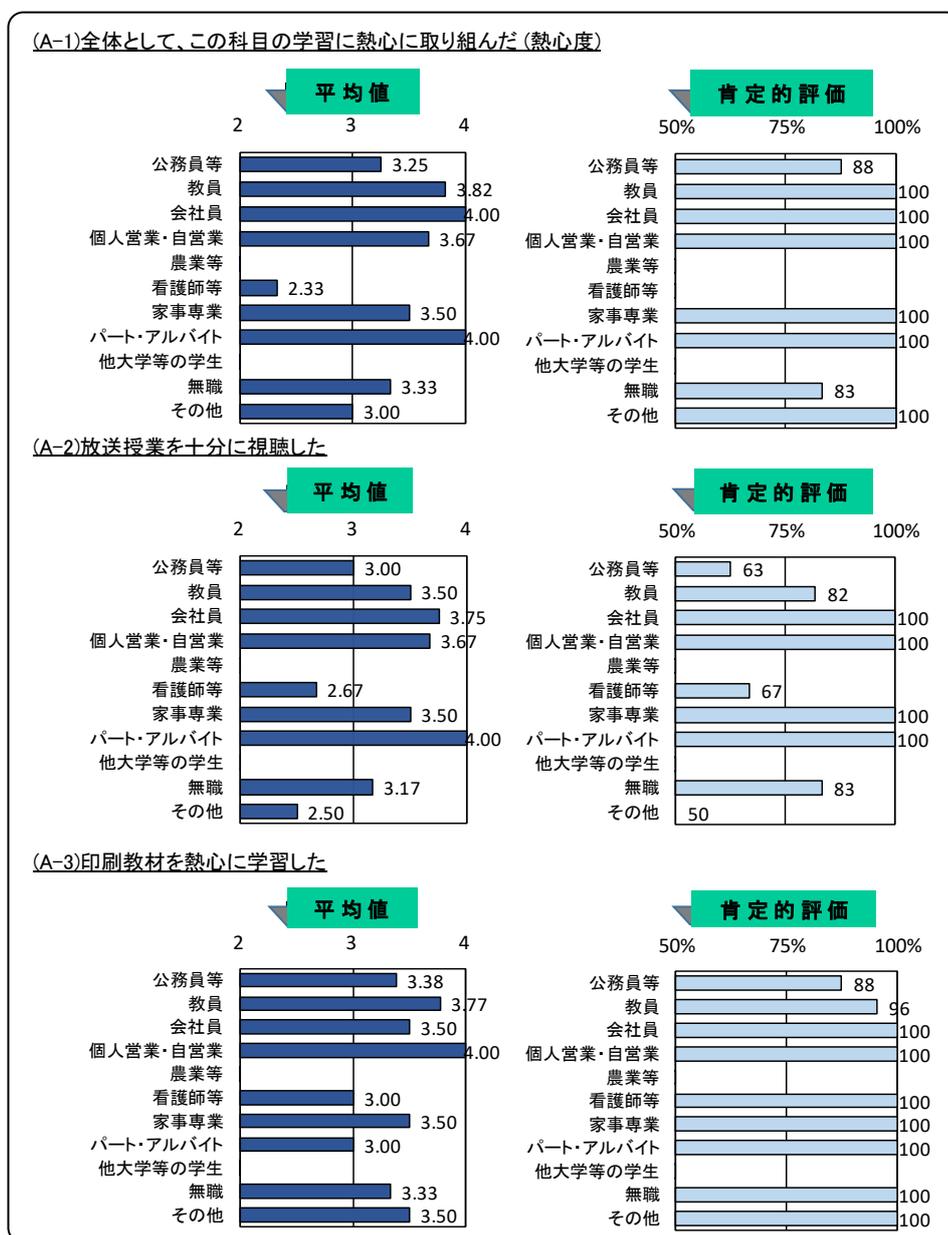
職業別の取組姿勢は（図2-60）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では、「教員」「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」「その他」がそれぞれ100%と最も高かった。反対に「無職」は83%と低かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「教員」「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」が100%と最も高かった。反対に「その他」が50%と最も低く、次いで「公務員等」が63%、「看護師等」が67%と低い傾向にあった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、「公務員等」以外は96%以上と高い傾向にあった。

※「農業等」「他大学等の学生」は一人もおらず、「パート・アルバイト」(1人)は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-60【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図2-61）では、属性別の各層内で回答者数がなかった「農業等」「他大学等の学生」は、下記のグラフから除外した。

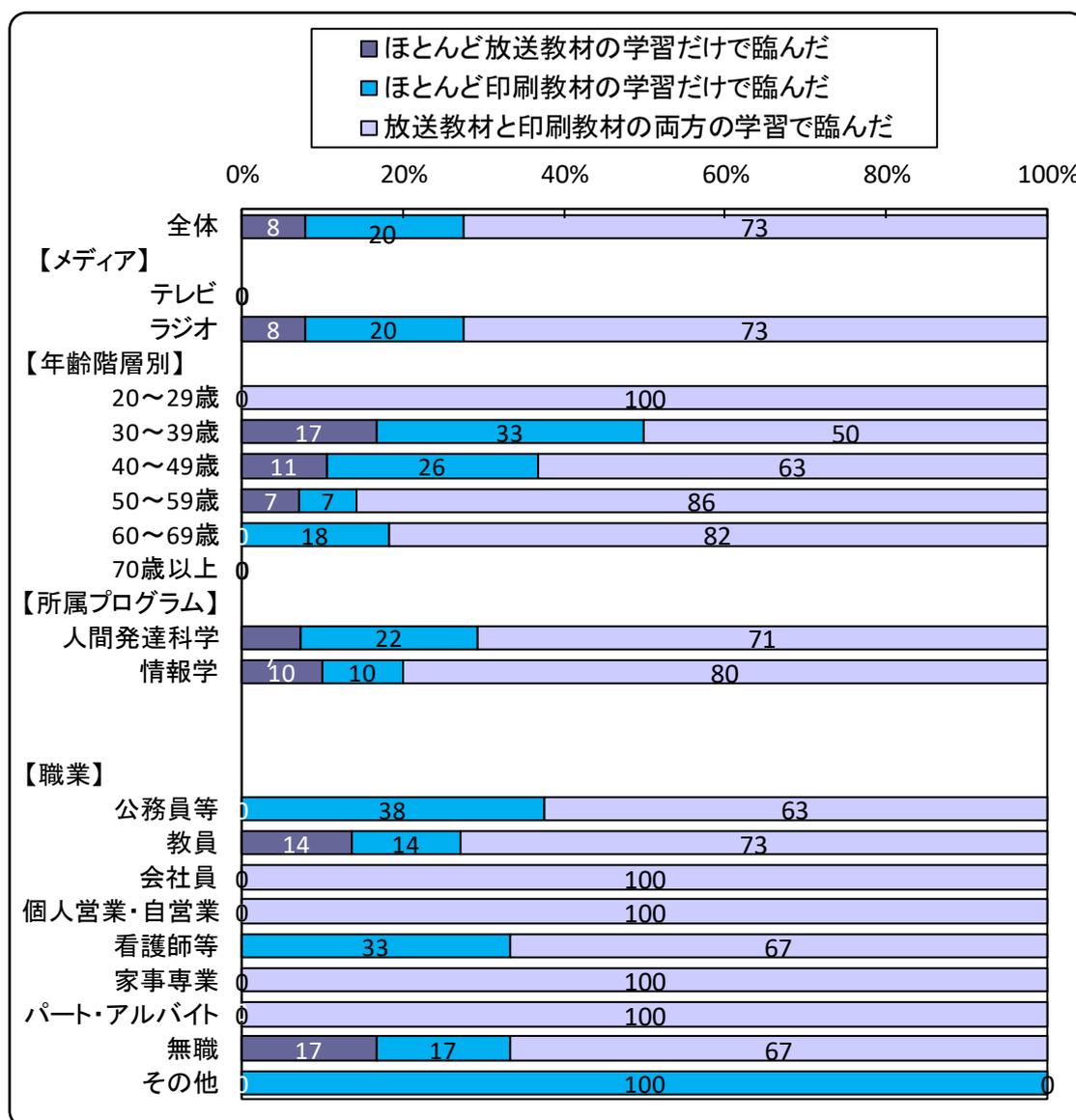
全体は、比率の高い順に「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が73%と、大半を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が20%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は8%と、少なかった。

年齢階層別では、50歳代、60歳代は、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が82%以上と、他の年代に比べ比率が高かった。

所属プログラム別では、「情報学」は80%と、「人間発達科学」の71%を大きく上回った。

「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」は、「両方の学習で臨んだ」が100%と、他の職業と比べ最も高かった。

図2-61 【大学院】単位認定のための学習方法



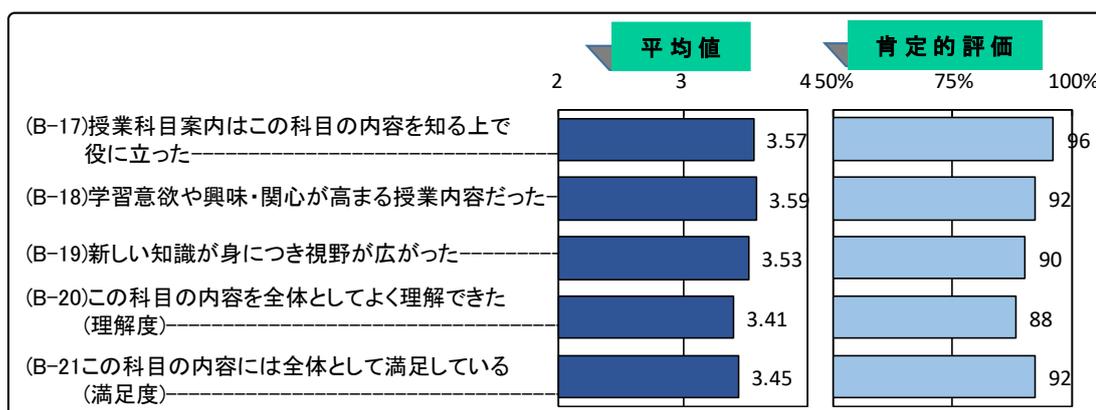
## Ⅱ－2－3. 大学院の授業評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくことにする。

全体評価の項目では（図2－62）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」（96%）が最も高く評価されていた。

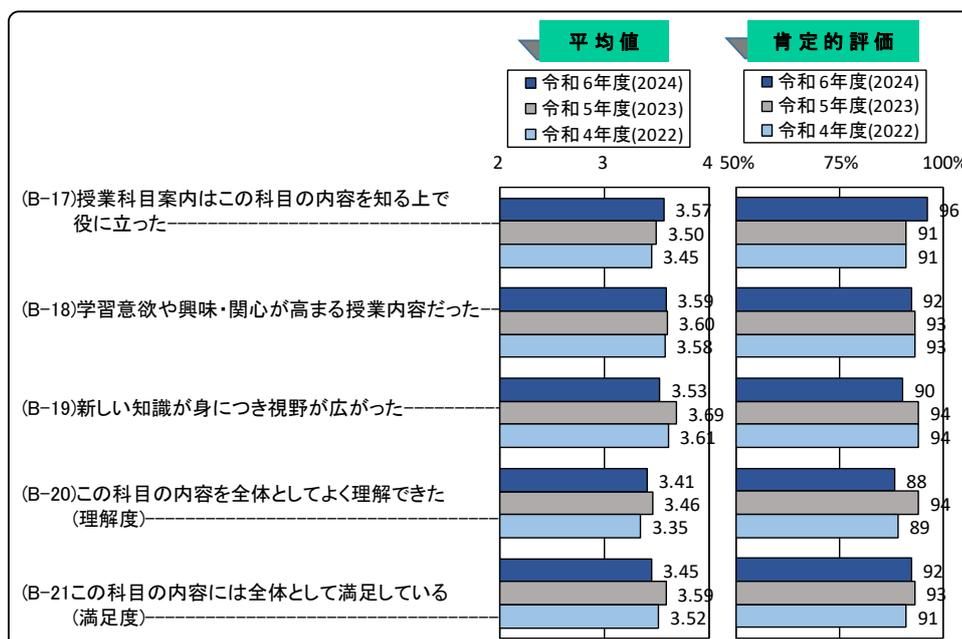
反対に (B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は 88%と、最も低く、それ以外の項目については 90～92%であった。

図2－62【大学院】回答者全体の全体評価



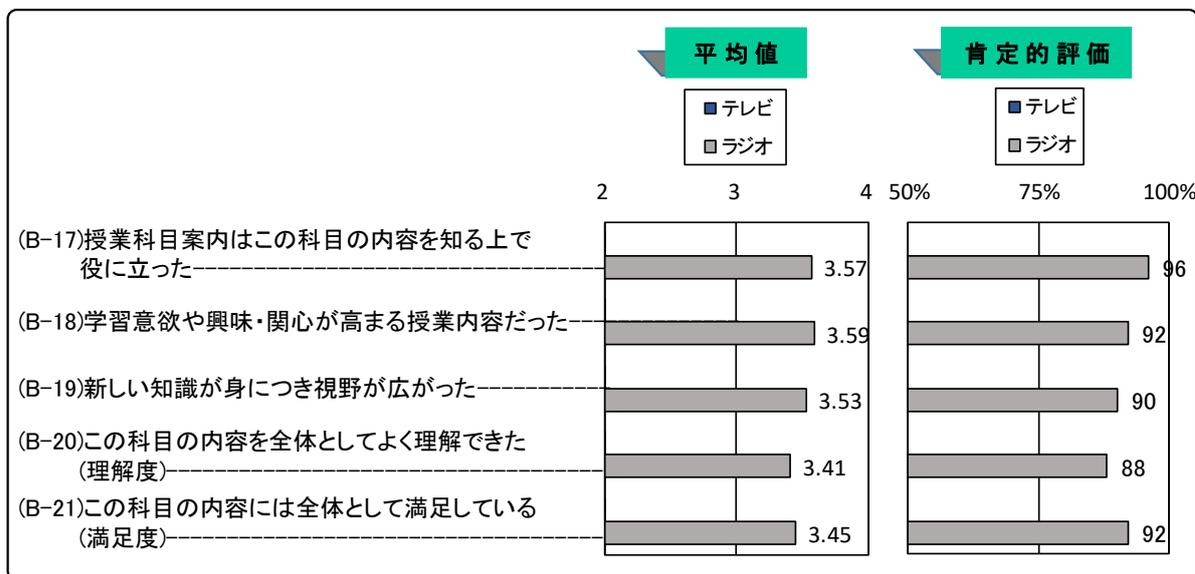
全体評価を時系列で見ると（図2－63）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」が 96%と昨年度と比べ 5 ポイント増加したが、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」(B-20)は 90%、「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は 88%と、昨年度と比べ 4～6 ポイント減少した。

図2－63【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



ラジオ科目では（図2-64）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」が96%と最も高く、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」が88%と最も低かった。

図2-64 【大学院】メディア別の全体評価



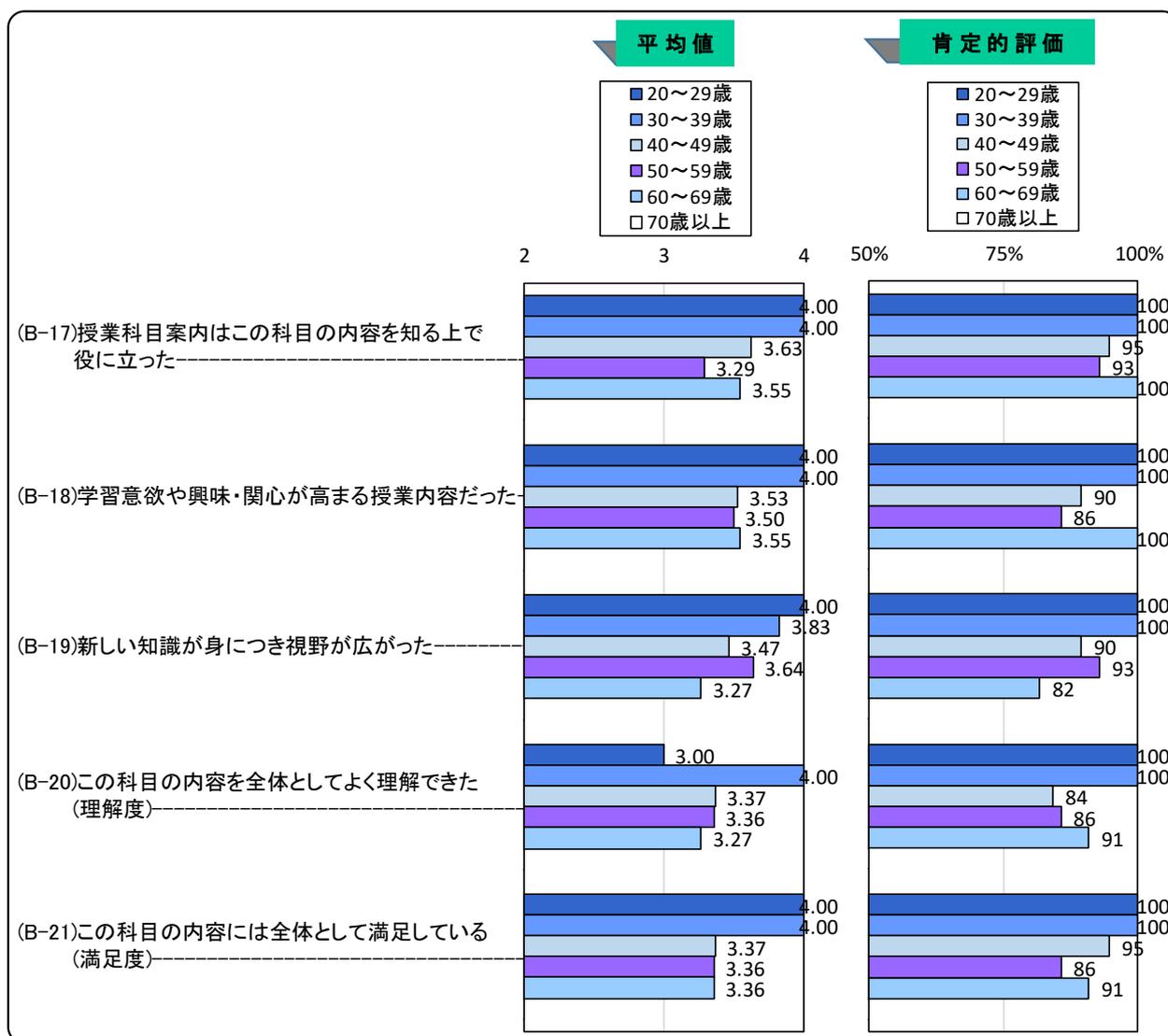
年齢階層別では（図2-65）、全項目において30歳代が100%と最も高かった。

(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」については60歳代も100%となり、他の年代より高く、50歳代が93%、86%と最も低かった。

(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、60歳代が82%と低く、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は50歳代がそれぞれ84%、86%と低かった。

※「20～29歳」は回答者数が1人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

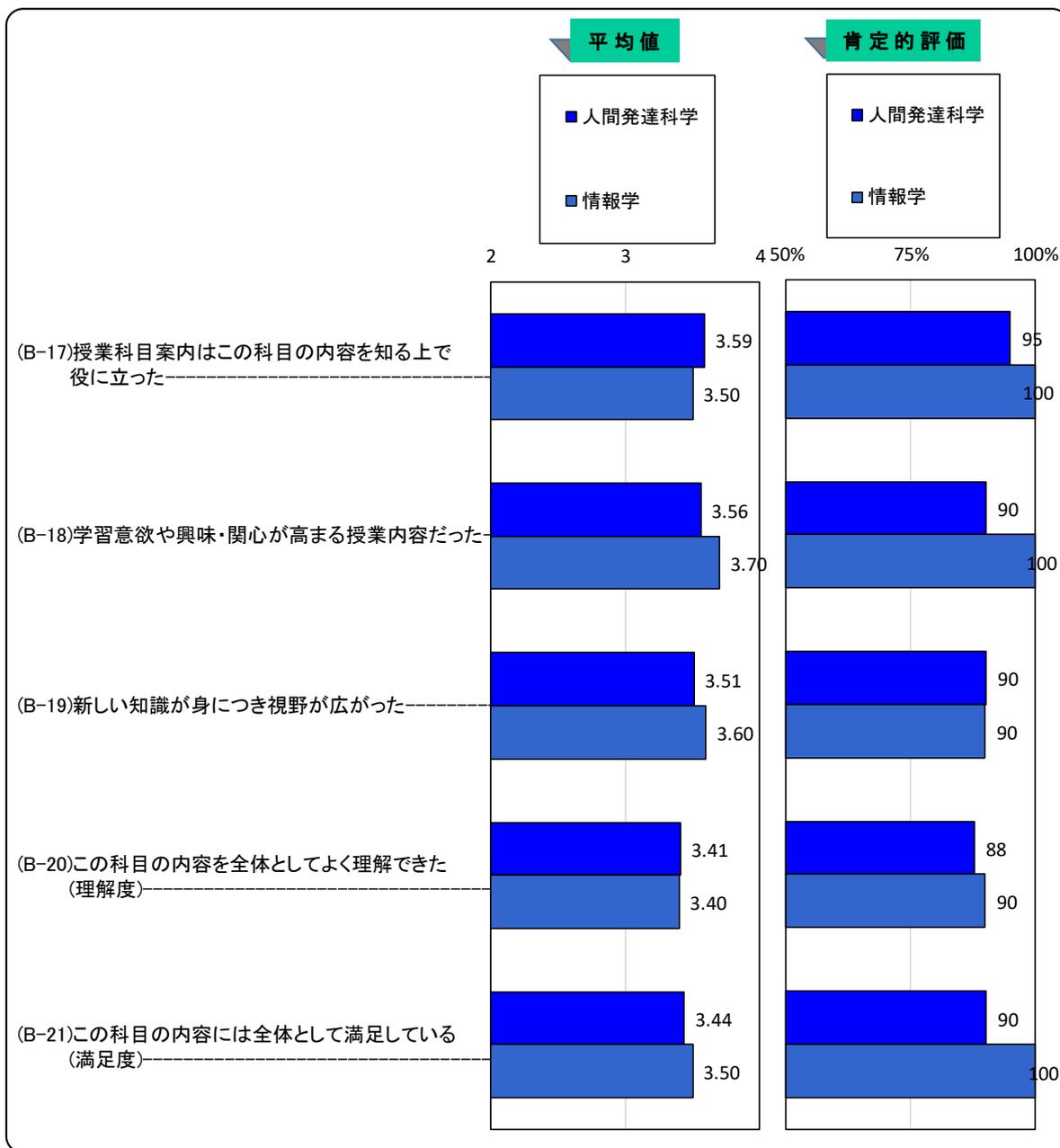
図2-65【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-66）、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」を除く全ての項目において、「情報学」の評価が高かった。

「人間発達科学」においても(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」の88%を除いては、全項目において90%以上であった。

図2-66 【大学院】所属プログラム別の全体評価



職業別（次頁図2-67）では、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は、「公務員等」「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」「無職」「その他」の評価が94%と最も高かったが、「看護師等」が67%と顕著に低かった。

(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」「無職」「その他」が100%と評価が高かった。反対に、「公務員等」は88%最も低かった。

(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」「その他」が100%と評価が高かったが、「看護師等」が67%と顕著に低かった。

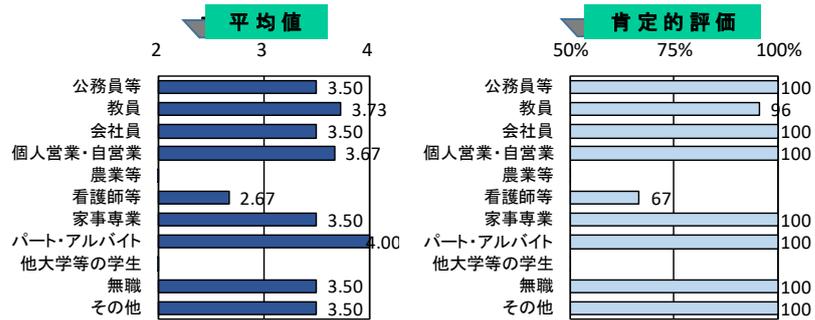
(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については、「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」「無職」が100%と評価が高かったが、「その他」が50%と顕著に低かった。

(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」「無職」「その他」が100%と評価が高かったが、「公務員等」が75%、「看護師等」が67%と顕著に低かった。

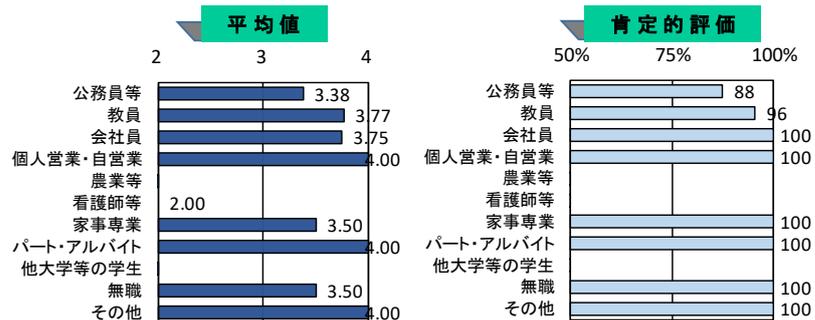
※「農業等」「他大学等の学生」は一人もおらず、「パート・アルバイト」(1人)は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-67【大学院】職業別の全体評価

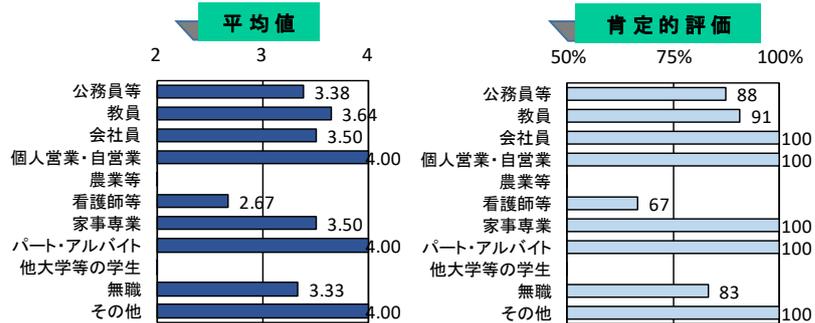
(B-17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った



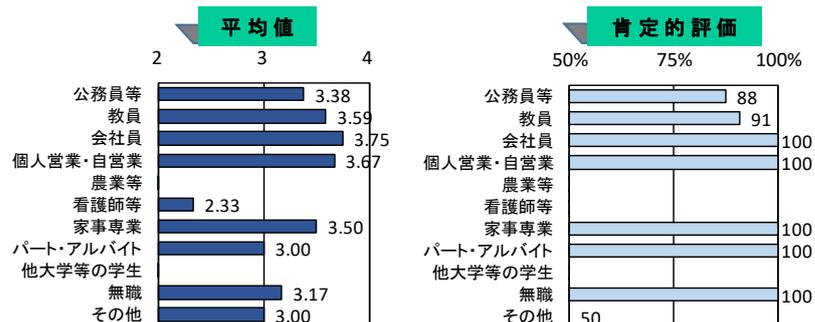
(B-18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



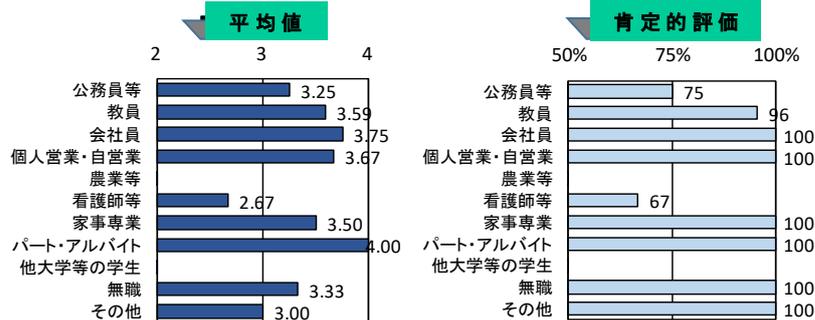
(B-19) 新しい知識が身につく視野が広がった



(B-20) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-21) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

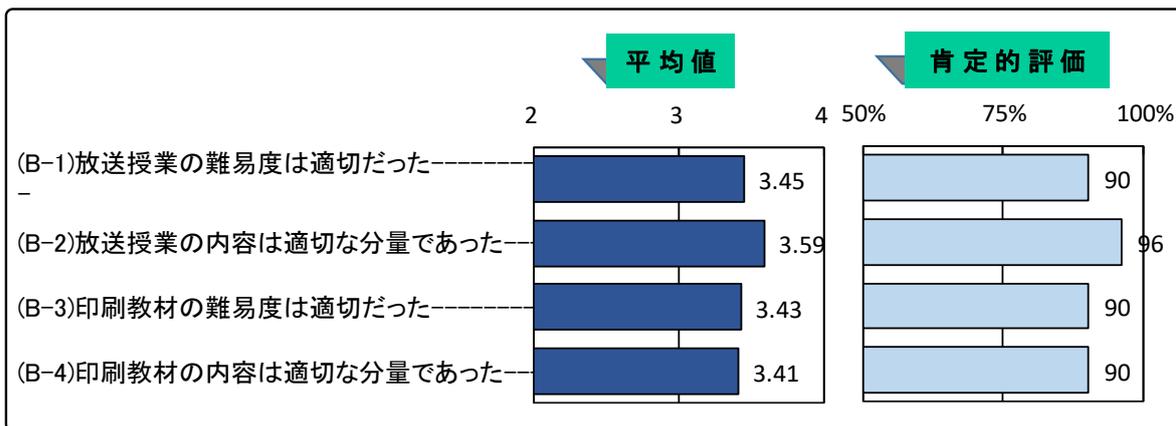


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとに見ていく。

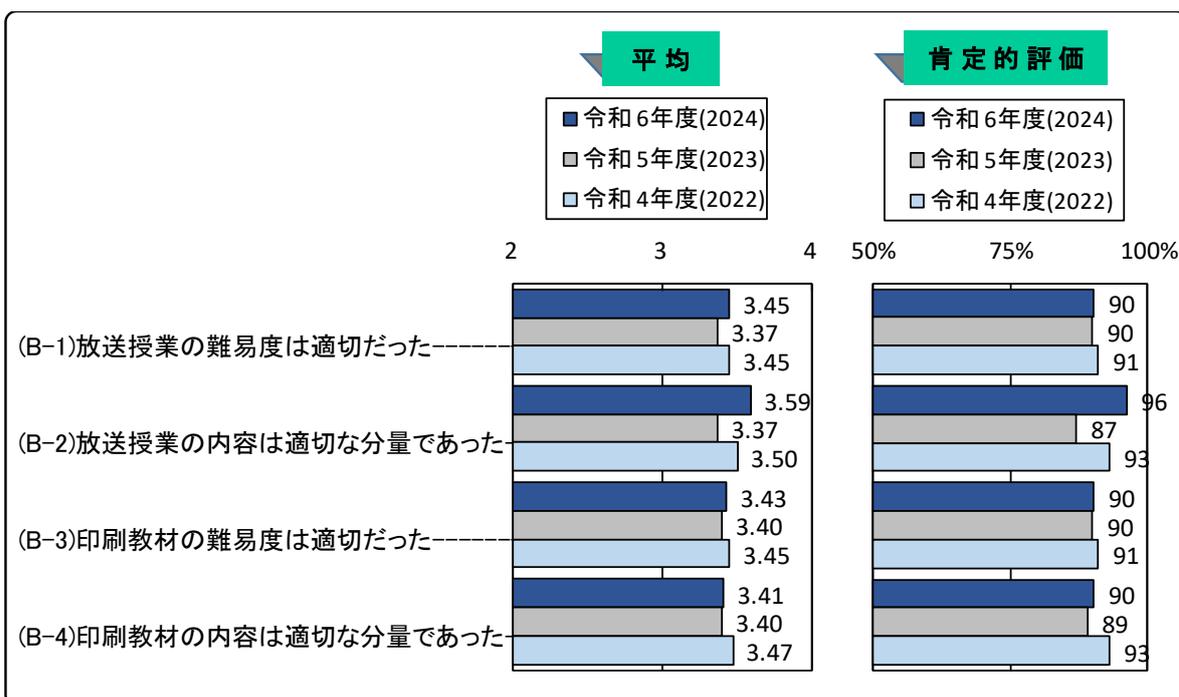
授業の難易度・分量の評価は（図2-68）は、全ての項目で90～96%と高い評価であった。

図2-68 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



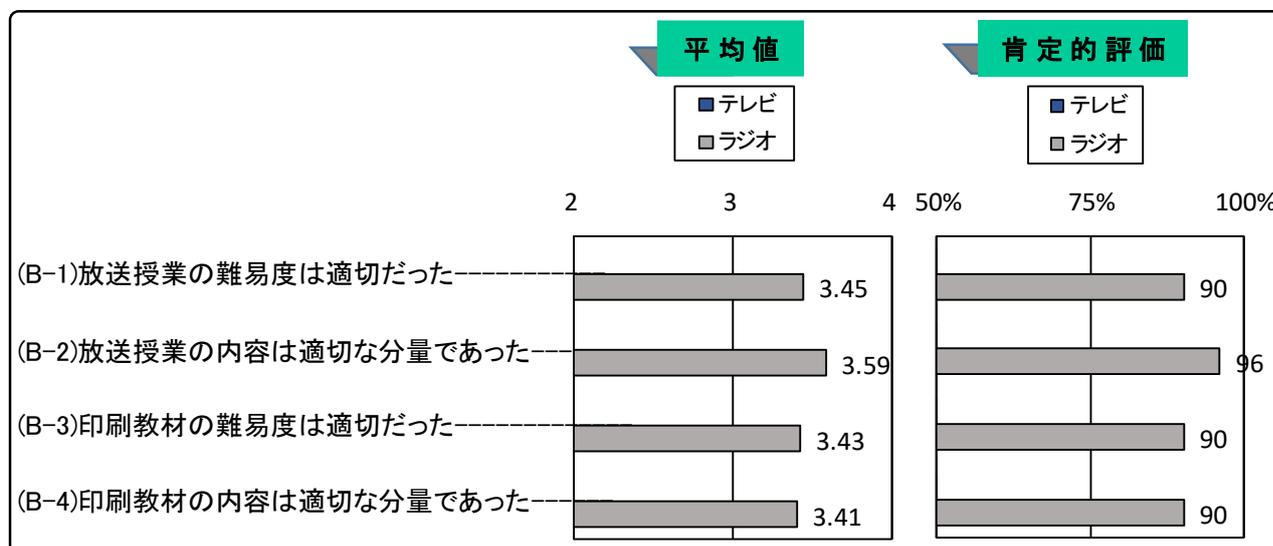
開設年度別では（図2-69）、本年度と昨年度を比較すると、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」はいずれも91%と変わらなかったが、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」(96%)は昨年度より9ポイントと大幅に上昇していた。(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」(90%)は、昨年度より1ポイントの上昇であった。

図2-69 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



ラジオ科目では（図2-70）、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」が96%と最も評価が高かった。

図2-70【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価

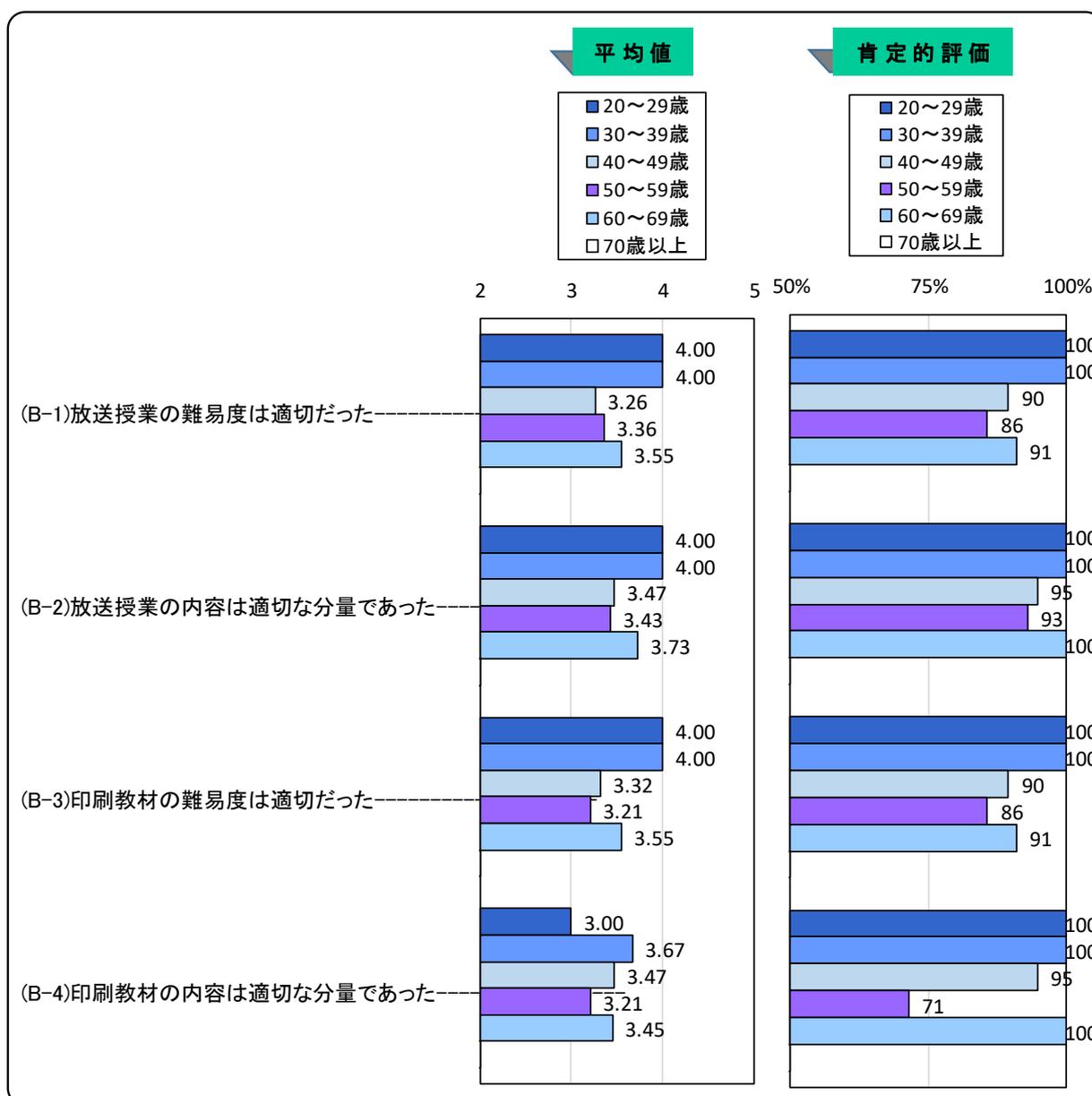


年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-71）、全項目において30歳代が100%と最も評価が高く、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」においては60歳代も100%と評価が高かった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」においては全年齢層で93%以上と評価が高かったが、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は50歳代が86%、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は同じく50歳代が71%と評価が低かった。

※「20～29歳」は回答者数が1人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-71 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価

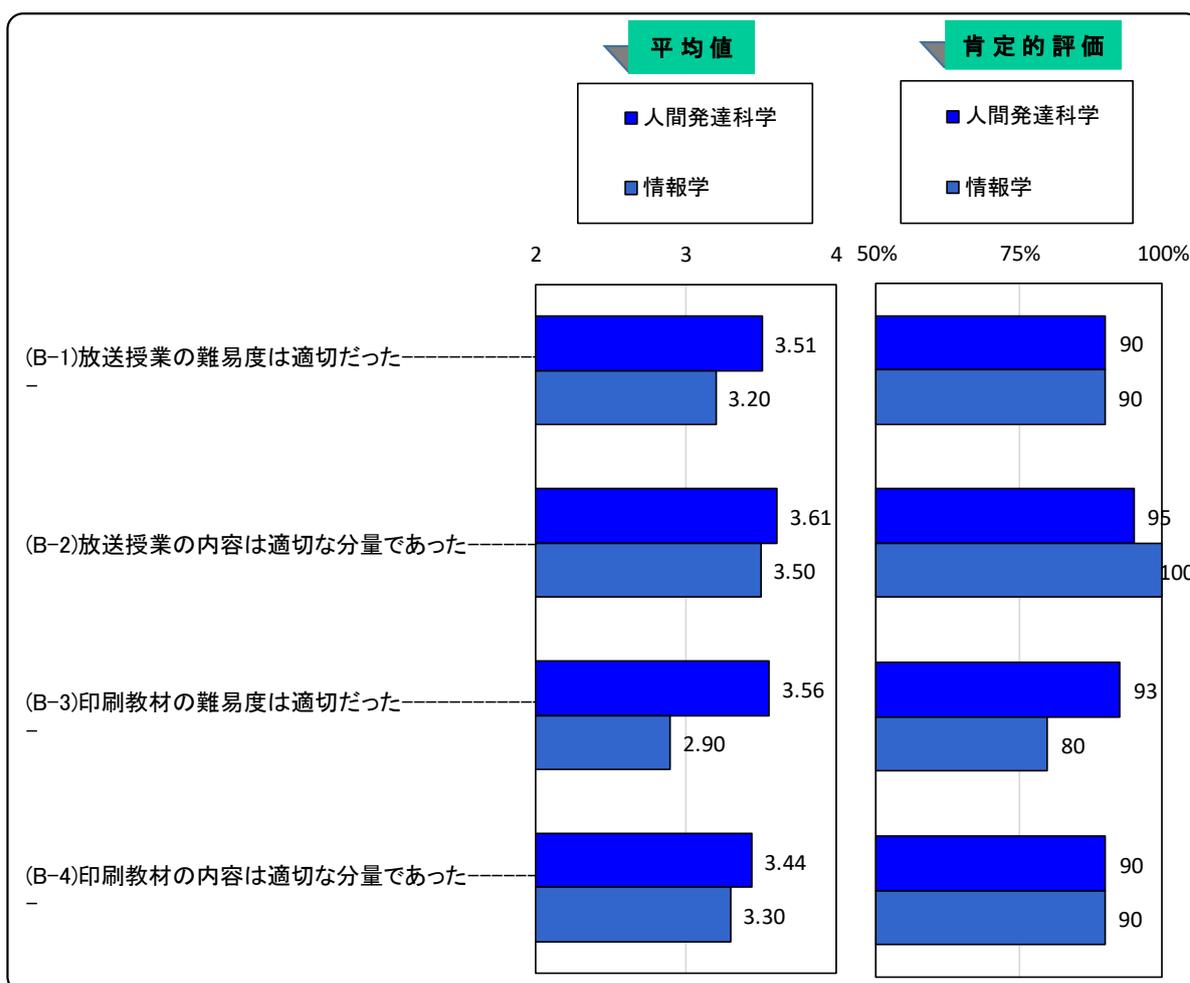


所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-72）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は、「人間発達科学」「情報学」ともに90%と横ばいだった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は、「情報学」が100%で評価が高く、「人間発達科学」は95%であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は、「人間発達科学」が93%と「情報学」を13ポイント上回る結果となった。

図2-72 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



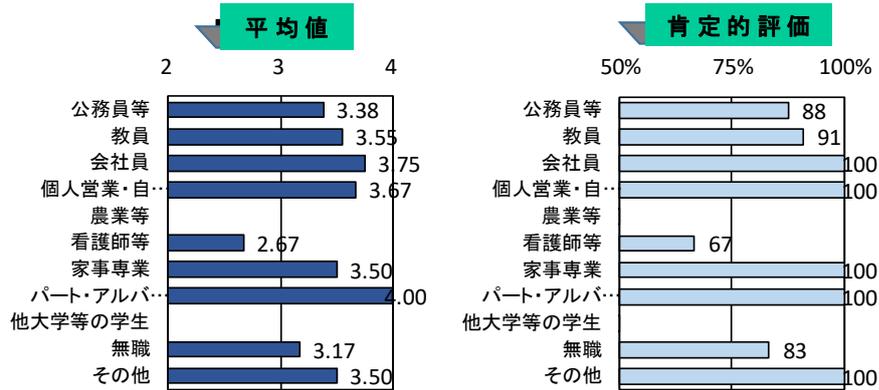
職業別に授業の難易度を見ると（次頁図 2 - 7 3）、全ての項目で「会社員」「個人営業・自営業」「家事専業」の評価が 100%と高い傾向にあったが、「看護師」が全ての項目で 67%と顕著に評価が低かった。

また、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」においては「その他」も 50%と顕著に評価が低かった。

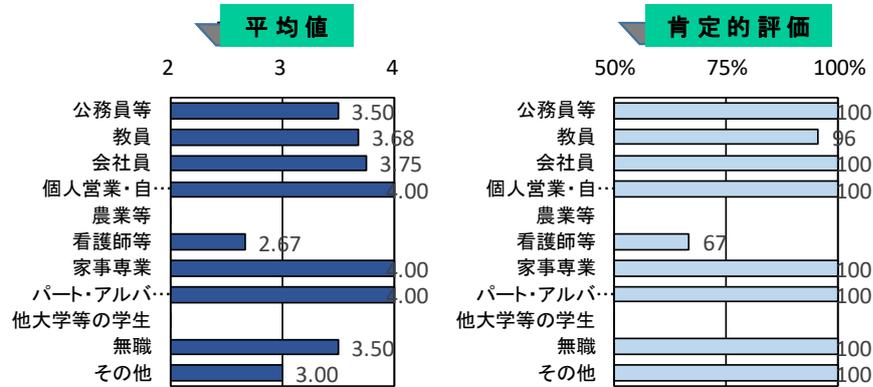
※「農業等」「他大学等の学生」は一人もおらず、「パート・アルバイト」(1人)は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図 2-73 【大学院】職業別の授業難易度の評価

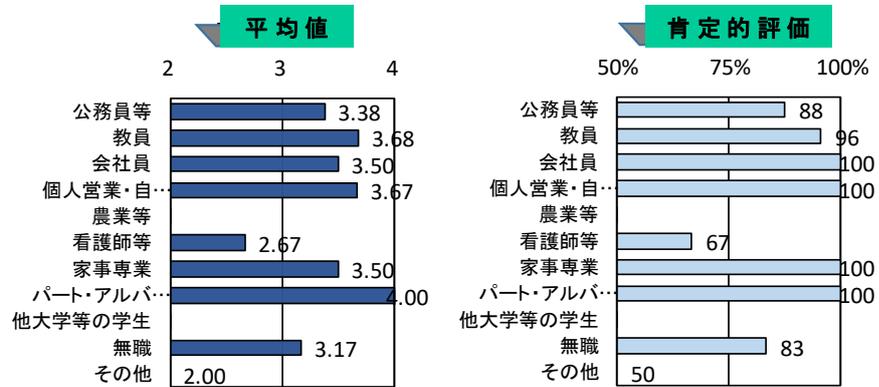
(B-1)放送授業の難易度は適切だった



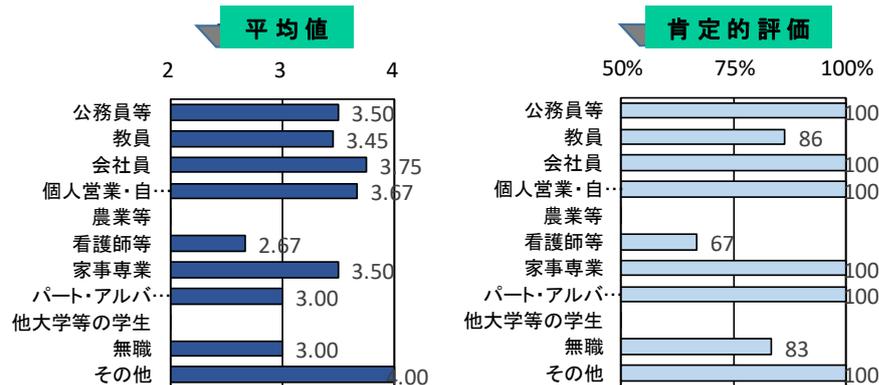
(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった



(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった

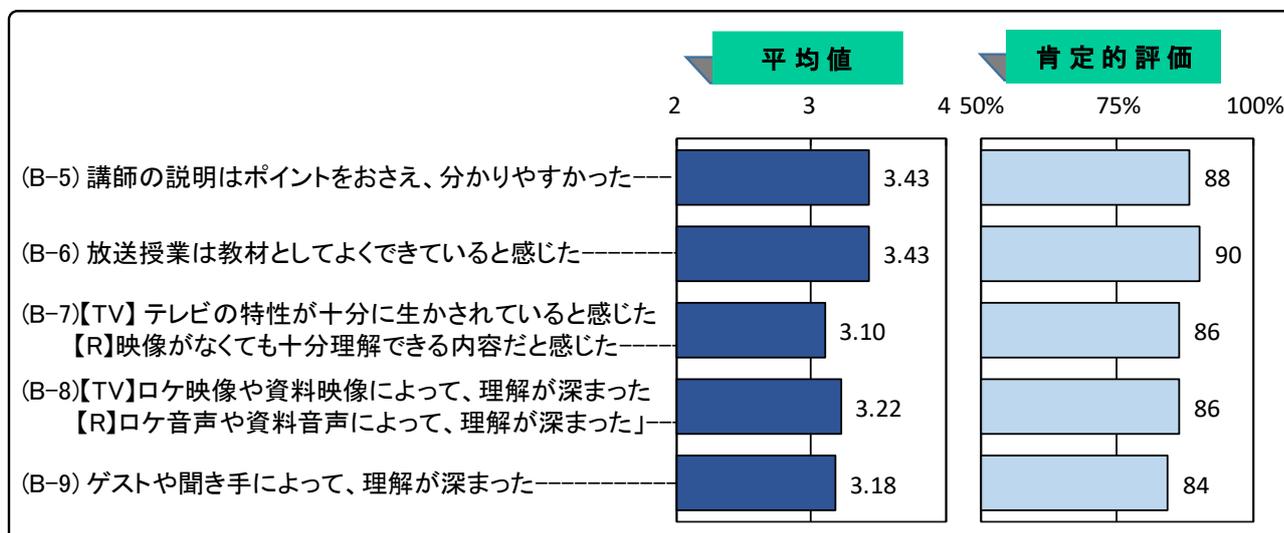


### (3) 放送授業

ここからは放送授業について評価項目ごとに見ていく。

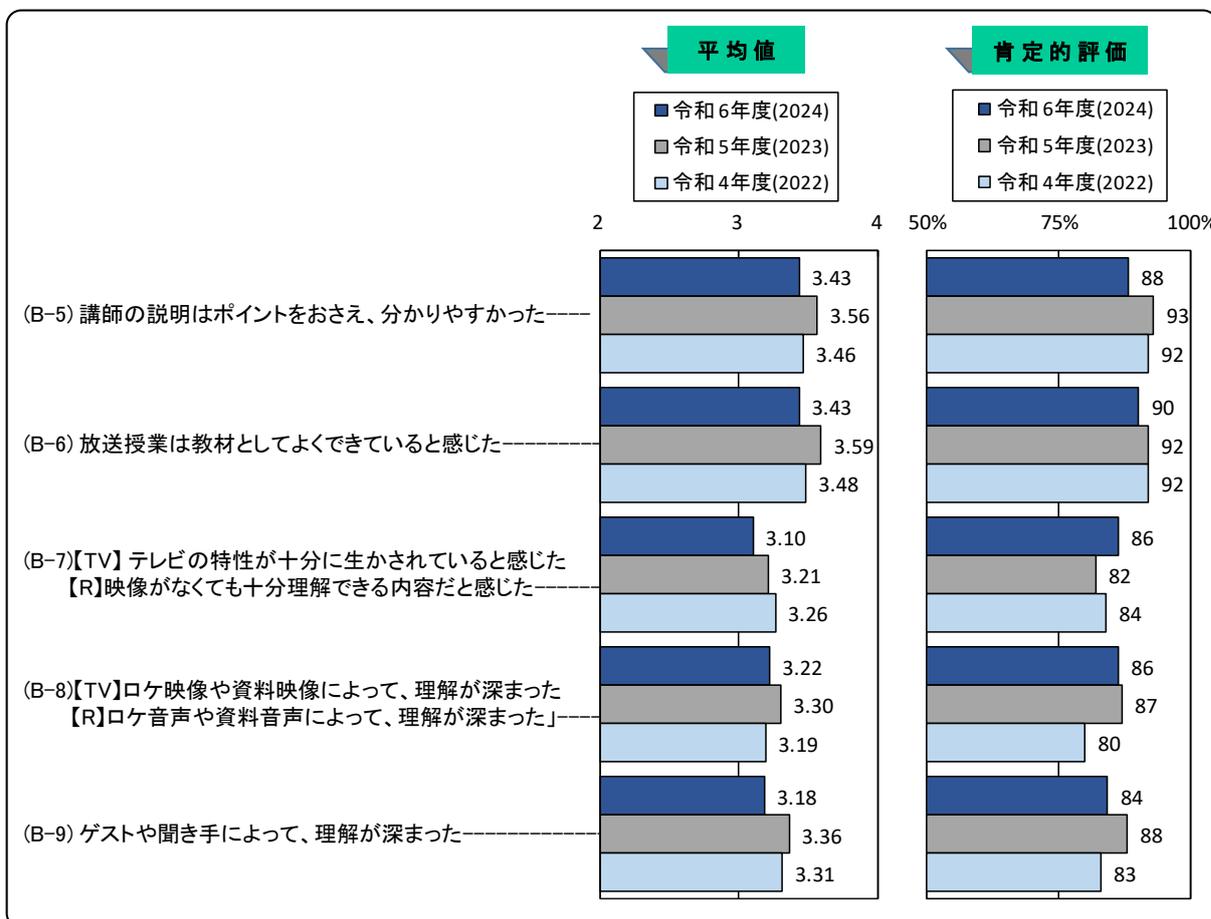
放送授業に関する評価項目を見ると（図2-74）、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が90%と最も高く、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」の3項目は86~88%であった。一番低かった項目は、「(B-9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった」の84%であった。

図2-74 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-75）、(B-7)「【TV】 テレビの特性が十分に生かされていると感じた」は86%と、昨年度より4ポイント上昇したが、他4項目についてはすべて、昨年度から減少した。

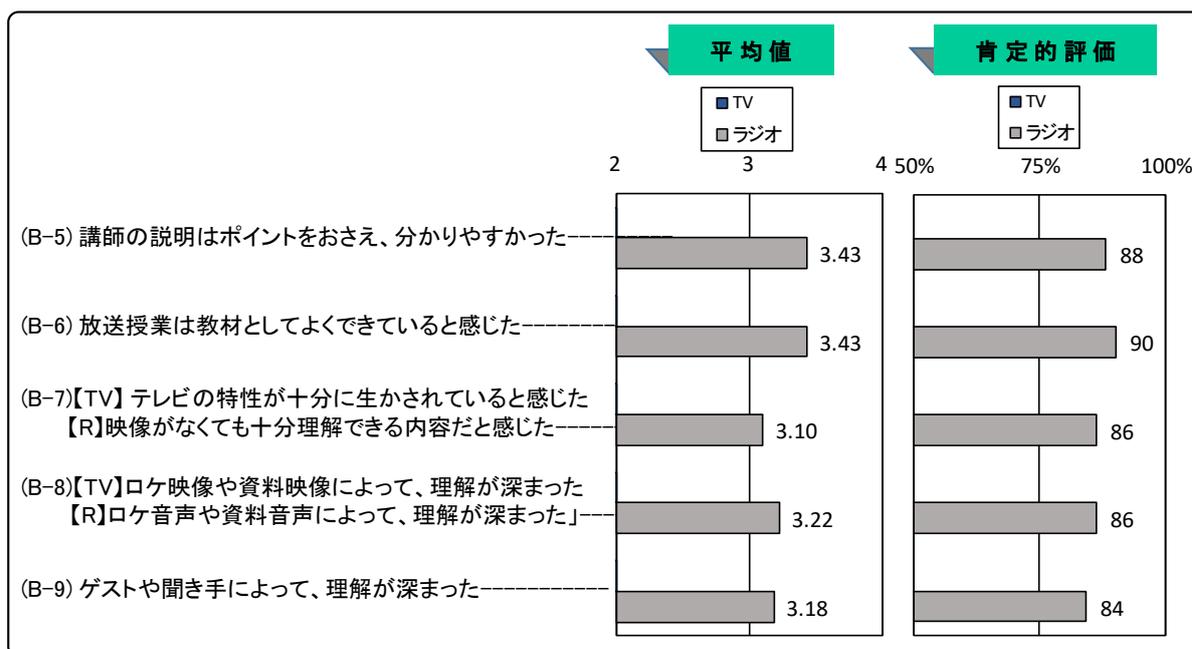
図2-75 【大学院】 回答者全体の放送授業の評価（時系列）



ラジオ科目の放送授業の肯定的評価を見ると（図2-76）」、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が90%と最も評価が高かった。

最も評価が低かったのは(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」の84%であった。

図2-76 【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）

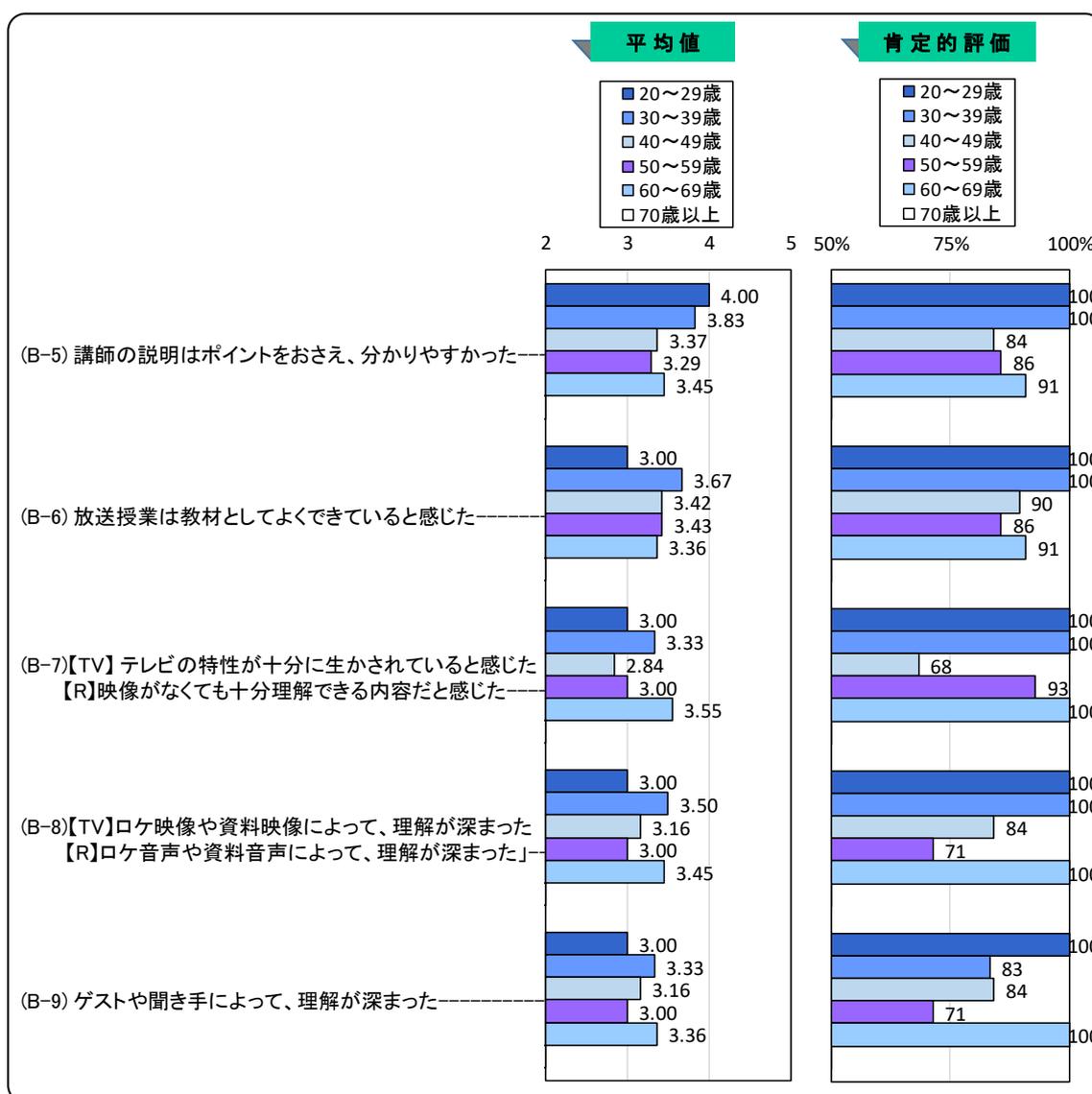


年齢階層別では（図2-77）、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」を除く全ての項目で30歳代が100%と評価が高かった。また、60歳代は(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」の3項目で100%、全体を通して91%以上と評価が高かった。

評価が低い傾向が見られたのは40歳代、50歳代で、(B-7)は40歳代が68%、(B-8)と(B-9)は50歳代が71%と突出して低かった。

※「20～29歳」は回答者数が1人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-77 【大学院】年齢階層別の放送授業の評価

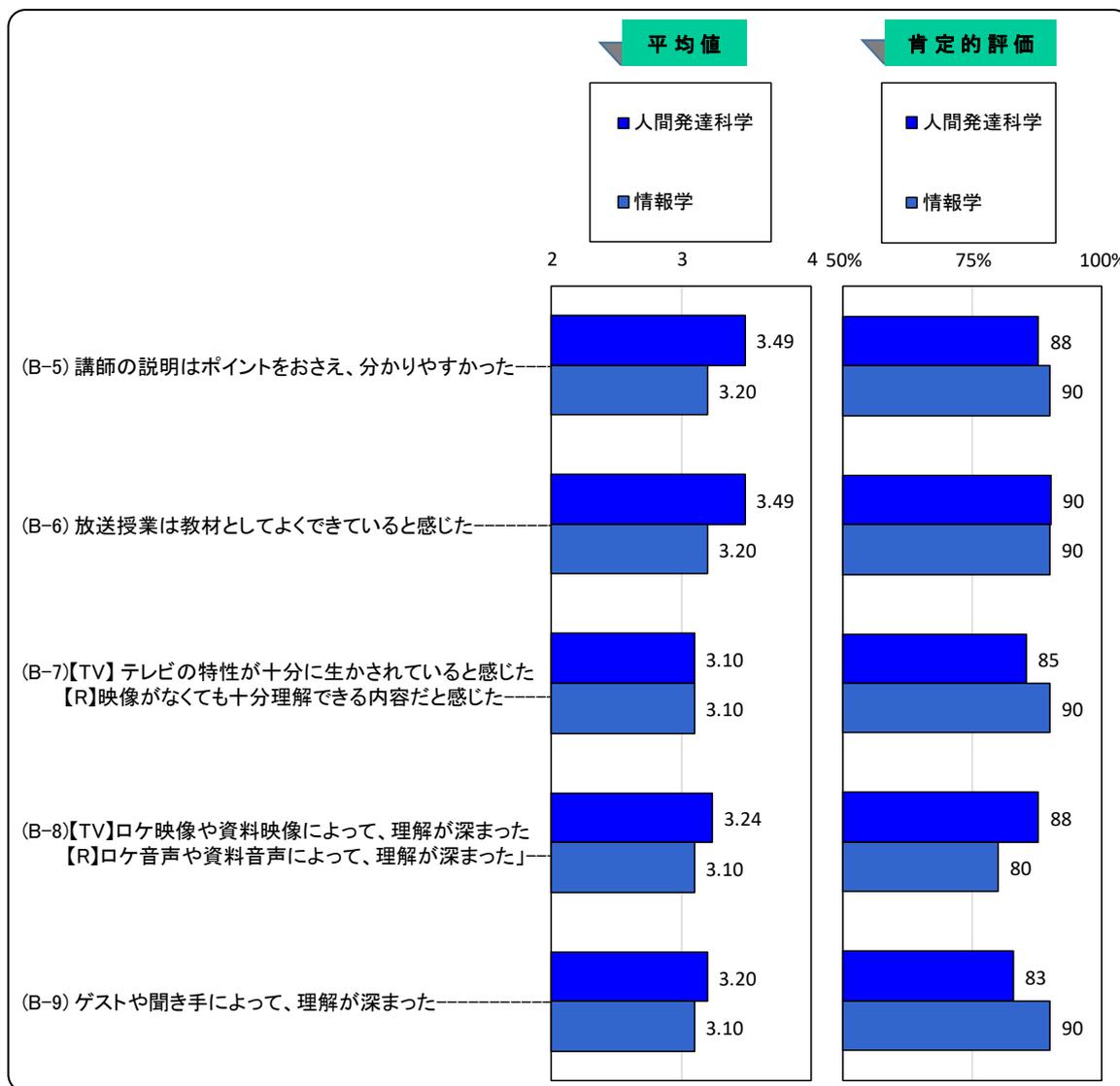


所属プログラム別では（図2-78）、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」以外の全項目において、「情報学」が「人間発達科学」より同水準もしくは評価が高かった。

(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」については、「人間発達科学」が88%、「情報学」が80%と、「情報学」の評価が低かった。

(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は「人間発達科学」が83%、「情報学」が90%と、「人間発達科学」の評価が低かった。

図2-78 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



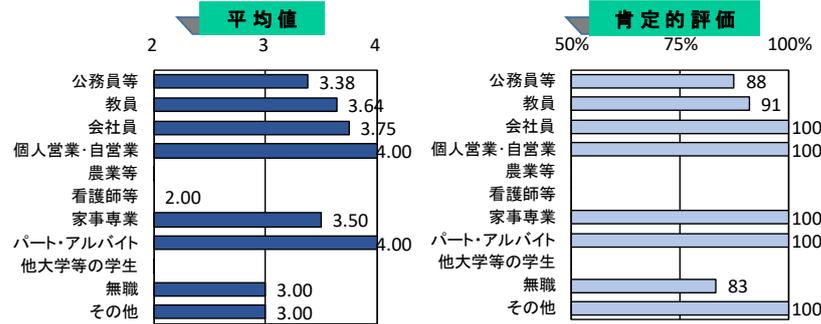
職業別では（次頁図2-79）、「個人営業・自営業」が全ての項目において100%と評価が高かった。また、「会社員」は(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」の全てが100%、「家事専業」が(B-8)(B-9)以外が100%、「無職」が(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」以外が100%と評価が高かった。

一方で「看護師等」については、(B-5)が33%、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」が67%と極端に評価が低かった。「家事専業」についても(B-8)(B-9)は50%と極端に評価が低かった。

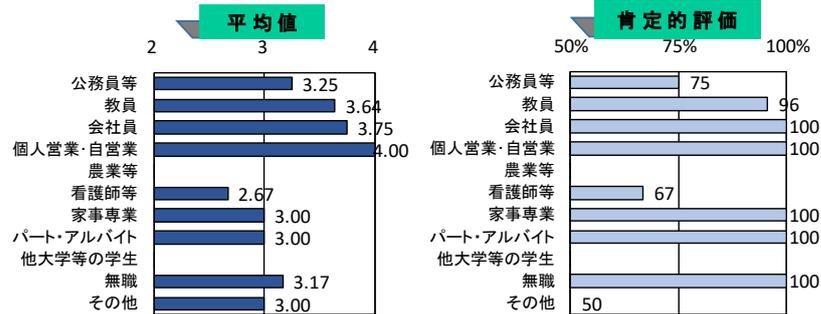
※「農業等」「他大学等の学生」は一人もおらず、「パート・アルバイト」(1人)は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-79【大学院】職業別の放送授業の評価

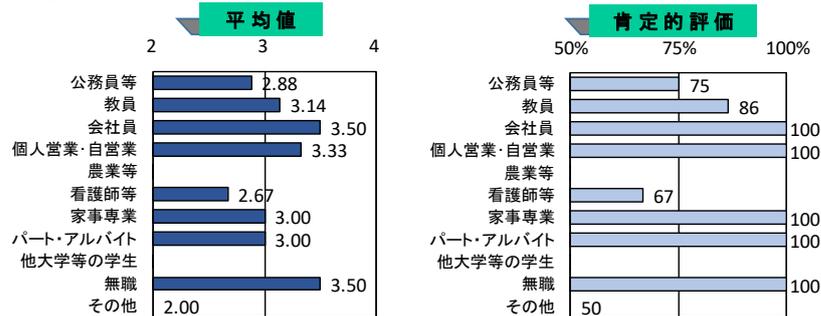
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



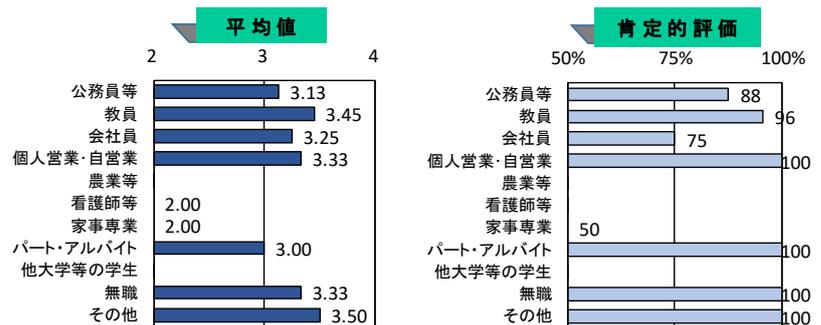
(B-6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた



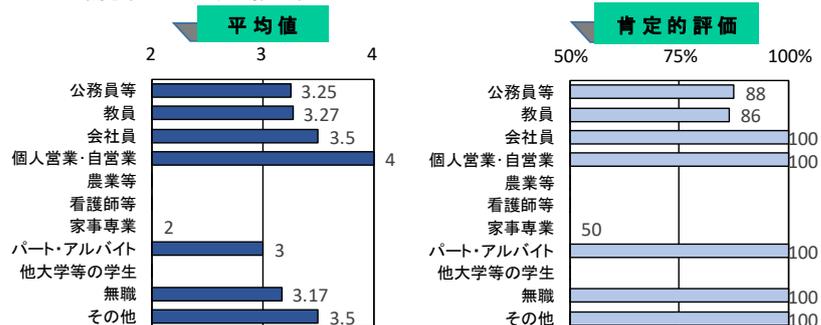
(B-7)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた  
【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた



(B-8)【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった  
【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった



(B-9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった

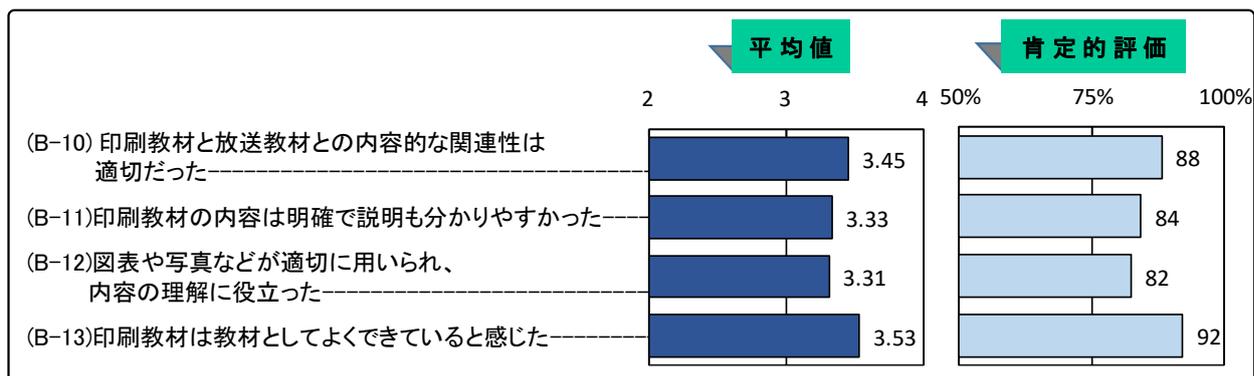


#### (4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

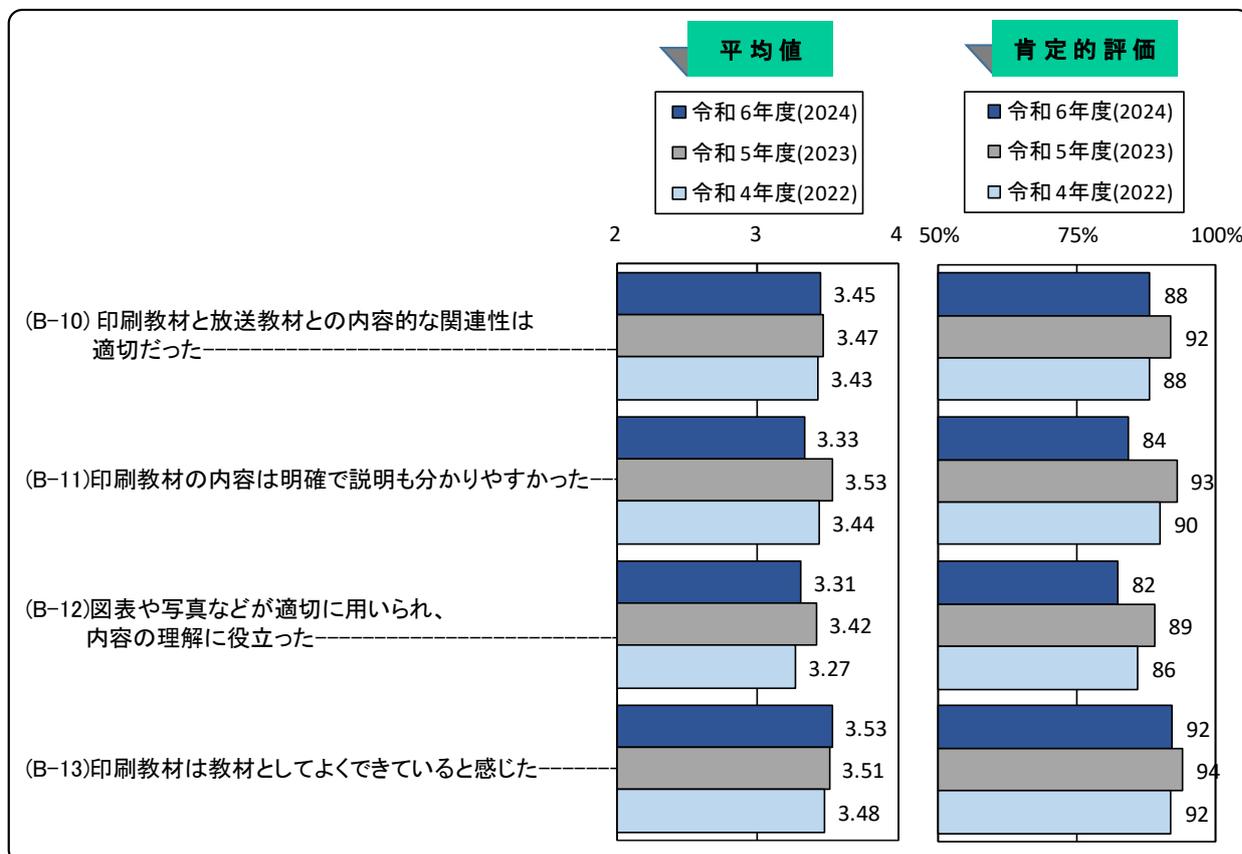
印刷教材の評価項目では（図2-80）、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が92%と最も評価が高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が82%と低い評価であった。

図2-80【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



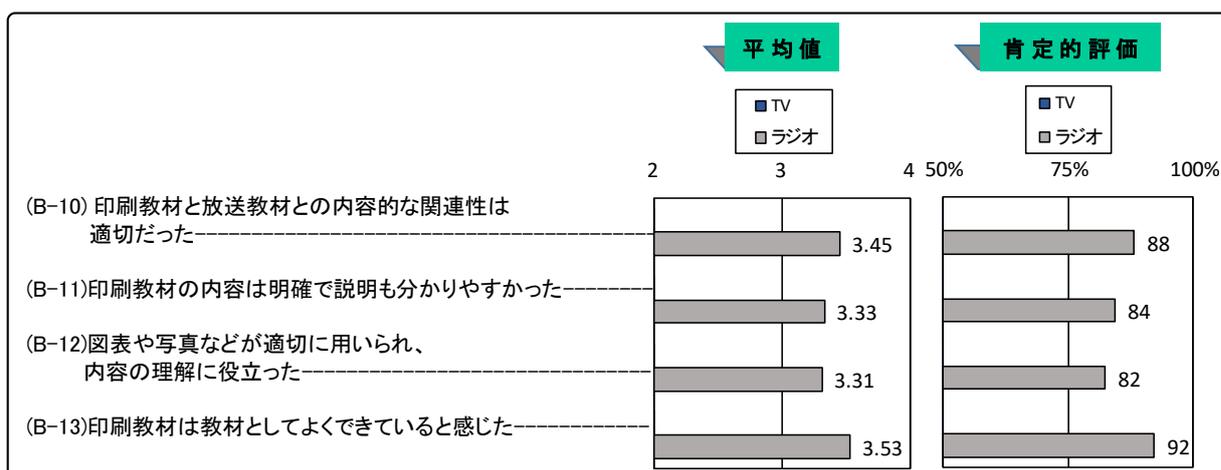
印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-81）、本年度は昨年度と比べ、すべての項目で昨年度を下回った。（B-11）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」については84%と、昨年度より9ポイント減と大幅に下落した。

図2-81 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



ラジオ科目では、メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-82）、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が92%と最も評価が高く、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」が82%で最も評価が低かった。

図2-82【大学院】メディア別の印刷教材の評価



年齢階層別の評価（図 2 - 8 3）は、30 歳代が全ての項目において 100%と最も評価が高かった。

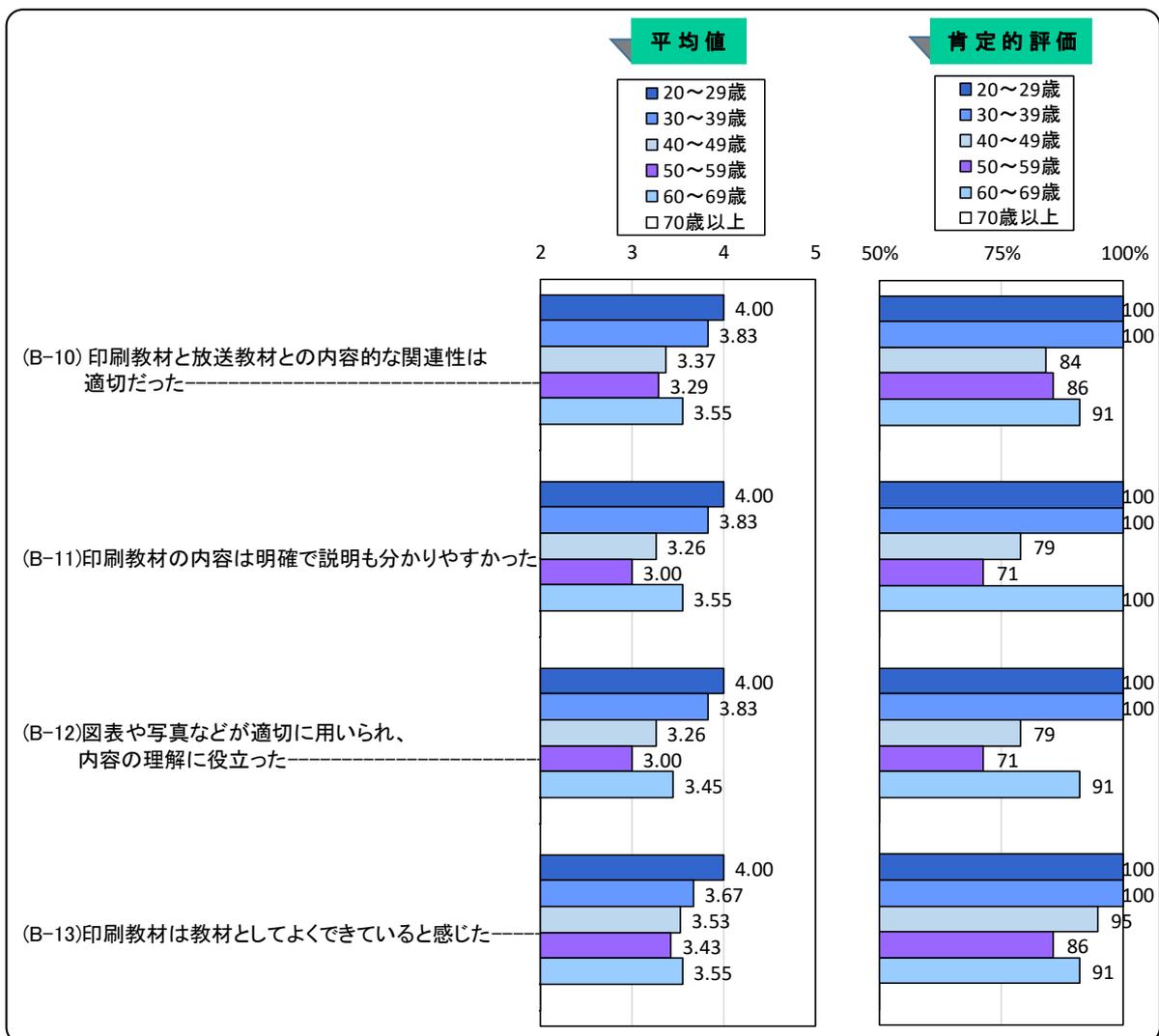
（B-10）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、40 歳代が 84%と最も低かった。

（B-11）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、（B-12）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、50 歳代が 71%と低かった。

（B-13）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、50 歳代が 86%と低い評価であった。

※「20～29 歳」は回答者数が 1 人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図 2 - 8 3 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



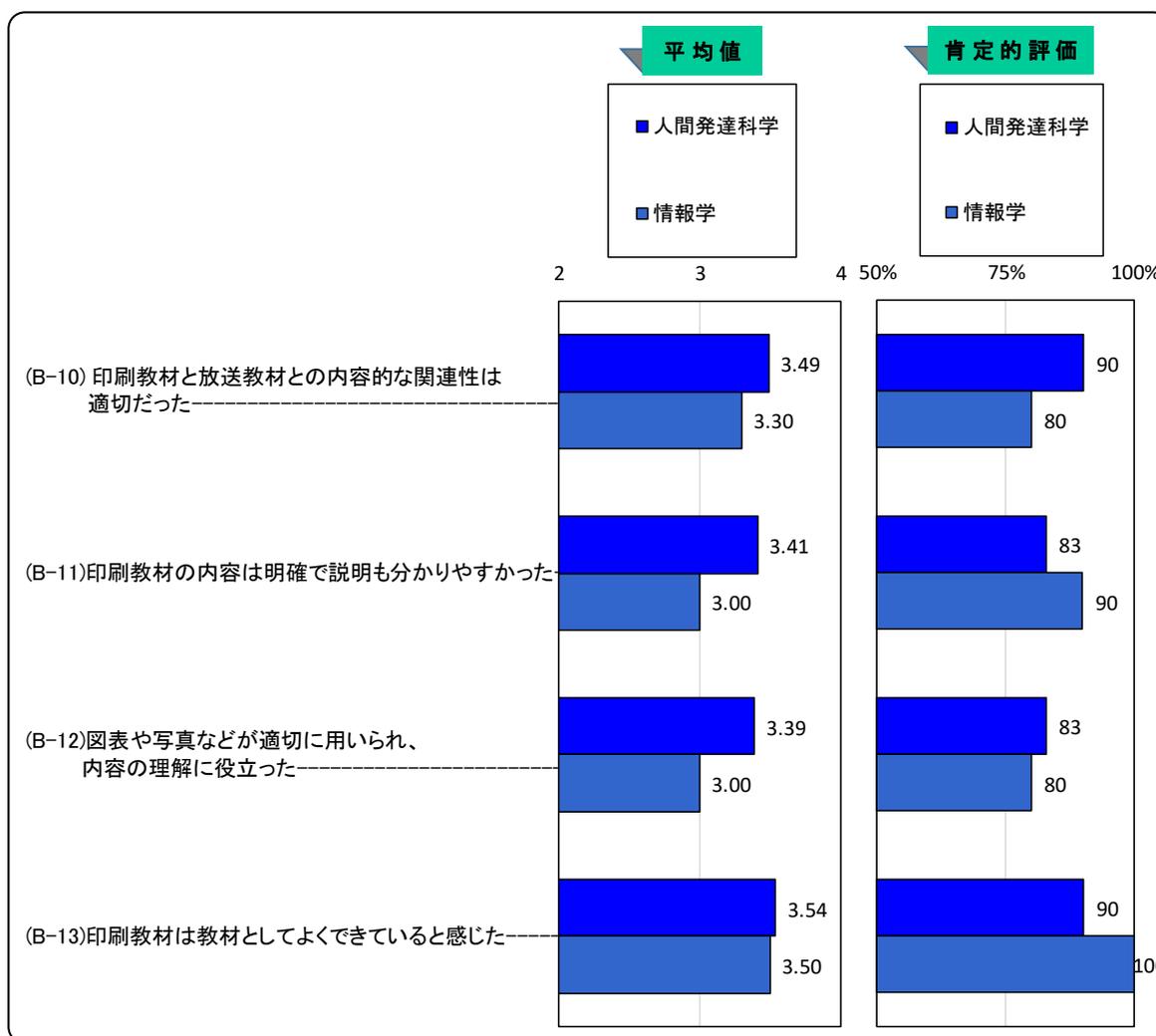
所属プログラム別の評価を見ると（図2-84）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、「人間発達科学」が90%と高く、「情報学」の80%を上回った。

(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では、「情報学」が90%と高かった。逆に「人間発達科学」は83%と低い評価であった。

(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、「人間発達科学」が83%、「情報学」が80%と横ばいであった。

(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「情報学」が100%で高く、「人間発達科学」の90%を上回った。

図2-84 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



職業別では（次頁図2-85）、全項目で「個人営業・自営業」「家事専業」の評価が100%で最も高くなっていた。

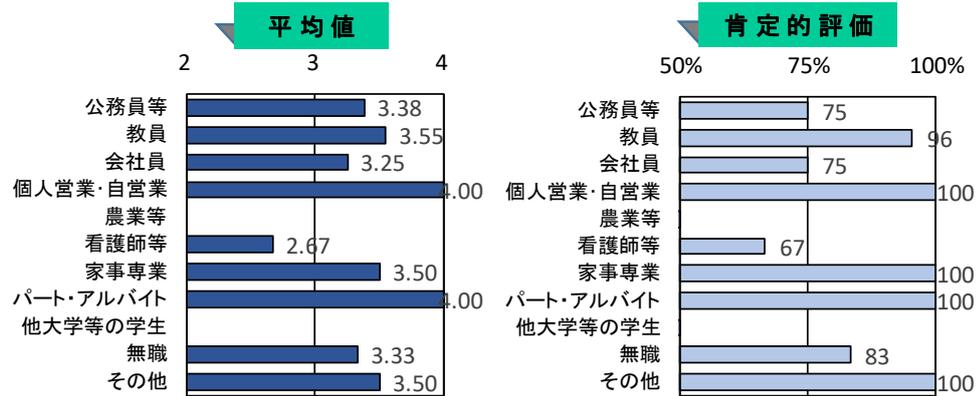
反対に評価が低かったのは、「看護師等」で、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は67%、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は33%と、顕著に低かった。

(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、「公務員等」の評価が75%と最も低かった。

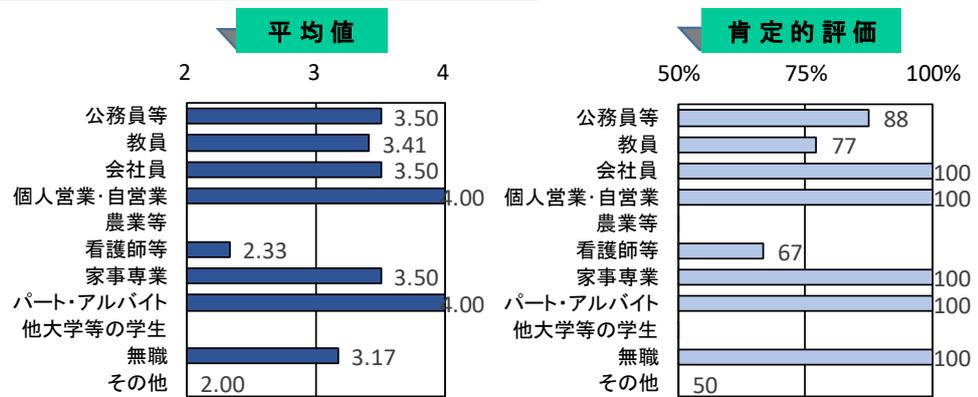
※「農業等」「他大学等の学生」は一人もおらず、「パート・アルバイト」(1人)は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-85【大学院】職業別の印刷教材の評価

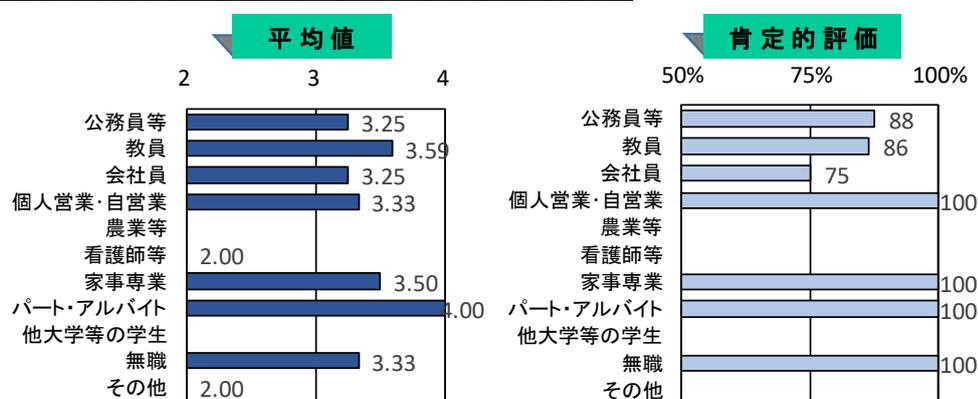
(B-10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



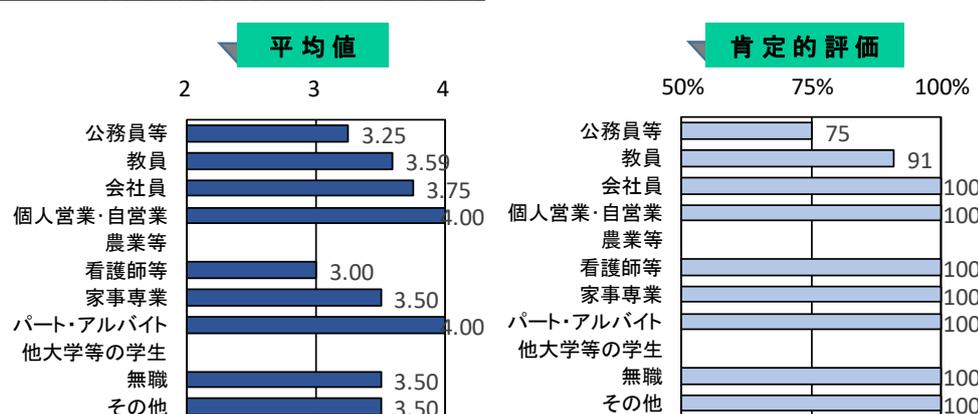
(B-11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた

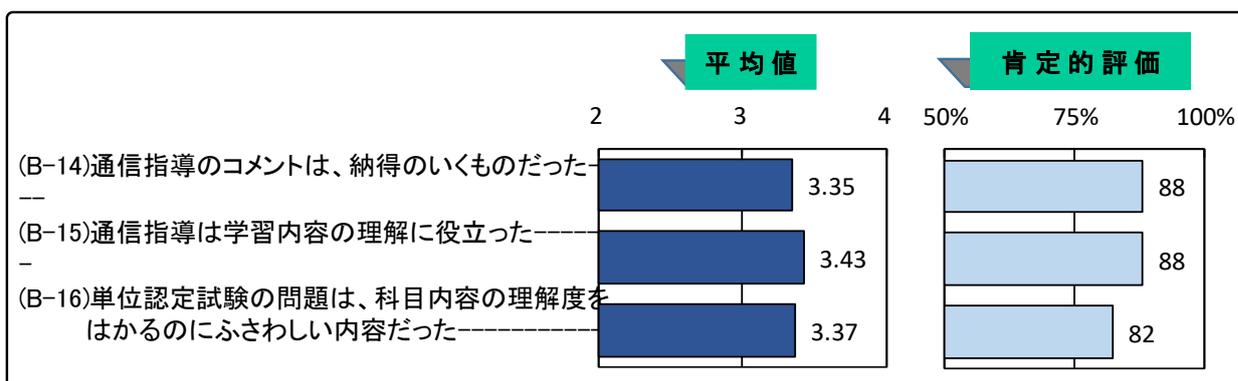


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

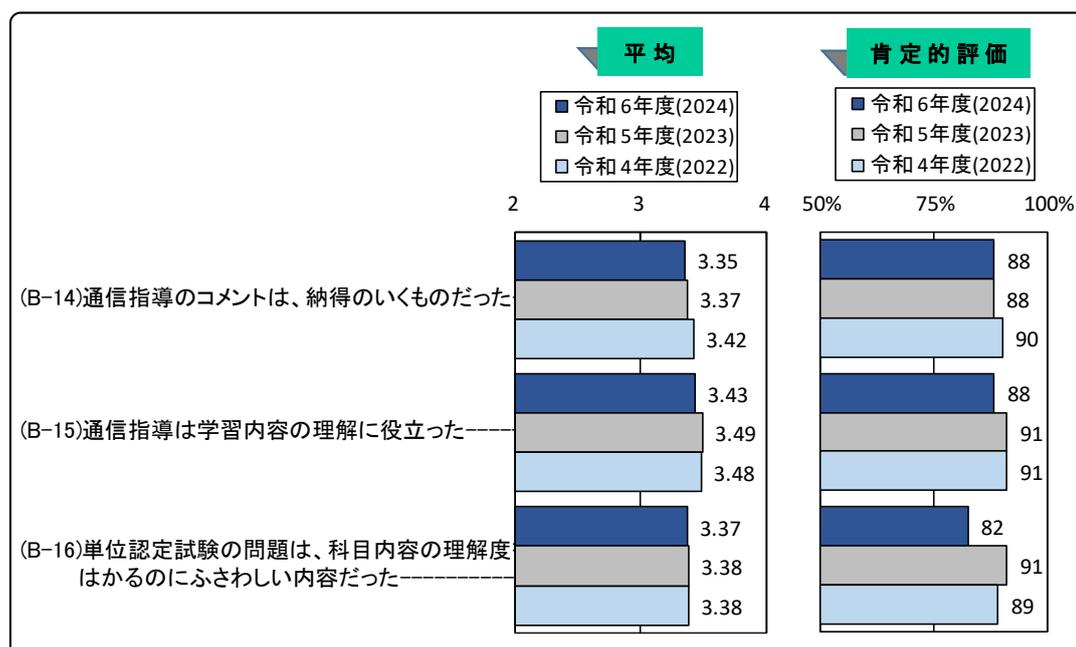
(図2-86)の通信指導については、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は88%と横並びであったが、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は82%と他項目より下回った。

図2-86【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-87)、今年度は(B-16)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が9ポイントと大きく下回っている。(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は横並び、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」、は3ポイントの減少であった。

図2-87【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)

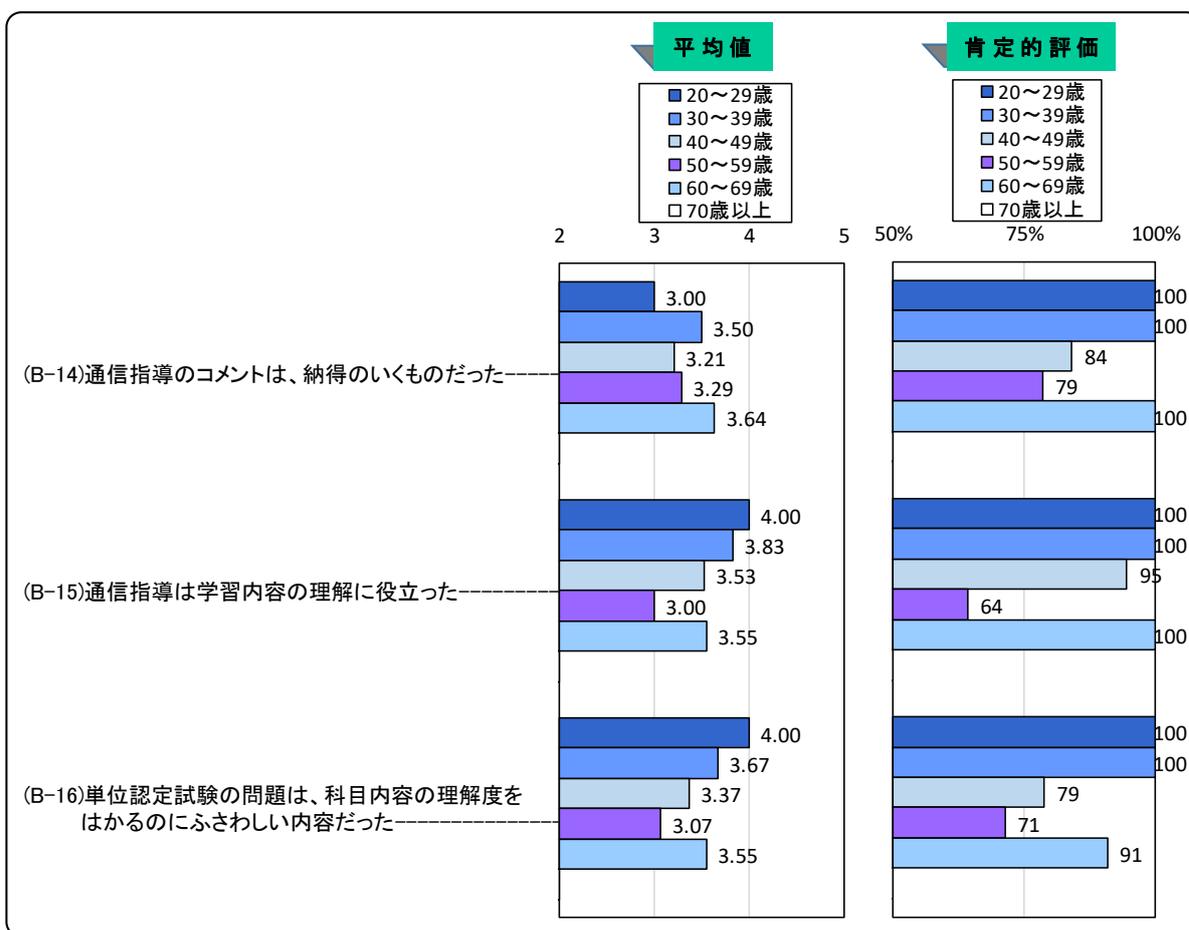


年齢階層別の評価（図2-88）では、全項目で30歳代の評価が100%と最も高かった。また、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は60歳代の評価も100%と高かった。

反対に50歳代の評価が(B-14)が79%、(B-15)が64%、(B-16)が71%と全項目で突出して低かった。

※「20～29歳」は回答者数が1人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-88 【大学院】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価

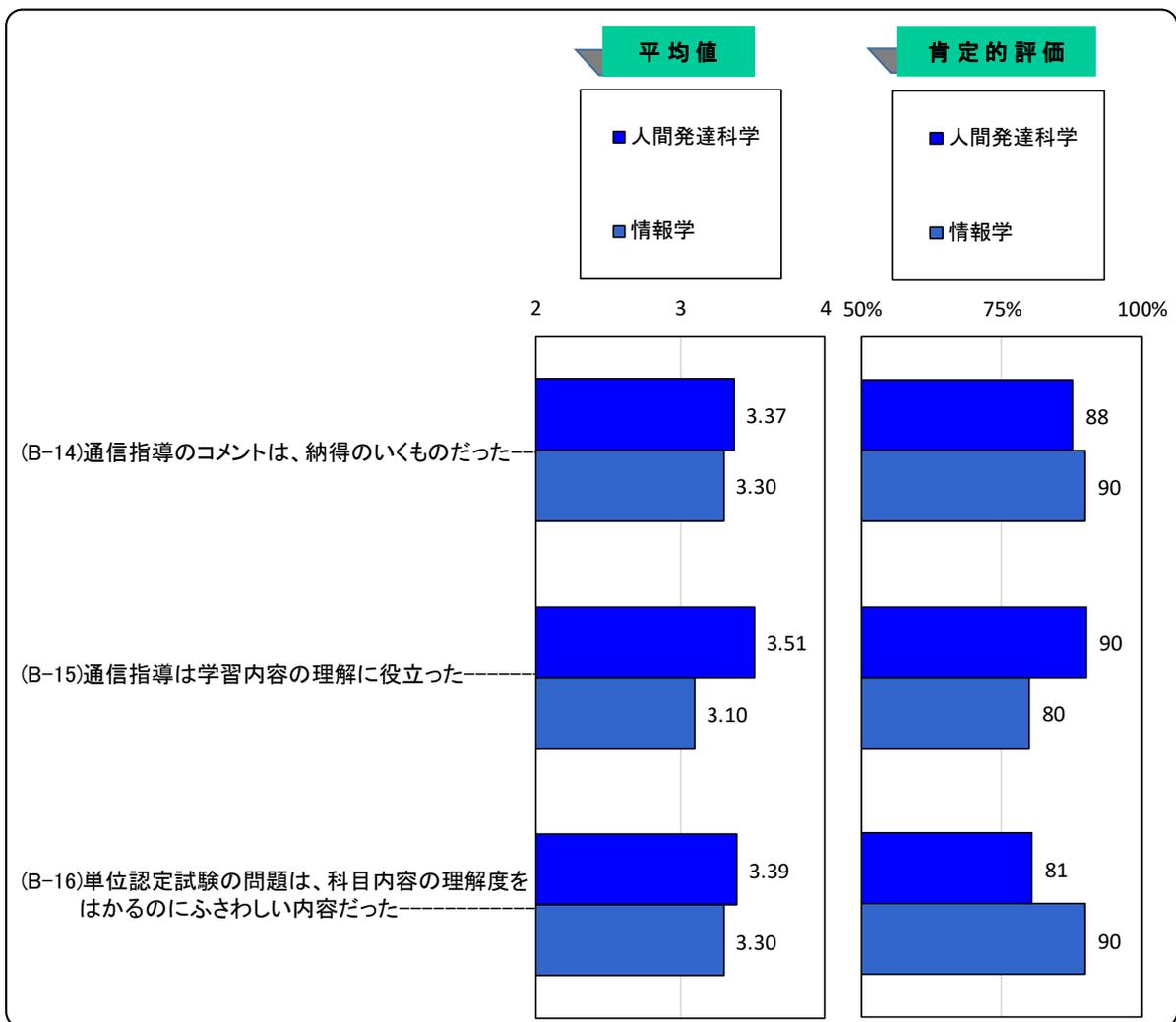


所属プログラム別では（図2-89）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は「人間発達科学」が90%と「情報学」の88%を上回った。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「人間発達科学」が90%と最も高く、「情報学」は80%と大きく下回った。

(B-16)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は、「情報学」が90%と最も高く、「人間発達科学」は81%と大きく下回った。

図2-89 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価

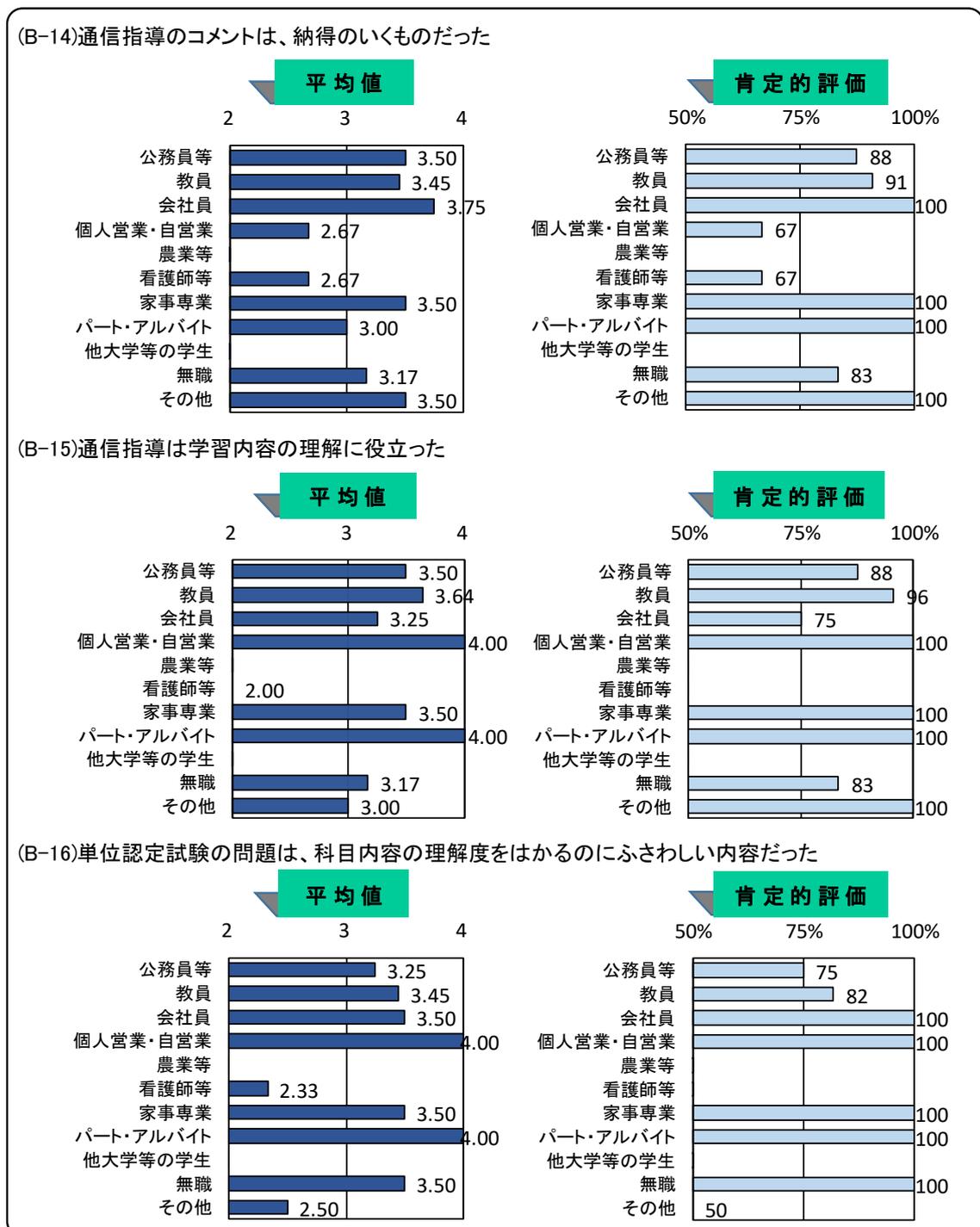


職業別では（図2-90）、全項目で「家事専業」の評価が100%で最も高くなっていた。

反対に評価が低かったのは、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「個人営業・自営業」「看護師等」がそれぞれ67%と低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「会社員」(75%)、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は、「その他」(50%)が最も低かった。

図2-90【大学院】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



## Ⅱ-2-4. 大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析を試みた。

その重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	$x_1, x_2, \dots$	各項目 B-1～B-20：全 20 問（項目）
係数	$a_1, a_2, \dots$	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式  $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ （説明変数が全 20 問の場合）

分析には、IBM SPSS Statistics 25 を使用した。変数選択方法は、ステップワイズ法を採用した。変数の選択基準は、F 検定有意確率で、投入  $F \leq .05$ 、除去  $F \geq .10$  とした。VIF はすべて 10 未満で多重共線性がないことを確認したうえで重回帰分析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 51 人のローデータを使用した。

最終的に 17 変数が除去され、3 変数のモデルとなった。結果は以下の通りである。

### ■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力（寄与度）があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.812 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 1.748 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

### ◆分析精度

決定係数	0.901
自由度修正済み決定係数	0.812
ダーヴィンワトソン比	1.748
残差の標準偏差	0.304

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	24.627	50				
回帰による変動	20.001	3	6.667	67.722	0.000	[**]
回帰からの残差変動	4.627	47	0.098			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-2「放送授業の内容は適切な分量であった。」で 0.515、続いて B-18「放送授業の内容は適切な分量であった。」(0.365)、B-13「印刷教材は教材としてよくできていると感じた。」(0.262)と続いていた。今後、「全体の満足度」(本年度の肯定的評価 92.2%)を上げるためには、この 3 項目の肯定的評価を上げる事が、効果的であると考えられる。

目的変数	標準 偏回帰 係数	説明変数	判定
B21-全体の満足度	0.515	B-2放送授業の内容は適切な分量であった。	[**]
	0.365	B-18学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	[**]
	0.262	B-13印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	[*]
		定数項	[*]

### Ⅲ. 自由記述のまとめ

自由記述については、オンラインを除く放送授業受講者には以下の4問の質問を行った。

C-1.この科目を受講してよかったと思う点

C-2.この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）

C-3.この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点

C-4.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

また、オンライン受講者には、下記3問の質問であった。

B-19.この科目を受講してよかったと思う点

B-20.この科目を受講して改善すべきだと感じた点

B-21.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

掲載した内容は、自由記述のグラフ、代表的な意見の抜粋、個々の記述内容を要約し、それぞれをカウントした、度数カウント表である。

グラフ化した質問内容は、放送授業では前掲の C-1～C-3 を、オンライン授業では B-19、B-20 である。

### Ⅲ－１．学部（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。  
よかった点は、当該科目について回答された項目が3%以上となったものを掲載した。  
改善点は、当該科目について回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

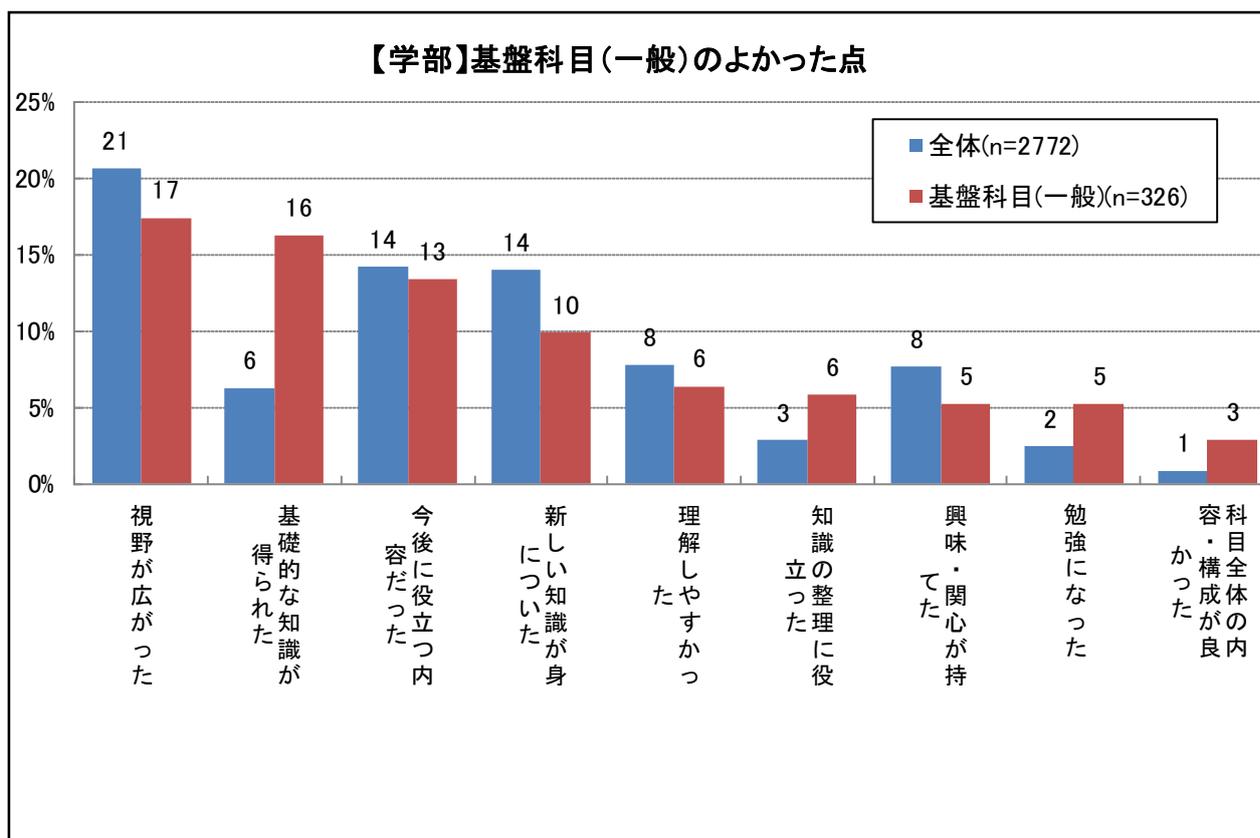
※改善すべき点については、前ページの C-2 と C-3 の問いをまとめて集計した結果を用いた。

#### 【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

##### よかった点

「視野が広がった」（17%）、「基礎的な知識が得られた」（16%）、「今後に役立つ内容だった」（13%）、「新しい知識が身についた」（10%）、「理解しやすかった」（6%）が上位に挙げられていた。

図 3－1 【学部】よかった点

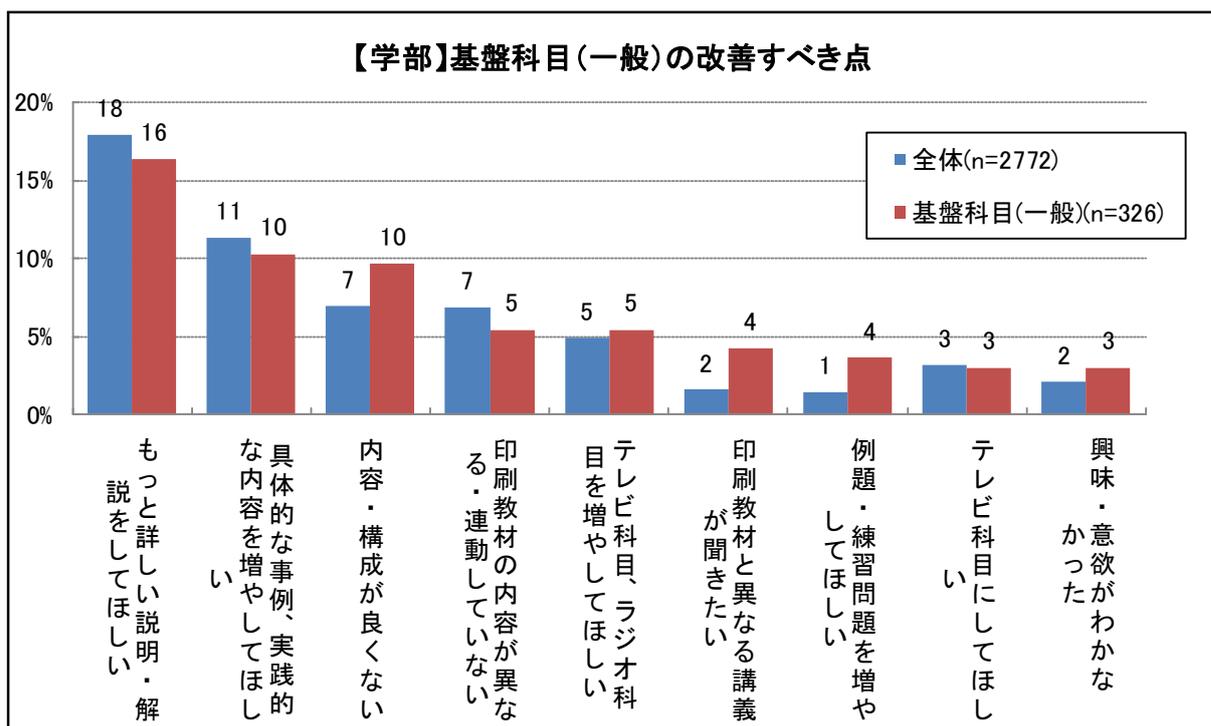


## 【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」（16%）が最も高かった。次いで、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」、「内容・構成が良くない」（10%）が高く、「印刷教材の内容が異なる・連動していない」、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」（5%）、「印刷教材と異なる講義が聞きたい」が4%で挙げられていた。

図3-2 【学部】改善すべき点



## 【学部】「基盤科目（一般科目）」 抜粋

### よかった点

- 心理学の勉強そのものの復習教化になり教材だけで理解できるものになっていました。
- 科目タイトル通り、心理学への導入として初学者に興味を持たせる内容だった。
- 世の中に統計学がこれほど浸透しているとは知りませんでした。学べば学ほど深いものだと驚きました。これから伸びていく、必須分野と感じました。
- 統計学を勉強する上で復習することができ、新たな内容についても学ぶことができよかったです。
- 広く考えることが少しできそうだった。また、教育相談センターの話が具体的でよかった。
- 心理や教育への勉強をこれからするうえで、どのようなことを勉強するか理解出来ると感じた。
- 統計についての知識が身についた。
- 確立や検定・相関関係など統計学の成果は世の中の状況を分析・把握するのに大変役に立つと考えている。
- 心理学の基盤科目として受講しました(専攻は心理学と教育学ではない)最低限の基本的な学びだったと思います。
- 教育には関心があったが、心理学にはあまり関心がなかったため、心理学にも関心が広まった。
- 心理について書物を使用しての独学のみであったが、あらためて基礎学習を通しての探究が深まり良かったです。
- 内容量はボリュームがありました。
- 統計についての知識を得ることができた・統計データとして何がどこにどの程度あるのか(公のもの)を知ることができた・簡単な統計分析をする自身がついた・すでに社会ではいろいろなところで統計がされているということがわかった
- 「こんなところにも心理学」というインタビューが、印象的で毎回興味深く聞かせてもらいました。今までの自分の経験や知識の範囲では、全く知らないところで心理学が使われていることを知っただけで、単純に「おもしろい!」という感想でした。
- 統計学についての基本的な知識を得ることができたと思います。
- 心理学という漠然としていたものが、詳細に分かれていて、研究されていることが分かり興味がわきました。自分に置き換えることもでき楽しかったです。
- 統計についての理解が深まった
- 幅広い分野であるとともに、もっと理解を深めたいという意欲が湧いてきたことが良かったと思う。
- これから心理学を学び進めていくための、おおよその内容が把握できた。
- 統計というものについて基礎から学ぶことができ、リアルな仕事でも生かせるスキルを得られた。
- 統計学を基本から学ぶことができた。
- 統計の基本量を改めて認識するのに役立った。
- 中学校技術の教免取得に必要なから。
- 統計学の基礎が学べたこと。実社会での統計応用例が毎回紹介され為になりました。
- 統計が身近で興味深いものであることが、よくわかりましたが、その奥の深さが推測され実感を伴った理解までには至らなかったと思います。また今後独力ではなかなか習得理解が難しいと思うもののように学習していけばよいかがよくわからないままです。
- 知らないことばかりの分野で、昔と現在の状況が良くわかり、それでもまだ課題が多いのだと理解しました。
- 講義やエクセル資料が充実しており、よく理解できました。
- 真理と教育に関する学習の導入として、相応な内容だった。

## 【学部】「基盤科目（一般科目）」 抜粋

### 改善点

- 印刷教材を読み上げているだけの時間が非常に長い。印刷教材の内容を噛み砕いて説明したり、補足して下さるのなら聴く価値も感じるが、印刷教材を読み上げるだけなら自分で読んだほうが捗る。
- 印刷教材と同じ内容を読み上げていることが多く感じた。印刷教材だけでは理解が難しい部分の補足があってほしい。
- 映像はとても理解しやすいお話でした。印刷物と映像両方の理解を求める試験に苦勞をしましたが、勉強をする実感が強く感じた科目でした。
- エクセル教材が充実すると、実践的な演習ができるように感じました。
- 印刷教材の読み上げに近い内容となり、ラジオ科目の性質上やむを得ないが印刷教材を補完する役割が発揮できなかった。
- 印刷教材より映像教材のスライドのほうが見やすいのにスクショなどができないので印刷教材に補足内容を書き込むということをしなければならなかったのが大変だった。
- 印刷教材を読んでいるだけの回は、メリハリがなく頭に残りにくかった。
- 既に高品質な内容であり、副教材としてウェブサイトがあるなど、完成度が高い。
- 印刷教材にあること以上のことを話していただき、図表・グラフなどを印刷教材に多用されるともっとわかりやすく興味深く学べたように感じました。
- 印刷教材を読み上げるだけでなく、間で面白い講師の話も聞けるようにしてほしいです
- 印刷教材に数式が多いのは、学習に抵抗感を生じさせる。
- 公式を教材に分かりやすく、見やすく書いてほしいなと感じた。
- 印刷教材に図表があると、本をパラパラとめくるだけでどんな内容かが分かりやすいです。またノートを作る時、図表は優先的に書き写す対象になります。本科目の印刷教材には図表のない回が多かったのが、少々残念です。
- 印刷教材の内容をそのまま音読している章があり、残念な気持ちになりました。わかりやすく要約した内容やポイントを押さえた音声での指導が欲しいと感じました。
- 高校卒業して何十年も過ぎてからの学習です。数学の公式さえ定かでないため、印刷教材に公式表を加えていただくと助かります。
- 統計の補助教材の問題は答えしか載っていないので、計算方法も記載してほしい。答えだけではどのように解いたらいいか分かりません。問題の解答を動画で解説してほしいです。
- ダウンロード教材もとてもありがたいものではありましたが、若干使い勝手が悪く、どのような段取りで取り組めばよいか迷うことが多かったのが、そのあたりまでフォローいただけたら学習しやすかったです。
- 印刷教材を見返したとき、大事な所要点を一カ所にまとめページがほしいです。
- 印刷教材の練習問題の問題数をさらに増やしていただきたいです。
- 身近な統計という題目なので、どういったものが集計されどのように私たちの生活に利用され今後どういったことに注意しなければいけないかといったことの踏み込んだことが欲しかった。
- ロケを取り入れて、「身近な統計」としてよりよく現実的に理解できるような工夫をしていただけるとよりよくわかりやすくなると思います。
- 自分は少し中だるみをしました。どの回も充分に面白そうな内容だったのですが、主任講師の苑先生の回が少なかったのもう少しお話をお聞きしたかったです。色々な内容を網羅しているので、数多くの先生からお聞きできるのはいいのですが。
- 練習問題をもう少し取り上げてほしかった。自分が文系の大学出身だったせいかな、式の説明がわかりにくかった。
- よく練られている内容と感じました。改善というのはキリがないと思いますが、例えば身近な事例を取り上げていく方向性のようなものは今後ともいいのではないのでしょうか。

## よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった	3	27	30	科目全体の内容・構成が良かった		5	5
基礎的な知識が得られた	17	11	28	楽しかった	1	2	3
今後に役立つ内容だった	14	9	23	理解しやすかった	2	1	3
新しい知識が身についた	7	10	17	授業各回の内容・構成が良かった	1		1
知識の整理に役立った	8	2	10	良い授業だった		1	1
勉強になった	6	3	9	メディアの特性に合った授業内容だった		1	1
興味・関心を持てた	2	7	9	ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった		1	1
理解しやすかった	4	1	5	印刷教材と連動していて良かった	1		1
学習意欲・知識欲がわいた	2	1	3				
具体的な事例、実践的な内容があった	3		3				
受験・資格取得に役立った		3	3				
深く学ぶ(考える)ことができた	1	1	2				
体系的に学べた・理解できた	2		2				
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1	1	2				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			1				1
楽しかった		1	1				1
最新の情報・研究が学べた	1		1				1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすかった	2	1	3
演習問題が良かった	2		2
内容・構成が良かった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった	1		1

【学部】「基盤科目（一般科目）」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	21	6	27	内容・構成が良くない	8	2	10
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	10	7	17	印刷教材と異なる講義が聞きたい	3	4	7
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい		9	9	印刷教材の内容が異なる・連動していない	4	3	7
例題・練習問題を増やしてほしい	5		5	テレビ科目にしてほしい		5	5
興味・意欲がわかなかつた	1	4	5	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	1	3	4
内容・構成が良くない	1	3	4	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		3	3
講師・事務方の対応が良くなかつた	2	1	3	手話通訳、または字幕がほしい		3	3
内容の詰め込みすぎ		2	2	理解しにくい	1	1	2
内容が専門的で難しかった	1	1	2	双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	2		2
現実に生かせる内容にしてほしい	1	1	2	図・表・写真・イラストが見つらい	1		1
質問や相談がしたい	1	1	2	ポイントがつかみにくい		1	1
難しかった		1	1	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい		1	1
期待していた内容ではなかつた	1		1	システム面の改善が必要	1		1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい		1	1	例題、演習問題を解きながら解説してほしい	1		1
内容が基礎的で物足りなかつた	1		1	単位認定試験と連動していない		1	1
自分のペースで勉強できなかつた		1	1	図・表・写真・イラストを増やしてほしい		1	1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1		1	例題・練習問題を増やしてほしい	1		1
				索引を充実させてほしい	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1	2	3	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1
メディアの特性に合わない授業内容だった		3	3	課題(問題)が、単位認定試験と直結していない		1	1
内容・構成が良くない		2	2				
詳細な解説がほしい	2		2				
印刷教材の内容が異なる・連動していない		2	2				
理解しにくい	1		1				
追加情報・追加教材がほしい	1		1				
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	1		1				
練習問題がほしい、増やしてほしい	1		1				
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1				
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1				
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1				

主な改善点の提案:集約

- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:内容・構成が良くない

テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい

- 放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 放送授業:テレビ科目にしてほしい

## 【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

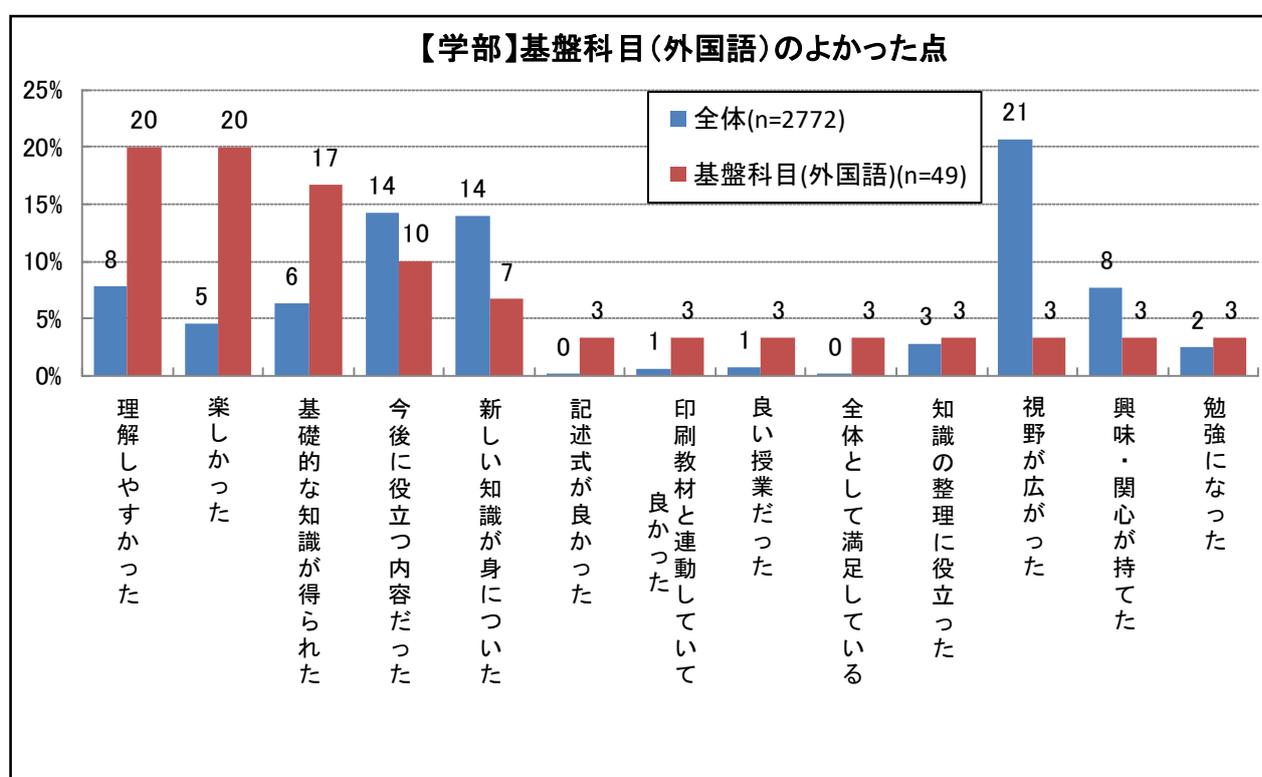
### よかった点

「理解しやすかった」と「楽しかった」が20%を超えていた。

他では、「基礎的な知識が得られた」（17%）、「今後に役立つ内容だった」（10%）、「新しい知識が身についた」（7%）が続いていた。

「視野が広がった」については、3%と、全体の21%を大きく割り込んでいた。

図3-3 【学部】よかった点



## 【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

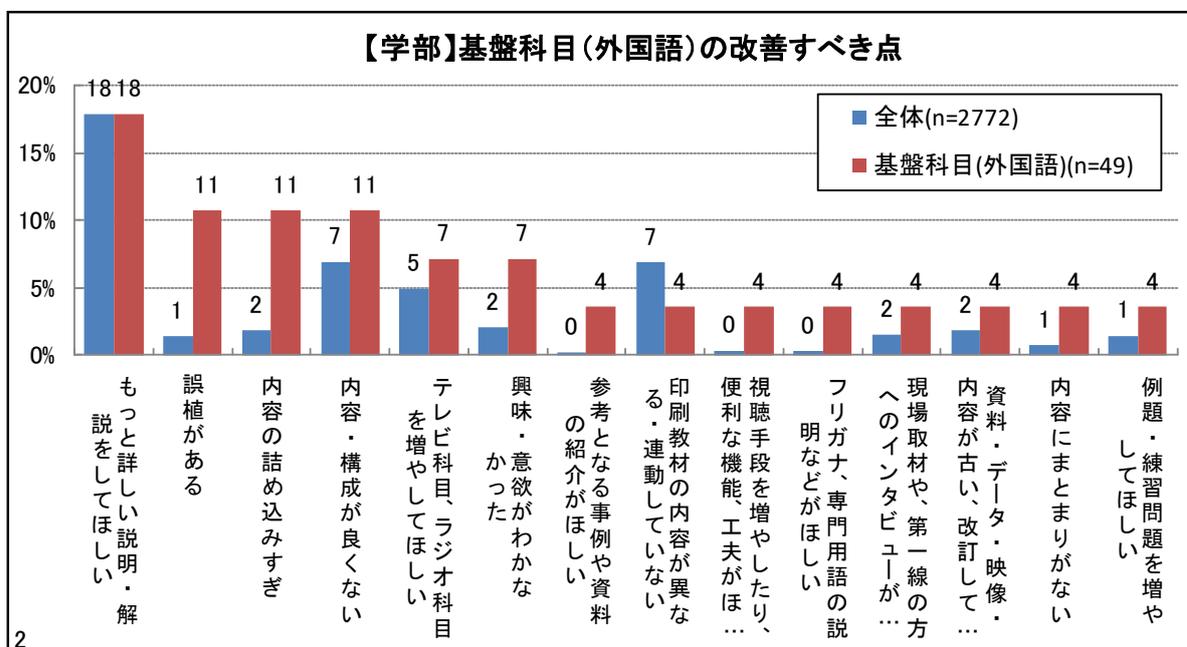
### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」（18%）が最も高く、全体を大きく上回っていた。

他では、「誤植がある」、「内容の詰め込みすぎ」、「内容・構成が良くない」がそれぞれ11%で続いていた。

また、「誤植がある」、「内容の詰め込みすぎ」については全体傾向では1～2%のところ11%と、大きく上回っていた。

図3-4 【学部】改善すべき点



## 【学部】「基盤科目（外国語）」 抜粋

### よかった点

- 語学が苦手な上、全くのフランス語初心者だったが、最後まで楽しく興味津々でいられた。今後も学び続けて話せるようになりたい。
- 文法や動詞の種類など始めはよくわからなかったことが、勉強を続けることで少しずつ理解できるようになっていました。いつの間にかわかっていて、ということに気がついたときは嬉しかったです。
- 文法をつまづきそうなところを具体的に学ぶことができたと思います。
- フランス語学習のみならず、文化や芸術、グローバリズムにまで視野が広がり、生活全体に張りが出ました。田口先生のおしゃれで優しい雰囲気、フランス語学習のモチベーションアップにつながりました。今後もフランス語学習を続けていきたいと思っています。
- フランス語は数の数え方が独特であることが興味深かったです。基本文を何度も復唱することで、なんとなくではありますが、単数複数や男性名詞女性名詞という違いが感じ取れるようになりました。
- 語彙が増えた、また、フランス語圏の各国についての理解が深まった
- 昨年度のフランス語Ⅱに続いて、改定フランス語Ⅱを受講することができて、ちょうど良い時期に入学できました。今回の一学期の試験では、満足のいく結果を得ることができました。私の受講は終了しましたが、今後も、当該講座が継続している間は、視聴を続け、例文の一つ一つを身に付けていきます。
- 20代の頃、英語、ドイツ語、スペイン語を履修していたが、放送大学にはスペイン語の科目が開講されていなかったため、40代で始めたフランス語の復習として受講してみた。懐かしくも、現代風の変化が感じられ、いろいろと勉強になった。
- 田口先生とブルジョア先生のわかりやすく親しみあるネイティブの語り口にフランス語を発音してみることの楽しさを知りました。新しい自分を見つけたような気がしました。授業は毎回のダイアログは日常そのものでその場にいる臨場感がありました。また、出だしから授業入り口までのあの音楽はもうフランスへ自然に導かれました。また質問も田口先生は懇切丁寧にご指導くださり感謝に堪えません。ありがとうございました。引き続きフランス語Ⅱを受講いたします。
- 2～30年前にフランス語を勉強したことがあったが、従来の放送大学のフランス語のテーマにはあまり興味がわかなかった。今回は日常計画の諸々のテーマを取り上げていたので学習の意欲が湧き、新鮮な気持ちで楽しく学習できた。各章のテーマに関連した歌などもたいへんよかった。
- 興味があつたフランス語を初歩から丁寧に学習する事ができた。印刷教材も最初からポイントが絞られていて分かりやすかった。全体として非常に好感の持てる授業だった。
- 今まで興味があつたが難しそうと思い敬遠していたフランス語にチャレンジできた。ワインやフランスの食が好きで、レストランでのシーンやレシピの話などは馴染みのある単語もあり、楽しく学べた。全体的にやはり初めての言語は難しく感じたが、時間のある時に再度放送授業や印刷教材を活用し学びなおしたい。
- どの授業でも焦らず学習することを呼び掛けていて、安心して取り組むことができた。前章の振り返りや重要な文法が再度明記されていて学習の助けになった。文化コーナーはその章で学習した文法が実際に使われている歌や詩などが掲載されていて、学んだ文法で有名な歌や詩を読むことができるようになっていて素晴らしいと思った。
- 私は、かつて、北アフリカの小国の訓練校で技術協力に従事し、十余年間、フランス語で生活しました。帰国後、フランス語を使う機会はまったくなく、「語学力が落ちないようにしなければ」との「フランス語への渴望」が続いてきました。しかし、既に25年が経ち、話せなくなってしまいました。私も、よい年齢になり、「学び直したい」との思いから、昨年入学し、先ずフランス語Ⅰを受講しました。今年度、幸い、改定講座で、再受講できて、喜んでおります。「忘れていたこと」「知らずにいた表現」など、基本に立ち返って学習できた点が多々あります。本年度で、私の授業学習は終了してしまいましたが、これからも、この講座の存続年数の期間は、繰り返し視聴し、基礎学習を続けてまいります。田口先生、出演者、講座制作担当の皆様、ありがとうございました。
- フランス語の文法が整理されていてわかりやすかった。いろいろな観光地が出てきて楽しい内容だった。

## 【学部】「基盤科目（外国語）」 抜粋

### 改善点

- 印刷教材の構成そのものに工夫がみられ、丁寧に作られていると感じました。ただ、(おそらく)紙面や規格に限りがあるせい、平坦な印象、視覚的に要点をとらえにくい印象を受けました。
- 新規開講科目ゆえに仕方がないことですが、印刷教材、通信指導等に訂正箇所が多いことは残念でした。都度、田口先生の訂正、お詫びの連絡をいただけるのはありがたかったのですが、気の毒にも思えました。
- 印刷教材にあっては、巻末の「基本語集」が、将来の語学資格の受験勉強を考慮してジャンル別(カテゴリ別)の掲載となっているが、初学者の学習には、通常の辞書のような alphabet 順の方がよかったです。また、綴りと発音の関係が十分に理解できていないため、全ての初出の単語に発音記号を付す配慮があるとよかったです。(カナ文字を用いることには賛否両論があるので、そこまでは求めない。)さらに、新規開設科目ということで、毎週のように誤植の訂正があり、編集段階での校正作業が不十分であると感じた。
- 教材の誤記が多かった。いくらメールで訂正されても、あとでテキストを見返すときに訂正箇所を確認するのがひどく億劫なので、あまり意味がない。
- お二人の先生がもっとリラックスできれば、より楽しい雰囲気になるのに、と思った。そして、フランス人達の演じ方がおもしろかった。但し、歌に関してはふざけ過ぎで、もっと品よくしていただければ、と願う。
- ゲストの歌が楽しかったですが、TV 画面で楽譜も表示していただきたかったです。
- 発音練習の例文数に比して、回数・時間が不足気味で、詰め込みすぎという印象を受けた。
- 現状でも十分よくできていると思います。
- 後半の講義で扱っていた基本文が長く復唱するための時間が短く、言い切れないことが多くて困りました。復唱できるようにするために、基本文を短く区切っていただけるとありがたいと思います。
- フランス語の勉強というより文法用語の勉強になってしまい、集中しなければいけない内容がずれてしまっている気がした。文法用語の知識も必要だが、用語に頼らない説明の方が分かりやすいと思います。
- 担当教員の声質が聞き取りにくく、苦勞した。全体的にボリュームが多く理解するのに時間が足りなかった。
- 例文がもう少し多くあったらいいなと思った。
- 学習内容に沿うようにお話が作られているのだと思うが、少し違和感を覚える箇所があった。
- 例文が複雑なように感じました。新しい構文と新しい単語がごっちゃになっているところがあり、どちらにフォーカスを絞りたいのかよくわからない印象があった。特に新しい単語で複数の単語や音節からなる単語はそれを言うだけでなかなか大変なので、あまり基本的な構文には組み込まずに別に単語の発音練習だけのコーナーをやって欲しい。
- ネイティブスピーカーにはたまには日本語を話して欲しい。ずっと母語で通されると、視聴者との間に壁ができていくような印象を受ける。
- ・会話が日常の些細な事柄に終始していて、話としての面白味があまりなかった。・Rodolphe 先生がずっとしかめっ面で表情が乏しく、見ていて辛い時があった。・音楽コーナーに興味を持てなかった。飛ばして見た。
- 私の場合、フランス語の「筆記体」について、文の書き出しの「大文字表記」が苦手です。TV 講座では、「手書きによる、文章の書き出し方」を追加していただけたらありがたくおもいます。
- フランス語Ⅱも、TV 番組での学習が出来ましたら、より興味をもって学習に取り組めるものと思います。
- 13 課から 15 課の内容が前半に比べて密度が高かったなので、もう少し平均的に学べるとついていきやすかったです。
- 誤植が多くそのためのお知らせが大変多かった。構成の時間があまりなかったのだろうか？フランス語Ⅱでは改善されていることを期待。

【学部】「基盤科目(外国語)」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
基礎的な知識が得られた	4	1	5	楽しかった	4		4
理解しやすかった	3	2	5	理解しやすかった		1	1
今後に役立つ内容だった	3		3	良い授業だった	1		1
新しい知識が身についた	1	1	2	印刷教材と連動していて良かった	1		1
楽しかった	2		2				
勉強になった	1		1				
興味・関心が持てた	1		1				
視野が広がった	1		1				
知識の整理に役立った	1		1				
全体として満足している	1		1				

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式が良かった		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	1	5	誤植がある	3		3
内容の詰め込みすぎ	2	1	3	内容・構成が良くない	1		1
興味・意欲がわかなかった	2		2				
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1	1	2				
難しかった	1		1				
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		1	内容・構成が良くない	1		1
内容・構成が良くない	1		1	印刷教材の内容が異なる・連動していない	1		1
例題・練習問題を増やしてほしい		1	1	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1
内容にまとまりがない	1		1	参考となる事例や資料の紹介がほしい	1		1
				フリガナ、専門用語の説明などがほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

もっと詳しい説明・解説をしてほしい

●印刷教材:誤植がある

内容の詰め込みすぎ

テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい

興味・意欲がわかなかった

●放送授業:フリガナ、専門用語の説明などがほしい

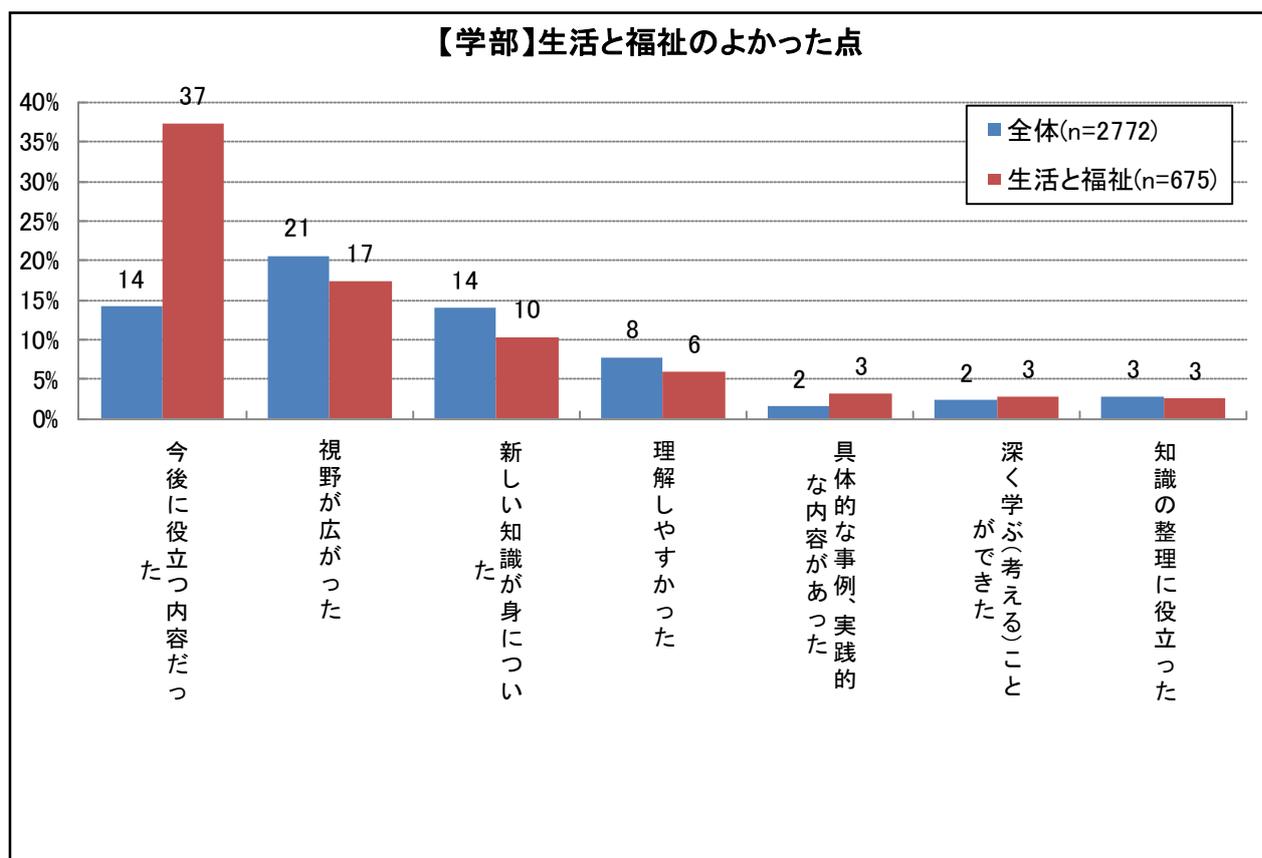
●放送授業:参考となる事例や資料の紹介がほしい

## 【学部】「生活と福祉」の傾向

### よかった点

「今後に役立つ内容だった」が37%と最も高く、全体傾向の14%を大きく上回っていた。「視野が広がった」が17%と次いで高く、「新しい知識が身についた」(10%)、「理解しやすかった」(6%)と続いていた。

図3-5 【学部】よかった点

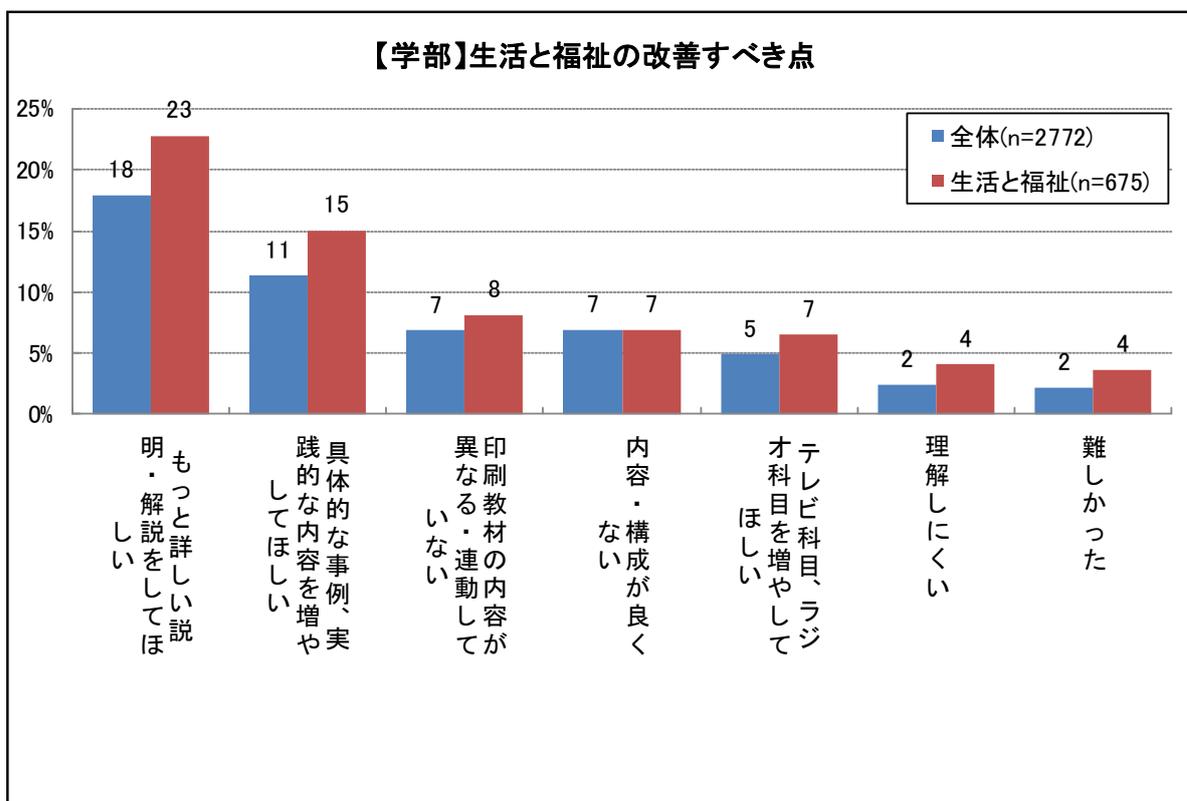


## 【学部】「生活と福祉」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」(23%)が最も高く、全体を上回っていた。他では、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が15%、「印刷教材の内容が異なる・連動していない」が8%、「内容・構成が良くない」、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」がそれぞれ7%で続いていた。

図3-6 【学部】改善すべき点



## 【学部】「生活と福祉」 抜粋

### よかった点

- 健康について視野が広がった。
- 近年の事もあり勉強になりました。
- 自律とは何か、障害とは何かについて、新たな視点を得ることができた。
- 医療現場で行われている事がわかった。看護師さんなどの気持ちがわかった。
- 看護師として働いていますので、基礎的な知識を再確認できてよかったです。
- 60歳代前半の者に適した内容であった。
- レジリエンスについて、さまざまな分野の視点から学ぶことができたこと。
- グリーフサポートと死生学についての理解が深まったと思う。さらなる学びをしたいと思った。
- 疾病の原因とその解決法のほかに予防の方法が述べられているのが良かった。特にフレイルを防止するための体操・運動は良かった。
- 苦しみを抱え癒されることが出来ない当事者の気持ちについて少しは理解できたのではないかと思います。
- 関わる社会資源を知ることができた。
- 現在地方の庁舎に勤めているため(受付電話交換業務で行政職員ではない)保健所の仕事内容に興味があった。受講した事により保健所の仕事内容をよりよく知る手掛かりとなった。
- 感染症について詳しく知ることができ、より興味を持つことができた。
- 看護管理をする上での必要な知識を得ることができた。
- レジリエンスについての理解が深まって良かったと思う。
- ばらけていた知識が順序良く並んだ感じがした。
- 感染症を改めて学んで手洗いがどれだけ大切かを学びました。知らない用語もあったのでとても興味が沸きました。分かりやすい言葉で表現していたので、とても理解しやすかったです。
- 最近、よく聞く言葉がでてきていたのでいろいろな面でためになった。
- グリーフとは何なのか？という問いに対して理解が深まった。自分の周りに大切な方をなくされた方がおり、対応するときに少し気になることが解決できた。グリーフにどのように向き合うか、対応するかという事の難しさを少し理解できた。
- 社会福祉三法から八法までの経緯や成り立ちがよくわかった。また各個別法の理論と社会における具体的な適用が分かりやすく講義されていて現在の社会福祉制度がよく理解できた。
- レジリエンスに関する理解がさらに深まった。
- これまでのありきたりの福祉の教科書から脱して、新しい視点、新しい試み、現在の福祉の現実を取り上げている。興味を掻き立てて伝えようとするスタンスを感じた。
- 自身の知識を更新できた。本講義を受講することによって看護学の情報が新しくなっていることに気づけた。
- 運動と生活や健康を関連づけて考える機会を得られてよかった。水中と陸上運動での循環動態の違いや心臓リハビリテーションの対象疾患や運動の関係、加齢に伴う体力の変化、体力にも行動体力と防衛体力があるなどこれまで知らなかった知識を学ぶことができました。
- 実生活にも役に立つ。
- 自分も老年期にさしかかり、身体のことを考えるラストチャンスだと感じた。気づかせていただいた。軽い筋トレも入っていてよかった。
- 食に対する学が深まった。
- グリーフケアからグリーフサポートという考え方が腑に落ち、学びになった。社会・集団・家族と捉えることで、全体像を理解し、それぞれが互いに影響し合っていることを学ぶことができた。

## 【学部】「生活と福祉」 抜粋

### 改善点

- ロケのインタビューと印刷教材の内容がもう少し合っているほうがわかりやすいと思った。
- インタビューの内容が、印刷教材ともう少あっているとわかりやすいと思った。
- 印刷教材に掲載されている図が分かりにくいものがありました。例えば印刷教材の 70 頁の図 4-4 の表とその説明文書が理解できなくて困りました。
- 印刷教材に、もっと絵や説明図があると理解しやすい
- 分かりやすく説明を聞いていても教材にないことを看護について話されているので、教材に記載されているといいなと思います。
- 振り返れるように、できればインタビューなどに登場された方の名前や HP などについて印刷教材にも記載していただきたいと思いました。
- もっと印刷教材と動画が連動していると良いと思います。
- ラジオ科目で教材を見て学ぶのは、興味が持ちにくいと感じました。すべてテレビ科目となる事を希望します。ラジオの中でも聞き手がいることで、理解しやすくなっていた点はあると思います。
- 印刷教材が旧態依然とした教科書の体裁となっており、なかなか読み込むのは難しかったです。コスト面などで難しいとは思いますが、よりわかりやすい教材を希望します。
- 教材の内容をもう少し詳しく解説して欲しい。図表等の画像を見なくても理解できるよう工夫をして欲しい。
- もう少し教材の文章を棒読みするのではなく、先生自身の言葉でお話しいただきたいかった
- ゲーム理論について参考となる教材の紹介をしてほしかった
- 分かりやすい図表等の画像を増やして欲しかった。
- 各章に関連するゲストによる話については、テキストとの関係性やテキストの全体観も踏まえた位置づけの説明もあると理解が深まったように思う
- もう少し早いテンポで話して欲しい。1.5 倍速で聞いてちょうどいい。まあいろいろな人が聞いているので仕方ないとは思う。
- レジリエンス概念の領域ごとの違いと一致について、相互の関連性を論じると、全体としてもっとまとまった科目になると思う。たとえば、各章の担当講師同士の意見交換など。
- 実際に危機を乗り越えられたゲストの体験に基づく話は、とてもわかりやすく、興味深く学ぶことができたので、積極的に取り入れてもらいたい。
- インタビューやロケの映像があるものは、印刷教材の理解が深まって良かった。回によっては、印刷教材とほぼ同じ文の読み上げのような部分もあったが、それはそれで図をさしながら説明されること、耳から聴くことなどにより、印刷教材を補完する効果はあったと思う。ただ、どうせなら放送授業ではもっと生のエピソードなど、印刷教材以外のものがあって面白いだろうとは思った。
- ロケはもう少し簡潔な方が良いです。
- 前半のゲーム理論が多すぎて、自立や制度というタイトルと乖離しすぎている。
- 最終回は講師二名による対談形式だったが、もっと自由なやり取りがあって良かったのではないかなと思う。台本からはみ出すくらい勢いのある内容を期待したい。
- より実務的、実践的なことも学びたい。
- 必須栄養素等の生化学の講義を説明するだけの単元が続く、化学的な基礎知識が乏しい自分にとって苦痛な時間だった。いっそ科目名を食物化学としてあげれば、とらなかつたのではないかなと思う。食と健康という親しみやすそうな教科名であったため、もう少し取り組みやすい内容かと思ったが、内容はそうではなく講師も工夫するつもりがないのではないか。
- 各章の最初に目次として説明があったが大学の授業として寧過ぎるとおもいました。
- ゲストの話があると実践的でリアルな現場の状況が伝わるのかなと考える時があった
- ゲーム理論についてもう少し丁寧に学びたかった。(用語を適切に把握することが難しかった。)



## 改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	44	12	56	印刷教材の内容が異なる・連動していない	6	5	11
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	22	15	37	内容・構成が良くない	4	4	8
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	2	14	16	理解しにくい	6	2	8
難しかった	9		9	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2	1	3
内容・構成が良くない	5	3	8	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1	2	3
内容の詰め込みすぎ	5	1	6	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		2	2
質問や相談がしたい	2	4	6	テレビ科目にしてほしい	1	1	2
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		3	3	授業のテンポが良くない(早い・遅い)		2	2
興味・意欲がわかなかった	1	2	3	印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
現実に生かせる内容にしてほしい	2	1	3	講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	1	2	図・表・写真・イラストが見づらい		1	1
内容が専門的で難しかった	2		2	演出が良くない、演出を工夫してほしい		1	1
講師・事務方の対応が良くなかった	1	1	2	授業に興味・関心が持てなかった		1	1
内容にまとまりがない	1		1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	手話通訳、または字幕がほしい		1	1
期待していた内容ではなかった	1		1	インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい		1	1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった		1	1	システム面の改善が必要	1		1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1		1	内容に誤りがあった	1		1
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い	1		1	面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		1	1	索引を充実させてほしい	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材の内容が異なる・連動していない	3	6	9	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	2	1	3	指導内容・コメント・対応に不満がある		1	1
図・表・写真・イラストが見づらい	3		3				
内容が薄い・少なすぎる		3	3				
理解しにくい	2		2				
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい		2	2				
誤植がある	2		2				
メディアの特性に合わない授業内容だった	1	1	2				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1	1	2				
内容・構成が良くない	1		1				
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1				
詳細な解説がほしい	1		1				
文字が読みづらい		1	1				

## 主な改善点の提案:集約

もっと詳しい説明・解説をしてほしい  
 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい  
 テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい

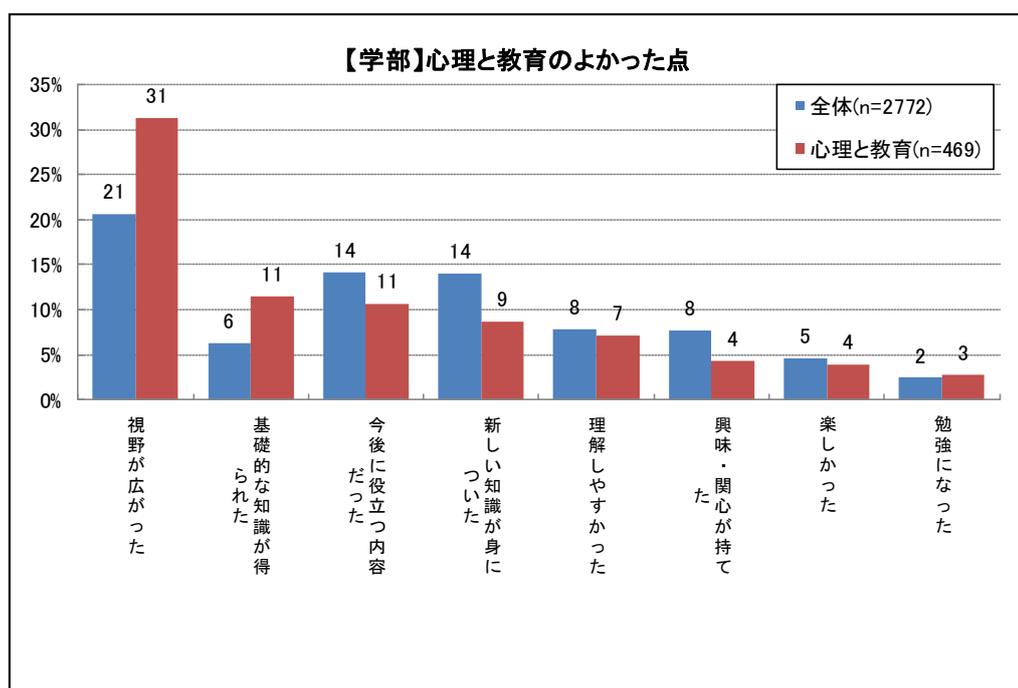
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない
- 印刷教材:印刷教材の内容が異なる・連動していない
- 放送授業:理解しにくい

## 【学部】「心理と教育」の傾向

### よかった点

「視野が広がった」が31%と最も高く、全体よりも大きく上回っていた。  
他では「基礎的な知識が得られた」「今後に役立つ内容だった」がそれぞれ11%、「新しい知識が身についた」(9%)、「理解しやすかった」(7%)などが続いていた。

図3-7 【学部】よかった点



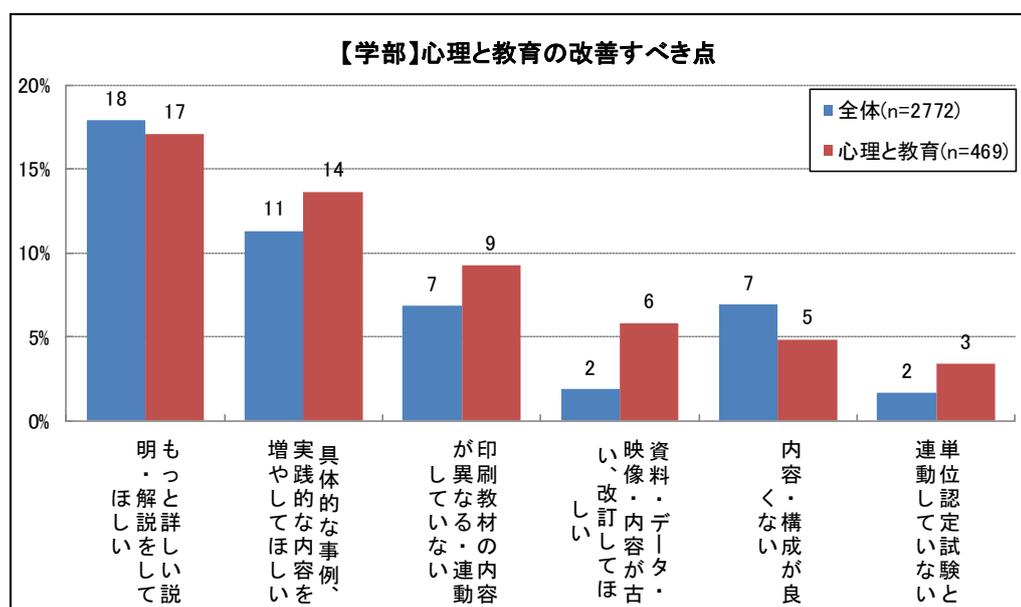
## 【学部】「心理と教育」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」(17%)が最も高く、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」(14%)が次いで高かった。

他では、「印刷教材の内容が異なる・連動していない」が9%、「資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい」が6%、「内容・構成が良くない」5%で続いていた。

図3-8 【学部】改善すべき点



## 【学部】「心理と教育」 抜粋

### よかった点

- 漠然と「心理学」を学びたいと思って学びに入ったが、様々な分野の心理学があることを知ったのと、自分がどの分野に興味があり、学びを深めていきたいのかを考える機会にもなった。印刷教材が分かりやすく、何度も読み返すことが出来た。
- 心理学は日常の生活にも役立つと講師の方々やゲストの皆さんがおっしゃっていましたが、確かに、私自身の自己分析にとっても参考になりました。印刷教材を主に勉強しましたが、講義内容との勉強のバランスのとり方がわかりづらかったです。
- ①各国のコロナ禍対応等、教材の内容が新しい事。そしてそれに対しての各国の感染症対策等特徴がよくわかり大変満足している。②各国の教員・保護者の考え方や学校の教育体制の違いなど知る事が出来た。又この中で各国のデジタル教育の様子も知る事ができた。③全体を通してコロナによって各国の教育に対する考えが浮き彫りになり興味深かった。
- 心理学における様々なアプローチに触れる機会として貴重な学科・教材でした。
- 日本以外の学校の様子を知ることができたこと。
- 法律に触れる機会が少ないので、法律だけでなく、事例が知れたのは良かった。働いていく上で気をつけるべき点が理解できた。
- 初学者の興味がわく内容だった。
- 臨床心理学への多角的な理解を深めることができました。文化や歴史が、人の心のよりどころとなったり、それがイメージの源になり、人の可能性はまだあると感じることができました。もっと深く知りたいと思うこと、ものに多く出会えたことは実りです。
- 心理学の基礎知識を学ぶことができた。
- 他国の学校のあり方をなかなか知ることが出来ないので良い勉強になった。
- イメージについて、新しい視点を持つことが、身についたと思う。
- 科目を受講して理解が深まった。特に「こんなところにも心理学」のコーナーは、意外なところに応用されていることを知りとても見識が深まった。
- 自分が受けてきた日本の学校教育と、各国の学校教育が比較できたことがよかったと思う。
- 心理学というのが臨床の分野が中心なのだと考えていた自分にとって、心理学が関わる分野や裾野の広さを感じられた良い学びでした。そしてその裾野の広さと内容は学習量としては十分なボリュームでした。
- 認定心理士を目指したいと思った。でも、今回の心理学概論は十分な理解はできていないので、無理だろうなと思っている。
- 世界の教育事情を比較して学べる機会はそう多くない、と感じていたため、そのようなニーズに適切なタイミングで提供された科目であると感じました。
- 心や気分の捉えにくい問題を総合的なところから細分化してかみ砕いて説明されていた点。また、具体的な臨床例や心理学を応用して仕事している現場の声が聞けた点。渡邊教授、河原氏の研究や著書は深掘りにつながった。
- 基礎心理学と応用心理学の各分野を総合的に復習できる
- 他国の学校のシステムついて、日本との違いが分かり良かった。日本の学校も生徒の意見を聞く必要があると思った
- 心理学にはあまり興味がなかったがどのようなものか見てみようと思い受講しました。講義内でも初回から解説されていたように、人文系の科目かと誤って考えていたこの分野が、大変広いレンジを持つことと、非常に科学的であることを知り、新たな興味を持つことができました。同じタイミングで受講していた「多文化共生のコミュニケーション」とも呼応する箇所が多く、目を開かされました。
- 実務で心理学の知見を活用されている方々のビデオを興味深く視聴しました。
- 心理学について偏った考えを持っていたところがあった。私たちの普段の生活の中で心理学に関与していることが多いということ、いろいろな形で社会活動や仕事に活用されていることがわかった。

## 【学部】「心理と教育」 抜粋

### 改善点

- 内容があまりにも教材通りだったので、もう少し教材にない内容のものも聞きたかった。
- モット多くの視聴覚を活用した教材があれば分かりやすい
- 講師によっては印刷教材と説明の順序がちぐはぐになっていると感じることがあった。
- ゲストのお話は興味深いものでしたが、印刷教材には述べられておらず、試験対策にはノートが必要でした。偶然ノートを撮っていた部分だったので対応できたように思いますが、教材との乖離があるのかもしれない。
- ロケ地の内容が、印刷教材にも載っていてほしいと思う回があった。
- 教材にもう少し、図説等があると理解しやすいと思いました。
- スライドを使って説明されているのが、わかりやすかったので、印刷教材に掲載して欲しかった。
- 印刷教材は、表や図などもありわかりやすかったです。特にシンガポールの複雑な学校系統図はとても参考になりました。ただ、やはり範囲が広すぎて大変でした。楽しかったです。。
- 絵画や造形物がでてくるが、画質の粗さで細かい部分まで観ることができない。印刷物も写真が小さかったり白黒のため、もっと細かく理解したいがそれができないのがもったいないと感じた。
- 単位認定試験はもう少し教材の内容から出してほしかった。今までの順番と違って戸惑った。難しかった。
- 講師の方の話されている内容と、印刷教材の内容が、一致しているほうがわかりやすい。
- 講師の現地取材の映像は見ることは興味深いですが、最初や最後に、講師自身による感想ではなく、教育者としての指導する、注目すべき点、等を提示していただき、教材にも連携していただきたい。正直、台湾での映像は、スピリチュアル？的な講師の自己満足のように思えて、心理療法？かもしれないが、冷静な視点での解説を入れていただきたい。
- 印刷教材で基本的な事実を誤って記述しているのが多いのは残念です。校正等で防止してください。
- 学校の教室など、カラー写真を印刷教材に入れてくれると、日本の学校との違いが分かりやすいです。
- 映像と印刷教材の流れがバラバラなときがあったので、どちらかに揃えて頂けるとより学びやすいかなと思いました。
- 印刷教材内容について説明分が難解で分かり辛かった点がある。もう少し簡単な文言にしていただけると有難いです。
- 私だけが感じたのかわかりませんが、通信指導に比べて、単位認定試験が難し過ぎました。印刷教材を見てもわからない問題で時間が取られてしまい、後から考えてわかる問題を勘違いして、間違えてしまいました。たぶんD以下と思います。
- 量も多いので全体的に重要なポイントが何なのか理解するのに時間がかかった。特に印刷教材等で重要なところへ強弱等をつけてほしい
- 印刷教材の説明が総じて読んだだけでは難しい。
- 法律に触れる機会がないので言葉など難しかった。また、読んでいても聞いていても、それでこれは○なのかXなのか分からなかったものがいくつもあった。法律用語は一般の人にとって本当に馴染みなくそれだけで難しいということを知ってほしい。
- 他国の人のインタビューがあってもよかった。
- 先生方の話し方がもう少し学生を引きつけるような話し方だといいと感じた。
- 倍速再生の速度の選択肢を増やしてください。
- バウムテスト・風景更生法・交互感覚詩などの方法論については、受講者がまず体験してから、説明を聞くことができれば、更に関心が深まるのではないかと感じました。
- 一部原稿を棒読みな感じがするため、語りかけるように話された方が聴きやすく理解しやすいと思った

## よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった	57	22	79	理解しやすかった	10	1	11
基礎的な知識が得られた	29		29	楽しかった	2	1	3
今後に役立つ内容だった	16	11	27	授業各回の内容・構成が良かった	2		2
新しい知識が身についた	14	8	22	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
興味・関心が持てた	10	1	11	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1	1	2
勉強になった	3	4	7	複数の講師の講義を聞くことができた	1	1	2
楽しかった	6	1	7	科目全体の内容・構成が良かった	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	6		6	印刷教材と連動していて良かった	1	1	2
具体的な事例、実践的な内容があった	6		6	講師の解説が分かりやすかった	1		1
理解しやすかった	3	3	6	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた	4		4	ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	1		1
知識の整理に役立った	3	1	4				
受験・資格取得に役立った	2	1	3				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	1		1				
内容・構成が良かった	1		1				
身近に感じられる内容だった		1	1				
現在の課題や身近な問題点を学べた			1				
体系的に学べた・理解できた	1		1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った	2		2	指導内容・コメント・対応が良かった	1		1
内容・構成が良かった	1		1				
理解しやすかった	1		1				
良い教材だった	1		1				
最新の情報・研究が盛り込まれた内容だった		1	1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった		1	1

## 改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	24	11	35	印刷教材の内容が異なる・連動していない	15	1	16
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	17	11	28	単位認定試験と連動していない	3	4	7
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	10	2	12	内容・構成が良くない	5		5
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1	4	5	テレビ科目にしてほしい	1	4	5
内容・構成が良くない	2	2	4	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	4		4
例題・練習問題を増やしてほしい	2	2	4	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1	1	2
質問や相談がしたい	4		4	メディアの特性に合わない授業内容だった	2		2
興味・意欲がわかなかった	2	1	3	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2		2
難しかった	1	1	2	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	2		2
内容の詰め込みすぎ	2		2	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	1		1
内容が専門的で難しかった	1	1	2	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1
内容にまとまりがない	1	1	2	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		1	1
最新の内容を講義してほしい	1	1	2	演出が良くない、演出を工夫してほしい	1		1
講師・事務方の対応が良くなかった	2		2	専門家の意見が聞きたい		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1	授業に興味・関心が持てなかった	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	講師は1人の方が良い	1		1
期待していた内容ではなかった		1	1	聞き手がいた方が良い	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった	1		1	放送授業中の資料・データを載せてほしい	1		1
現実に生かせる内容にしてほしい		1	1	不要なロケ、動画等がある	1		1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい		1	1	システム面の改善が必要		1	1
ジェンダー平等の精神がない、不足している	1		1	引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1		1	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
				具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	4	1	5	理解しにくい		2	2
印刷教材の内容が異なる・連動していない	3		3	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1
理解しにくい	2		2	課題(問題)が、単位認定試験と直結していない		1	1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話の載せてほしい	2		2				
内容が薄い・少なすぎる	2		2	単位認定試験			
講師の解説・指導が良くなかった	1	1	2	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない		1	1	難易度を下げるべき		2	2
誤植がある		1	1	記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1
メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1	問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1
詳細な解説がほしい		1	1	難易度を上げるべき		1	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1				
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1		1				

## 主な改善点の提案:集約

もっと詳しい説明・解説をしてほしい

具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい

●放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない

資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい

●放送授業:単位認定試験と連動していない

●放送授業:テレビ科目にしてほしい

●放送授業:内容・構成が良くない

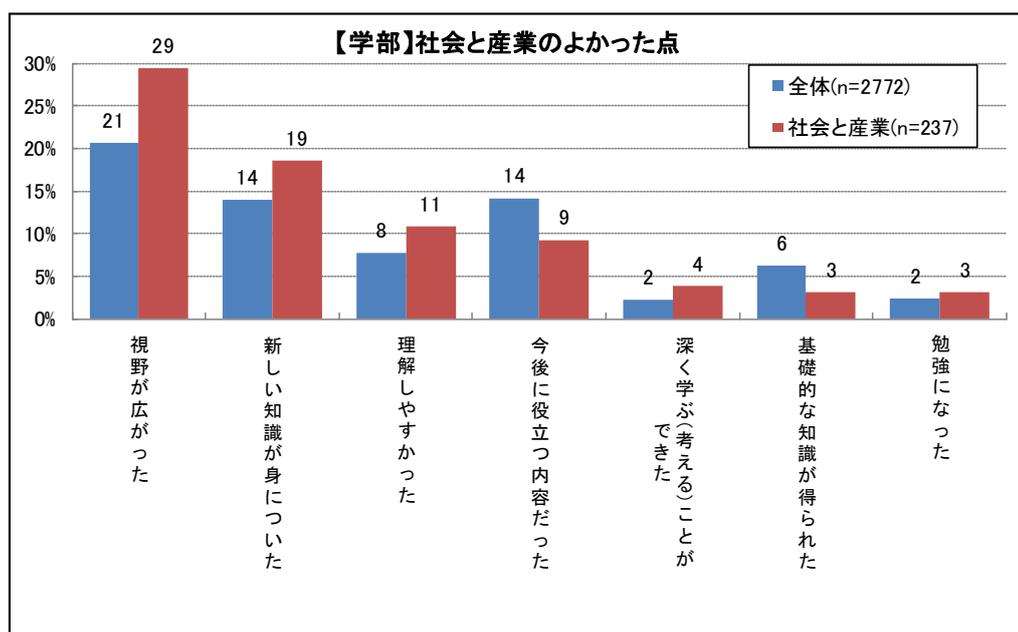
## 【学部】「社会と産業」の傾向

### よかった点

「視野が広がった」が29%と最も多く、全体を大きく上回っていた。

他に「新しい知識が身についた」(19%)、「理解しやすかった」(11%)、「今後に役立つ内容だった」(9%)、「深く学ぶ(考える)ことができた」(4%)などが続いていた。

図3-9 【学部】よかった点

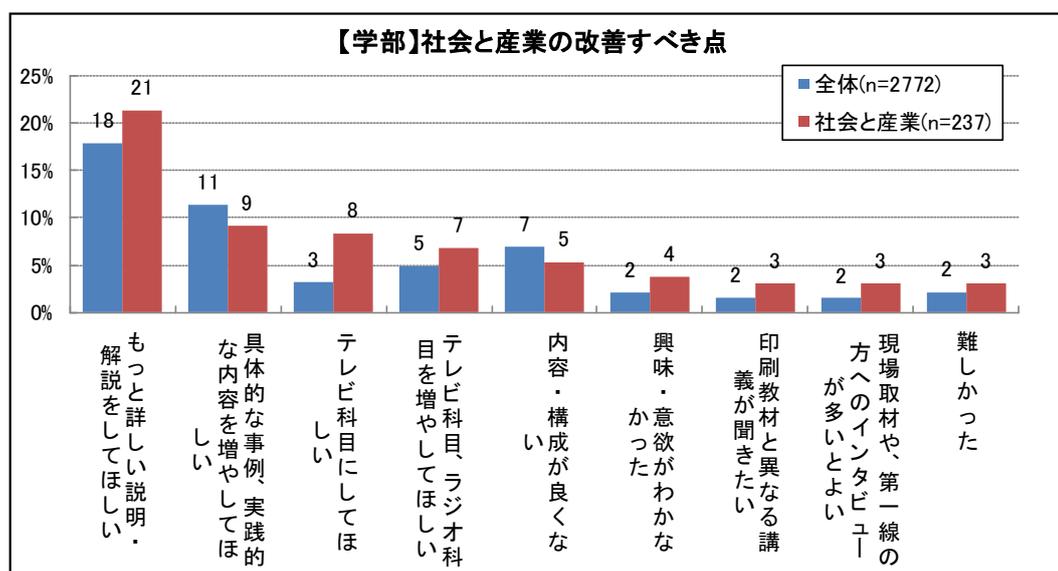


## 【学部】「社会と産業」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が21%と最も多く、全体を上回っていた。他には「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」(9%)、「テレビ科目にしてほしい」(8%)、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」(7%)、「内容・構成が良くない」(5%)などが続いていた。

図3-10 【学部】改善すべき点



## 【学部】「社会と産業」 抜粋

### よかった点

- 何より話し方のスピードがゆっくりめだったのが良かった。数式を使うだけに苦手意識があったが、印刷教材を読みながら聴く時に数式をしっかりと目で追えて分かりやすく感じた。また、1.5倍速しても聴き取りやすかったし、昼休みなど限られた時間に聴く時には助かった。
- ・過去から現在まで、時系列で学ぶことができた。・印刷教材が分かりやすくて良かった。・知らなかったことが多く、学びが多かった。
- 印刷教材での説明が丁寧で理解しやすかったです。
- アメリカという国の出発点について理解できたと思う。またアメリカ社会の奥深くにある分断されたものが何なのか納得出来た。
- 欧米に比べ後発のアジア諸国が、最新のIT、デジタル等の活用により、キャッチアップが早くなったかがよく理解できた。
- 私は小さな田舎町に住んでいるため、都市に比べてまだまだ地域の行事が根強く残っています。その行事の目的がなんなのかすら知りませんが、代々受け継がれてきています。ほんとうに必要なことなのか考えさせられました。取捨選択のときが迫ってきているのでは？と感じました。なぜならば、私が住んでいる地域は類を抜いて地域行事が多いためそれが嫌で若い人たちが他の町へ引っ越しをして地域人口が減っているからです。
- アメリカという国社会を理解する上で視点を明確に与えてくださったことで、素人には学習に入りやすく理解しやすい構成となっていた。また多彩なゲストの話は「アメリカ」を理解する上で大変参考になった。また各章の参考文献に新書を多く取り入れていただいたことは、これからも学習するうえでとても有難かった。
- アメリカの社会や政治を見直すことができた。
- 会計学について体系立てて学びたかったので受講しました。受講の目的が達成できたと思っています。
- 行政との関係を分類しており、自分では言語化できていない部分や社会学のリアルな関係を浮き彫りにしているところがとてもよかった。報道などでの自主規制される部分を学術的に丁寧に広く深く掘り下げている部分がよかった。
- 日本の組織の仕組みがよく理解できた。財務諸表や損益計算書から経営状況を見ることや、公認会計士と投資家とのつながり、会計監査の仕組み、ビジネス用語を沢山知ることができた。
- SDGsの目標が沢山あることが良く分かった。貧困の要因も分かるようになった。
- 環境問題に関する基本的な事柄について、歴史的な背景や定義、現在の取り組みに関して理解を少し深めることができた。
- アメリカ社会や政治について、歴史含め理解することができたアメリカ社会の今を知ることができた。
- タイムリーなトピックで、まさに私が学びたいと思う内容でした。今までぼんやりとしか分かっていなかった「中所得国の罠」などについて知ることができたり、気づきが多い内容でした。また、東南アジアではASEANの原加盟国中あまり注目度が低いフィリピンが割と取り上げられていたのも印象的でした。
- 経営を初めて学ばせていただいた身として、とっかかりにちょうど良いと思える程よい難易度で、知らないことも沢山学べてよかったです。
- アメリカ合衆国という国について理解が深まったこと
- 日本経済史が俯瞰的に理解出来た。
- 日中韓以外のアジアの歴史が概観でき学びのきっかけになりました。
- 現代アメリカの政治と社会を理解する上で、建国からの歴史を講義の初期でおさらいし、本題に入ったので理解がし易かった。また、現在進行中の大統領選の基礎知識としても非常に示唆に富む内容であった。
- 現在の社会の課題が深く都市と地域と関係していることがよく理解できた。

改善点

- 講師の方々の声は 24 年の今を反映している点が伝わってきた。映像がない分、印刷教材の図、画像の充実を願いたい。話題に対して、もっと詳しく知りたいこと、章末の学習課題への取り組みに対して、回答事例、検索参考先を記載いただきたい
- 印刷教材の誤植が多いと思う。P.264 「位置受けられる面があった」→「位置付けられる面があった」P41 の説明動画で、倭寇の説明の際に「さやかき」と言われていたが「さかやき」(月代)と言うべきである。
- 印刷教材の文章を読むような回もあったため、印刷教材に載っていないことも少し入れていただけたら、さらに勉強に励みやすいと思います。
- 専門科目なので、次のようなし要求は問題かもしれないが、①教材等の言葉の言い回しが難しかった。②同時代のイギリス、フランス、ドイツ等を比較し説明を行っているが線表等があれば良かった。
- ゲスト講師の代表的な著作、論文などを印刷教材に記載してもいいのではないか。
- 単位認定試験は難度が高く感じた。かなり教材を読み込んでいないと解けない設問が多かったが、良問が揃っていた。
- はじめは印刷教材では理解できなかったもので、市販の統計の初歩的内容の本を 2 冊読んだ。その後印刷教材を読み理解できた。基本講座なのでもう少し初歩的な内容から始めてもらったらもっと良いと思った。
- 印刷教材で各章の練習問題があれば良いと思います。
- 初心者は基本の基が分からないこともあることを理解して頂きたい。
- ラジオではなくテレビにして視覚的にも勉強できるようにしてほしい。
- 科目の後半になるにつれて資料映像や図などが少なくなっていくところ
- 講師の方が現場、アメリカの舞台に立って話されると講師の方がアメリカのどの部分を伝えたいかという事が映像から分かりやすいと思いました。
- 教科書に沿った内容からゲスト対談が逸脱しているのではないか
- 実際の企業の特徴を取り上げたり比較したり、海外の会社とどう違うのか、文化の違いも含めて知りたい。体験しながら学ぶと理解が深まると思う。調べ学習など。
- ゲストの声がもっと聞きたいです。法律に関わる図が少し分かりづらかったです。
- アメリカとイスラエルとの繋がりについて、歴史史的な観点からの記述があると良いと思う。
- やはりグラフの映像なんかがないとイメージできないので、ラジオでなくテレビでやって欲しい。
- 経済学を初めて受けて、文章の内容が難しく何度も読み返しても理解できなかった。図や画像などで表現してもらえらるなら、理解できる部分もあるかもしれない。どこをポイントとして押さえたいのか分からないので、イメージしやすいようにしてほしい。
- 元になる数式を回ごとに表記してほしい。
- アジアの中の国別の政治状況、経済水準等基礎データを巻末に加えると理解に役立つのではないか。
- 科目の後半になるにつれて資料映像や図などが少なくなっていくところ
- 授業内容は面白かったが、もっと詳しい説明が欲しかった。
- テレビ科目とし、ロケ等を行い、授業をもっと立体的にして頂けると理解が深まると思われます。
- ラジオ授業は慣れておらず集中して聞くことが難しかったので、演出の工夫が必要だと感じた。
- もう少し説明に具体的な例が欲しい。全く知識がない場合、イメージが湧きにくいと感じた。
- 放送授業と印刷教材は同じ内容を重複して扱わないほうが良いと思います。具体的には放送授業(テレビ)の内容については、印刷教材の内容に関連するニュース報道とか現地からのレポートをすとか、映像を前面に見せるものにするほうが良いと思います。講師の方の語りは少なくとも良いのではないかと感じます。そのほうが興味が湧くと思います。

## よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった	12	26	38	理解しやすかった	2		2
新しい知識が身についた	9	15	24	講師の解説が分かりやすかった		1	1
今後に役立つ内容だった	4	8	12	良い授業だった	1		1
理解しやすかった	2	7	9	科目全体の内容・構成が良かった	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた		5	5	メディアの特性に合った授業内容だった		1	1
勉強になった	1	3	4	ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	1		1
基礎的な知識が得られた		4	4	印刷教材と連動していて良かった		1	1
知識の整理に役立った	2	1	3				
学習意欲・知識欲がわいた		2	2	通信指導			
具体的な事例、実践的な内容があった	1	1	2	意見	テレビ	ラジオ	合計
自分の意見・考えを持てるようになった		2	2	指導内容・コメント・対応が良かった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		1	1				
興味・関心が持てた		1	1	単位認定試験			
内容・構成が良かった	1		1	意見	テレビ	ラジオ	合計
楽しかった		1	1	評価が良かった		1	2
身近に感じられる内容だった	1		1				3
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1				
体系的に学べた・理解できた	1		1				
小テスト・練習問題が良かった		1	1				
印刷教材							
意見	テレビ	ラジオ	合計				
手元に置き、今後も読みたい内容だった			3				
良い教材だった			1				

## 改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	7	21	28	テレビ科目にしてほしい		11	11
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1	11	12	内容・構成が良くない		4	4
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい		9	9	印刷教材と異なる講義が聞きたい	1	3	4
興味・意欲がわかなかった	2	3	5	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2	1	3
難しかった	1	3	4	双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	2	1	3
内容・構成が良くない	1	2	3	単位認定試験と連動していない	2	1	3
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1	2	3	理解しにくい	1		1
内容の詰め込みすぎ	2		2	印刷教材の内容が異なる・連動していない	1		1
例題・練習問題を増やしてほしい		1	1	メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
質問や相談がしたい		1	1	演出が良くない、演出を工夫してほしい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		1	1	ポイントがつかみにくい	1		1
				専門家の意見が聞きたい		1	1
				放送授業中の資料・データを載せてほしい	1		1
				重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい		1	1
				印刷教材をもっと活用してほしい		1	1
				対談形式の授業の方が良い	1		1
				例題・練習問題を増やしてほしい		1	1
				ラジオ科目にしてほしい	1		1
				面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1	1	2	課題(問題)が、単位認定試験と直結していない		2	2
詳細な解説がほしい		2	2	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい		1	1
難易度・分量が不適切だった	1	1	2	課題(問題)に誤りがあった	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		1	1				
理解しにくい		1	1				
誤植がある	1		1				
メディアの特性に合わない授業内容だった		1	1				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1				
練習問題がほしい、増やしてほしい		1	1				

## 主な改善点の提案:集約

- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:テレビ科目にしてほしい

- テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい
- 興味・意欲がわかなかった
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 放送授業:内容・構成が良くない

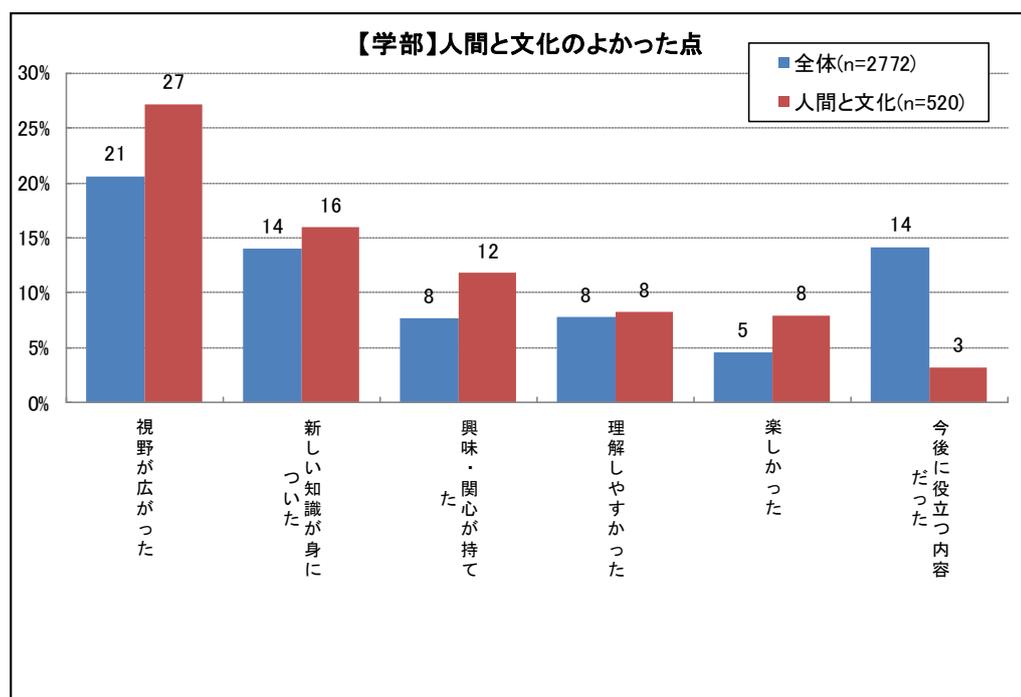
## 【学部】「人間と文化」の傾向

### よかった点

「視野が広がった」が27%と最も多く、全体を上回った。

他に「新しい知識が身についた」(16%)、「興味・関心が持てた」(12%)、「理解しやすかった」、「楽しかった」がそれぞれ8%と続いており、いずれも全体を上回っていた。

図3-11 【学部】よかった点



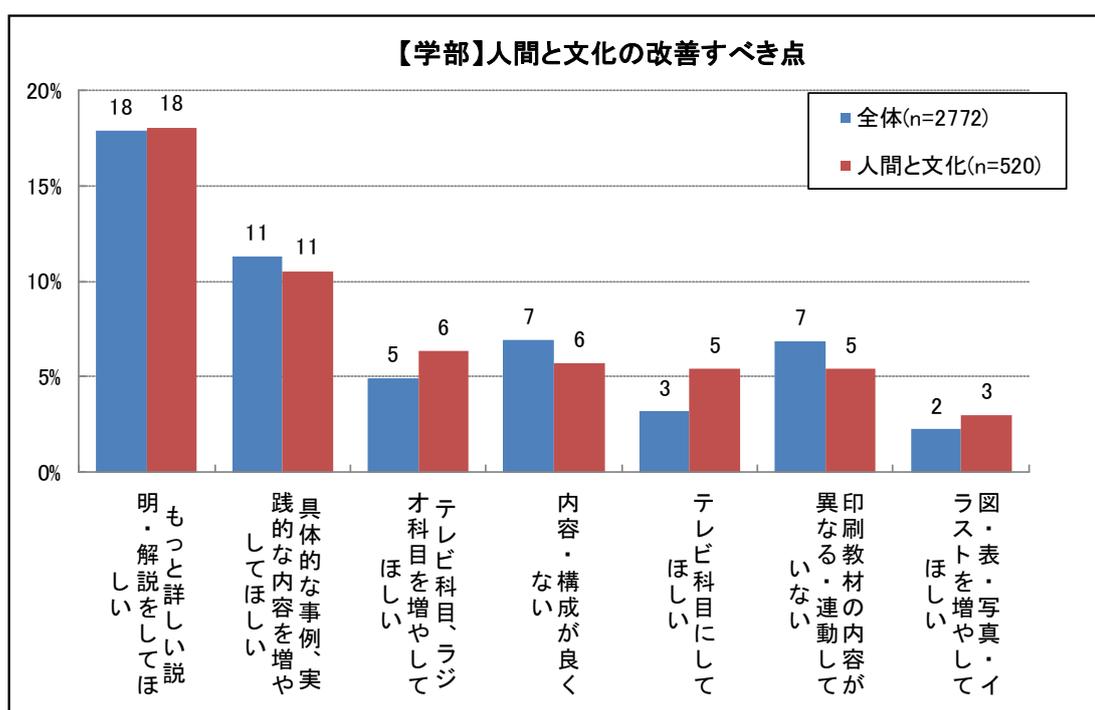
## 【学部】「人間と文化」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が18%と最も多く挙げられていた。

他では、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」(11%)、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」(6%)、「内容・構成が良くない」(6%)、「テレビ科目にしてほしい」(5%)などがあげられていた。

図3-12 【学部】改善すべき点



## 【学部】「人間と文化」 抜粋

### よかった点

- 高校時代に学んだ枕草子とは違い、清少納言のことや宮廷の生活を知ることができた。印刷教材も興味深く私には少し難しい内容だったが、古典文学に興味をもてた。夏休み期間に、印刷教材の再読と枕草子の現代語訳を読みたいと思う。
- NHK の大河ドラマで、平安時代が取り上げられたのを機に受講した。ドラマは源氏物語だが、枕草子にも触れられる内容があり、講義を受講したことでより興味深く見られた。教材は、歴史の中で有名な場面がとてわかりやすく解説されており、自分の教養が深まったと感じた。講師の語り口調も落ち着いた声色で聞きやすかった。
- 現在の（特に日本）社会において必須の視点、知見が満載の内容で、大変エキサイティングな科目でした。1人でも多くの人に学んでほしいと同時に、自分自身も折に触れ復習したいセッションばかりです。神経文化相互作用モデルは難しいものの、現在の社会を理解するための有力な理論で面白かったです。また印刷教材の文章の端々から執筆陣の熱量が伝わり心を震わせながら読んだ箇所も多くありました。ありがとうございました。
- 島内裕子先生の講義、教材とも素晴らしかったです。登場人物たちの人物像が鮮明に浮かび上がり、人間ドラマとして作品を読み直すことができました。
- ある事をきっかけに枕草子の世界を覗きたく講義を受講いたしました。島内先生の春曙抄訳本も購入し連続読みの面白さを実感、大変わかりやすい訳本と印刷教材のお陰で、学習というよりも「島内先生による清少納言の世界」を存分に味わうことが出来たことを嬉しくとても満足しており又感謝しております。
- 印刷教材の丁寧な解説で、今までより興味を持つことが出来た。大変面白かった。
- 平安時代の古典文学に興味を覚えたので、受講しました。印刷教材で、真剣に学習しました。他の文学書にも取り組みたいと考えた。
- 日本語学の全体を把握するための基礎が網羅させていると感じました。印刷教材では理解が難しいものを映像で見ることによって理解ができ良かったと思います。
- インタビュー回で当事者の経験や思いを知る貴重な機会が得られた。先入観や限られた知識によって伝えたいことが違ったニュアンスで受け取られてしまい更に疲弊するなど、自分自身にも重なるエピソードが多く、相互理解の難しさを確認できた。
- 西アジアが少し身近に感じられるようになった。
- 今まで、バラバラだった知識がまとまり、日本の文化、思想の流れを少し理解できた。只、説明はわかりやすかったが、少々難しく、どうすればもっと理解が深まるのかと思う。
- 内政について知らないことが多かったのでためになった。
- まったく知らない分野だったのでためになった。
- アメリカという国の成り立ちを細かく教えてくださったため、深い内容にもかかわらず理解ができてよかった。今後の学習への意欲を高められた。
- 西アジアという歴史空間を設定することで、各王朝・帝国について、類似点・相違点を意識しながら学ぶことができた点
- 仕事に活かせる内容で、今まで教科書だけで、なんとなく理解していたことが、明確になる部分が多かったから
- コミュニケーションの大切さと難しさの気づきが多かったから
- 枕草子の概要が理解できてよかった。
- 古代からの日本の思想、宗教などがくわしく書かれていて勉強になった。
- 世界の人々のことについて、もっと今回学んだことを考えながら、世界や日本について考えるようにしたい。
- 美というものの成り立ちについて考えるきっかけになった
- 在留外国人に対する日本としての方策が包括的に学べて良かった。情報も細心に近いものが多くとても勉強になった。

## 【学部】「人間と文化」 抜粋

### 改善点

- 印刷教材を読むだけでは理解を促進することは難しい。日本にずっと住んでいる私たちにとって中東は縁もゆかりもない土地、文化である。特に、中東は情勢不安定であるため気軽に旅行に行き現地を見に行くことは難しい。このため、理解を促進するには、聞き手を使ったり身近なことに例えたりすることが有用であると思慮する。
- 印刷教材の文言の表現が難しい所があり、わかりやすい表現にしてほしい
- 小田部先生の部分については、印刷教材の一文が長いものが多く、主語と述語を拾うのに疲れました。
- とても内容が多いので印刷教材で簡潔明瞭に整理して表現することは難しいと思うが全体的にポイントをつかむのが難しかった。登場人物の家系や関係などが図で示されていると良いと思った。文字ばかりなので頭の中で整理するのが大変だった。
- この講座は続くのでしょうか？映像の内容はあまりにもざっくり過ぎて、「あとは印刷教材を読んでおいてください」が多く、中途半端な印象が否めなかった。興味を持てるかどうか判断するためのものとしては使えるのかもしれない。何かを学べたという感じは少ない。
- 他の歴史系の専門科目と比較すると、印刷教材の分量が20~30ページほど少ないため、必要最低限の内容すら記述されていない点単位認定試験の問題について、特定の時代・国家に偏りが見られた点
- 印刷教材の文章そのまま読んでいただけであり退屈だった。そのため、印刷教材のみで学習した
- 一つの科目で扱うのではなく、1、2のように分けた方が良かった。
- 世界における多文化共生の政策などについて学びたいと思いました。
- 最後のソフトウェアの説明ですが、オープンソースなどを用いてもらえた方が良かったかと思いました。理由としては製品だと長く続かないことが多いからです。
- ゲストとして西アジア研究者、大使館関係者など日本人以外のゲストなどを招聘して彼らの口から日本との関係性などを説明していただくとより内容が濃くなったと思う。
- ときに各時代、各地域の描いた小説や、映画などを素材にすると理解に奥行きが生まれるのではないかと思った。
- 位置関係をもう少しわかりやすいほうが良かったような気がします。
- 前半の美学の講義は、内容が高度で理解しにくかった。理論だけでなく例の画像などを多く掲示して欲しかった。後半の美術史は画像が多く掲示され、わかりやすかった。
- 映像は、字幕をつけると字幕エリアが大きすぎる。映像の中のスライドを拡大してほしい場面が多数あった（背景のスライドと講師の映像では、スライドの文字が小さすぎる）。
- エルサレムの市街の図解が有ると良かった。
- 試験問題が難しかったことに加えて解答を複数選択する問題が選択できなかった。印刷教材の中に全体的な年表がないため非常に分かりにくかった。
- 講義も印刷教材の内容も、何を言っているのかさっぱり理解できない。
- わかりやすく説明すべし。記述試験を50分でするのは無理。試験は選択問題にすべし。講義も、教材内容も苦痛で全く前に進めなかった。試験問題に何が出されるのか、さっぱりわからなかった。
- 西洋の美学については、繰り返し視聴、印刷教材の熟読をしたが、なかなか理解できなかった。大きな潮流からの判りやすい説明がほしかった。
- 印刷教材と同内容であり、ラジオ科目で映像がないため、途中で聴取をやめて印刷教材のみで学習した。原典や関連事項などが映像で確認できればより興味がわくと思う。
- 教材とラジオ内容の重なりが少ないと感じました
- 教材と講義の内容が時折離れていたように思う。大学の講義らしいといえば講義らしいが、後で教材を読み返したときに、内容を振り返るのが難しい回もあった。
- ロケ映像とのことが、もう少し、印刷教材に書かれているほうがわかりやすいと思った。

## よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった	28	64	92	楽しかった	5	17	22
新しい知識が身についた	30	24	54	理解しやすかった	5	9	14
興味・関心が持てた	6	34	40	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	5	1	6
今後役に立つ内容だった	6	5	11	科目全体の内容・構成が良かった	1	4	5
理解しやすかった	1	8	9	講師の解説が分かりやすかった	2	2	4
基礎的な知識が得られた	4	4	8	良い授業だった	2	2	4
深く学ぶ(考える)ことができた	1	7	8	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	2		2
知識の整理に役立った	1	7	8	メディアの特性に合った授業内容だった		2	2
勉強になった	2	3	5	印刷教材と連動していて良かった	1	1	2
学習意欲・知識欲がわいた	3	2	5	講師が良かった		1	1
楽しかった	2	3	5	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1
内容・構成が良かった		4	4	複数の講師の講義を聞くことができた	1		1
体系的に学べた・理解できた	3	1	4	ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思つ内容があった		2	2				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1	1	2				
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1				
身近に感じられる内容だった		1	1				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった		1	1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った	2		2
指導内容・コメント・対応が良かった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った	2		2
指導内容・コメント・対応が良かった		1	1
科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった	2		2
評価が良かった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすかった	1	4	5
手元に置き、今後も読みたい内容だった	2	2	2
内容・構成が良かった	1	1	1

## 改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	22	38	60	テレビ科目にしてほしい	2	16	18
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	13	22	35	印刷教材の内容が異なる・連動していない	6	4	10
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい		21	21	内容・構成が良くない	7	1	8
内容・構成が良くない	4	5	9	単位認定試験と連動していない	2	6	8
内容の詰め込みすぎ	7	1	8	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	4	2	6
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	3	5	8	印刷教材と異なる講義が聞きたい		5	5
難しかった	3	3	6	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1	3	4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2	3	5	理解しにくい	3		3
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	2	3	5	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	1	2	3
興味・意欲がわかかなかった	2	3	5	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	2	1	3
最新の内容を講義してほしい	1	2	3	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	2	1	3
内容にまとまりがない	1	1	2	面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	2	3
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1	1	2	講師の解説・指導が良くなかった	2		2
講師・事務方の対応が良くなかった	1	1	2	図・表・写真・イラストが見づらい	2		2
質問や相談がしたい	1	1	2	参考となる事例や資料の紹介がほしい		2	2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		2	2	放送授業中の資料・データを載せてほしい	2		2
例題・練習問題を増やしてほしい	1		1	講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		1	1
内容が専門的で難しかった		1	1	演出が良くない、演出を工夫してほしい	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	専門家の意見が聞きたい	1		1
期待していた内容ではなかった	1		1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくして	1		1	講師は1人の方が良い	1		1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分		1	1	インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、		1	1
科目の分類に疑問がある	1		1	聞き手がいた方が良い	1		1
				不要な口ケ、動画等がある	1		1
				内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	2	8	10	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1	1	2
印刷教材の内容が異なる・連動していない	2	6	8				
理解しにくい	4		4				
詳細な解説がほしい	2	2	4				
内容・構成が良くない	1	1	2				
メディアの特性に合わない授業内容だった	2		2				
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	1	2				
内容が薄い・少なすぎる	1	1	2				
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	2		2				
講師の解説・指導が良くなかった	1	1	2				
図・表・写真・イラストが見づらい	1		1				
索引を充実させてほしい	1		1				
難易度・分量が不適切だった		1	1				
ポイントがつかみにくい		1	1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を下げるべき	4	2	6
記述式、および記述に関して改善してほしい	3		3
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		3	3

主な改善点の提案:集約			
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい			
●放送授業: テレビ科目にしてほしい			
●放送授業: 印刷教材の内容が異なる・連動していない			
●印刷教材: 図・表・写真・イラストを増やしてほしい			
内容・構成が良くない			

## 【学部】「情報」の傾向

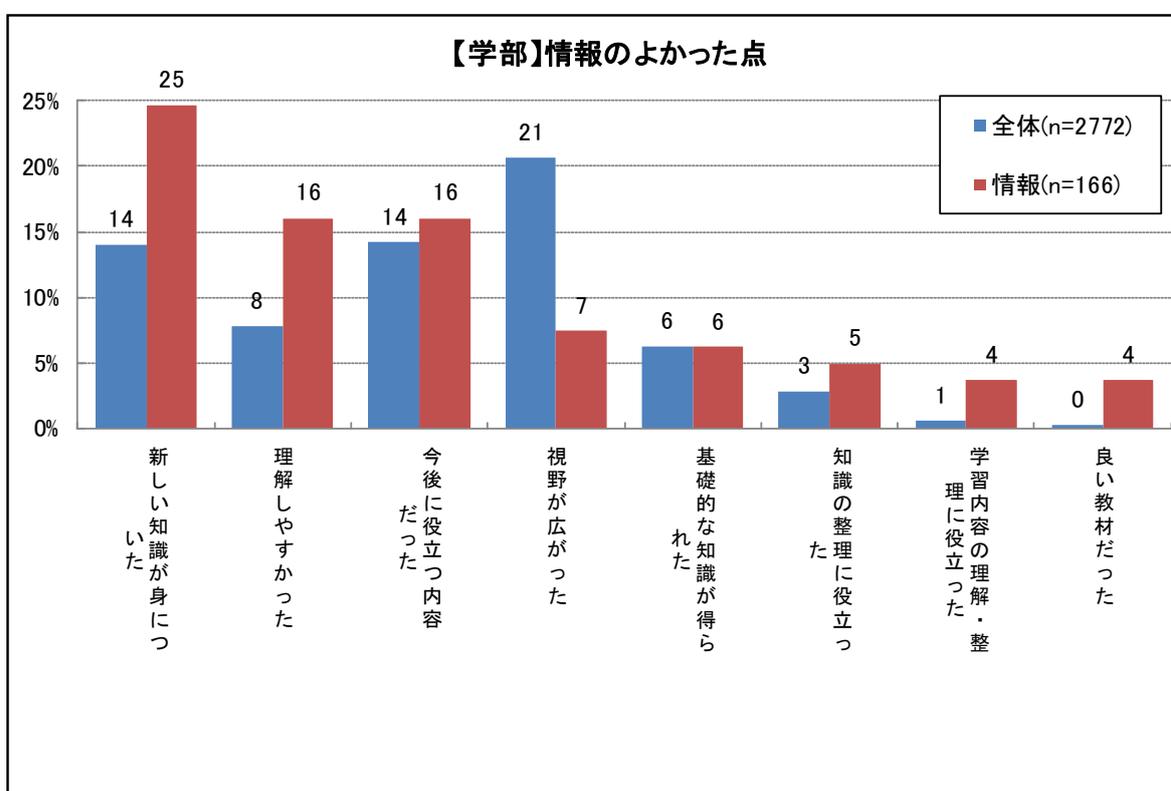
### よかった点

「新しい知識が身についた」が25%、「理解しやすかった」、「今後に役立つ内容だった」がそれぞれ16%で上位に挙げられていた。

他では「視野が広がった」(7%)、「基礎的な知識が得られた」(6%)、「知識の整理に役立った」(5%)などが続いていた。

「視野が広がった」については、全体傾向21%のところ、7%と顕著に少ない傾向が見られた。

図3-13 【学部】よかった点



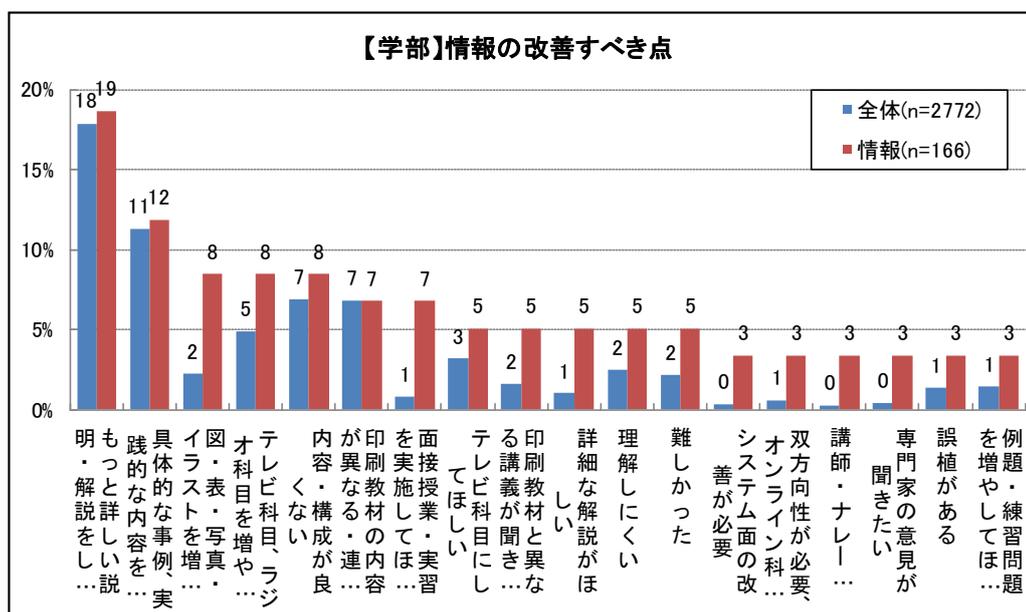
## 【学部】「情報」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が最も多く、全体を上回っていた。

他では、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が12%と高く、「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」、「内容・構成が良くない」がそれぞれ8%と続いていた。

図3-14 【学部】改善すべき点



## 【学部】「情報」 抜粋

### よかった点

- 印刷教材 No13 世界を結ぶ通信では、衛星通信について学習することができて勉強になった。
- 小冊子にしては、纏まっている印刷資料だと思います。
- 実際の python のコードと対応して学べたので具体的な使用法が分かった。マシンでの実験結果を示してあったので、実態を確認できてよかった。補足教材として提供された python のコードが役立った。古典的なプログラムの記載法からの「常識」との対比で、専門的な見解があることが紹介されていて、現在の python の記載法の位置づけも把握できてよかった。
- 曖昧さを無くして議論するための土台であると記号論理学について調べて知ることができ、それから熱心に本を買ったり教材を何度も読み返したりするようになりました。
- R に興味があったので受講しましたが、R を実際に使ってみることができたのはよかったです。また、印刷教材だけでは理解することが難しい内容が、専用サイトや PDF 資料、R の実習等で補われていたのはよかったと思います。
- 画像処理の基礎を学ぶことができた。
- 基礎的な事がわかった
- まさにデータの構造というものが理解できた。
- データ収集と分析の基礎的な知識を改めて学びなおせた。
- データを扱う上での基礎知識がついた
- 色彩学の視点から説明されているだけでなくプログラムの組み立てから説明されていてわかりやすかった
- ツリーの説明が多く割かれており理解できた
- Python のサンプルスクリプトがあることで、より理解が深まるように感じた
- 以前受講した「計算の科学と手引き（'19）」で取り扱っていた述語論理について、理解を深めることができた。
- 批判的な人もいるだろうが、オーディブル的な感じで教科書の内容を読んでも助かる。聞き流しているだけでも多少頭に入るとテスト範囲を自然と網羅できるので。
- 科目の奥深さが分かったことです。先人が積み上げた理解できない巨大なものを感じました。
- 知識や見方が広がったことです。
- メディア教育の最新の動向を知ることができたことです。
- 普段利用しないデータ構造なども学習できて視野が広がった
- メディアの影響力の強さを知らされた。
- 小中高大、及び海外でのメディア教育の内容が理解できた。
- 私にとって、新しい知識や概念を学習することができた。
- 今まで全く知らなかった分野の知識を得ることができました
- ハッシュ値やバイナリーサーチツリーについて理解が深まった。
- 決定木や回帰分析について理解を深められた。
- 今後のやりたいことが、かなりはっきりしてきた。
- R Studio の基本的な使い方が分かったこと。
- R 言語に直接触れる機会がくれた。
- 仮説検定の手順や評価方法が詳しく掲載されていたため、データサイエンスの理解向上にも繋がった。
- R&RStudio の使い方が分かった

改善点

- 画像処理の視覚を通じて受講する内容なのでラジオ科目ではなくテレビ科目として教材を用意してあればさらにわかりやすかった
- ラジオの制限があり、もう少し印刷教材の記述が文章のみならず図解を多くするなどして充実させた方が良いかと思いました。
- 印刷物でのコード記載部分について、結果の図表が表示されていると、コードの実行結果として、確認しやすかった。
- 文面は優しいが、実際に計算しようとするると難易度が高いので、具体的な計算の記述があるとよい。また、プログラムを印刷教材から PC に入力する場合に時間がかかるので、HP などにテキストを開示してほしい
- 第 15 回「論理学の歴史」では、印刷教材とのつながりが分かりづらく、理解に時間がかかった。
- 内容的に、ラジオ講義はちょっと厳しかった。教科書に図表はあるが、計算式の解説などは視覚的に理解を補助する教材があった方がよいと感じた
- 印刷教材があるのでそちらで補うこともできますが、もう少し配信の解像度上げていただけると、出力等の文字が見やすいかなと思います。いろいろな制約があるのだとは思いますが。
- 印刷教材のコード部、応答部を見やすくしてほしい(ページを跨ぐと視認性が落ちる)
- もう少し分かりやすい解説が教材にあるとありがたいです。特に最後の方の章はとても勉強になりました。出来れば科目を 2 つや 3 つに分割してわかりやすい説明が欲しいって思いました。
- 2 進法の考え方について印刷教材では説明不足なうえ単位認定試験で応用問題が出題されても解けない該当設問については疑義として質疑を提出する
- ラジオで話されている部分と、印刷物との対応がつかない箇所があり、ラジオで話されたことに関して、補足資料が欲しかった。
- 個人的な問題ではありますが、難聴があり音声聞き取りにくい時がありました。ほぼほぼ印刷教材の音読なので対応はできましたが、字幕が表示されるとありがたかったです。
- 印刷教材の修正必要箇所を減らしてもらいたい。
- ・印刷教材はページ数の制約からか、見出しが削られているように感じます。例えば、p.88 以降は、カイ 2 乗分布、t 分布、F 分布などの区分ごとに小見出しを入れてください。・後半の分析事例は iris や women だけでなく、企業活動のデータを利用するとより実践的になると思います（「別のマーケティング科目を受講しなさい」と言われるかもしれませんが）。
- 印刷教材の分量にやや物足りなさを覚えた。先端的な機械学習関係の内容には満足したが、古典的な手法についてももう少し詳しく学べると良かった。
- 印刷教材に誤植が多く、他の科目に比べて完成度が低めに感じられました。
- この科目の前版の「データ構造とプログラミング」についても(単位を修得せずに)視聴したことがある。担当講師のこれまでの教材と違い、C 言語ベースではなく Python ベースの解説になっている。近年 AI・データサイエンスとの関連で Python が主要な言語になりつつあることは理解するが、データ構造をクラスで実装するのはオブジェクト指向プログラミングに慣れていないと難しく感じられる。感じ方は人それぞれかもしれないが、私は Python よりも C 言語の構造体を利用した解説の方がよかったと思う。
- 内容が抽象的なので、具体的な問題を増やして欲しいです。将棋で言うと、問題が 9 手詰ばかりで、解けないとすると、3 手詰とか 5 手詰程度の問題を増やすとか。
- 歴史的に大きな足跡を残した NPO の事例はたくさん紹介されていてとても良かった。それ以降の新しい NPO による活動や活躍の事例を URL を記載するだけでも良いので追加資料として増やしていただくと、今後の継続学習の役に立つと思います。
- 小中高大における学生たちの考えや意見を多く聞きたい。
- ラジオなので、原稿を読んでいる感じだった。ゲストの対話などがあると、さらに良かったと思います

## よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識が身についた	12	8	20	理解しやすかった	6		6
今後に役立つ内容だった	13		13	講師の解説が分かりやすかった	1	1	2
理解しやすかった	5	2	7	講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	2		2
視野が広がった	3	3	6	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1
基礎的な知識が得られた	3	2	5	印刷教材と連動していて良かった	1		1
知識の整理に役立った	3	1	4				
勉強になった			1				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			1				
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1				
最新の情報・研究が学べた	1		1				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1				
印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった	3		3	学習内容の理解・整理に役立った			3
内容・構成が良かった			2				3
単位認定試験				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
				記述式が良かった	1		1



## 【学部】「自然と環境」の傾向

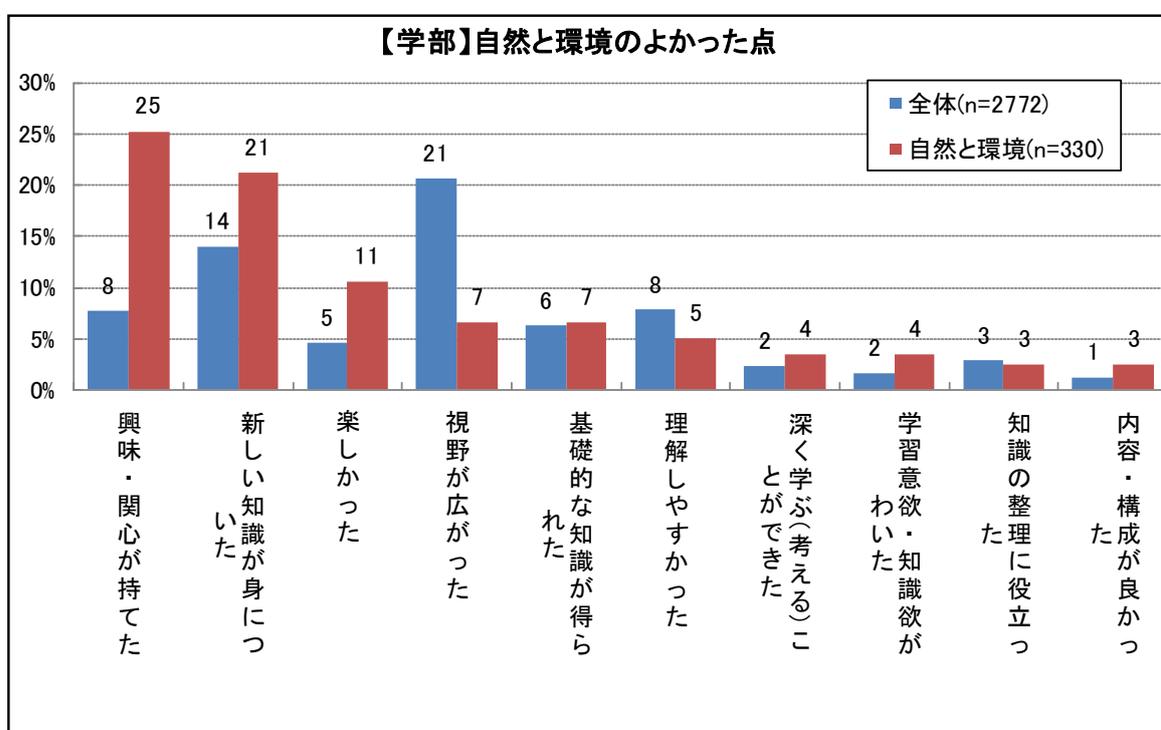
### よかった点

「興味・関心が持てた」(25%)、「新しい知識が身についた」(21%)と特に高く、全体を上回っていた。

他に上位に挙げられていたのは「楽しかった」(11%)、「視野が広がった」(7%)、「基礎的な知識が得られた」(7%)で、後は5%以下が続いていた。

「視野が広がった」については、7%と、全体の21%を大きく割り込んでいた。

図3-15 【学部】よかった点



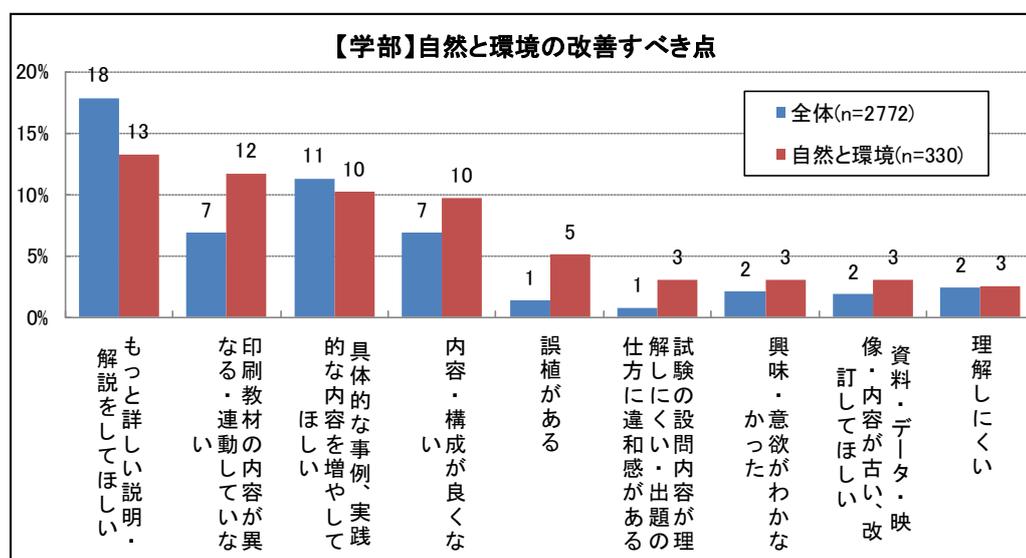
## 【学部】「自然と環境」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が13%と最も高かった。

他では、「印刷教材の内容が異なる・連動していない」が12%と高く、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」、「内容・構成が良くない」がそれぞれ10%と続いていた。

図3-16 【学部】改善すべき点



## 【学部】「自然と環境」 抜粋

### よかった点

- 曖昧だった知識がクリアになった。賢治像がひっくり返った。天文学への興味が深まった。
- 生物の分類の仕方に変遷があったということが知れてなんとなくもやもやしていた疑問が減ったので良かった。
- 宮沢賢治の多くの作品を扱ったことにより、まだ読んでない作品についての興味から、もっと深く学んでみたいと思いました。
- 生物学への入門講座として、広く満遍なく知識を得られた。
- 現在の日本の教育システムだと、都会で暮らして、一度も夜空の月や星の運動を見たり、自分で考える事もなく、学校システムに乗って、ほぼ自動的に高3で、太陽系の運動やニュートン力学の基礎を”覚えて”しまうのですが、人が感動して学問を追求する大本の動機のような体験をするきっかけを教えて頂いたような気がします。有難うございました。
- 生物学はまったくの初学者だったのですが、幅広いトピックを程よい難易度で学習できて大変興味を持ってました。今後の学習意欲も湧きました。また、関連して薬学や医学への興味も出てくるなど、導入科目としてはとても良かったのではないかと思います。アシスタントの方も良かったです。
- 先生がとても丁寧に熱心に教えてくださったことです。そのお気持ちが伝わりました。
- 生物学の様々な視点からの内容でした。高校卒業から50年経過していますので、興味をもって学習できました。
- 生物としての、区分け、細胞までの理解を、解りやすくしていたこと。
- 宇宙の誕生から、現在の状況、銀河系、太陽系、ブラックホール、ダークマター等の解説を宮沢賢治の作品を通して説明いただけただけで理解が深まりました。
- 実験事実をどのように量子力学的に把握するべきか、自然界をどのように理解するか（局所実在論だけでは記述できない現象をどう理解すべきなのか）の説明がとても印象的だった。
- 天文学と文学の融合という、とても面白い内容の講義でした。
- 学生時代になかなか理解しきれなかった物理の考え方をある程度整理して理解できた。熱力学・量子力学の説明はかつて学んだのとは異なる方向からの整理で、納得しやすかった。
- 元々生物(生き物)が全体的に好きであり、生き物について生き物の体の中で行われている仕組みだけでなく、生態学的観点からも学ぶことができ、初歩としての内容として適切だと思った。
- 違った視点で太陽系や銀河系を知ることができ、谷口先生のゆっくりとしたユーモラスな進め方に親しみやすかったです。
- 宇宙についての動画を見る事ができて大変興味深く感じた。谷口先生の経験談も宇宙を研究する人々の歴史を身近に感じる事ができた。
- 天文についての導入の科目が出来たことで、学びやすくなり有難いと思いました。
- 私は今まで断片的な理解が多かったのですが、今回の科目を通して、構造的に理解しようとする習慣がついたことが良かったです。
- 童話作家としての宮沢賢治の世界しかイメージになかったが、受講してみてその生涯、思想、生き方、特に科学についての知見の深さは驚きであったし、あらためてすごい人だったのだと思った。とても良い科目だったと思います。更に賢治の世界へと入り込んでみたい気持ちになりました。
- 宮沢賢治という人物を知ることができたと同時に、あの時代によくここまで宇宙を理解していたものだと驚きました。
- 銀河・宇宙の誕生・進化について、宮沢賢治の作品を味わいつつ学ぶことができた。最新の内容を易しくまとめてあり、紹介された参考文献を読むにあたっての基礎知識が得られた。
- 文系理系を問わず色々な先生の授業が受けられたこと。宮沢賢治という人を通して学ぶ天文学は、興味を持って楽しんで学ぶことができた。単に全般的な天文学という学びよりも良かった。谷口義明先生の人柄が伝わってくる感じがとても良かった。

改善点

- 後半部分の内容は難しく感じました。高校時代に地学をとっていない者のために基礎を知るための副教材を参考文献として提示していただけるといいなと思いました。全ての先生の話方はとてもよかったです。
- なんとなく教材だと物足りないな？と思ったので参考文献を読みました。より理解が深まって良かったのですが、一般的な学生に参考文献まで手を出す余裕があるかなとは思いますが。
- 印刷教材に確認問題を何問か付けるとポイントが押さえやすいと思います。
- この科目の印刷教材に誤りが多すぎる。科学のテキストで数値に誤りがあるのは致命的だと思う。校正をしっかりとしてほしい。
- 十分な校正をしてから印刷教材を発行していただきたいです。あまりにも修正が多すぎました。また、作家・物語・宇宙をつなげて語る以上仕方がないのかもしれませんが、軸を定めてもう少し構成を整理していただきたいと感じました。また、巻末索引も少なすぎるように思います。試験にでる用語が引けないです。
- 余りにも印刷教材の訂正が多すぎる。さすがに出版物として許容できないレベルである。
- 個人的には面白かったが宮沢賢治の考察についてあくまでも考察の域を出ず、学問としての適切さにやや疑問があった。また、貴重な宇宙関連の分野なので後半についてはもう少し宇宙に関する解説に割り振ってほしかった。また、試験については細かい誤字レベルの問題もあり、確かに印刷教材の読み込み度合いを確かめる役には立つかもしれないが、知識の理解度を測るものとしては微妙なものを感じた。
- 多分、誤植がまだあると思われるので、印刷教材を見直すのがよろしいかと思います。
- 全体として印刷教材がやや読みづらく感じます。レイアウトや太文字にするなどの工夫は如何でしょうか。
- 印刷教材の段組などをもう少し親切に作ってほしい。一つのトピックスが次ページに渡るなど、目がうろろうろしてしまっていて理解しづらくなる。また、関連する図表と文章をできるだけ近接させるようにしてほしい。
- 印刷教材の各章の最後に、理解度レベルに応じて、平易、中程度、難解くらいの練習問題を添えて、巻末に途中計算も含めた解説・解答を加えていただければ、より理解が深まると思われる。
- 印刷時教材の訂正が多いこと。単位認定試験後の再評価。成績は上がりましたが、なんか残念な感じでした。
- 印刷教材の訂正が多かったのが、困った（新規科目なので仕方がないが）。
- 印刷教材の修正が非常に多いのが困る。全てまとめた正誤表をPDF等で配布して欲しい
- 教材の文字フォントを大きく見やすくする。（視覚障害がある人にもわかりやすくするため。）教材の校正もしっかり、してもらえれば良いかと思います。
- 印刷教材の誤記など、試験にも影響がある内容については、試験前に全て訂正していただきたい。
- 図の中の文字が読みづらい箇所が多かった。（解像度・色）・字幕が欲しい。
- 図表・演出については、もう少し動画やCG（コンピュータグラフィックス）を取り入れると、魅力的になると思います。
- 写真が多用されていてわかりやすいが、できれば写真の説明も画面に記載してあるとより理解が深まる。
- 入門用の御講義という点もあるのですが、文学・信仰、天文学・岩石学・気象学等の初歩→から、もう少し、大学レベルの理系の講義の知識や定量的な解析の説明があったほうが、歯ごたえがあって受講してよかったという学生さんもいらっしゃるのかなと感じます。
- 聞き手の質問がちぐはぐに感じたことがあった。また先生の答えが十分でないこともあった。残念です。ゲストは不要と感じた。
- 全体としては、非常によく構成されていると思います。賢治のふるさと花巻の姿やゆかりのある場所・人物等の取材もさらにあればと思います。



改善点

(単位:人)

科目全般			放送授業		
意見	テレビ	ラジオ 合計	意見	テレビ	ラジオ 合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	26	26	印刷教材の内容が異なる・連動していない	21	21
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	20	20	内容・構成が良くない	9	9
内容・構成が良くない	9	9	理解しにくい	4	4
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	6	6	単位認定試験と連動していない	4	4
興味・意欲がわかかなかった	6	6	放送授業中の資料・データを載せてほしい	3	3
例題・練習問題を増やしてほしい	4	4	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	2	2
難しかった	4	4	印刷教材と異なる講義が聞きたい	2	2
内容にまとまりがない	4	4	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	2	2
内容の詰め込みすぎ	3	3	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2	2
内容が浅い	2	2	手話通訳、または字幕がほしい	2	2
質問や相談がしたい	2	2	講師の解説・指導が良くなかった	1	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	2	2	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1	1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	1	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1	1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1	1	図・表・写真・イラストが見づらい	1	1
講師・事務方の対応が良くなかった	1	1	演出が良くない、演出を工夫してほしい	1	1
講義内容と科目名に乖離がある	1	1	ポイントがつかみにくい	1	1
現実に生かせる内容にしてほしい	1	1	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	1	専門家の意見が聞きたい	1	1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1	1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1	1
ジェンダー平等の精神がない、不足している	1	1	双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1	1
			(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1	1
			専門家の意見が聞きたい	1	1

印刷教材		
意見	テレビ	ラジオ 合計
誤植がある	10	10
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	3	3
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	3	3
印刷教材の内容が異なる・連動していない	2	2
理解しにくい	1	1
内容・構成が良くない	1	1
詳細な解説がほしい	1	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1
文字が読みづらい	1	1
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	1	1
練習問題がほしい、増やしてほしい	1	1
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1	1

通信指導		
意見	テレビ	ラジオ 合計
課題(問題)に誤りがあった	1	1

単位認定試験		
意見	テレビ	ラジオ 合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	6	6
難易度を下げるべき	2	2
試験が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	1	1
問題の解答・解説・用紙がほしい	1	1
誤植があった、数字の誤りがあった	1	1
Web試験では出力できないので計算や記入ができず難しい	1	1

主な改善点の提案:集約

もっと詳しい説明・解説をしてほしい  
 ●放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない  
 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい

●印刷教材:誤植がある  
 内容・構成が良くない  
 ●印刷教材:内容・構成が良くない  
 ●単位認定試験:試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある

### Ⅲ－２．学部（オンライン授業）

ここからは、各部オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

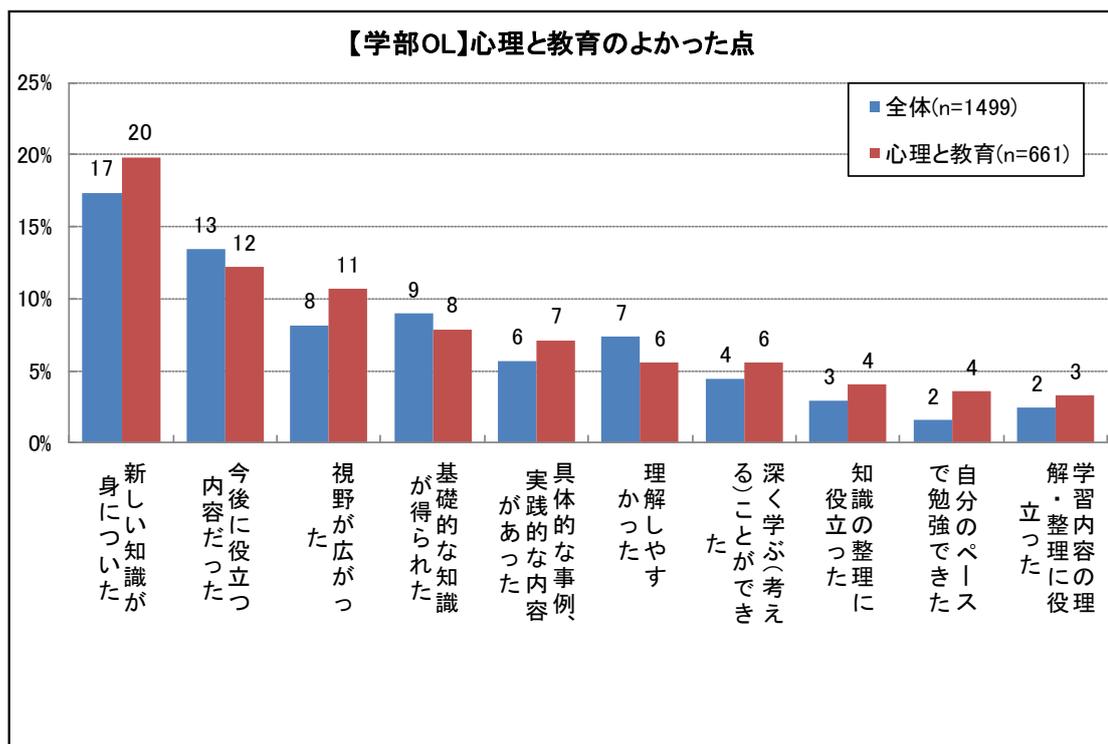
学部のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点については、回答された項目が3%以上の場合、改善すべき点は、回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

#### 【学部 オンライン】「心理と教育」の傾向

##### よかった点

「新しい知識が身についた」(20%)、「今後に役立つ内容だった」(12%)、「視野が広がった」(11%)、「基礎的な知識が得られた」(8%)が上位に挙げられていた。

図3－21 【学部 オンライン】よかった点



## 【学部 オンライン】「心理と教育」の傾向

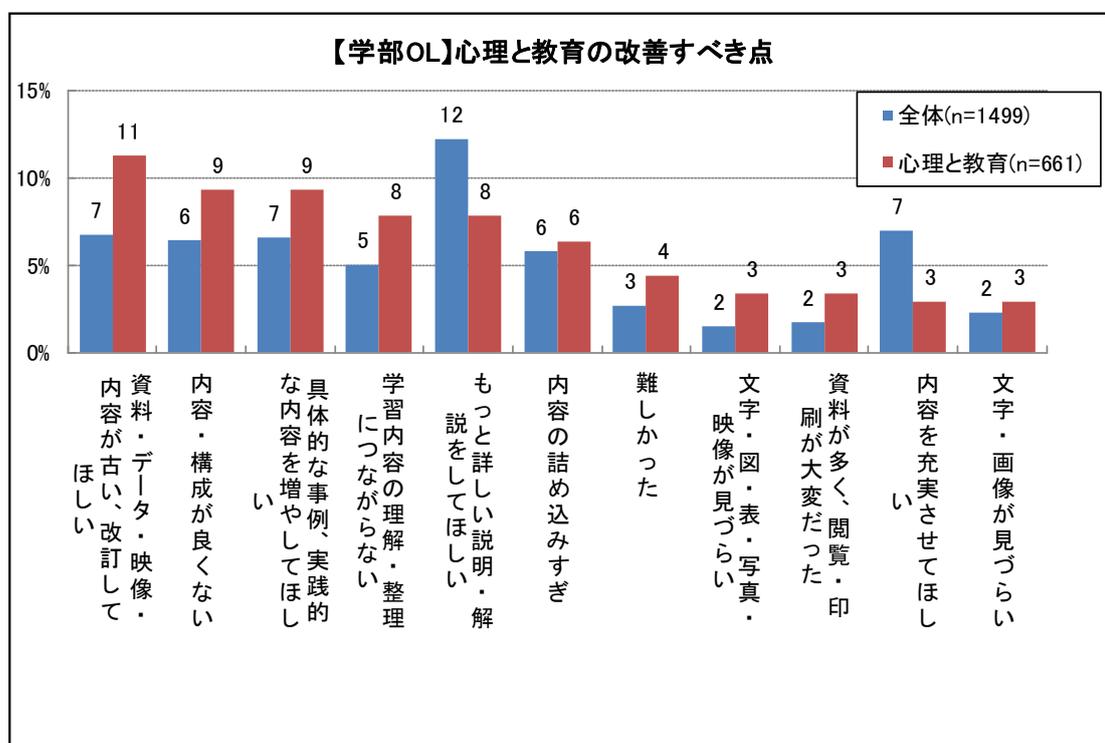
### 改善点

「資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい」(11%) が最も多く、「内容・構成が良くない」と「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が9%と続き、かつ全体よりも多かった。

他では「学習内容の理解・整理につながらない」、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」がそれぞれ8%と続いた。

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」については、8%と、全体より割り込んでいた。

図3-22 【学部 オンライン】改善すべき点



## 【学部 オンライン】「心理と教育」 抜粋

### よかった点

- オンライン学習を通して特別支援学級について、体系的に理解を深めることができ、レポートを作成するなかで自分の考えや学んだことをまとめることができ、貴重な学びとなった。
- 個別支援学校や個別支援級の子どもの様子を動画で視聴できた事がイメージ出来てとても良かったです。こういった動画視聴はオンラインならではのと思いました。
- 実際現場で実践している中で、疑問点や指導に自信がなかったりしていたが、受講したことで様々な場面で対応がスムーズにいたり、業務の理解にも対応ができて助かった。単位取得できた後も、教材やこの授業のメモを実践で役立てていきたい。
- オンラインで動画もきりのいいところで切れていて、まとめて時間が取れない時など、視聴しやすかった。また、特別支援教育の歴史や基本も知ることができてよかったと思った。
- 特別支援についての歴史や内容、対象になる子どもや指導方法、法制度など特別支援教育にかかわることが多岐にわたって学べた点である。教材を一度読んだだけでは理解できないが練習問題や小テストをこなす＝もう一度教材を読み返すので復習にもなりました。
- オンライン授業は自分のペースで学習を進められる点が良かったと思います。動画がセクションで区切られていて、その都度小テストがあるため、重要な事柄が分かり、知識の習得に役立ちました。最終がレポート課題だったため、学習内容と自分の考えを整理することができ、より深い学びができたと思います。15回の講義を踏まえて自分の考えを述べる課題に対し、発問者の意図に即した内容になっているか少し心配ではありますが、限られた時間の中でやれることはやったと思っています。
- オンラインなのでいつでも空いた時間に受講できたこと
- オンライン授業ならではの、写真や動画で特別支援学校の様子を実際に見ることができ、カラーの表やグラフが分かりやすく、理解しやすいと感じたこと。
- 海外や特別支援学級や学校の取組など、普段見ることができないところを紹介してくださり、知見が広がりました。オンラインだったので、自分のタイミングで学びを進めることができたこともよかったです。
- 資料も豊富でオンライン授業を受けながら、印刷した資料に書き込んだり、後で確認したり、練習問題や小テストで理解を確認することができて大変有効であった。また、どの講師の方も熱心で分かりやすかったのが、大変よかった。
- オンライン授業のメリットが生かされ、小テストですぐに確認できたのが良かった。
- 特別支援学校における実際の指導の様子を映像で見ることができ、とても勉強になった。ラジオや写真ではわからないことなので、オンライン授業の良さだと感じた。
- 学校現場で研修を受けていたが、より詳しく説明が聞くことができようになった。
- 今まで学習してきたことの再確認ができた。
- 特別支援の意味や障害児について理解できるようになった気がします。私は視覚障害者のかたに大変お世話させて頂き、自分なりに理解し助けられた事を振り返る勉強になりました。私の考え方に反省しました。視覚障害イコール見えないイコール出来ないと思っていました。私の思いとは別でも出来る人が多かったです。
- 特別支援教育の歴史や制度などを改めて知ることができた。
- まとめて学習できること。
- 特別な教育的ニーズを配慮し、通常の学校でインクルーシブ教育を受けられるよう、質の高い教育が求められることが理解できました。不登校生徒が平等の教育を受けられるような教育の場と機会が保障されるようになるためにはまだ課題があるとわかりました。
- 授業の内容は分かりやすく、適宜インタビューや写真を取り入れることで、理解が深まった。
- 特別支援教育に関する最新の情報を学習することができて、知識をアップデートすることができた。今まで知らなかった内容について、興味をもって取り組むことができた。
- 必要な知識を得ることができ、実際の教育に活かすことができた。

## 【学部 オンライン】「心理と教育」 抜粋

### 改善点

- 授業時間が長すぎる。オンライン授業は1コマ45分だとされているが、どの授業も超過するもので、最初のやる気がそがれてしまうと思った。
- プリントした教材が使いづらい。(ポイント数が小さいため)
- オンライン授業の際は毎回、視聴メモを印刷して確認・書き込みをしながら講義を聴いているが、両面印刷にして枚数を抑えたにも拘らず、この授業は放送教材のテキストより厚みのある枚数になった。複数の講師による授業であったが、ある特定の講師はあまりにも多すぎる印刷枚数になり困惑した。実際には流し読みになっているだけであり、その必要性に疑問を感じた。要点をまとめるのが不得手なのか？あまりにも多くのことを盛り込もうとし過ぎているのか？授業時間と内容に関するバランスの再検討は必要ではないか？と思った。
- ①担当される先生によっては、レジュメを読み上げるだけの方もいました。レジュメから遊離せず、安心して受講できる反面、オンライン形式の意義を見出し難いのも事実でした。レジュメに関連した資料を提示する等の、放送形式に応じた工夫も必要だったのかもしれませんが。②最終回(第15回)は、特別支援教育との関連性が必ずしも明確ではなかったと思います。テーマ自体は興味深いものでしたが、研究途上の習作を見たような感覚を覚えました。科目の目標の下、内容の体系的な整理が必要だと思えます。
- オンライン授業のコマ数が分かりにくく、1回の受講で済むものだと勘違いした。実際は15コマあったので、試験までにすべて受講し終わるか不安だった。
- やはり、オンラインでのみの提出は不安がある。できないときのために、紙媒体での提出も可としていただきたい。
- オンライン授業の印刷教材も大学側から提供してほしいです。
- 資料は、自分で印刷するのではなく、他の科目と同じように印刷教材を用意していただけるとありがたいです。
- 印刷教材が欲しい。少ない時間で学習するため、後に見返したりするのに不便だと感じた。
- 印刷教材を配布して頂けるととても助かった。※学習をするために、印刷からスタートしなければならなかったため、少し不便に感じた。
- 印刷教材の図や説明書きが眼鏡をかけ虫眼鏡で見ても文字がみえなかった。例：第4回19、20、30など他にもあった。
- 教材を毎回印刷するのが大変だったので、テキストにしてほしい。
- 印刷物を自分で用意しなければならないのが大変だった。(印刷環境がないためコンビニで印刷したが、教材資料を買うより高くなってしまった。)
- 講義のスライドをダウンロードして、タブレットで活用しました。タブレット等がない場合は、印刷教材があるとよいのかと思いました。
- 受講ノートは、スライドごとにメモができるようになってよかったが、スライドの文字が小さすぎて見返す際に分かりにくい点が残念だった。画面ではもちろん見やすいが、ノートとして保管しておくには改善が必要だと感じた。せっかくの受講内容をオンラインで見れなくなって以降も手で確認ができるようにしたいと思った。
- オンライン科目すべてに改善していただきたいのですが、視聴メモを印刷すると資料部分の文字が小さく、特にグラフは読み取ることができなくなります。レイアウトの改善をお願いします。
- 教材をプリントアウトしたが、字が小さく読めなかった。
- 印刷がけっこう大変で、プリンターが壊れた。印刷教材があった方がいい。内容が盛り沢山で早口で進む回もあった。
- オンライン授業の視聴メモが、文字や表が小さくなって読みづらかった。かといって、字が大きくなって印刷枚数が増加するのも大変になってしまう気がする。
- オンラインのみでは学習しにくく資料を殆ど印刷することになったが、アンドロイドのスマホだったため、容量が大きくどんな対応をしても印刷できない単元があった。印刷できてもフォントが小さくて見えにくかった。



## 改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	23	内容・構成が良くない	8
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	19	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	7
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	16	文字・図・表・写真・映像が見づらい	7
内容の詰め込みすぎ	13	1講義の収録時間が良くなかった	2
内容・構成が良くない	11	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	1
難しかった	9	システム面の改善が必要	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	5	図・表・写真・映像が見づらい	1
例題・練習問題を増やしてほしい	3	講義ノートやテキストと内容が異なる・連動していない	1
努力不足だった	3	操作・説明がわかりにくい	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	2	設問解答・小テスト(確認テスト)等と異なる・連動していない	1
内容にまとまりがない	2		
期待していた内容ではなかった	2		
興味・意欲がわかなかった	2		
質問や相談がしたい	2		
科目全体の内容・構成が良くない	2		
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		
内容が専門的で難しかった	1		
内容が浅い	1		
最新の内容を講義してほしい	1		
授業科目案内は内容が不十分だった	1		
現実に生かせる内容にしてほしい	1		
自分のペースで勉強できなかった	1		
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1		
科目により難易度の差が大きい	1		

講義ノート・テキスト		設問解答	
意見	合計	意見	合計
学習内容の理解・整理につながらない	16	出題の仕方が不適切だった	3
文字・画像が見づらい	6	小テスト・練習問題に誤りがある	3
内容を充実させてほしい	6	小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	2
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい	4	解答の送信方法がわかりにくい	2
講義ノート・テキストを印刷するのは大変	3	レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	1
良い教材ではなかった	2	小テスト(確認テスト)はあまり学習に役立なかった	1
オンラインであっても冊子のテキストが必要	2		

## 主な改善点の提案:集約

資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい  
 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい  
 ●講義ノート・テキスト:学習内容の理解・整理につながらない

もっと詳しい説明・解説をしてほしい  
 内容の詰め込みすぎ  
 内容・構成が良くない  
 難しかった

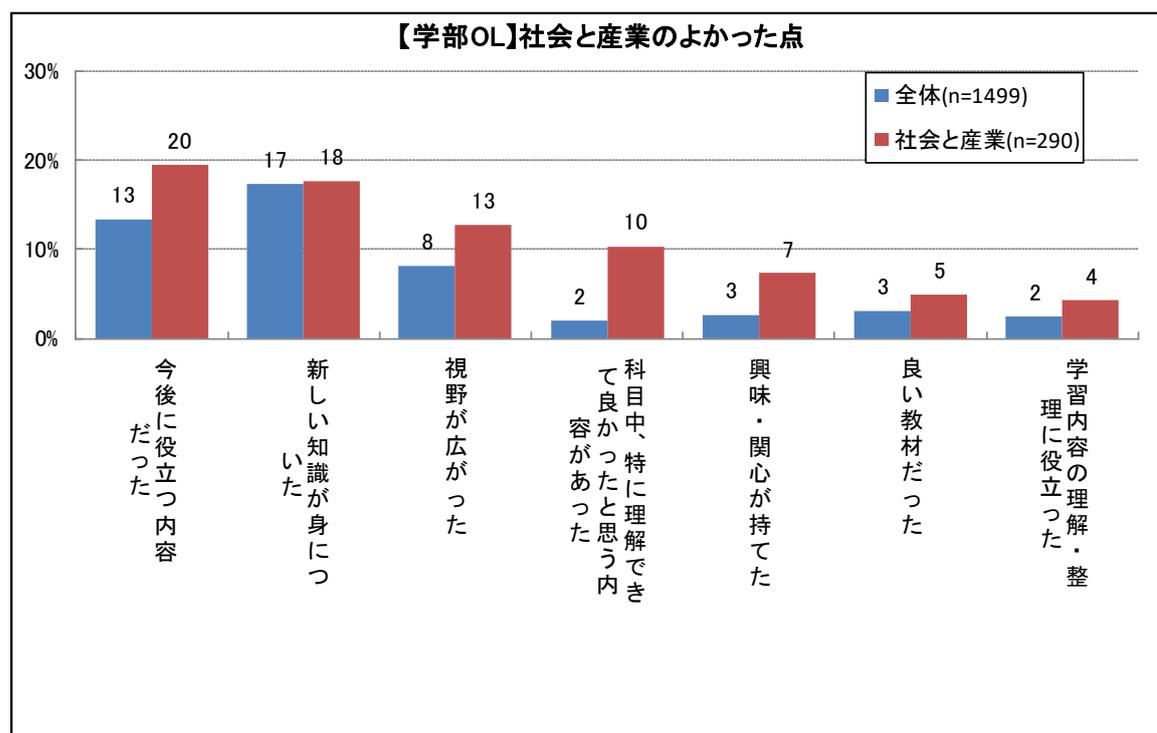
## 【学部 オンライン】「社会と産業」の傾向

### よかった点

「今後に役立つ内容だった」(20%)が最も多く、全体を上回っていた。

他では「新しい知識が身についた」(18%)、「視野が広がった」(13%)、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」(10%)、「興味・関心が持てた」(7%)がこれに続いていた。

図3-23 【学部 オンライン】よかった点

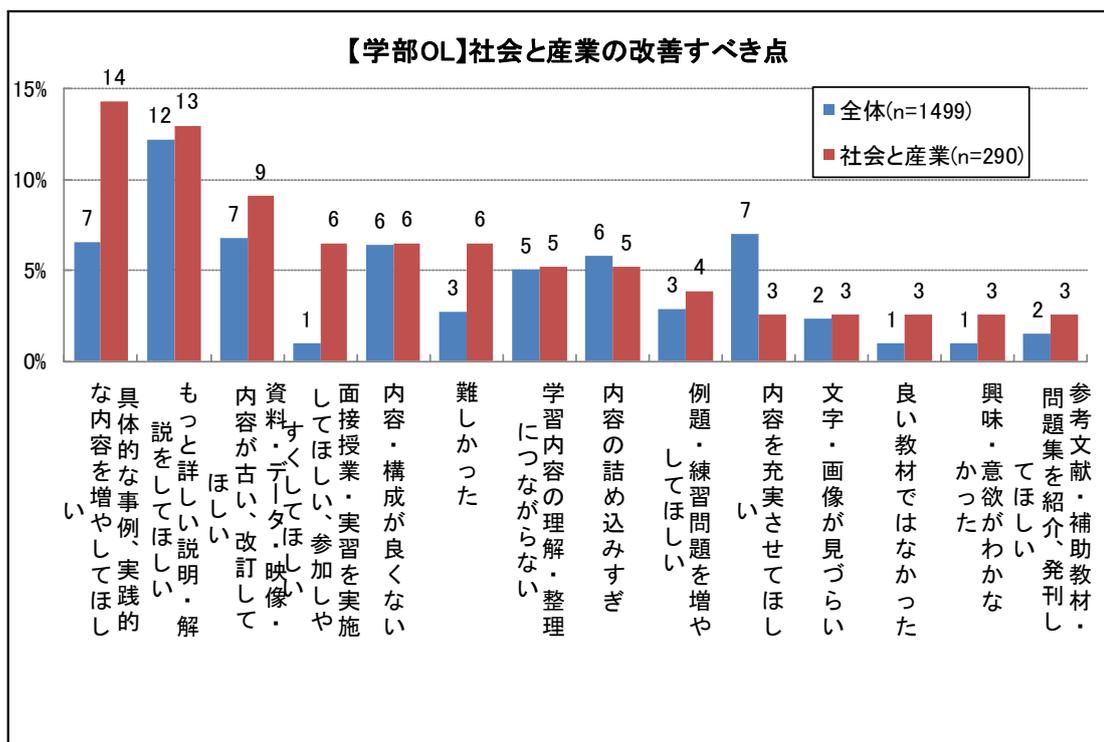


## 【学部 オンライン】「社会と産業」の傾向

### 改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が14%と最も高く、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」(13%)、「資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい」(9%)、「難しかった」(6%)、「面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい」(6%)、「内容・構成が良くない」(6%)と続いていた。

図3-24 【学部 オンライン】改善すべき点



## 【学部 オンライン】「社会と産業」 抜粋

### よかった点

- 大変バランスの取れた科目だったと思います。
- アジアの現状が理解できた
- 途上国といわれる国の急速な経済発展が良く分かった。
- 東南アジアの経済開発の歴史過程が良く理解できた。
- 開発途上国の現状を知ることができた。
- 同じアジアの国々の状況を知ることができ、自分の視点がいかに欠けているものであったかに気づくことができた。
- 緑の革命についてや同じアジアでも状況が様々であることが興味深かった。
- 普通に生活していると見えない視点、事実を知識として得ることができた点では受講して良かったと思う。
- 開発途上国の経済発展のあり方から、今日までの社会や文化変容や現代社会における改たな課題が知れたこと。
- 東南アジアだけでなく、日本についても学ぶことができた。
- アジアについて（歴史・人・産業・今後）へ興味が湧きました。これからも勉強を続けていきたいという気持ちになりました。
- 人口と経済発展の関連について、理解でき興味深い内容でありました。
- 改めて経済発展に至る姿が理解出来ました。
- 日本の外交についての現状を知る事ができました。
- 東南アジア、南アジア各国の社会風土や企業社会の多様性があることを知ることができた。土地制度や農村社会において日本との共通性が多いこともわかった。
- 身近なアジアの国の変容ぶりが少しわかった
- 知りたかった世界の農業事情がわかりました。
- アジアの国を平面的に見えていたものが今回受講することでそれぞれの経済の発展段階の異なる背景を多少とも理解できた。
- 今まで知らなかった世界のいろいろな事を知る事が出来ました。日本の少し前の事が思い起こされました。
- 開発経済学の実態を学んだことがなかったので、人生において役立った。
- 日本の経営のアジア諸国への適用や各国の歴史的背景とその経済への影響は考えた事がなく、とても刺激になって面白かった。
- 人的資源管理を身近に感じることができた。
- 公務員に焦点があてられて人的資源管理について触れられていたこと。
- 公務員と民間の職員の業務内容の違いを知ることができた。
- 社会や仕事のあり方を、学習前とは異なる視点で、考えられるようになり自分の世界が広がった感じがいたします。第 14 回の講義が印象的で、抽象的な事柄をどのように学習に落とし込むのか、難しく感じる場面が多くありましたが、学習後はただただ講義を視聴し、小テスト（課題）をこなすだけではない勉強の楽しさ？醍醐味？のようなものがあり、自分自身の成長を感じることが出来ました。
- 特に「官」の部分について詳しく学ぶことができ、有意義でした。第 2～3 回と第 5 回のインタビュー内容も大変興味深かったです。
- 公務員ではない側として視聴しましたが、若いころ興味をもった職業だったため、また、昔と今の働き方のギャップに現在とまどっているところもあり、時代の流れによる変化がわかり、大変興味深くためになった授業でした。

## 【学部 オンライン】「社会と産業」 抜粋

### 改善点

- 小テストの内容と講義が合わないところが多く、印刷教材をほしかった
- 印刷せず昔式のノートを、画面をストップしながらとったのですが、印刷教材が有った方が私には良かったです。字幕も横で、見づらかったので。
- オンラインの特性を活かすべきだと思った。
- 双方向のディスカッションなど、オンライン授業の利点をもっと活用できるとよいと感じた。
- 映像教材が折角の720pにも関わらず、ビットレートが低いのか、ノイズが多いのが気になった。
- ディスカッションにおいての必要条件是トピックを提出することでした。ですがみんなそれだけで終わり、そこには生徒同士のディスカッションはほとんどないように思えました。
- 1コマが長すぎると感じました。45分位に取まるとちょうど良いと感じます。
- 各国の経済開発の現状の取り組と問題点について、現地の人たちの声があるとなお良かったと感じた。
- 内容が難しく感じた。
- 双方向の会話、討議にはもう少し工夫が必要だと思う。
- アジアの開発途上国についての映像やその実情についての解説が古すぎる。アジアは変化しているので変化に内容を合わせていくべきだ。
- 動画が長かった。毎回ディスカッションがあるのも大変だと思った。レポート課題がむずかしかった。
- 共同体と政治団体と国家の役割と相互関係を大野先生の切り口からもっと見てみたかったです。特にミャンマーやインドの政治風土と政治団体・軍閥の影響などを語ってほしかったです。
- ディスカッションは生徒の取り組みに時間差が生じており、相互に意見を交わすことが困難だと思います。テーマごとにディスカッションに書き込む期限を3回ほどにわけて区切れればもう少し、お互いの意見をかわしやすいのではないかと考えます。
- 毎回のディスカッションは負担が大きすぎた。
- もっと説明が欲しいところもあったが、時間の都合でだめだったようです。
- 小テストも問題が難しかった。
- レポートのボリュームが大変大きく、他の科目に比し5倍程度の受講時間を要し、時間を工面するのにとても苦労した。
- フォーラムに参加しにくい。時間がかかりすぎ
- 西アジアについての資料が足りないかと
- ビデオが60分間の連続であり、分割したほうが良い。途中で集中力が切れた。小テストの日本語自体にわかりにくいものがあつた。(質問の内容をいくつかに解釈できる文章が含まれていた)
- 一意見であるが、働き方改革の点で言うと、能力評価における人事評価制度が機能できる組織ではないと感じる。特に、新卒で採用になった職員に起こる傾向として、税金で給与が支払われている概念が民間企業経験した職員の差を感じやすい。業務の効率化、水平方向に持っていく力縦割りを甘んじて受け入れ同じ組織内に存在するのに、情報や政策を共有ができないままに、独立した会社が存在し業務を行っているようである。つまり、概略的なことは理解できたが、本質的な課題について言及が少ないと感じた。学びが深かったので、現場の声を反映した問題定義があり、それについての対策など好事例などがあると救われると感じた。
- どちらかという公務員制度理解に偏っている感じがおり、マネジメント等に寄せた内容だと実践的でよりためになったように感じた。
- 情報量が少ない。小テストや練習問題の難易度は上げない前提で、もう少し深いところまで情報量を増やして学びたいと思った。動画による内容はこのままで、追加資料のような形で別途深く学べるとより楽しめる。





## 【学部 オンライン】「自然と環境」の傾向

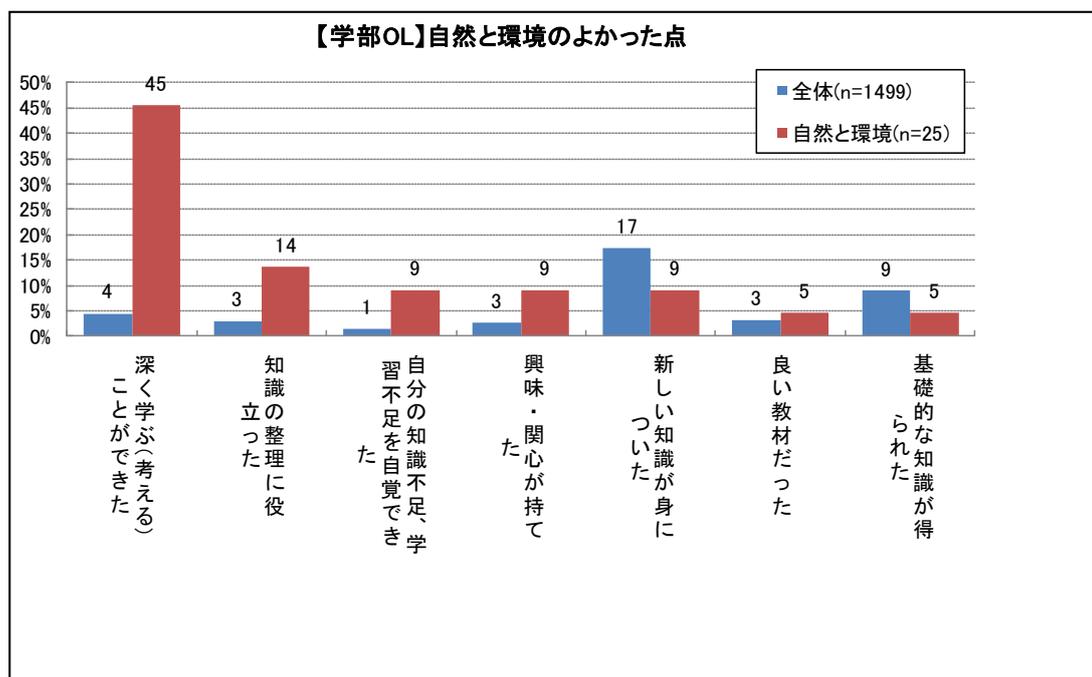
### よかった点

「深く学ぶ（考える）ことができた」（45％）ことが突出して多かった。

また、「知識の整理に役立った」（14％）、「自分の知識不足、学習不足を自覚できた」（9％）、「興味・関心が持てた」（9％）と続き、いずれも全体を大幅に上回っていた。

「新しい知識が身についた」については、9％と、全体の17％を大きく割り込んでいた。

図3-23 【学部 オンライン】よかった点



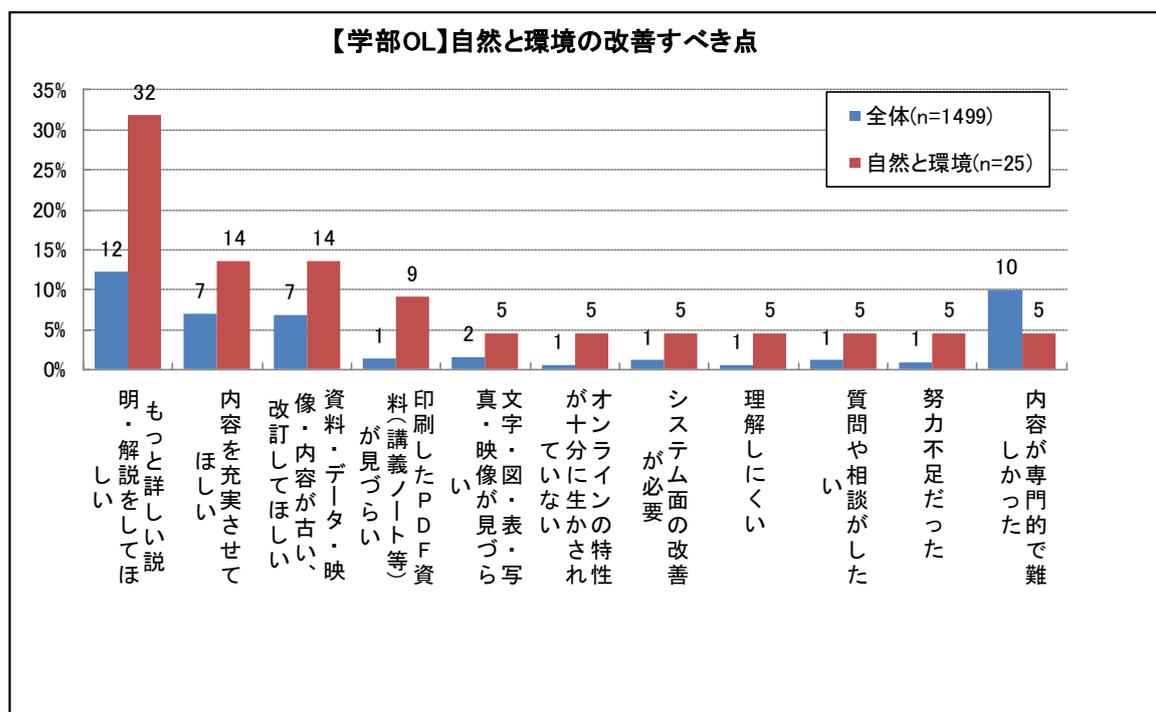
## 【学部 オンライン】「自然と環境」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が32%と突出して多かった。

また、「内容を充実させてほしい」(14%)、「資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい」(14%)、「印刷した PDF 資料（講義ノート等）が見づらい」(9%)と続き、いずれも全体を大幅に上回っていた。

図3-24 【学部 オンライン】改善すべき点



## 【学部 オンライン】「自然と環境」 抜粋

### よかった点

- 演習を通してこの科目への理解が深まった。
- スピンなど量子物理学についてよく理解出来ていないことを理解するための導入となった。
- 手を動かしての演習で、内容についての理解が進んだ点。
- 量子力学の基礎を体系立てて勉強したことがなかったので大変勉強になりました。有難う御座いました。惜しむらくは、力と運動の物理演習（'21）を完全に終わらせずに（解析力学未完了の状態）この科目を始めたため、第5回くらいまでは内容に追いつけずもたついてしまったことを反省しております。
- 電磁場中の電子（1）（2）が良かった。ベリー位相、ベリー接続、ベリー曲率などの用語は聞いたことはあったが、中身は全く知らなかったのので、一通り終わった後に関連する本を読んで勉強することができた。興味を広げるきっかけになった。
- 現在の科学技術の背景を知る上で、重要な知識がたくさんあると思った。
- 平成の初めに、大学で連続体力学や有限要素法を教えて下さった先生が「君たちはオイラーラグランジュ方程式だけは覚えておいてください。」と仰って下さったのが今でも印象に残っています。今回、この科目を受講させて頂いて、やはり岸根先生が「2 状態系の量子ダイナミクスだけは覚えておいてください。」と仰って下さったのを拝聴できたのが、一番、よかったと思っております。貴重な御指導を頂き、有り難うございました。
- 演習問題を通じて理解が深まった。まだよく理解できていないが、ベリー位相やパラメタ空間の電磁気ゲージ理論の構造とかには興味が湧いた。全体的に特に満足しました。
- 演習科目でない放送大学の量子物理学の授業では扱っていない内容もあり、また実際に自分で計算し問題を解くことで理解が深まったと感じる部分もあり、自分で計算ができるようになるくらい授業内で式が説明されていたところが特によかったと思う。
- 量子力学の奥の深さがわかりました。
- 38 年ほど前に大学で習ったことがあったとはいえ、現代物理学の基礎として重要な科目であり、簡単に取り組むことができる科目でないことはよくわかっていました。演習科目としては出色の出来栄えだと思いますが、21 世紀のテーマを取り込んだ現代的な内容となっていることから、多体系の問題を含んでいないものの、難易度が高い科目となっています。これは良い点でもあり、放送大学の演習科目としての限界も示しているのかなと考えております。
- 放送授業「量子物理学」の復習になったため、量子に対する理解が深まった。
- 量子物理学をじっくり 2 単位で演習することで、放送授業で学んでいたことの理解が深まった。
- 量子力学の理解が深まったと思う。
- 量子力学に係わる具体的な問題の演習（トレーニング）を通して、量子力学の抽象的な概念や基本原理に対する物理的イメージを把握、理解することができました。また、ヒッグス機構やトポロジカル物質等に関する話題を通じて、「複雑な物理現象の中から、本質を抽出してモデル化する」という物理学の基本的な考え方を学ぶことができました。
- 量子力学の基礎的な項目を問題を解くことで理解が深まった。
- 自分の手を動かして量子力学の問題を解くという体験ができたことが一番よかった。また、今まで知らなかった共鳴透過、ランダウ準位、ベリー位相などの概念が興味深かった。
- ・未学習の分野を学習できた。・各分野の理解度の確認と、理解が不十分なところの再学習ができた。
- 既習部分と未習部分が混在していましたが、最新の話まで扱われていて、十分学習したという実感がありました。ディスカッションがほとんどなかったのが残念です。スピンの量子化軸についての説明は、図とともにもう少し詳しくいくくらいの説明が欲しかった。
- 全 15 回（2 単位）の演習であったこともあり、初歩的な入門で終わらず、量子力学のしっかりした内容を学べて非常に良かったと思います。

## 【学部 オンライン】「自然と環境」 抜粋

### 改善点

- この科目というよりもオンライン授業は自宅でやっているとどうしても単方向性になってしまうので、(無理かもしれませんが)面接授業のような部分を取り入れられたら有難いと思います。
- 本科目は今回が初回でしたので誤記等が散見されました。今後、誤記等が訂正されてオンライン配信されるものと思いますが、受講者へのフィードバック方法を確立させて頂きたいと思います。
- 印刷教材は映像で解説された解答などがふくまれていない。また印刷しても文字が読み取れないなどの欠点があり、実際の映像をキャプチャして資料を作り上げて勉強した。そのため問題を解くより資料作成に時間がかかった。教材は誤植が含まれている。指摘することもできるが、結局指摘した内容が指摘通りかそれとも自分の間違いなのかはわからなかった。正誤表は学習が終了しても共有してもらえるとありがたい。レポートの評価は点数しかでないため、今後の改善点などあれば教えてほしい。
- 誤記訂正の連絡は基本的にオンライン授業システム内の「講師からのお知らせ・連絡事項」で行われていたが、一部の誤記訂正はシステム WAKABA の「授業連絡」で行われた。「授業連絡」を普段見ていない人もいるようなので(見ていないことも問題ですが)、同じ種類の情報を複数の箇所に分散させるのは混乱の元になると思う。
- 細かい質問にも答えてもらえる仕組みを作って欲しい。レポート課題が難しく、参考文献とかヒントをもっと入れてほしい。
- 解説をもう少し充実させた方がいいと思う。
- 小テストの内容については、演習での問題をとれば完全に対応出来る位の難易度にするべきだ。
- 印刷物の字が細かすぎる。年寄りにはきつい。
- 例題や小テストの解答が理解しづらかった。当方の能力不足も感じたが、誤記や誤植は極力避けて欲しいと感じた。
- ついて行くのに精一杯で、改善すべき点を考える余裕がなかったです。すみません(涙)。
- 小テストの問題検討がやや不十分と感じたのが2・3箇所あった。
- 視聴メモの pdf について、文字が小さい式があり、それを印刷した時に文字が潰れてしまい不便だったので、今の視聴メモでもありと便利だが、1 ページにのせるスライドの数や大きさなど構成については改善の余地があると感じた。
- 特段の改善点はないですが、学習内容の改善というよりは、小テストの出題レベルをもう少し下げたほうがよいのではないかと感じました(摂動論の部分など)。その分レポートをより工夫すればよいかと思います(スピンやゲージ対称性は難しいテーマですが、現代的な物理の学習には、もちろん必要な内容だとは思っています)。
- 摂動論については放送授業のものとの関係がよくわからず演習問題を理解するのに時間がかかった。放送授業と関連があると理解が深まると思います(私の理解不足の可能性が高い)。
- ・量子力学は現在の私の能力を超えていると感じている。・初歩的な疑問に対応できるシステム(随時対応できる質問-解答方式)を備えてほしい。例えば、ブラケットについての演算手法等。・講師が板書することは時間がかかりまた読みにくいため印字し適宜注釈を加えるほうが良いと思う。(岸根講師はそのようにされている)。
- AB 効果の課題が難しかった。ブラベクトル・ケットベクトルが高度に抽象的で、どのように AB 効果にアプローチするか解答作成が難しく苦戦した。
- 1つの科目 15 回だけでは詰め込みすぎで基礎が追いつかないので、初等的レベルと上級レベルの2つの科目に分けたほうが良いと思いました。特にブラケット記法などはもっと丁寧に講義いただきたいと思いました。数学系の別の科目で扱っていただければそちらを受講したいと思います。
- テキストを印刷しても印字が小さすぎて読めない。右側のノート部分は要らない。1 ページにスライド2枚だけにして欲しい。あるいは、元のまま1 ページに1枚のスライドでよい。印刷は自分で、適当に印刷できるので。
- 講義内容はかなりボリュームがあるため、毎回の学習に多くの時間が必要になります。そのため、レポートの提出時期をもう少し遅くしていただきたい。

【オンライン学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般		講義ノート・テキスト	
意見	合計	意見	合計
深く学ぶ(考える)ことができた	10	良い教材だった	1
知識の整理に役立った	3		
新しい知識が身についた	2		
興味・関心が持てた	2		
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	2		
今後に役立つ内容だった	1		
基礎的な知識が得られた	1		

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	7	理解しにくい	1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	3	システム面の改善が必要	1
内容が専門的で難しかった	1	オンラインの特性が十分に生かされていない	1
努力不足だった	1	文字・図・表・写真・映像が見づらい	1
質問や相談がしたい	1		

講義ノート・テキスト	
意見	合計
内容を充実させてほしい	3
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい	2

主な改善点の提案:集約

もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 講義ノート・テキスト:内容を充実させてほしい
- 資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい

- 講義ノート・テキスト:印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい
- オンライン教材:文字・図・表・写真・映像が見づらい
- オンライン教材:オンラインの特性が十分に生かされていない
- オンライン教材:システム面の改善が必要

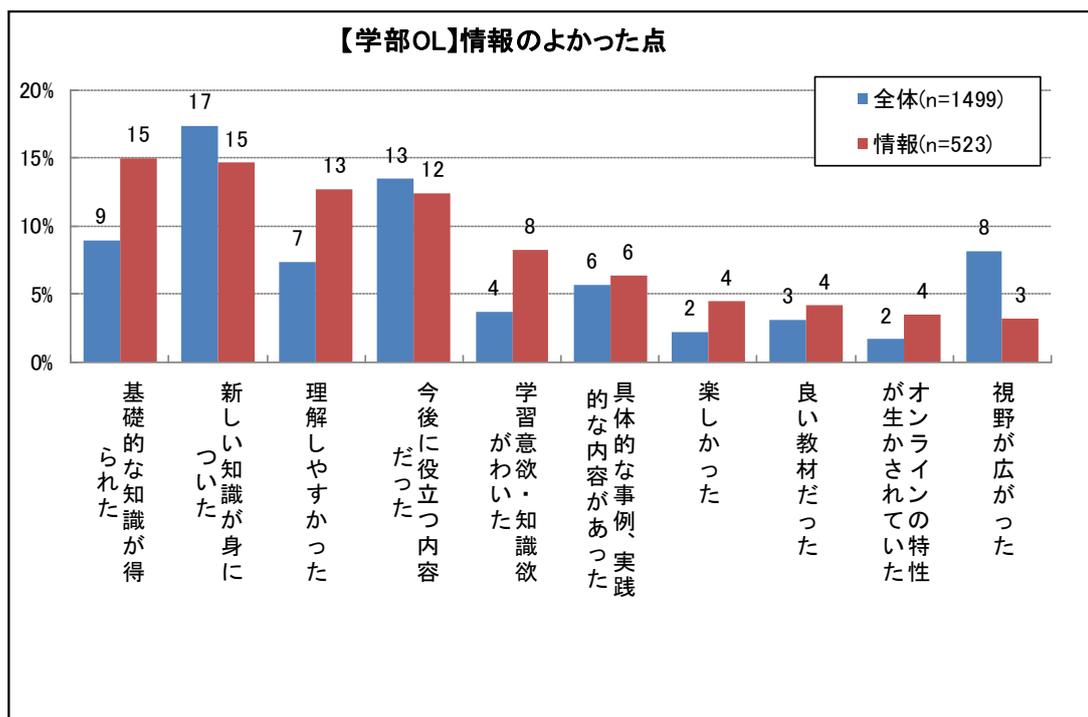
## 【学部 オンライン】「情報」の傾向

### よかった点

「基礎的な知識が得られた」、「新しい知識が身についた」が15%と最も多かった。

他では「理解しやすかった」(13%)、「今後に役立つ内容だった」(12%)、「学習意欲・知識欲がわいた」(8%)がこれに続いていた。

図3-23 【学部 オンライン】よかった点



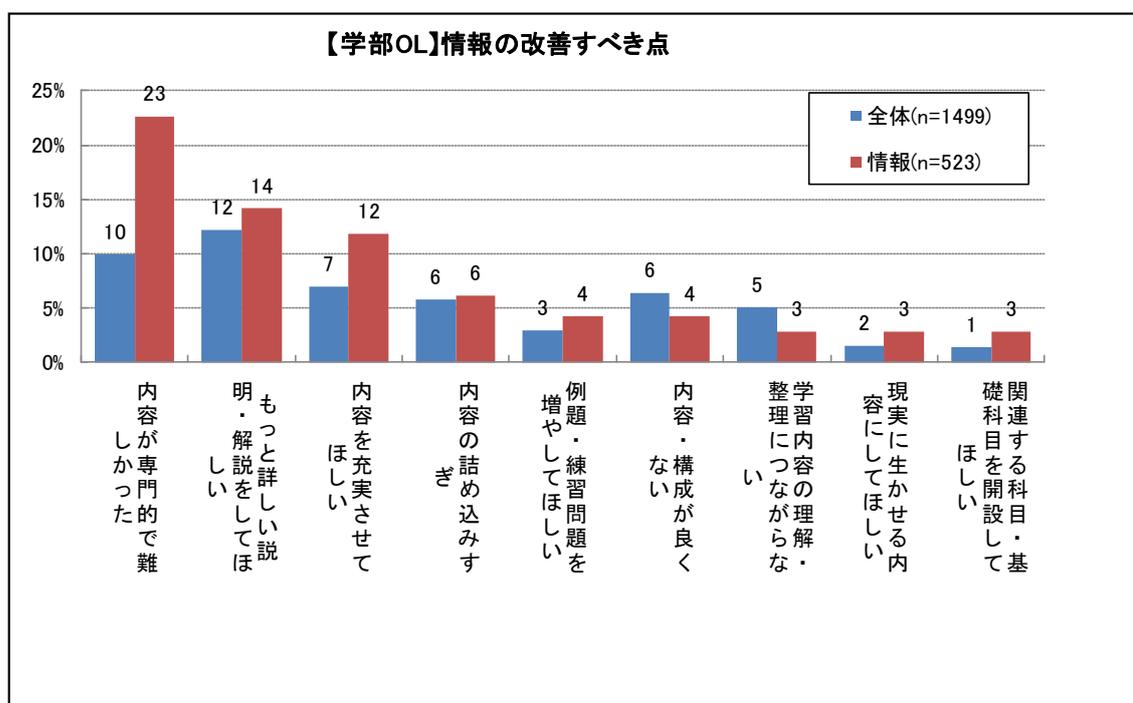
## 【学部 オンライン】「情報」の傾向

### 改善点

「内容が専門的で難しかった」が23%と突出して高かった。「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」(14%)、「内容を充実させてほしい」(12%)が続き、それぞれ全体を上回っていた。

他には、「例題・練習問題を増やしてほしい」、「内容・構成が良くない」が4%と続いていた。

図3-24 【学部 オンライン】改善すべき点



## 【学部 オンライン】「情報」 抜粋

### よかった点

- 教材と学習環境が一体になった Google Colaboratory を使った授業は、プログラミングの学習にとっても適していると思いました。
- 元々Python の知識の必要性を感じていたが、事前のミニ講座がとても興味深かったため、受講を確定した。オンライン講座の方が、速度の調整や巻き戻りができて、しっかりと理解することができた。本当に興味深い内容で、回を追うごとに夢中になり、一度動画を止めて、関連する調べ物をしてから戻って書き直すことも多々あり、授業内容以外の知識習得にもつながった。
- 主な教材が Google colab となっており、パソコンへのソフトのインストールが不要であること。手軽さがよかったです。トピック毎に短い動画に分かれていたため、隙間時間での学習に適しており、モチベーション維持がしやすかったです。
- 全くの初心者からの学習でしたので、オンラインで各項目ごとに動画がまとめられており、集中して取り組むことができたと感じています。小テストも手前にクイズが設けられておりテストで100点はなかなか取れませんでした。が何度も事前に勉強することができ助けになりました。
- はじめてのオンライン授業でした。Python という科目の特性上 Google コラボを利用して受講できたので、スムーズに Google コラボでコードを書けるようになり、オンライン授業が合っていると思いました。小テストで1回ずつ確認するので、テスト対策で丸暗記しなきゃみたいな焦ることなく、毎回コードを読み解き、コラボや授業を振り返り、小テストを受けられたことがテストへの負担が減ってよかったです。レポートは何を3ページも書けないかと思ったのですが、この1学期を振り返り、自分がどう成長したのか振り返りにちょうどよかったです。
- 現在プログラミングの主流となりつつある PYTHON プログラミングをオンラインで学べることは非常に時代にマッチしていた。Google Colab を利用していましたが、教材が非常によくできており、授業 +  $\alpha$  の部分が学習後も参考素材として有益なものでした。先生の熱意みたいなものが感じられました。その部分を学習するかは本人次第ですが、学ばなきゃ損というくらい充実しているものでした。自分も、すべてできているわけではありませんが、時間を作り学習を進めたいと思います。
- Python の基本的な内容が分かったこと。また、授業で扱いきれなかった部分が付録教材として配布されたのも自己学習に役立ったのでとてもありがたかった。
- ・プログラミングを基礎から理解できた。・講師の解説が大変わかりやすかった。・これから独学していく基礎ができた。・学習センターに出向かず自宅で演習ができた。・教材が大変わかりやすかった。・教材が大変工夫されて作成されていた。
- 普通の講義では自分で管理することができず、試験間際に毎回大変な思いをするが、オンライン授業はある程度ペースを守ることができて、私にあっていて感じた。最近話題の Python をまだ初歩の初歩ではあるが体験できてとてもよかったと思う。「プログラミングの可能性」や「なぜITの時代なのか。」を十分に実感できる有意義な講座であったと思う。
- 放送大学で受講したプログラミングの授業で授業内容、教材共に最も良い内容だと感じた
- Google Coraboratory がとても使いやすく、映像付きの講義もわかりやすかったです。他のプログラミング系のオンライン科目についても、同じような形式にしていただけるとうれしいです。
- プログラミングの講義であったので、講義動画も講義資料もインターネットを介し、自分のパソコン上で見ることができ、同時にプログラミングの記述もできるという環境はオンライン授業ならではと思いました。先生の説明もテキストも丁寧で分かりやすかったので、とても学びやすいと感じました。
- python の基礎を理解できました。オンライン授業は、書物による独習に比べて、理解度が高かったように感じました。一方通行とはいえ対面の重要性を改めて認識しました。
- 応用が可能になるまでの基礎力を身につけることができた。学ぼうという姿勢や習慣を身につけることができた。オンライン授業は自身のペースで進めることができるので、やりやすかった。
- Python の初心者の入門として、簡単な内容から入っていただき、良かった。Google Colaboratory を使用しての講義、講義内容を自分の Google ドライブに保管でき、教材のプログラムを使って、機能のチェック、自作プログラムの書き込み等でき、使い勝手は良い環境でした。
- 新しい知識を習得できたこと。オンライン授業であったため自宅で学習が完結したこと。

改善点

- PDF を印刷するのに、かなりの枚数になったので、小冊子でもよいので、予め印刷物の教材が欲しかったです。
- もっとオンラインの授業を増やしてほしい。
- 強いて言えば、(この科目に限らずオンライン授業全般ですが) 双方向性の工夫が欲しいと感じました。前後動画への遷移ボタン(リンク)があると良いと感じました(常にトップページに行ってしまうのは大変)。
- いくつか問題はあったが、それは自分の PC 環境によるものなのかオンライン科目のシステムなのか判別がつかないし、Web ブラウザの変更で何とかだったので、特に改善すべきとは思わない。
- google colaboratory の利便性は著しく低く、また Python の実行環境として一般的なものではない。教材として使用して良いものではない。
- オンライン科目は日程管理が難しい。提出すべき期日への督促メールがあると励みになった。単位認定科目のように小テスト、最終レポート期日のリマインドが欲しい。うっかりして単位認定科目の締め切り日と同じと勘違いした。
- 事前の習得知識など個人差が大いにあると思いますが、難易度が第 5 回あたりから急激に上がったように感じました。教材だけではよくわからず、一般のテキストや公開情報などあわせてテストの設問をやっと理解できるといった状況で苦勞しました。入門というには難易度が高く感じたので入門と応用など内容を分けるなどして入門編の難易度を下げる方向になればよいと思いました。
- 1 単位分のものとしては、他のオンライン講義に比べてレポートとして求められる分量と内容が大きかったです。
- 面接授業でも Python の入門講座が開設されており、その授業ではプログラミング自体の for 文、while 文、if 文、リストとタプル、関数定義に関する内容と問題演習に多くの時間を割いていたが、一方で、このオンライン授業ではそれら基本的な事項を 1 回~3 回の授業のみ、それ以降はプログラミングのテクニク的な講義と小テストが中心であった。そうしたテクニクはすぐに忘れるので、導入科目であり、入門としている当該科目で取り上げるべきでないと思う。よりプログラミング自体を数多くこなし、プログラミングのルール理解を重視すべきであると思う。なお、レポートの内容についても 1 単位分の学習をただで、プログラミングが応用できるようになることを求めているが、本来学習というものは、段階を踏んでよりレベルの高い問題や応用ができるようになるはずなのに、そのステップがなく、無理がある。そうした応用を求めるなら、Python 中級編や上級編の講座を 3 単位や 4 単位分ほど受けた上で、求めるべきである。
- 初めてオンライン授業をうけて、最後の「評価レポート」が事前にも閲覧できて課題を確認できる、というのがわからなかった。(試験で時間内に終わらせるようなものかと思ってた)なので最初のころに課題をわかって取り組んでいたら別の課題を選択したと思う。
- 初年度なので教材や小テストに誤植が残っているのは仕方ありませんが、今後の改善を望みます。教材の改訂版 PDF を後日ご提供いただけると有難いです。講義の解説動画の開始時に流れる音楽が安っぽいコンピューターゲームのものに聞こえます。もう少し格調高い音楽にして欲しいです。
- 参考として、pdf の教材が用意されていたが、これについては、この中にあるプログラムを実行した後のものにして欲しかった。そのほうが、後で調べるときに便利だと思った。全体の授業構成については、1~4 章までを、もう少し丁寧に時間をかけ、その分 5 章以下を簡素化した方が、理解が深まると思った。
- 後半の難易度が急に上がっているように感じるので、紹介程度に留めておいて、もう少しプログラミングをする時間を設けても良いのではないかと感じた。
- プログラミングが苦手な私にはとても難しかったです。
- 計算コストの話をするならば、深掘りした方が良いと感じた。そういうものなんだという印象であった。
- 基礎的知識として数学(バックグラウンド)の知識が必要(人により)であったり、PC の操作手順などが不可欠であると思った(団塊の世代にはハードルが高い科目である)
- Google のやつが微妙に使いづらい





### Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

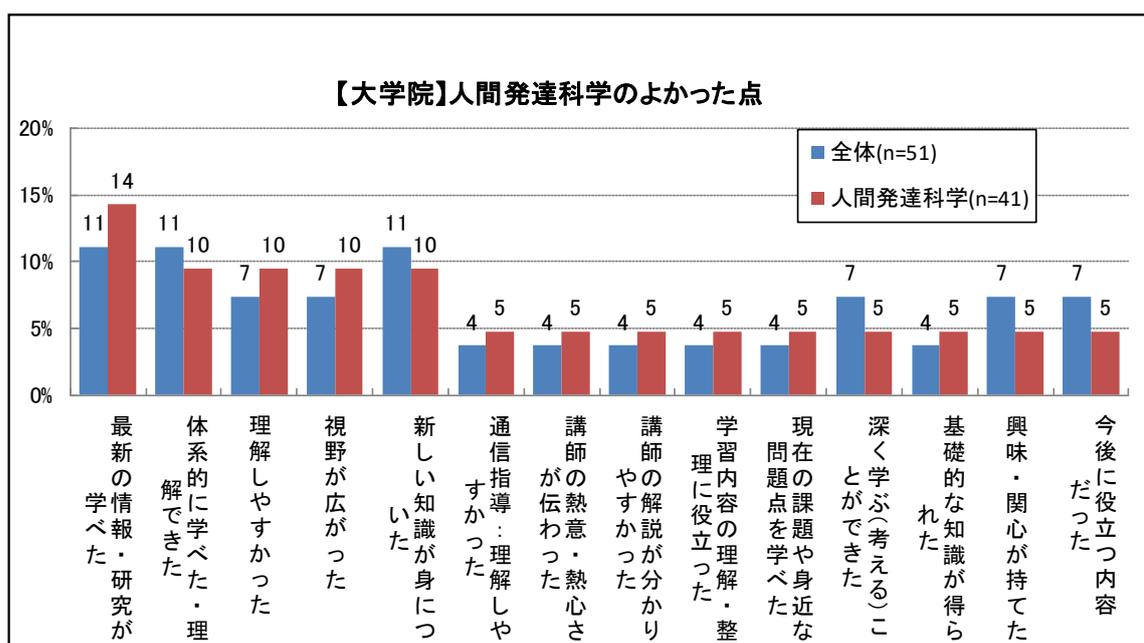
改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

#### 【大学院】「人間発達科学」の傾向

##### よかった点

「最新の情報・研究が学べた」が14%と最も高く、次いで「体系的に学べた・理解できた」、「理解しやすかった」、「視野が広がった」、「新しい知識が身についた」10%で続いていた。

図4-1 【大学院】よかった点

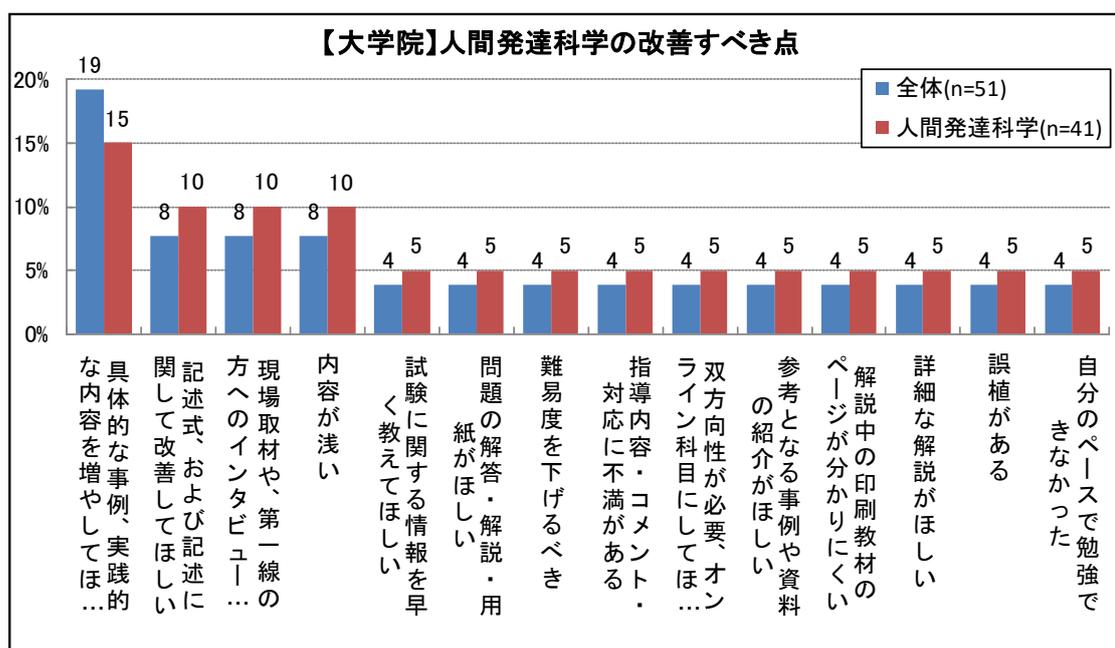


## 【大学院】「人間発達科学」の傾向

### 改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が15%と最も高かった。そのほかでは、「記述式、および記述に関して改善してほしい」、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」、「内容が浅い」が10%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



## 【大学院】「人間発達科学」 抜粋

### よかった点

- 教育行政の課題点や、賛否の判断のつきにくい事項について一般にメディアやインターネットで言われていることから一段深く知ることができました。教育に携わる仕事をしていながら「教育行政」は外からだとわかりにくく、様子については人から断片的に聞くのみでしたので、体系的に学べてとても良かったです。今後も仕事で教育問題に関わる上で、生徒児童や保護者からの視点だけでなく行政側の知識と視点を持つことができました。そのことは武器になると思います。また個人的に教育行政に興味を持ちましたのでさらに学び続けたいと思っています。
- 教育に対する実情認識、課題と対策に対する再確認ができたこと。
- 教育心理学を網羅的に学べた点。
- 最新の状況が取り上げられている
- 最新の知見でした。
- 校長として勤務していますが、教育行政での経験もあります。その経験をもとにしても、本科目はさらなる視野の広がりをもたらしてくれました。
- 私は教育の理論的な内容は全くの素人でしたので、とてもいい刺激になりました。特にマクロ的な内容に関心があるのでピッタリでした。
- 教育行政と学校経営について、最新の情勢・情報を反映した内容で、とても興味深く、学ぶ意義を大いに感じました。
- 前回も同じ科目を履修したが、今回は新しい情報が含まれており勉強になった。
- 仕事と関連した内容が多いため理解がしやすい。
- 質問箱での質問に丁寧に対応してくださいました。
- 教育委員会制度について深く学べて良かった
- 興味のある分野の学びを深めることが出来た。
- 教育行政の歴史や背景など概ね知ることができた。
- 心理学について、知らないことを学べた。
- 児童生徒教師の心理について学ぶことができ、今後の学校生活に大いに活かせると思います。
- 教育心理学の基本を、学部レベルよりも高い水準で修めることができた。
- 現職教員ですが、実際の指導場面でも児童の発達特性に戸惑うことが多いです。今回の学びで、その戸惑いが少しだけ晴れるような気がします。
- 教員の経験があるので、知識の再習得が出来たところです。通信指導の時期に多忙でしたので未提出ですが、後期に試験が受けられるので、後期に通信指導を提出して、1年間通しでやろうと思います。
- 学校現場で働いているが、生徒指導や学校心理学についてはよく知らなかったので理解がとても深まった。授業の基本的な理論も知ることができ、今後仕事をする上で納得してすすめていけると思った。
- 先生方の熱意が伝わり授業の度に感動を覚えました。取り扱われている教育現場を具体的にイメージしながら、課題や問題解決について深く考察する手がかりを得ることができました。
- 学校教育における授業の原理の基礎が学べたとともに、心理的アプローチを知ることができたので受講してよかったです。

改善点

- 印刷教材をなぞるだけでなく、印刷教材には書いてない説明を加えていただけた時、理解の深まりを感じました。印刷教材を読めばわかる部分もあるので、例えば「〇〇ページの〇行から〇行までの内容を詳しく話します」等、解説に軽重をつけても良いかと思います。軽く扱った部分が聞きたかった方は質問箱を利用すればよいので。
- 大学院科目としてもっと深い内容を期待します。
- 教育行政の方をゲストとして招き、その経験を語ってもらうことは画期的だったと思います。このような、普段お話を聞けない方からの情報提供は極めて貴重です。ぜひこのような機会を広げていただきたいと思います。
- ゲストをもう少し呼んでいただけるとわかりやすいかもしれません。特別支援教育を実践している現場教員など
- 現代の教育行政のしくみや課題成果などについて分量を増やしてほしい
- テレビ番組などを多用し、できるだけ具体的な事例が見えるようにしていただけるとよいと思います。
- パワーポイントでスライド表示をしつつ、ネット動画配信をしていただいた方が理解が進むと感じた。
- 強いて言えば2倍速でも聴けたらと思いますが1.5倍でも十分です。
- 上記同様、大学院科目としての内容の深化を期待します。
- 音声のみのラジオ配信よりも、テレビ番組のようなクオリティーは求めないので講師の先生自身によるネット動画配信にしてほしい。
- 試験に出るポイントの解説などがほしい。
- 終講試験が難しすぎる。
- 認定試験の学習の時間が取れなかったのが、余裕をもって取り組むべきだったと反省しています。
- 受講内容と単位認定試験問題特に選択式の問題が限定的で、余りにも専門的すぎる。問題文の内容を読解するのに時間を要する。本選択問題を正答できて本当に講義内容を理解していると言えるのか疑問。いっそのこと全部、記述問題にしたらと提案したい。
- 通信指導が択一型だったため、単位認定試験も択一型だと勘違いし、単位認定試験の受験期間が短いことを認識せず、単位認定試験を受けられなかったことが自身の反省点です。自分の不注意を改善することが第一ですが、もし可能であれば、通信指導の設問の最後に、記述型の設問サンプルをつけていただけると、(添削や評価はいただかなくとも)記述型のことを意識して単位認定試験の準備ができてありがたいです。
- 通信指導の結果、単位認定試験の結果をもとに出た評価が厳しいと感じた。
- この授業内容に関する具体的な現状に対する分析データと、記載されている取り組みに対する評価データがあれば、納得の程度が向上すると考えます。
- オンライン授業の方が分かりやすいです。
- この科目に限った話ではおそくないのですが、放送したものをもう一度しっかりと確認する必要があると思いました。たまに同じような文言が続くことがあったので。それは印刷教材の誤字などにも言えると思います。
- オンラインでの講義の中で、テキストのどの部分の話をしているのかがわかるようにすると、放送内容をテキストで確認しながら進めるのでよいのではないかと感じた。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
最新の情報・研究が学べた		3	3	講師の解説が分かりやすかった		1	1
新しい知識が身についた		2	2	理解しやすかった		1	1
視野が広がった		2	2	講師の熱意・熱心が伝わった		1	1
体系的に学べた・理解できた		2	2				
勉強になった		1	1				
今後役に立つ内容だった		1	1				
興味・関心が持てた		1	1				
基礎的な知識が得られた		1	1				
深く学ぶ(考える)ことができた		1	1				
理解しやすかった		1	1				
現在の課題や身近な問題点を学べた		1	1				

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		3	3	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		1	1
内容が浅い		2	2	参考となる事例や資料の紹介がほしい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		2	2	双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1	誤植がある		1	1
自分のペースで勉強できなかった		1	1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
詳細な解説がほしい		1	1	指導内容・コメント・対応に不満がある		1	1
				記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を下げるべき		1	1
記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1
問題の解答・解説・用紙がほしい		1	1
試験に関する情報を早く教えてほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい  
 現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい  
 内容が浅い

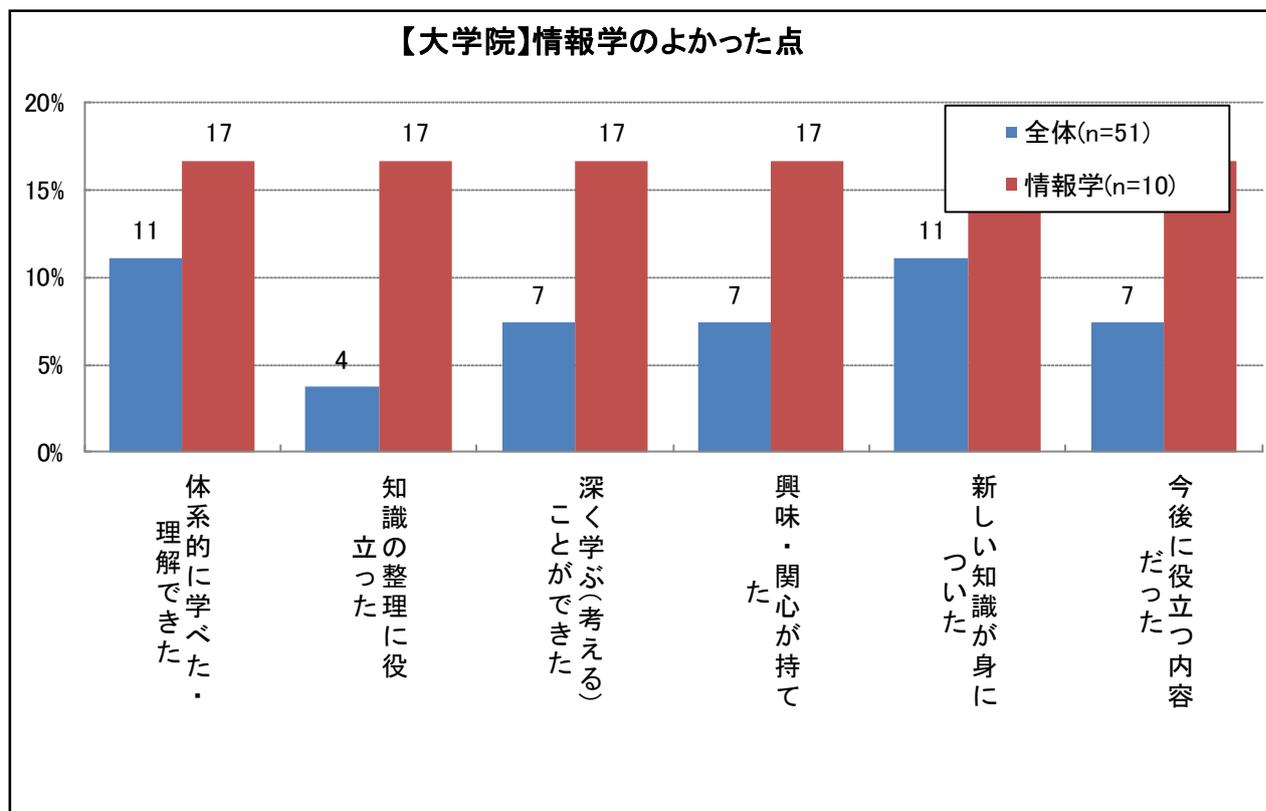
- 単位認定試験:試験に関する情報を早く教えてほしい
- 単位認定試験:問題の解答・解説・用紙がほしい
- 通信指導:記述式、および記述に関して改善してほしい
- 単位認定試験:難易度を下げるべき

## 【大学院】「情報学」の傾向

### よかった点

「体系的に学べた・理解できた」、「知識の整理に役立った」、「深く学ぶ（考える）ことができた」、「興味・関心が持てた」、「新しい知識が身についた」「今後に役立つ内容だった」がそれぞれ17%と同水準となり、それぞれ全体を上回っていた。

図4-3 【大学院】よかった点

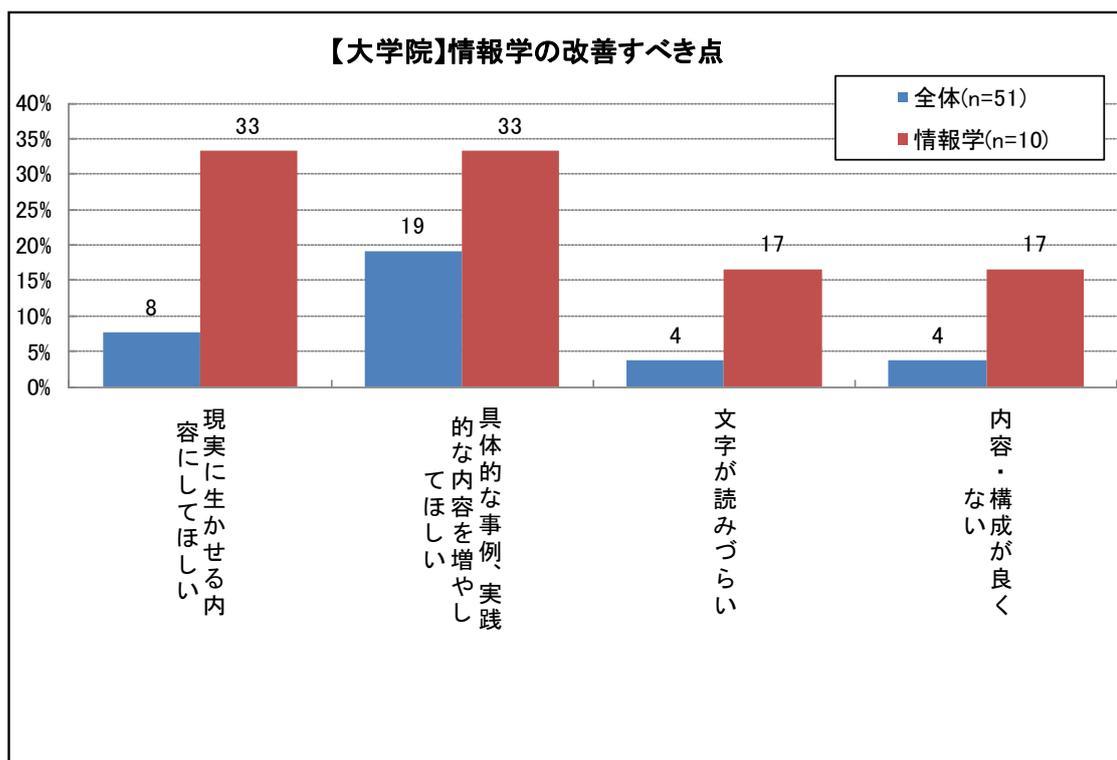


## 【大学院】「情報学」の傾向

### 改善点

「現実に生かせる内容にしてほしい」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」がそれぞれ33%と最も高く、「文字が読みづらい」、「内容・構成が良くない」が17%と続いていた。また、それぞれ全体を上回っていた。

図 4 - 4 【大学院】改善すべき点



## 【大学院】「情報学」 抜粋

### よかった点

- システム要求に対する一つの統一した内容を学習でき、自身の知識、経験との比較ができ、興味深かった。
- 仕事で関わるシステム開発について、整理して学ぶことができた。講師1名でなく、講師と聞き手、という進め方は分かりやすかった。
- 要求工学を体型立てて学べたこと。
- 要求工学の理解が深まった
- 情報関係の科目を毎年度1科目以上取得を目指し、新しくできたこの科目を受講しました。ありがとうございます。
- ユーザインタフェースを主として勉強しようとし、その足掛かりを得られた点

### 改善点

- 印刷教材の紙質が薄く、前のページの文字などが透けてギリギリ見えるか見えないかという状態だった。そのため、老眼が始まりかけている自分としては、そうした透けた文字と、本当に読まなくてはならない文字を判別して読むのがやや困難だと感じた
- 後半の要求定義手法の内容については、手法だけではなく、その運用方法を含めた内容にすることで実践に向けての取り組み方が考えられるのではないかと感じた。
- 数理的な手法を用いる章に関しては、ラジオではなくテレビなどで映像を用いて詳細に解説を加えた方が良かったと感じた
- 学問としての要求工学と実践に向けての要求工学は、各現場の状況により違いが発生すると考える。その点のフォロー内容があれば、実践的な学問として取り組めるのではないかと考える。
- 図表などがあるので、ラジオではなくテレビにしてほしい
- 授業は非常に分かりやすかったが、印刷教材との連携が不明瞭だった。復習で印刷教材を見ても、授業を思い出せない箇所もあった。
- 9章～10章、構造帰納法、時相論理、代数、モデル指向型言語 Z、性格指向型言語 CafeOBJ、11章形式手法による検証は、何度放送授業を聞き、印刷教材を読んでも理解できなかった。数学的知識のない人には高度すぎ、活用できない内容だと思った。計算方法を知っていると何がよいのかわからなかった。これらを使って、現実世界でどう活用されているのかに焦点を当ててほしい。説明の中の具体例は、買い物で身近な内容だが、簡素すぎて、現実世界から遠いと思った。

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今後に役立つ内容だった		1	1
新しい知識が身についた		1	1
興味・関心が持てた		1	1
深く学ぶ(考える)ことができた		1	1
知識の整理に役立った		1	1
体系的に学べた・理解できた		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		2	2	内容・構成が良くない		1	1
現実に生かせる内容にしてほしい		2	2				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
文字が読みづらい		1	1

主な改善点の提案:集約

現実に生かせる内容にしてほしい  
 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい

- 放送授業:内容・構成が良くない
- 印刷教材:文字が読みづらい

### Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

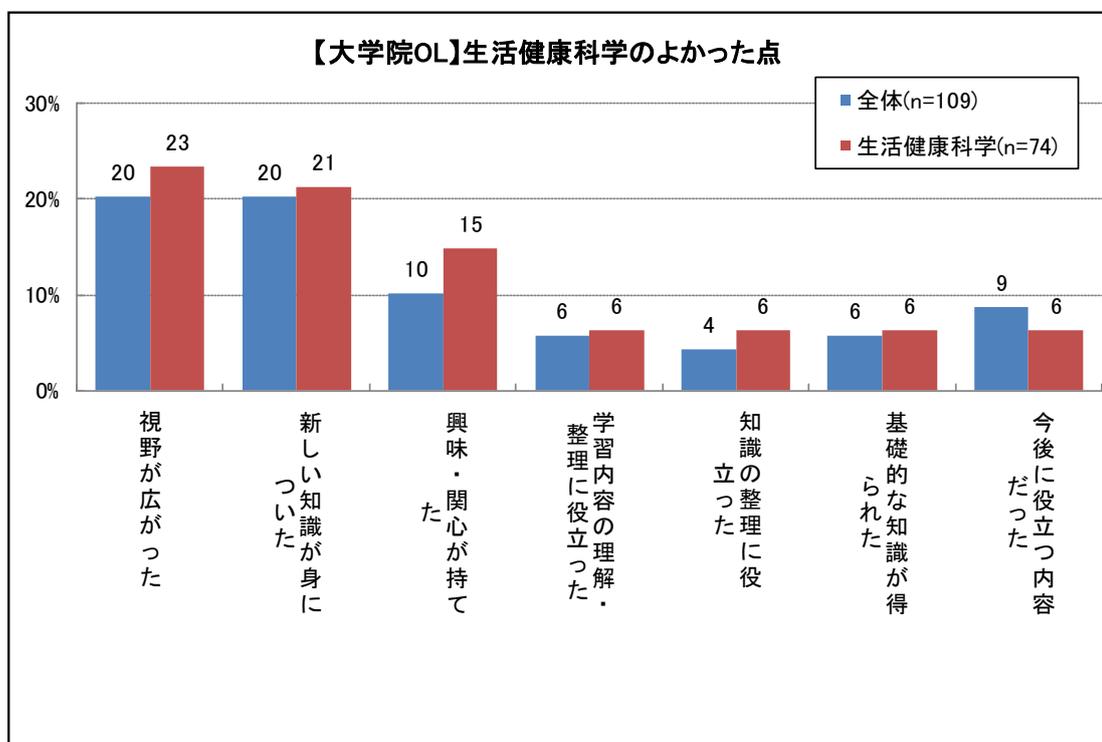
ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどのような傾向にあったのかを見ていきたい。

#### 【大学院 オンライン】「生活健康科学」の傾向

##### よかった点

「視野が広がった」が23%と最も高く、「新しい知識が身についた」が21%、「興味・関心が持てた」が15%と続き、それぞれが全体を上回っていた。

図4-13 【大学院 オンライン】よかった点



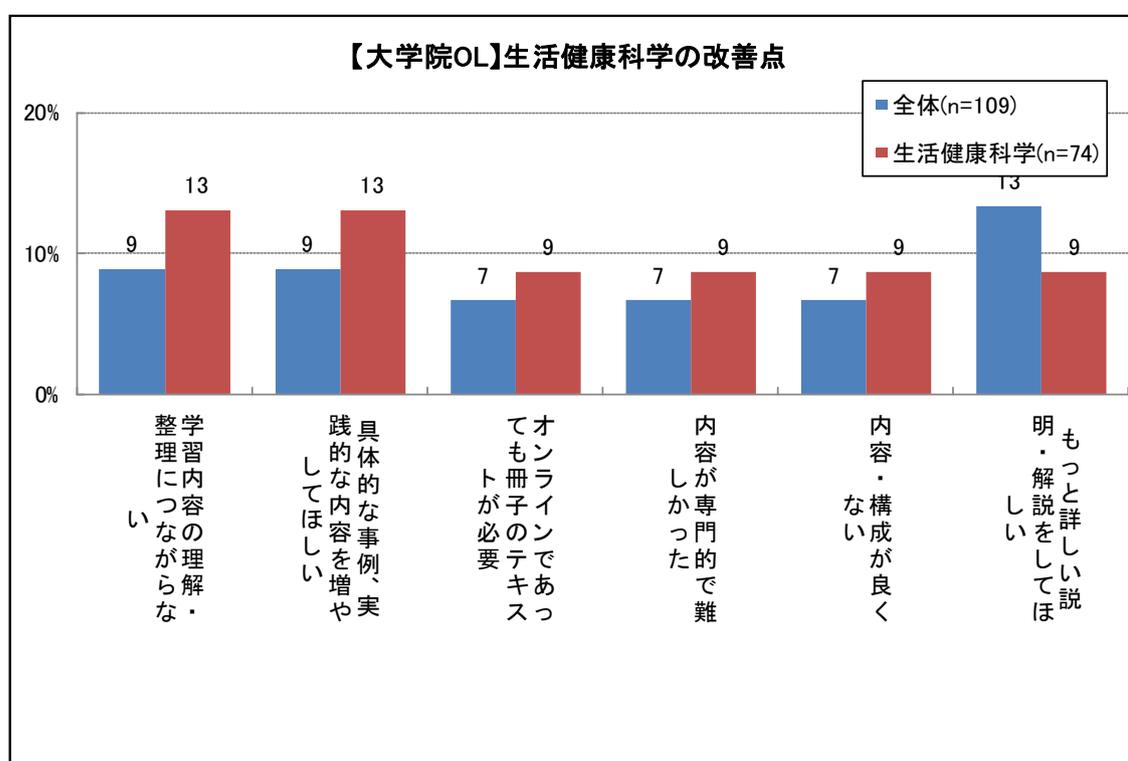
## 【大学院 オンライン】「生活健康科学」の傾向

### 改善点

「学習内容の理解・整理につながらない」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が13%と最も高かった。

他には「オンラインであっても冊子のテキストが必要」、「内容が専門的で難しかった」、「内容・構成が良くない」、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が9%と続き、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」以外は全体を上回っていた。

図4-12 【大学院 オンライン】改善すべき点



よかった点

- 当初私が考えていた「福祉」像があまりに小さい範囲にすぎないことを痛切に学べたことを大変感謝している。教材としてもよく練られており、もっと深いところまで講義をしてほしいと感じた項目がほとんどであった。今後は関係した内容が学べる講座を見つけて研鑽を継続させたいと考えている。
- 高齢化社会の中で介護保険のあり方について考えさせられる内容だった。まだ修士の研究においては先であるが、やってみたいと思う内容だった。
- 健康という内容を多角的に学習することができました。自身の一生に関わる知識も多く学べたため、非常に実りのある科目でした。
- 健康に対する概念と見方がわかった。
- 福祉の視点からだ毛でなく、公衆衛生学の視点から、コミュニティケアを考えられたのは新鮮であった。
- 私は社会福祉・医療系の知識はまったく皆無ですが、とても分かりやすかったです。特に第 12-13 回医療経済学のお話は興味深く、楽しかったです。第 14-15 回の先輩がたにより、論文作成方法のお話がとても有用でした。選科生はアカデミックスキルズを履修できないのですが、そのかわりになる授業でした。
- 研究手法についての言及もあり自分の研究に相当役立った。星先生のご自宅の例が出され、本当に親しみが持てた。高気密、適湿住宅に投資します！講師の皆さんの視聴者を思いやる気持ちが言葉の端々に出ていてやる気ができました。
- 星先生のお話が、とてもよかったです。写真を交えてくださり、どこだろ？と検索したこともありました。授業はわかりやすく、とてもデータの重み、研究に基づく結果が聞けて感動したのと、その結果の裏にはものすごい人の手を介してまとめられたのであろう苦労は語らず、知りたい情報は満載でよかったです。実際手法はこれから私たちが対面するのですが、その調査にかかわりたくないような内容でした。ぜひ健康学を学びたいです。ありがとうございました。
- 私が育った地元に戻ったタイミングで受講しました。これからの私の仕事の拠点は”地域”でしたのでとても興味があり受講しました。オンデマンドを利用し回数を重ねて聴講したいと思います。
- 知らないことを知ることができて、よかった。
- 昨年 1 学期の「生活変動と社会福祉」の復習となった。修士論文を書く上で、課題や考え方についてヒントが得られた。
- 社会福祉に関し、歴史的視点から現在の状況、問題点など幅広く網羅され、各研究者のお話も聞くことができ、とても勉強になっただけでなく、先生方の生き方や学問への熱意も学ぶべきところが多くありました。社会福祉学を知れば知るほど、困窮する人々の存在や問題が解消されない日本の現実に苦しくなることさえありました。日本の福祉分野が先進的な問題解決を計っている世界の国々に比較して大きく遅れを取っているだけでなく、政治、経済等その他の分野でも遅れていると感じ、日本人は根本的に問題解決への方法や考え方を抜本的に刷新すべき時に来ているのではないかと等々、派生する様々なことに思いが及びました。
- 大学時代は情報系の学部にいたため、社会福祉の基本がまったく分からない状態でした。この科目を受講し、社会福祉を広く学ぶことができて、とてもよかったです。
- 講師の伝えたいと考えられる部分が、熱意とともに伝わり、とても役立つ科目でした。ありがとうございました。
- 社会福祉を研究する上での視点を得ることができたと思います。
- 今後の学びの方向性を考える上で有意義なご示唆をいただくことができてよかったです。ありがとうございました。
- いろいろな先生方がその詳細なご専門のお話をされ、最終的に山田先生がまとめられるという方法は思想的に偏った方向には進まず、安心して学習できました。
- 毎回のゲストの話に興味深く学ぶことができました。知らないことも多くありましたが自分の知っていることはより深く知ることができました。また研究に繋げる視点も授業の中に組み込まれていて自分ならどうするか、と研究する当事者意識を持ちながら参加することができました。

## 改善点

- 履修条件ではないがオンライン学習に加え、教科書の講読を勧めるとより幅広い学習ができる。
- わかりやすい補助教材が必要だ。
- 小テストで同じ問いが難問があった。
- すべての回、分かりやすく有用でした。将来正科生となり、修士論文を作成するさいにも役立つ内容が多く、この科目を履修してよかったと思います。ただ一部の回で、資料をただ読上げるだけの授業があったことは残念です。授業では、資料には記載されていない、先生の経験・お考えをお聞かせいただきたいです。
- コミュニティケアに関わる住民(当事者)のインタビュー動画などがあると、更にイメージが湧きやすくなるような気がしました！
- 情報が年単位で更新されるので、新しい部分だけでも追加があるとよいと思う。
- 具体的な事例をもっと多く入れてほしかった。
- 最終課題の課題文自体について、学び始めた当初大変苦悩しました。私は全科生ではないためです。選科生にすぎない私のため、修士論文を作成するチャンスが与えられていない。今回の最終課題の課題文は明らかに修士論文を作る人たちの前提とした課題文となっており、「修士論文書くわけでもないのに…」と大学側に質問をしたが、期待するようなご回答を受け取れず、ディスカッションに当たる交流フォーラムで散々書き込みをしあいながら学習を進めた。その点が大変心残りな科目だったと今振り返って感じています。
- もっと課題を増やしても良いと思う。
- とても理解しやすく、また、山田先生の上品な語り口がとても素敵でよかったです。特に第 14-15 回の今井小の実先生との対話は、印象的でした。今後も、どうか資料を読み上げる授業ではなく、先生のリアルな言葉が聞けるような授業を行っていただきたいです。
- 最後に山田先生のお話にもありましたが、「理論」についての扱いがあれば、良かったと思います。
- 操作場面のスライドは見にくかったです。
- 同様の内容を QGIS でサクサクとできたらどんなに良いかと考えます。
- 最終レポート課題の K-means 法の仕組み、パイプロットおよびリーダーの意味について、もうすこし解説があった方がよい。
- ディスカッションをもう少ししたかったと思います。ツールの扱い方や考え方はわかったのですが、もともと文系で数式の意味があまりよくわからなくて。ディスカッションの場に一つ投稿したのですが、ほかに投稿する人もいなかったのも、遠慮してしまいました。
- 細部にわたる説明の不足は、ないと思っているが、反対に、全体が見えにくくなってしまっている。今どの位置にいるのか、わからないので、全体の処理フロー図が欲しかった。各タスクとの関連性が見えていなかった。
- 自然地理に関わる GIS の利用事例の内容がもう少しあるとよりよいと感じました。
- 大木幸子先生の講義は難しかった。
- テキストにしてほしい。
- 研究計画を作成しておりますが、研究ノートの作成にあたって大変参考になりました。今後自分自身も研究ノートを作成しようと考えております。できるだけ研究初期段階で本講義を受講し、早期に研究ノートを取り入れておけばと考えております。
- 講義映像が長かった。
- 15回すべてプリントしましたが、やはりテキストが欲しいです。
- シラバスには、必要なツールを自分で準備、操作できること、とはなっているが、それでも講義内での解説が必要最低限しかないように感じる。ArcGIS で解説通りの操作をしたつもりでも、表示される内容（位置座標）が小テストの選択肢の数値とは全く違っていたりして困惑したが、改善方法は結局思いつかなかった。

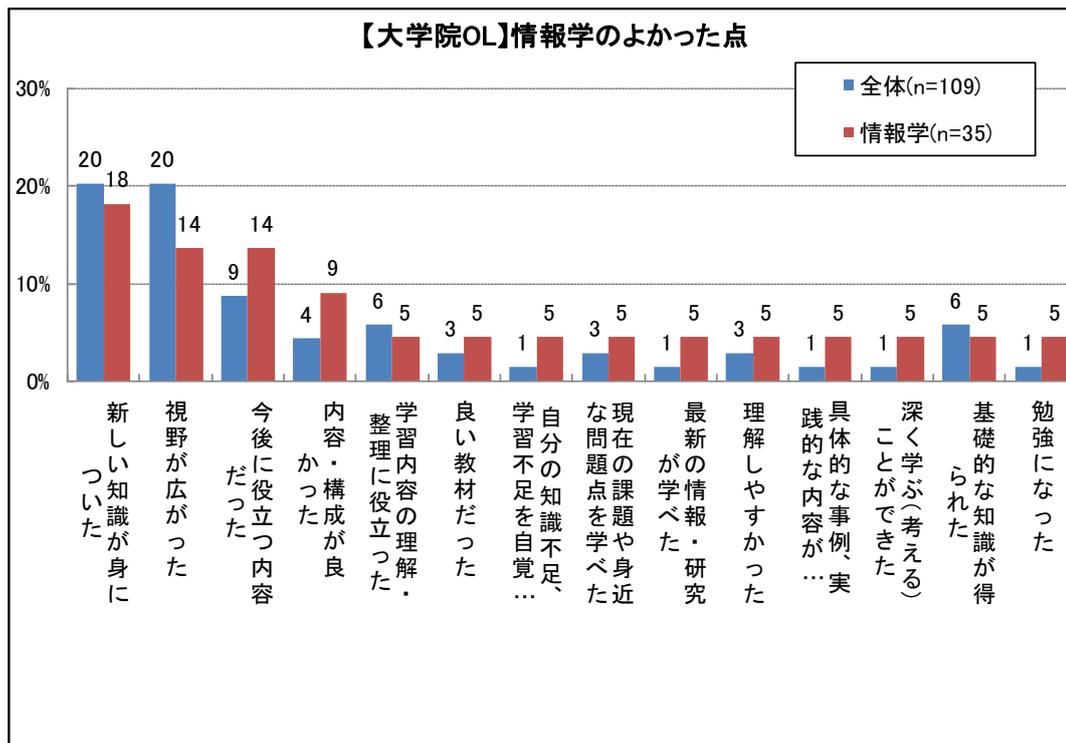


## 【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

### よかった点

「新しい知識が身についた」が18%と最も多く、「視野が広がった」、「今後に役立つ内容だった」が14%、「内容・構成が良かった」が9%と続いていた。

図4-15 【大学院 オンライン】よかった点

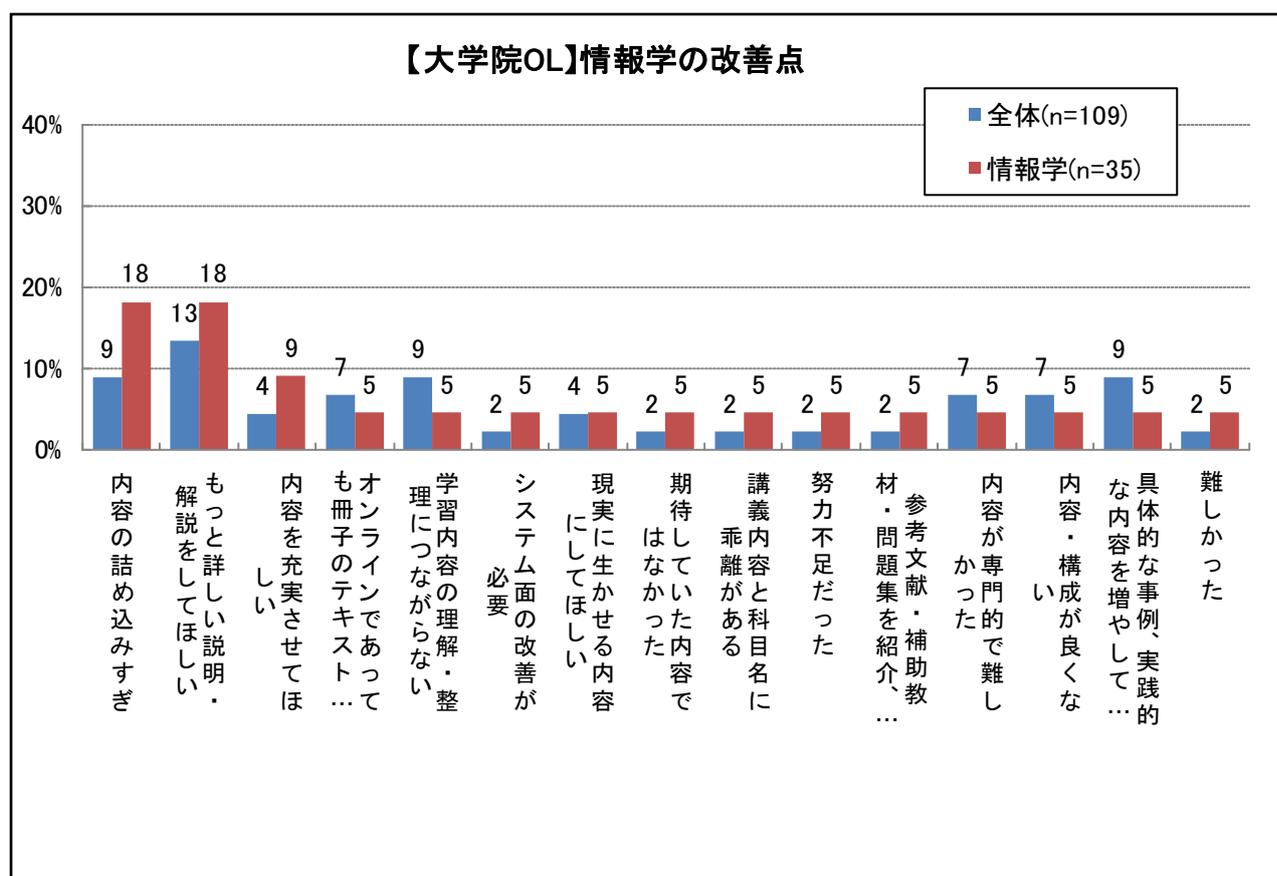


## 【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

### 改善点

「内容の詰め込みすぎ」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が18%と最も高く、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」「内容を充実させてほしい」が9%と続いていた。また、それぞれが全体を上回っていた、

図4-16 【大学院 オンライン】改善すべき点



## 【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

### よかった点

- e-learning について様々な視点でアプローチしており、この分野におけるトピックのインデックスを作ることができた。
- 現代的な教育の手法や課題について知ることができた。
- 知らなかったことも多かったが、理解できることで視野が広がった。考えなければならない課題が多く、鍛えられ、レベルが向上している実感があった。
- 知らない分野だったので、とても勉強になりました。
- 知らなかったことが知れた
- ビデオが1本あたりとても短く集中力がかけることなく視聴できました。全体的に論理的に構成もよく考えられて作成されているコースでした。
- 今まで漠然としたイメージとしてのみ捉えていた e ラーニングの基礎について理解と納得が深まった
- 世の中の新しい流れがわかって良かった。授業期間が終わっても復習を続けたい。
- 将来、数学を聞こえない子供に遠隔教育をすればいいのか、バリアフリー教養大学に教員として採用されたとき、どのように教えればいいのか、などいろいろと考えることができた。
- 2020年以降に編成されたコースデザインだったこと。情報が新しかったこと。
- 私は作業療法士養成校の教員をしております。通常の授業の組み立てや学習支援の内容の組み立ての際に、e ラーニングを使用したと考えていました。その為この科目からさまざまなヒントを得ることができました。
- 今の仕事、研究に直接活かせる内容が多く大変参考になった。自分の価値観、考え方がラーニングデザインに基づいていることに気づくなど、メタ認知の機会になった。
- 義務教育との違いを見つける事ができました。
- 未来の教育の方向性を指示していただけてよかったです。
- 様々な講師の方が担当されることで、様々な学習内容を見聞きしたり、様々な課題の出し方を経験したりできた点。
- 実際のEラーニングをしながらEラーニングの理論と実践でよく理解ができた。
- 新しい知識が増えた。実際にやっけてはいても理論的に知らないことも多かったので勉強になった。スライドを提示してもらったのはありがたかった。印字はしなかったが Word ファイルに学習内容と一緒に添付できた。
- e ラーニングという方法の目的は「個別最適化学習」である、という普遍的な命題が再確認できて良かったです。また、e ラーニングについて色々考えているうちに、「e ラーニングでは、教師への人間的信頼感・尊敬の念って湧くのかな？有った方が良さそうだけど。」という疑問が「発見」できたのは、うれしいです。なお、Moodle を実体験できたのは、良い経験になりました。
- 自分は今まで「教育」に関する専門講座を一度も受けたことが無かったので、教育理論に関する様々な知見が得られたのが収穫だった。
- わたしが、この講座を受講した目的は、紛争地域の子どもたちが、学校に行くことができてないということを現地の人から聞いていて、そこから、e ラーニングはどうだろうか？と、思って、受講しました。

## 【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

### 改善点

- 課題が同プログラムの他の科目の数倍の物量で、正直詰んだかと思った。2科目くらいに分けてもよいのでは？
- 少し、難しいと感じた。
- 知識の羅列に終始していると感じてしまった。暗記科目とっていいほど、情報量が多い。申し訳ないが、全てを正確に記憶する価値は無いと考える。理由は、類似した理論が乱立し、それを細かく紹介されている、という印象を持ったためである。
- 相互評価が負担が大きいなと思いました。結果的に10本のレポートを評価しなくてはいけなかったもので、ワークショップあたり3本ぐらいに減らしてもらえれば、もう少し丁寧に評価できたと思います。また教師からのフィードバックが全く、自動採点が多いので、個人的にフィードバックは難しいかもしれませんが、全体フィードバックでもあればモチベーションが保てるなと思いました。
- ただでさえ学習のモチベーションを保つのに苦労しているのに、小テストで〇〇の可能性があるのでこの答えは・・・とか当てはまらないものを選べとかそういう問題はやめてほしいです。私の注意不足なのは認めますが、内容の理解とは違うところで減点されて、最後まで学習をすすめられるか怪しくなってきました。
- フォーラム投稿が実名で公表されることに敷居が高いと感じた。投稿をためらう気持ちは最終回まで続いた。レポート課題が多くて時間のやりくりが大変だった。逆に小テストはもう少し多くても良かった。理解に役立つから。
- ディスカッションの仕方がわかりにくかった。
- 動画のスク립トをPDFで配布してほしいです。動画の視聴後、徐々に記憶が薄れてくるので、思い出す際に動画を再視聴しないで済みます。動画だけだと、自分の知りたい情報がどこにあるかをピンポイントで探し当てるのが難しいです。
- 新たな知識を沢山学ぶことができました、改善すべきと感じる点はございませんでした。
- 個人的にはレポート課題の分量が多く、他の授業科目と比べてもハードでした。
- ・小テストの設定に誤りが多かった。誤りがあること自体は仕方ないと思うが、それを適切にお認めにならず、こじれた様子も交流フォーラムから伺え、学習者としてのモチベーションにも関わると感じた。・レポート等の課題が多いように感じた。課題自体は、しっかりと取り組む必要があると思うが、他の科目と比べても、受講するのに時間がかかった。
- 改善すべきだというわけではないが、個人的にはピア評価の判断がなかなか難しいと感じた。あくまで参考程度のもとはいえ、レポートを評価するという経験が殆どない自分にとっては、正しく判断できているだろうか、自分が内容を理解できていないだけではないだろうかなども考えた。
- ビデオが短いときがあるので一つ一つまた次に行くのが少し面倒であった。そのまま同じ回のを全部聞ける機能があればいいと思う。
- 1. 「個別最適化学習」は出来ないでしょうか？第4回「マルチメディア学習」のような、具体的な平易な図解事例による解説をもっと多用していただくと、モチベーションも維持でき、「私にとっての個別最適化学習」に近づくのではないかなと思いました。2. 小テストは事前にChatGPTの「お告げ回答」を確認してから、出題する、あるいはややこしそうなのは引っ込めるという選択をされたら良いのではないかなと思いました。
- 「視聴メモ」に講師が口頭で述べたポイントの記載がないことが残念。
- 提示される授業資料が、授業回によって違うこと。個人的には、ChatGPTとの対話を通して学習を深めたいので、動画のスク립トはテキストデータで欲しかった。
- 小テストのうち、一部の講義で、小テストが2問のみの出題があり、プレッシャーがかかりミスしてしまうことがあります。問題数を他の講義と整合をとられてもよかったと考えます。小テストの初回得点で評価が決まるのは、プレッシャーが大きいです。練習問題を増やし、その中からランダムに出題するような形態もご検討いただければ幸いです。

よかった点

(単位:人)

科目全般		講義ノート・テキスト	
意見	合計	意見	合計
新しい知識が身についた	4	良い教材だった	1
今後役立つ内容だった	3	学習内容の理解・整理に役立った	1
視野が広がった	3		
内容・構成が良かった	2		
勉強になった	1		
基礎的な知識が得られた	1		
深く学ぶ(考える)ことができた	1		
具体的な事例、実践的な内容があった	1		
理解しやすかった	1		
最新の情報・研究が学べた	1		
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1		

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	システム面の改善が必要	1
内容の詰め込みすぎ	4		
難しかった	1		
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		
内容・構成が良くない	1		
内容が専門的で難しかった	1		
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1		
努力不足だった	1	内容を充実させてほしい	2
講義内容と科目名に乖離がある	1	学習内容の理解・整理につながらない	1
期待していた内容ではなかった	1	オンラインであっても冊子のテキストが必要	1
現実に生かせる内容にしてほしい	1		

主な改善点の提案:集約

内容の詰め込みすぎ

もっと詳しい説明・解説をしてほしい

●講義ノート・テキスト:内容を充実させてほしい

●講義ノート・テキスト:オンラインであっても冊子のテキストが必要

●講義ノート・テキスト:学習内容の理解・整理につながらない

●オンライン教材:システム面の改善が必要

現実に生かせる内容にしてほしい

## 付録) 2024年度学生による授業評価集計結果の概要等について

### 2024年度学生による授業評価集計結果の概要

#### 1. 調査の概要

- (1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること
- (2) 調査方法 システムWAKABAを用いたオンライン調査

#### (3) 調査対象

##### ①対象科目

##### 【学部】

	基盤科目	基盤科目 (外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	計
R6(2024)	2	2	11	6	10	8	7	4	50

##### 【大学院】

	人間発達 科学	情報学	計
R6(2024)	2	1	3

- ②対象者 2024年度第1学期履修登録者

- (4) 調査時期 調査期間：7月26日～9月30日  
調査結果の集計：10月

#### 2. 集計結果

##### (1)回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
R6(2024)	29,152	28,833	319	2,823	2,772	51	9.7%	9.6%	16.0%

付録) 2024 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

年次	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と産業			
2022	11.0%	23.8%	8.9%	11.8%	9.0%	6.4%			
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生					
	0.1%	70.9%	17.7%	11.2%					
2023	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
2023	13.5%	27.2%	9.5%	12.9%	7.0%	6.2%			
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生					
	0.0%	76.3%	16.8%	6.9%					
2024	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
2024	12.7%	24.4%	9.2%	18.4%	6.9%	8.2%			
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生					
	0.0%	79.8%	16.7%	3.5%					
	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2022	45.0%	55.0%	2.2%	9.2%	11.3%	22.6%	26.4%	18.5%	9.8%
2023	43.6%	56.4%	1.2%	8.2%	8.9%	18.8%	29.5%	21.9%	11.5%
2024	43.8%	56.2%	2.2%	9.9%	9.7%	17.4%	28.4%	22.9%	9.6%

(2) 回答者の属性

【大学院】

年次	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2022	4.5%	2.4%	5.4%	7.2%	-	8.1%	3.3%	0.9%
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	31.9%	59.9%	8.1%					
2023	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2023	-	2.2%	22.2%	2.2%	-	5.6%	2.2%	-
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	34.4%	61.1%	4.4%					
2024	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2024	-	19.6%	2.0%	-	-	13.7%	2.0%	-
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	37.3%	54.9%	7.8%					
	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2022	62.7%	37.3%	4.5%	6.0%	15.4%	29.8%	32.8%	11.4%
2023	53.3%	46.7%	1.1%	7.8%	23.3%	33.3%	32.2%	2.2%
2024	58.8%	41.2%	2.0%	11.8%	37.3%	27.5%	21.6%	0.0%

※四捨五入の関係から内訳の合計が100%にならない場合がある

## 付録) 2024年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果: 各質問項目に対する4段階評価(「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」)の回答に対して、順に4、3、2、1の得点を与え、平均値を算出した。)

【学部】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2022	3.33	3.36	3.27	3.30	3.34	3.20	3.25	3.28	3.18	3.24	3.31	3.03	3.28	3.33	3.16	3.36	3.38	3.31	3.37	3.40	3.29
2023	3.33	3.36	3.27	3.33	3.38	3.22	3.31	3.34	3.26	3.26	3.36	3.03	3.32	3.37	3.20	3.38	3.40	3.32	3.41	3.44	3.33
2024	3.40	3.39	3.41	3.37	3.38	3.36	3.35	3.33	3.38	3.28	3.35	3.18	3.36	3.37	3.34	3.42	3.40	3.45	3.46	3.44	3.49

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2022	3.37(3.69~2.66)	3.40	3.28	3.52	3.25	3.32	3.48	3.29	3.27	3.31
2023	3.41(3.83~2.84)	3.46	3.30	3.59	3.11	3.47	3.29	3.31	3.40	3.20
2024	3.46(3.80~2.98)	3.44	3.49	3.35	3.50	3.47	3.51	3.37	3.54	3.38

※()内の値は「最高値～最低値」

	コース・科目
	自然と環境
2022	3.26
2023	3.35
2024	3.38

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2022	3.34	3.36	3.25	3.47	3.31	3.33	3.37	3.34	3.34
2023	3.39	3.43	3.27	3.46	3.44	3.42	3.44	3.40	3.32
2024	3.46	3.46	3.59	3.51	3.38	3.45	3.53	3.41	3.40

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2022	3.43	3.34	3.46	3.43	3.53	3.40	3.47	3.56	3.45	3.34	3.53	3.29	3.41	3.52	3.38	3.43	3.51	3.41	3.50	3.64	3.47
2023	3.41	-	3.41	3.45	-	3.45	3.38	-	3.38	3.40	-	3.40	3.48	-	3.48	3.41	-	3.41	3.57	-	3.57
2024	3.48	-	3.48	3.42	-	3.42	3.47	-	3.47	3.27	-	3.27	3.41	-	3.41	3.38	-	3.38	3.51	-	3.51

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	情報学	人文学	自然環境科学
2022	3.52(3.85~2.84)	3.71	3.47	3.67	3.38	3.71	3.31	3.71	3.48	-
2023	3.47(3.69~2.57)	-	3.59	-	-	3.57	3.31	3.67	-	-
2024	3.51(3.58~3.43)	-	3.51	-	3.50	-	-	3.54	-	-

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別					
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2022	3.49	3.56	3.80	3.55	3.67	3.51	3.43	3.47
2023	3.56	3.62	3.00	3.43	3.90	3.53	3.45	4.00
2024	3.43	3.48	-	4.00	4.00	3.37	3.36	3.36

付録) 2024年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2024年度学生による授業評価の調査結果一覧表【2024年度新規開設科目】(単体集計1 平均評点) コース・科目区分別、プログラム別

所属	科目名	回収状況		取組み姿勢			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通達指導・単位認定試験			全体評価			授業にかかるとの平均		全体(A1-B2)の平均											
		調査対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目平均	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	項目平均	B-10	B-11	B-12	B-13	項目平均		B-14	B-15	B-16	項目平均	B-17	B-18	B-19	B-20	B-21	項目平均	
	全科目平均	28,833	2,772	9.6%	3.47	3.30	3.43	3.40	3.30	3.39	3.31	3.39	3.35	3.38	3.40	3.25	3.24	3.11	3.28	3.40	3.34	3.29	3.41	3.36	3.41	3.49	3.35	3.42	3.42	3.50	3.62	3.31	3.46	3.46	3.37
	科目最高値	-	-	-	3.74	3.57	3.68	3.66	3.64	3.67	3.71	3.74	3.69	3.74	3.69	3.61	3.72	3.67	3.69	3.79	3.71	3.66	3.71	3.72	3.68	3.73	3.68	3.70	3.71	3.80	3.93	3.71	3.86	3.80	3.72
	科目最低値	-	-	-	3.13	2.67	3.10	2.97	2.65	2.94	2.70	2.88	2.79	2.83	2.82	2.41	2.25	1.91	2.44	3.00	2.83	2.69	2.91	2.86	2.90	3.00	2.84	2.91	2.95	3.10	3.20	2.69	2.97	2.98	2.78
	ナレシ科目(TV)平均	15,473	1,606	10.4%	3.45	3.33	3.40	3.39	3.28	3.39	3.27	3.38	3.33	3.38	3.43	3.34	3.39	3.22	3.35	3.40	3.31	3.38	3.40	3.37	3.40	3.48	3.33	3.40	3.38	3.50	3.61	3.27	3.44	3.44	3.38
	ラジオ科目(R)平均	13,079	1,166	8.9%	3.49	3.27	3.46	3.41	3.34	3.39	3.36	3.42	3.38	3.37	3.36	3.13	3.05	2.97	3.18	3.40	3.38	3.17	3.42	3.34	3.44	3.51	3.39	3.45	3.47	3.49	3.62	3.36	3.49	3.49	3.36
	「基礎科目(一般科目)」全体	2,640	326	12.3%	3.43	3.27	3.37	3.36	3.23	3.33	3.21	3.35	3.28	3.27	3.32	3.18	3.25	3.16	3.24	3.38	3.29	3.33	3.36	3.34	3.33	3.50	3.37	3.40	3.33	3.30	3.55	3.19	3.37	3.35	3.31
	「基礎科目(外国語)」全体	427	49	11.5%	3.47	3.41	3.41	3.43	3.45	3.41	3.49	3.47	3.46	3.59	3.45	3.49	3.37	3.27	3.43	3.67	3.45	3.35	3.43	3.48	3.49	3.65	3.67	3.60	3.45	3.49	3.61	3.33	3.61	3.50	3.49
	「生活と福祉」全体	9,899	675	6.8%	3.42	3.22	3.40	3.35	3.28	3.39	3.31	3.41	3.35	3.36	3.39	3.22	3.29	3.29	3.31	3.37	3.35	3.32	3.43	3.37	3.44	3.48	3.41	3.44	3.43	3.50	3.62	3.35	3.46	3.47	3.39
	「心理と教育」全体	4,490	469	10.4%	3.49	3.35	3.45	3.43	3.38	3.48	3.40	3.43	3.42	3.46	3.50	3.38	3.39	3.41	3.43	3.40	3.40	3.43	3.45	3.42	3.43	3.54	3.34	3.44	3.46	3.56	3.66	3.34	3.49	3.51	3.45
	「社会と産業」全体	2,494	237	9.5%	3.44	3.26	3.41	3.37	3.20	3.30	3.24	3.35	3.27	3.27	3.25	3.03	2.96	2.91	3.08	3.39	3.24	3.25	3.35	3.31	3.30	3.40	3.28	3.33	3.38	3.40	3.49	3.22	3.36	3.37	3.27
	「人間と文化」全体	4,572	520	11.4%	3.56	3.36	3.53	3.48	3.38	3.41	3.40	3.43	3.41	3.41	3.40	3.23	3.05	2.76	3.17	3.47	3.39	3.00	3.43	3.32	3.46	3.53	3.36	3.45	3.51	3.58	3.66	3.40	3.53	3.54	3.37
	「情報」全体	1,722	166	9.6%	3.36	3.17	3.37	3.30	3.22	3.29	3.22	3.31	3.26	3.40	3.33	3.19	3.13	2.88	3.19	3.38	3.26	3.34	3.35	3.33	3.35	3.45	3.35	3.38	3.31	3.45	3.52	3.24	3.39	3.38	3.30
	「自然と環境」全体	2,589	330	12.7%	3.50	3.46	3.40	3.45	3.26	3.44	3.21	3.37	3.32	3.40	3.50	3.41	3.48	3.08	3.37	3.40	3.30	3.45	3.38	3.38	3.44	3.46	3.23	3.38	3.38	3.56	3.62	3.25	3.46	3.45	3.38

所属	科目名	回収状況		取組み姿勢			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通達指導・単位認定試験			全体評価			授業にかかるとの平均		全体(A1-B2)の平均											
		調査対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目平均	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	項目平均	B-10	B-11	B-12	B-13	項目平均		B-14	B-15	B-16	項目平均	B-17	B-18	B-19	B-20	B-21	項目平均	
	全科目平均	319	51	16.0%	3.55	3.33	3.57	3.48	3.45	3.59	3.43	3.41	3.47	3.43	3.10	3.22	3.18	3.27	3.45	3.33	3.31	3.53	3.41	3.35	3.43	3.37	3.38	3.57	3.59	3.53	3.41	3.45	3.51	3.41	3.42
	科目最高値	-	-	-	3.60	3.44	3.69	3.58	3.64	3.68	3.64	3.52	3.62	3.60	3.68	3.12	3.40	3.20	3.40	3.52	3.48	3.40	3.60	3.50	3.44	3.56	3.40	3.47	3.64	3.70	3.60	3.44	3.52	3.58	3.51
	科目最低値	-	-	-	3.50	3.19	3.40	3.36	3.20	3.50	2.90	3.30	3.23	3.20	3.19	3.06	3.10	3.11	3.30	3.00	3.00	3.44	3.19	3.25	3.10	3.30	3.22	3.50	3.44	3.50	3.38	3.31	3.43	3.24	3.25
	ナレシ科目(TV)平均	0	0	0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	ラジオ科目(R)平均	319	51	16.0%	3.55	3.33	3.57	3.48	3.45	3.59	3.43	3.41	3.47	3.43	3.10	3.22	3.18	3.27	3.45	3.33	3.31	3.53	3.41	3.35	3.43	3.37	3.38	3.57	3.59	3.53	3.41	3.45	3.51	3.41	3.42
	「人間発達科学」全体	249	41	16.5%	3.56	3.34	3.61	3.50	3.51	3.61	3.56	3.44	3.53	3.49	3.49	3.10	3.24	3.20	3.30	3.49	3.41	3.39	3.54	3.46	3.37	3.51	3.39	3.42	3.59	3.56	3.51	3.41	3.44	3.50	3.45
	「情報」全体	70	10	14.3%	3.50	3.30	3.40	3.40	3.20	3.50	2.90	3.30	3.23	3.20	3.10	3.10	3.10	3.14	3.30	3.00	3.00	3.00	3.50	3.20	3.30	3.10	3.30	3.23	3.50	3.70	3.60	3.40	3.50	3.54	3.28

(注) 平均評点は、調査票の選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまる：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2024年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
＜印刷教材＞					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

付録) 2024 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	<p>〔全科履修生 新コース所属の方〕</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>〔全科履修生 旧専攻所属の方〕</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>〔選科履修生・科目履修生〕</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ( )

どうもありがとうございました。

# 授業評価の組織的な活用

